



**UNIVERSITY OF TSUKUBA
PROSPECTUS
2021**

筑波大学入学案内 2021

SINCE 1973
IMAGINE THE FUTURE.

(C) 2021, UNIVERSITY OF TSUKUBA



**UNIVERSITY OF TSUKUBA
PROSPECTUS
2021**

筑波大学入学案内 2021

SINCE 1973
IMAGINE THE FUTURE.

(C) 2021, UNIVERSITY OF TSUKUBA



**UNIVERSITY OF TSUKUBA
PROSPECTUS
2021**

筑波大学入学案内 2021

SINCE 1973
IMAGINE THE FUTURE.

(C) 2021, UNIVERSITY OF TSUKUBA



**UNIVERSITY OF TSUKUBA
PROSPECTUS
2021**

筑波大学入学案内 2021

SINCE 1973
IMAGINE THE FUTURE.

(C) 2021, UNIVERSITY OF TSUKUBA

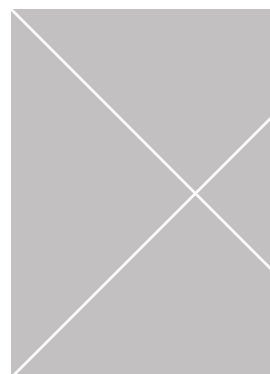


**UNIVERSITY OF TSUKUBA
PROSPECTUS
2021**

筑波大学入学案内 2021

SINCE 1973
IMAGINE THE FUTURE.

(C) 2021, UNIVERSITY OF TSUKUBA



**UNIVERSITY OF TSUKUBA
PROSPECTUS
2021**

筑波大学入学案内 2021

SINCE 1973
IMAGINE THE FUTURE.

(C) 2021, UNIVERSITY OF TSUKUBA



**UNIVERSITY OF TSUKUBA
PROSPECTUS
2021**

筑波大学入学案内 2021

SINCE 1973
IMAGINE THE FUTURE.

(C) 2021, UNIVERSITY OF TSUKUBA



**UNIVERSITY OF TSUKUBA
PROSPECTUS
2021**

筑波大学入学案内 2021

SINCE 1973
IMAGINE THE FUTURE.

(C) 2021, UNIVERSITY OF TSUKUBA



**UNIVERSITY OF TSUKUBA
PROSPECTUS
2021**

筑波大学入学案内 2021

SINCE 1973
IMAGINE THE FUTURE.

(C) 2021, UNIVERSITY OF TSUKUBA



2021年度

筑波大学入学案内

<http://www.tsukuba.ac.jp/>

学長メッセージ			1
筑波大学の教育			2
総合学域群		School of Comprehensive Studies	10
人文・文化学群 School of Humanities and Culture	人文学類	College of Humanities	14
	比較文化学類	College of Comparative Culture	18
	日本語・日本文化学類	College of Japanese Language and Culture	22
社会・国際学群 School of Social and International Studies	社会学類	College of Social Sciences	26
	国際総合学類	College of International Studies	30
人間学群 School of Human Sciences	教育学類	College of Education	34
	心理学類	College of Psychology	38
	障害科学類	College of Disability Sciences	42
生命環境学群 School of Life and Environmental Sciences	生物学類	College of Biological Sciences	46
	生物資源学類	College of Agro-Biological Resource Sciences	50
	地球学類	College of Geoscience	54
理工学群 School of Science and Engineering	数学類	College of Mathematics	58
	物理学類	College of Physics	62
	化学類	College of Chemistry	66
	応用理工学類	College of Engineering Sciences	70
	工学システム学類	College of Engineering Systems	74
	社会工学類	College of Policy and Planning Sciences	78
情報学群 School of Informatics	情報科学類	College of Information Science	82
	情報メディア創成学類	College of Media Arts, Science and Technology	86
	知識情報・図書館学類	College of Knowledge and Library Sciences	90
医学群 School of Medicine and Health Sciences	医学類	College of Medicine	94
	看護学類	College of Nursing	98
	医療科学類	College of Medical Sciences	102
体育専門学群		School of Physical Education, Health and Sport Sciences	106
芸術専門学群		School of Art and Design	110
学ぶための環境			114
国際交流			118
障害学生支援・LGBT等学生支援			122
T-ACT つくばアクションプロジェクト／先導的研究者体験プログラム			124
医・食・住環境			126
授業料・奨学金			128
学生組織			130
文化系サークル			132
体育系サークル			134
芸術系サークル			136
サークル紹介「あなたのやりたいを叶える！～Free Education (エフィ)～」			137
就職・進学・取得免許・国家試験等			138
大学院			144
連携大学院とつくばの研究所			147
キャンパスマップ			154
イメージマップ			156
共同利用施設			158
筑波大学データ			160
入試情報			162
見学／体験学習／受験相談			170
学生募集要項等請求方法			171

学長メッセージ

IMAGINE THE FUTURE.



筑波大学長 永田恭介

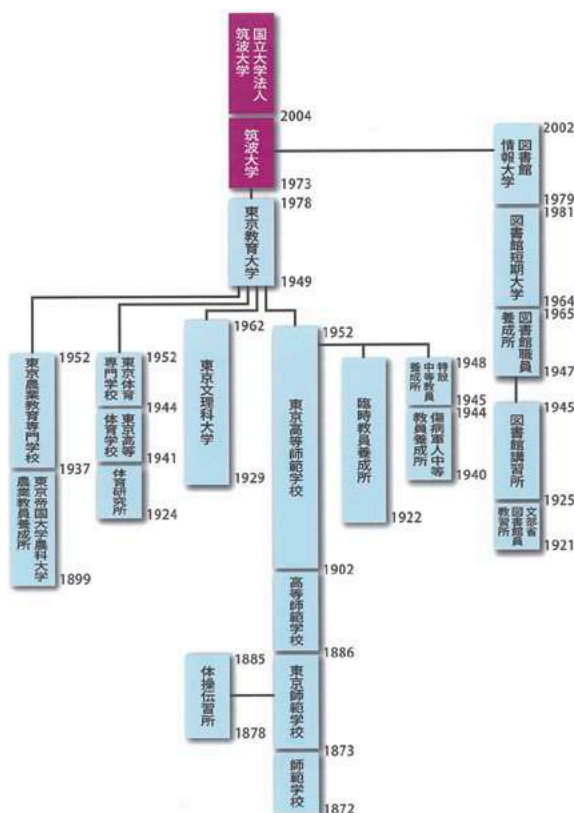
地球と人類社会の発展に向けて

我々はグローバル化という大きな潮流の中にいます。地球と人類社会の発展に向けて、筑波大学は、IMAGINE THE FUTURE. のロゴのもと、知の創造とグローバル社会で国際的に活躍できる豊かな人間性を備えた人材を育成することを目標としています。

本学教育宣言である筑波スタンダードに基づく質の高い教育により、皆さんにコミュニケーション能力や論理的思考能力が身に付くように、そして武者修行型学修により皆さん自身が課題を発見し解決することができる実践力が身に付くような教育システムを用意しています。本学は、ノーベル賞受賞者が教壇に立ち、またオリンピック金メダリストを生むなど幅広い学問分野を有しており、皆さんは多彩な講義・演習や活発な課外活動を通じて、専門分野のみならず幅広い教養を習得することができます。

本学はあらゆる面で「開かれた大学」として大学の国際化を先導するとともに、従来の考え方に捉われない「新しい大学の仕組み」を実現し次代の求める新たな学問分野を産み出していくことを基本理念としています。未来をめざした大学作りは、新しいことに不断に挑戦する精神を尊重します。

国内最大規模の広さと美しさを誇るキャンパスは、東京から45分の近距離でありながら、都会の喧騒とは縁のない場所であり、自由にじっくりと考え、創造力を育て、表現力を養う環境を備えています。周辺には数多くの国際的にも評価のきわめて高い産官の研究機関が集積しており、大学キャンパスにも街にも国際性が日常化しています。本学は学問文化の薫り高い国際都市、筑波サイエンス・シティの中核です。皆さんと緑あふれる筑波キャンパスでお会いすることを心から楽しみにしています。



筑波大学の沿革

建学の理念

本学は、基礎及び応用諸科学について、国内外の教育・研究機関及び社会との自由、かつ、緊密なる交流関係を深め、学際的な協力の実をあげながら、教育・研究を行い、もって創造的な知性と豊かな人間性を備えた人材を育成するとともに、学術文化の進展に寄与することを目的とする。従来の大学は、ややもすれば狭い専門領域に閉じこもり、教育・研修の両面にわたって停滞し、固定化を招き、現実の社会からも遊離しがちであった。本学は、この点を反省し、あらゆる意味において、国内的にも国際的にも開かれた大学であることをその基本的性格とする。そのために本学は、変動する現代社会に不断に対応しつつ、国際性豊かにして、かつ、多様性と柔軟性を持った新しい教育・研究の機能及び運営の組織を開発する。更に、これらの諸活動を実施する責任ある管理体制を確立する。

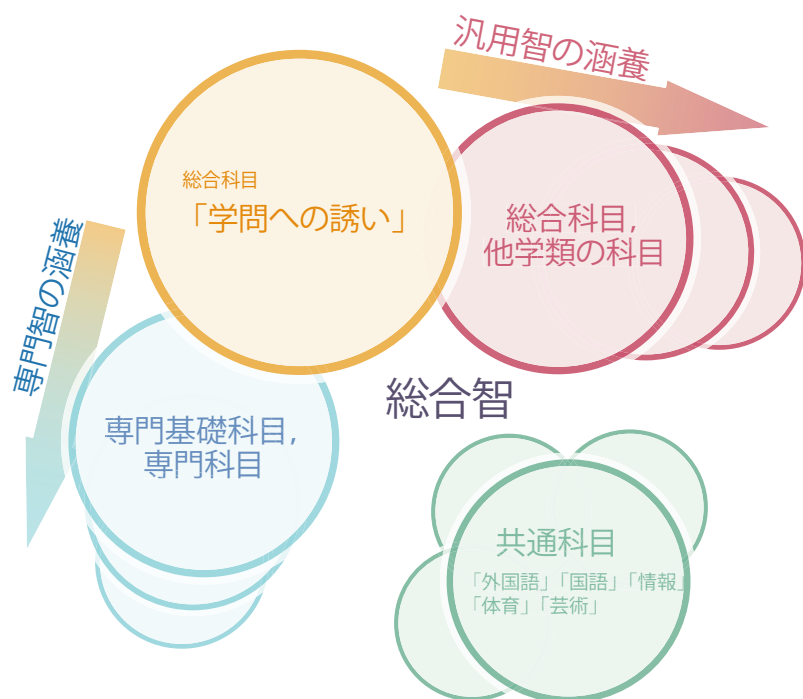
筑波大学の教育

筑波大学での学び－専門智、汎用智、そして総合智

皆さんが今もっている大学での学びのイメージはどのようなものでしょうか？これまで勉強してきたことをさらに高度に「専門的」にたくさん学修するところ、というイメージが大きいかもしれませんね。確かに、そのように学問を究めるところであることは間違いありません。一方、例えば研究成果を発表するためには、自分の見方や考え方を相手に上手に伝える力も必要です。自分の専門分野と異なる背景を持つ人々にも自分の考えをよく伝えようとするならば、相手の専門分野と自分の分野の共通点や相違点を理解していたほうが、自分の考えがより伝わりやすいものです。文章での的確な表現力や母語あるいは外国語での会話力などとともに、様々な他分野への造詣の深さも必要となるでしょう。ここではこれらを「汎用的」な力と表現しましょう。筑波大学の学士課程では、自分の選んだ専門分野の掘り下げによって身につく専門的な力とともに、このような汎用的な力も合わせもった「総合的」な力を醸成することをねらいます。本学では、これらを「専門智」、「汎

用智」、「総合智」と呼んでいます。「智」という言葉には「総合的な能力を発揮する知識と知恵」という概念を求めています。

なぜ、このような「智」を本学は学士課程での学びに求めるのでしょうか？それは、自分の専門分野に精通するとともに、それを成り立たせる基礎的な学理や他の専門分野との関係の深い理解も踏まえて、現代社会が抱える複雑でややもすれば利害が対立し、なかなか答えを出せない問題を解決できる力を育てたいからです。あるいは、多数の人々との意思の疎通と協業により広範な分野に影響がおよぶ問題を解決できる力を育てたいからです。このような力は、既存の専門の枠にとらわれずに自らの得意な分野を開拓でき、社会の要請の変化にも柔軟に対応して複雑に入り組んだ興味の対象を探求し、諸問題を解決できる大きな原動力になると期待できます。総合智をもつ人々が多く育ち、卒業後に社会で大きく活躍できることを念頭に教育課程を設計しています。



教育課程の設計思想－「学問への誘い」^{いざな} から始まるタテとヨコ

筑波大学の学士課程での学びは次のような構造になっています。

まず、総合科目「学問への誘い」を入学生全員¹が入学直後に履修します。この科目では、様々な学問的問いに、本学の研究者がどのようなアプローチで取り組んでいるのかを多数紹介します。本学における学修の動機をこの科目の履修によりまず得てください。この科目を要^{かなめ}にして、学修はタテとヨコのイメージで進みます。自らの専門分野の学修は、所属している学類・専門学群で定められる専門基礎科目や専門科目の履修によって行われ、年次を追うごとにその専門性が深化してゆきます。「専門性の深まり」あるいは「掘り下げ」という言葉があるように、これはタテ方向への深化とたとえることができ、専門智の涵養へとつながります。

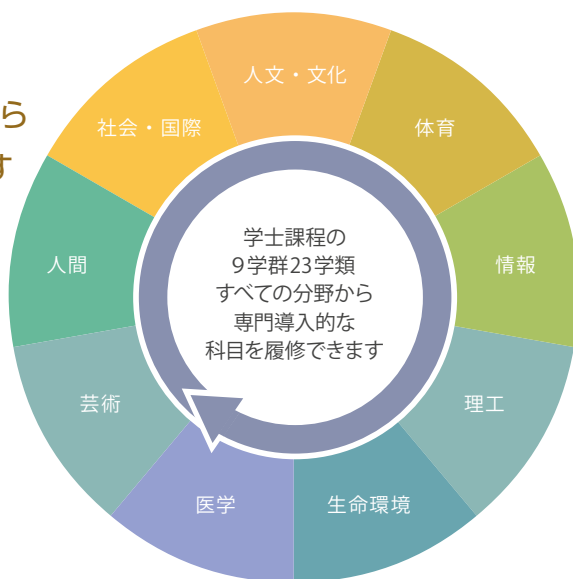
一方、本学では他の学類や専門学群の講義も複数履修することを卒業要件として定め、自分の知識をヨコに広げる展開も求めています。そのため、各学類・専門学群の専門科目や専門基礎科目のうちで、その学問分野の入り口に立つ入門的な内容を扱う科目を専門導入科目として多数配置しています。この科目群は、その科目を開設している学類・

専門学群以外の組織に所属する学生の受講にも配慮しているので、文理にこだわらず自分の専門分野以外の分野の入門的内容を履修することができます。また、総合科目のなかに学士基盤科目と呼ぶ科目群があり、様々な学問分野とつながる日本や世界の社会の様々な断面を教養として学ぶ科目も一つ以上履修するようになっています。「外国語」、「情報」、「体育」、「国語」、「芸術」という共通的な科目も用意され、健康の維持とともに自らの見方や考え方を表明・表現できる力の涵養もなされます。自分の所属する学類・専門学群以外の組織が提供する専門導入科目の履修、総合科目（学士基盤科目）の履修、そして、「外国語」をはじめとする共通科目の履修という三位一体が、汎用的な智を涵養します。こうして、タテにも深くヨコにも広い学修がなされ、総合智が涵養されるように本学の教育システムは設計されています。このような学修から、一つの事柄を様々な視点からみて考えることができる複眼的なみかたや、その事柄とその周囲の関連を広く見渡す俯瞰的な視野も獲得してください。

¹ 英語プログラムなどの入学生でこの科目を履修しない場合があります。

専門導入科目

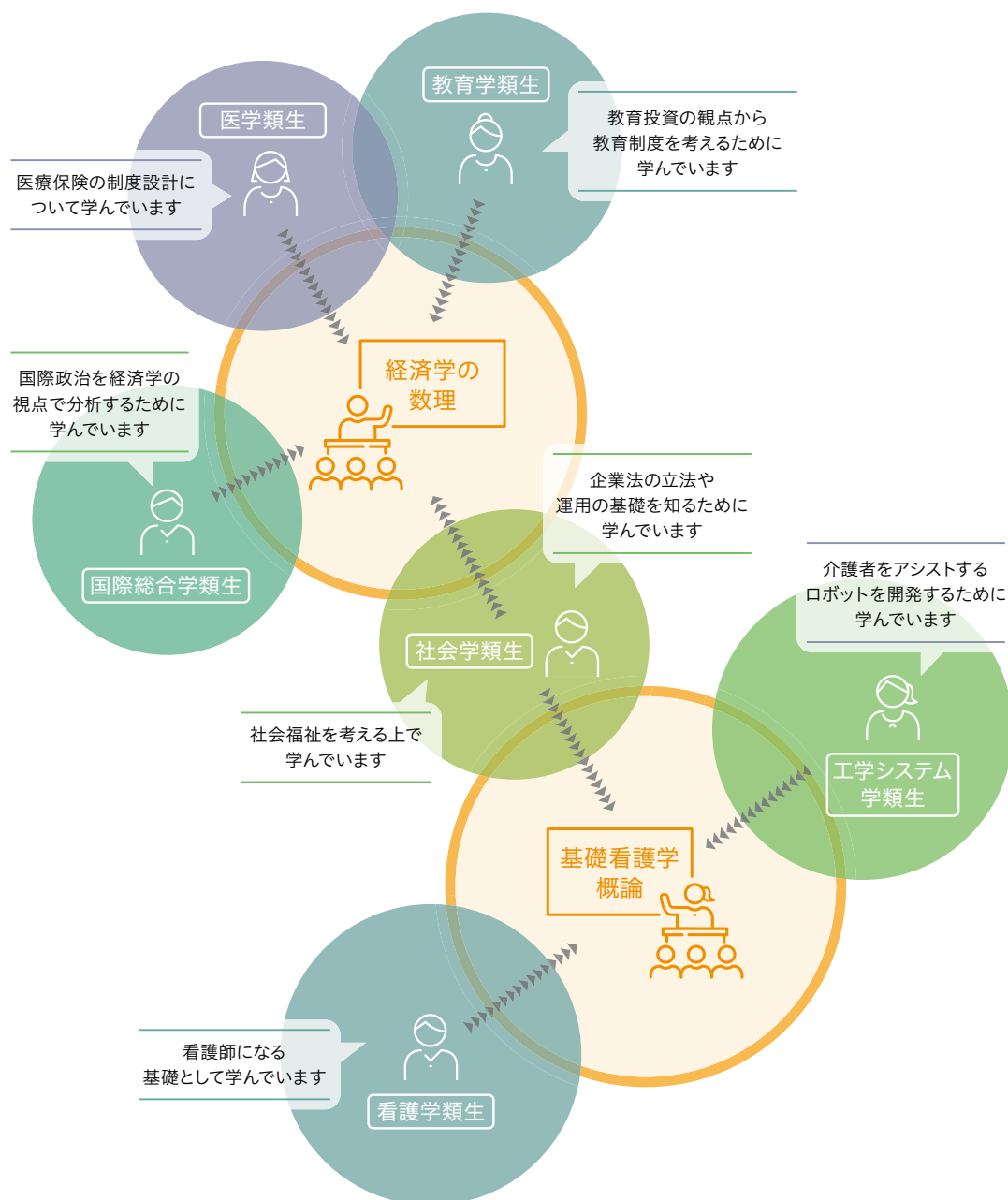
9学群・23学類、全ての分野から
専門導入的な科目を履修できます



自らの学びを組み立てる－オーダーメイドな学修計画

本学の学士課程で開設されている科目は、特に定めのない限り、自分が所属する学類・専門学群にかかわらず履修できることが原則になっています²。他分野の専門導入科

目の履修も、どの科目を聴講するかを自分で決めます。卒業に求められる科目履修条件を満たすことは必要ですが、それでも選択できる科目範囲に大きな自由度があり、自分



自身のためのオーダーメイドな学修計画（カリキュラム）を立てることができます。これは本学の大きな特長です。ここに自分自身の学びの主体的な取組が求められているのです。

所属に関係なくある科目を履修できることは、その授業科目を様々な専門分野の学生が同時に履修していることにつながります。分野背景を異にする学生がそれぞれの目的に応じて学修しているのですから、お互いの意見を交わすことで自分にはない視野を得ることもできるでしょう。そ

ういった経験を通じて自分が進む専門領域の位置づけを認識し、自身の専門性を客観的にとらえる機会が得られます。

こうして、本学の学修を通して自分の専門を深めてゆくと、様々な学問分野を背景とした自分の専門分野の位置づけを理解できるようになります。様々な背景を持つ人々と協働しつつ、自分の専門性を存分に発揮できる人材が育つことを期待しています。

² その科目の担当教員の許可が必要な場合があります。

共通科目について

ここで、「総合科目」、「外国語」、「情報」、「体育」、「国語」、「芸術」の共通科目について、それらの概要をお知らせしておきましょう。

◆**総合科目（全学必修）**：「学問への誘い」および「フレッシュマン・セミナー」に加え、社会で活躍するために必要となる広い視野、学際的な視点などを養うための一連の科目群（学士基盤科目）から構成されます。「フレッシュマン・セミナー」は、大学での学修と生活スタイルの基礎を固め、順調な大学生活をスタートアップさせるための科目です。

◆**体育（全学必修）**：充実した体育施設において、ジョグ＆ウォーク、サッカー、テニス、バレーボール、バスケットボール、柔道、ゴルフ、水泳、ダンス、インラインスケート、フィットネストレーニング、ボディ・ワーク、野外運動、トリム運動など多彩な科目から選択して受講します。トップアスリートの指導による魅力あふれる授業が多数開設されており、基礎から発展へと4年間を通じて履修することも可能です。

◆**外国語（全学必修）**：「第1外国語」、「第2外国語」として英語と初修外国語を学びます（「第2外国語」は一部の学群・学類が必修）。英語は「読む」「書く」「聞く」「話す」という4技能に対応した科目で構成され、学士課程後半での専門的な英語運用能力へとつなげていきます。

◆**情報（全学必修）**：講義と演習を通じて、情報とコンピュータに関する基本概念および社会における位置づけを理解し、インターネット社会におけるルールとモラルを身につけます。またデータの収集・管理・分析に関する基本概念を理解し、データに基づいて客観的に判断する能力を養います。

◆**国語（一部の学群・学類で必修）**：レポート（論文）作成の基礎、応用・発展、総合的な表現能力の向上を目的として、日本語運用能力を系統的に修得するカリキュラムが用意されています。

◆**芸術**：国際的に「芸術」は大学におけるリベラルアーツ（教養）教育の重要な一分野を占めています。これからの調和的で持続可能な社会を発展させるために獲得すべき、バランス感覚や自己表現能力の育成をめざしています。「アートツアー」「日本画実習」「絵本作制」「デザインプロデュース演習」など多彩な科目が開講されています。

◆**自由科目（特設）**：本学の研究や教育の成果をもとに、全学の学生を対象として開設される科目です。ドイツ語、中国語、ロシア語を現地の大学で学ぶ「海外語学研修」や「障害学生支援技術」「ジェンダーとグローバル共生」など特徴的な科目が開講されています。

TWINS で作る自分の時間割

筑波大学では自分で科目を登録する必要があります。年度の始めなどで一年間に受ける授業を決めておくことを履修登録と言いますが、筑波大学の学生は、この作業をTWINSというオンラインシステムで行っています。

学生は履修申請期間中に、時間割を埋めていくような形でPCの画面上から科目を登録します。また自分の成績や単位の取得状況も確認することができます。ネット環境があればどこからでも接続できますので、自宅や学生宿舎から履修の登録や確認を行うことができます。

必修科目・選択科目・自由科目

年次が進むにつれて、共通科目・専門導入科目→専門基礎科目→専門科目と学びの専門性が高くなっていきます。

大学の初年次には必ず履修しなければならない必修科目が多く配置されていますが、やがてひとりひとり学ぶ専門領域が異なってきます。学年が上がるにつれて選択科目の幅は高校と比べてはるかに大きくなります。高校と大学の最も大きな違いの一つは、この学びの多様性にあります。

さらに筑波大学では自由科目が設けられています。自由科目とは選択科目よりさらに幅広い科目群の中から自由に選択して履修する科目のことです。

卒業のために必要なこれらの科目の内訳は専門学群や学類によって異なりますが、学生は各々の興味、関心、適性、将来の進路などを考えながら選択科目や自由科目を履修していくことになります。

多様な授業方法と単位制

大学の授業はその方法によって、講義、演習、実験、実習、実技といった種類に分かれています。講義は教員が言葉や問いかけで知識や考え方を伝える授業のことで、高校の教育方法に近いものです。演習は講義で得た知識や技能をもとに特定の課題や問題について発表したり検討したりする少人数の授業です。

実験、実習は講義等で習得したことを実験室や実際の現場などで実物を用いて試したり学んだりする授業、実技は技術を磨く授業と言えます。

これらの授業の履修によって学生は単位を取得してい

ます。高校の教育課程も単位制で成り立っていますが、多くのみなさんはあまり実感がないかもしれません。しかし大学ではこのように数多くの科目が多様な形態で提供されており、ひとりひとりが学ぶ内容は大きく異なります。そのため学修の時間は単位に置き換えられ、学生は卒業するまでに定められた単位数を取得することになります。

筑波大学では、講義や演習は1時限（75分）の授業を10回受けると1単位取得できます（外国語や一部の演習を除く）。また実験・実習・実技で1単位を取得するためには1時限の授業を20回受ける必要があります（一部の実験・実習を除く）。

筑波大学の一日

筑波大学の時間割は、1回の授業時間が75分、1日6時限となっています。1時限目は8時40分から始まります。休憩時間は15分ですが、2時限目と3時限目の間は50分ありますので、これがお昼休みとなります。

日課だけ見ると、朝早くから夕方遅くまで詰まっているように見えるかもしれません。確かに低学年では必修科目が多いので、時間割は窮屈になります。しかし決められた単位をきちんと取得していけば、学年が上がるに従い、時間割にはゆとりが出てきます。学生はその余裕を利用して他学類の授業を受講したり、演習の発表準備のために図書館で勉強したりしています。

最後の6時限目の終了が午後6時。部活・サークル活動はこの時間から。中には、議論や実験が長引き夜まで教室や実験室に居残る場合もあるかもしれません。また授業期間中は図書館が夜10時（中央図書館は夜12時）まで開館していますので、遅くまで勉強を続ける学生もいます。

時 限	授 業 時 間
第1時限	8:40～9:55
2時限	10:10～11:25
3時限	12:15～13:30
4時限	13:45～15:00
5時限	15:15～16:30
6時限	16:45～18:00

1時限：75分

学期制とモジュール制

筑波大学では2学期制をとり、4月から9月までの春学期、10月から翌年3月までの秋学期に分かれています。各学期は15週ですが、さらに5週ずつA、B、Cに三分割してこれをモジュールと呼んでいます。

講義は10回の授業で1単位であることを説明しましたが、例えば春学期AモジュールとBモジュールで開講される講義は10週行われることになるので、1単位取得できます。また秋学期Cモジュールのみでも1日に2時限連続の講義を行えば5週で10回講義することになるので、同じく1単位を取得することができます。

このように学期制・モジュール制では弾力的な時間割編成が可能となっています。

なお、授業科目によっては夏季休業期間や週末などに連続して行われる集中講義があります。そのような授業は学年の始めにはまだ日程が決まっていない場合がありますが、詳細が決まり次第掲示でお知らせしています。

資格の取得

取得できる資格については、p.8 ページを参照してください。どのような資格を取れるのかと同時に、資格を取るためにはどのような条件が必要になるかを調べておくことも大切です。

例えば教員免許状のように、大学で所定の科目を履修して要件を満たせば、申請の手続きをとることで取得できる資格があります。一方で、医師免許、看護師免許のように医学類や看護学類を卒業することで国家試験の受験資格を得て、その上で国家試験に合格しなければ取得することのできない資格もあります。

資格の取得を考える際には、その資格を取ることが自分のキャリアにどのような意味を持つのかを考えてみることも

も大切でしょう。

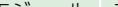

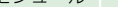




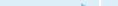


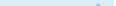


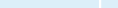


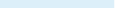

教員免許状の取得について

教員免許は大学で取得できる最もポピュラーな資格の一つと言えるでしょう。筑波大学でも多くの学群、学類で教員免許を取得することができます。

教員免許状を取得するには、学士の学位を有すること（つまり大学を卒業すること）に加え、教職課程すなわち「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」などの所定の単位を修得しなければなりません。

教職課程で取得した単位は、ある程度卒業に必要な単位に組み込むことができますが、すべてが認められているわけではありません。ですので、卒業に必要な授業科目に加えて、自分の意志で教職科目を履修しているのだという自覚がとても大切になります。

教員免許状を得て、卒業後すぐに教員になる人はそれほど多くはありません。一方で、大学院の修士課程に進学してより上級の免許状（専修免許状）を取得してから教員になる人が増えています。教員免許状の取得実績については、p.139 をご覧下さい。

月	4月～5月		6月～7月		8月～9月	10月～11月	12月～1月		2月～3月
学期区分	春学期					秋学期			
モジュール (5週単位)	春A モジュール	春B モジュール	春C モジュール	夏季 休業		秋A モジュール	秋B モジュール	秋C モジュール	春季 休業
5週又は10週＋ 期末試験				集中講 義等					集中講 義等
									
15週＋期末試験									

各学群・学類で取得できる教員免許状の教科及び諸資格一覧

学群	学類	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状	その他の資格
人文・文化学群	人文学類	国語、社会、英語	国語、地理歴史、公民、英語	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	比較文化学類	国語、社会、英語	国語、地理歴史、公民、英語	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	日本語・日本文化学類	国語	国語	社会教育主事、学芸員、司書教諭
社会・国際学群	社会学類		公民	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	国際総合学類	英語	英語	社会教育主事、学芸員、司書教諭
人間学群	教育学類	社会	地理歴史、公民	小学校教諭一種、社会教育主事、学芸員、司書教諭
	心理学類		公民	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	障害科学類		福祉	特別支援学校教諭一種、社会教育主事、学芸員、司書教諭、社会福祉士受験資格
生命環境学群	生物学類	理科	理科	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	生物資源学類	理科、技術	理科、農業	社会教育主事、学芸員、司書教諭、測量士補、樹木医補、自然再生士補
	地球学類	理科	地理歴史、理科	社会教育主事、学芸員、司書教諭
理工学群	数学類	数学	数学、情報	社会教育主事、学芸員、司書教諭、測量士補
	物理学類	数学、理科	数学、理科	社会教育主事、学芸員、司書教諭、測量士補
	化学類	理科	理科	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	応用理工学類	数学、理科	数学、理科	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	工学システム学類	数学、理科	数学、理科、情報、工業	社会教育主事、学芸員、司書教諭、一級・二級建築士・木造建築士受験資格（環境開竣工学主専攻）、施行管理技士受験資格（環境開竣工学主専攻）
	社会工学類	数学	数学	社会教育主事、学芸員、司書教諭、一級・二級建築士・木造建築士受験資格（都市計画主専攻）
情報学群	情報科学類	数学	数学、情報	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	情報メディア創成学類	数学	数学、情報	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	知識情報・図書館学類	社会、数学	公民、数学、情報	社会教育主事、学芸員、司書教諭、司書
医学群	医学類			医師国家試験受験資格
	看護学類			* 養護教諭一種、看護師・* 保健師国家試験受験資格（* は看護学類のページを参照）
	医療科学類			臨床検査技師国家試験受験資格
体育専門学群		保健体育	保健体育	社会教育主事、学芸員、司書教諭、スポーツリーダー、ハンドボールコーチ、水泳コーチ、（公認）C級コーチ、健康運動指導士
芸術専門学群		美術	美術、工芸、書道	社会教育主事、学芸員、司書教諭、一級・二級建築士・木造建築士受験資格

* 社会教育主事、学芸員については任用資格

* 各学群・学類で取得できる教員免許状の教科については、今後変更になる場合があります。

グローバル化に対応した教育

英語の授業で専門科目の単位を取ろう！

平成21年度にグローバル30の拠点校として採択された筑波大学では、留学生が英語の授業のみで学位を取れるように、学群レベルや大学院レベルの英語コースを開設しています。

この英語コースは、日本人学生が英語による専門科目の授業を受講し、留学を促進することも目標の一つとして掲げています。

現在、筑波大学では英語による専門科目の授業が多く開講されています。そして、もっと多くの日本人学生にこれらの授業に出席してもらい、「国際的な考え方」を身につけてもらいたいと考えています。英語コースの科目は日本語による授業と同じく卒業要件に算入できます。また、少人数クラスの授業です。

英語で学び、議論する力をつければ、就職、留学などキャリアが大きく広がります。ぜひ挑戦してください。

日本人学生が受講した 英語による授業科目の一例

- Food and Forest
- World Food and Agriculture
- Genome Biology I
- Geomorphology
- Introduction to Earth Evolution Science
- Mineralogy & Stratigraphy
- Strategy of Life

英語能力検定試験

筑波大学では学群1年次・3年次を対象に外部英語能力検定試験（TOEIC-IP等）を実施しています。こうした検定試験は、可否ではなくスコアで評価し、当該年度の受験生全体のレベルや問題の難易度によってスコアが左右されることはありません。よって、受験時における受験生の正確な英語力を把握することができます。

また、下記のようにレベル向上を目指した関連科目も開設しています。検定試験のスコアは進学／留学や就職に利用できる場合がありますから、自身の英語力の把握と語学力アップを目指し、最大限に活用してください（各年度の開設科目および実施期間はホームページで確認してください）。

外部検定試験関連科目の例（年度で変更あり）

- ・TOEFL Practice：TOEFLスコア別にレベルを設定しており、学術的な課題を遂行する能力を養うことができます。
- ・TOEFL Preparation：TOEFL ITP550点相当に到達するためのスキルを学びます。
- ・TOEFL Academic English：教室言語を英語とし、ペアワークやディスカッションのような参加型スタイルで、特にSpeakingやWritingといった、アウトプットスキルを強化します。

総合学域群

/// School of Comprehensive Studies

<https://scs.tsukuba.ac.jp/>

総合選抜とは

一進路決定の固定観念から自由になろう！

「物理が得意だから、大学では物理学を勉強しよう」と決めてしまいませんか？大学にはみなさんの知らないたくさんの学問領域があります。高校で学んだ教科だけで進路を決めてしまうと、自分の将来を狭めてしまうかもしれません。情報学は理系、地理学や心理学は文系、と思い込んでいませんか？多くの学問は、文系、理系、どちらからもアプローチが可能です。まずは、それぞれの学問に実際に触れてみて、その後に専門を決めるという方法もあります。

それをかなえる入試が「総合選抜」です。

これまでの筑波大学の入試は受験時に学群・学類を決める方式でした。総合選抜では「文系」「理系Ⅰ」「理系Ⅱ」「理系Ⅲ」という学群・学類よりも幅広い区分で選抜します。入学後の1年間は英語をはじめとする外国語や情報、体育などの基礎科目のほかに、様々な分野の専門導入的な科目を学び、1年次の終わりに本人の志望と入学後の成績などに基づいて2年次以降に所属する学類・専門学群が決まります。

いずれの区分で入学しても、体育専門学群を除くすべての学群・学類に進めます。ただし、志望する学群・学類の指定する科目を履修していることが条件となります。また、特定の選抜区分で入学した学生を優先して受け入れる学群・学類もあります。

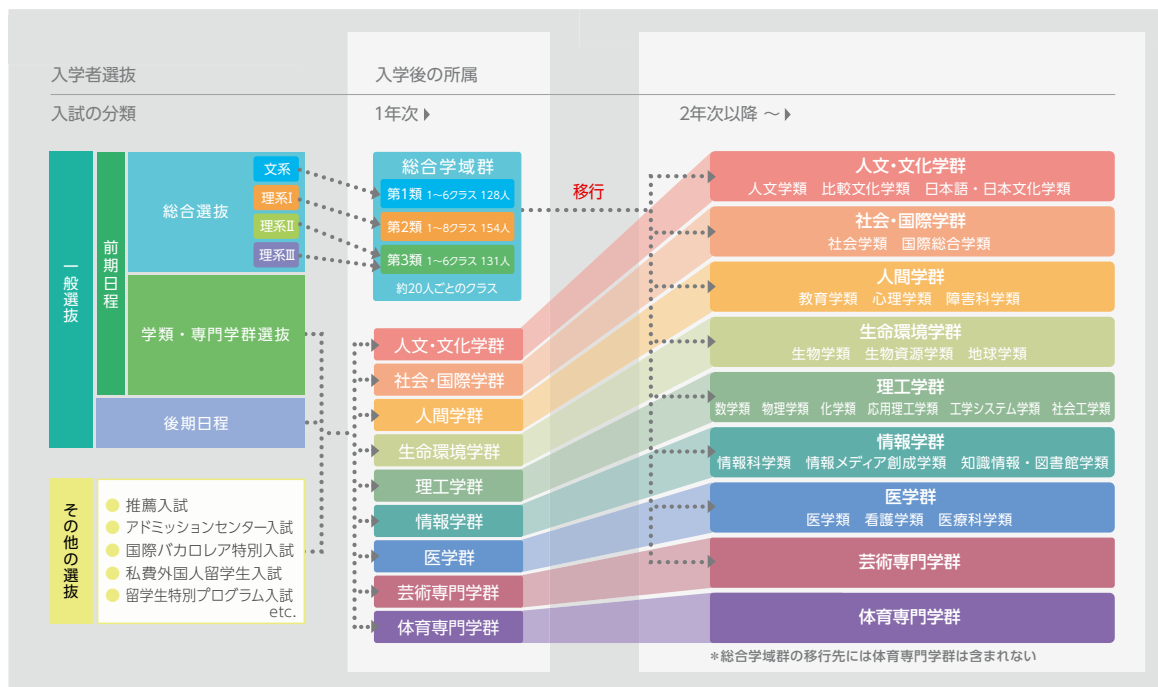
選抜区分と優先受入れ枠

選抜区分	優先して受け入れる学類
文系	人文学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類、社会学類、知識情報・図書館学類、看護学類
理系Ⅰ	地球学類、数学類、物理学類、化学類、応用理工学類、工学システム学類、社会工学類
理系Ⅱ	生物学類、生物資源学類、地球学類、医療科学類
理系Ⅲ	数学類、情報科学類、情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類

・優先受入れ枠を設けない学類・専門学群

国際総合学類、教育学類、心理学類
障害科学類、医学類、芸術専門学群

入試から移行までの流れ



総合学域群ホームページ・パンフレット

- 総合学域群に関する詳細な情報は、下記Webページにて随時更新中！
<https://scs.tsukuba.ac.jp/>
- パンフレット等は、Webページからダウンロード可能です。
また、テレメールによる請求もできます。（p171 資料請求番号 793290）



学類・専門学群への移行について

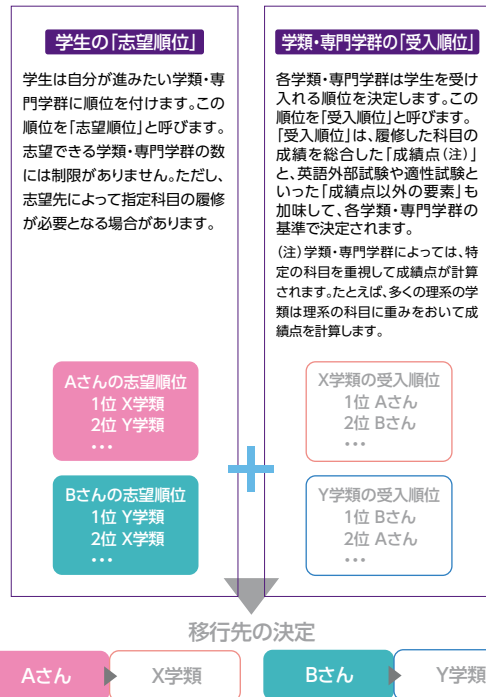
総合学域群の学生は、1年間の学びの後、所属する学類・専門学群が決まります。これを「移行」と呼びます。どの学類・専門学群に「移行」するかは、本人の志望と、入学後の成績や適性に基づいて決定します。どの選抜区分（文系、理系Ⅰ、理系Ⅱ、理系Ⅲ）で入学しても、体育専門学群を除くどの学類・専門学群にも移行する道があります。

移行先を選ぶには

- Web・冊子等で提供される情報
- 全学必修科目「学問への誘い」
入学後すぐに履修するこの科目は、幅広い学問分野を俯瞰する助けとなります。
- 興味・関心に基づいて履修した科目の講義内容
- 各種ガイダンス
- アカデミックサポートセンターのスタッフなどとの相談

学類・専門学群の決定

1年次の3月に、2年次に移行する学類・専門学群が決まります。移行先は、学生の「志望順位」と学類・専門学群の「受入順位」の組み合わせによって決定されます。



総合学域群長からのメッセージ



山中 弘
総合学域群長
(特命教授)

未来を見据えて、広い視野からじっくりと学ぼう

総合学域群は、令和3年4月から学生を受け入れる筑波大学で最も新しい学群です。ここに籍を置く学生は総合選抜で入学した1年次生だけです。2年次になると自分の希望する学類・専門学群に進級して、所属も総合学域群からそれぞれの教育組織へと移ります。つまり、本学域群は、総合選抜で入学した1年次生のためだけに用意された特別な「学びの場」ということになります。総合学域群という名前に注目してください。これまでの学類・専門学群は名前から何をそこで学ぶことができるのかがおよそ見当がつかしました。総合学域群は、そうした専門領域の名前ではなく、どの学問的領域でも広く総合的に学ぶことができる「学域」、つまり総合学域群と名づけられました。

本学域群の特長の一つは、高校までの学びに基づき、複数の専門領域の学修を通じて広い視野から様々な問題を多角的にとらえる基礎的な力を身

につけるということです。特定の学類・専門学群に属していないメリットを最大限に活用して、複数の学類・専門学群が提供する専門導入科目などを積極的に履修してみてください。もう一つの特長は、自分とは違う問題意識や将来の夢をもつ仲間と一緒に、1年間の学びの中で将来の方向性を考えながら、自分の関心と適性に合った学類を絞ることができるということです。もちろん、「移行」先を絞ることは一人では大変です。そのため、本学域群には、他の学類・専門学群にはないアカデミックサポートセンターという、1年次の皆さんの学修を手厚く支援する組織を備えています。

いずれにしても、総合学域群という学びの場を意義深いものにできるかどうかは、最終的には皆さん次第です。皆さんが総合学域群に所属して良かったと自信を持って振り返ることができるよう、一緒に頑張っていきたいと思います。

サポート体制について

類・クラス

入学して所属する類(第1類、第2類、第3類)、そしてその中のクラスが、皆さんの大学生活初年度の基本単位です。クラス担任が、実施するフレッシュマン・セミナーなどを通じて、皆さんの修学や学生生活全般について助言や相談に応じます。また、クラスや類において複数回履修等のガイダンスを実施する予定です。



アカデミックサポートセンター

総合学域群の学生は入学してからの学びのなかで、将来の進路や自分の関心、適性にあった学類・専門学群を選択します。入学直後は、自分の興味・関心が定まらず学類等の選択や科目の選択に迷うかもしれません。アカデミックサポートセンターでは、志望する移行先の絞り込みの助言や適切な履修計画・進路選択等をしっかりとサポートします。



全学生支援組織

保健管理センター／学生相談室・総合相談窓口／ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター(DACセンター)

筑波大学のすべての学生に向けて、健康面や学修面などをサポートする体制が用意されています。積極的に活用してください。



教員からのメッセージ



青柳 悦子
第1類長
(人文社会系 教授)

大学での学びの期間を皆さんが存分に生かすには、高校まで以上に、自分の問題意識や関心を磨くことが大事です。特定の学術分野に飛び込んでしまう前に、総合学域群に所属することで、専門化された学問領域を横断する視野を養えることは、皆さんにとって大きなメリットになります。きっとそこから、自分らしさを生かせる課題が見えてくることでしょう。専攻したい分野を時間をかけて見つけるためにも、またその後も役立つ幅広い知的好奇心をはぐくむためにも、大学生活をここでスタートしてみませんか？



中谷 清治
第2類長
(数理工学系 教授)

高校まで様々な分野を勉強し、興味を膨らませてきたことと思いますが、大学で学修すると考えていたものと異なると感じる分野が多くあります。例えば、高校まではこの分野は物理と直接関係ないと思っていたのに、大学ではこんなに物理が重要なのかと思う分野等があります。また、基礎的な分野と応用的な分野、同じ学問をベースにしても面白さが異なります。いろんな分野の学問に触れて、自分の分野を見つけ、将来について考えることができるのが、総合学域群の特徴です。私も大学1年生のとき、入学した分野と異なる分野に変更しようと悩みました。共に悩み、考えましょう。



松井 圭介
第3類長
(生命環境系 教授)

総合学域群の最大の魅力は、自分の学びたい分野(学類・専門学群)を入学後に決められること。例えば生物学類と生物資源学類、応用理工学類と工学システム学類、皆さんには違いがわかりますか？入学後に先輩から話を聞いたり、実際に講義を受けたうえで希望学類を選択する。文理の壁さえも(意欲と能力次第で)越えられる。それが総合学域群です。希望分野の人気が高ければ、入学後の競争もあるでしょう。でも勉学は大学生の本分、大学進学は目的ではなく、将来を切り拓くための手段なのです。高校時代まで触れることのなかった学問を知り、新たに興味をもつ分野が生まれるのが大学生活の醍醐味。そんな皆さんのつくばライフを本気で応援いたします。



加賀 信広
アカデミック
サポートセンター長
(人文社会系 教授)

アカデミックサポートセンターは、総合学域群の学生さんを支援するために、新たに設置される組織です。ここには、各学類・専門学群の教育内容を熟知しているアドバイザーの先生方、全学の教育システムに通じているベテランのコーディネーターの先生方、履修や移行について個々の相談にも応じてくれる専門スタッフなどが所属しています。専門スタッフは本学の卒業生や、みなさんにとって比較的年齢に近い人もいます。事務職員や大学院生のティーチング・アシスタントとも力を合わせて、総合学域群生の学びと生活を精一杯「サポート」します。筑波山のふもと、研究学園都市にある、筑波大学でお待ちしております。

Q & A

Q 進みたい学類・専門学群がまったく決まっていないのですが、1年で決められるようになるのか不安です。

A そうした不安を解消するためのサポート体制が用意されています。総合選抜の利点は、自分の将来の可能性を考えながら、いろいろな学問領域の勉強を進め、そのなかで専門を決められるところにあります。そのため、クラス担任やアカデミックサポートセンターのスタッフが皆さんの進路選択の相談にのり、どの選択がみなさんの将来にとって良いのかを一緒に考えていきます。

Q 1年次に留学できますか？

A できます。ただし、留学することにより履修できない科目があると、希望する学類・専門学群へ移行できるかどうかに影響する可能性があります。詳しくは入学後に相談してください。

Q 移行後に学類・専門学群選抜で入学したグループについていけるかどうか、仲間に入れるかどうか不安です。

A 移行後の教育は、所属した学類・専門学群が責任を持って対応します。編入学生や留学生等、途中年次から筑波大学に通い始める人も大勢いますが、授業に出ているなかで、自然と仲も深まっていき楽しそうにしています。また、学生生活について何でも相談できる窓口があります。

Q 総合選抜で入学すると、それ以外の学生とは別の科目を履修する必要がありますか？

A 必要はありません。卒業までに履修しなければならない科目はそれぞれの学類・専門学群が定めており、総合選抜で入学しても、卒業に必要な要件は同じです。ただし、総合選抜以外の入試区分で入学した学生は、主として既に定められた履修計画に沿って履修するのに対して、総合学域群の学生は移行までの1年間、複数の学類・専門学群の提供する科目を幅広く履修し、志望学類・専門学群の絞り込みを行うことが予想されます。そのため、その他の選抜で入学した学生に比べて、より幅広い科目を履修することになるかもしれません。

入学受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	大学において学問的な俯瞰をしながら専門分野を定め、自らのキャリアを主体的に切り拓くために必要な、十分な基礎学力と学習意欲を有する人材	
	高等学校までの基礎学力をまんべんなく身につけておくこと。また幅広く興味関心を持ち、学習に主体的に取り組む態度と自らのキャリアを選択できる力を養うことが望ましい。	
入学受入方針 (個別学力検査等前日程(総合選抜))	共通の選抜方針	外国語及び受験生が得意とする領域における思考力、判断力、表現力を重視しつつ、高等学校で学ぶ基礎・基本的な学力を全般的に評価します。
	文系	入学の時点で、文科系志向の学生を選抜します。
	理系Ⅰ	入学の時点で、物理学の素養を必須として理科系志向の学生を選抜します。
	理系Ⅱ	入学の時点で、特定の分野にとらわれない理科系志向の学生を選抜します。
	理系Ⅲ	入学の時点で、数学に重点をおいて理科系志向の学生を選抜します。

総合学域群の1年間



【人材養成目的】

「人間とは何か」という問いを根底におき、人間という存在とその活動の所産である文化全般について主体的に考察することができ、グローバル化が進展する世界において様々な問題に積極的に関与し発言しうる、真に教養ある人材を育成します。



カリキュラム

哲学、史学、考古学・民俗学、言語学という4主専攻が全部で11のコースに分かれ、各分野を基礎からじっくり学ぶことができます。

1年次には、人間とその社会について幅広く学びつつ、専門基礎科目の履修により希望コースに進むための基礎的知識を習得します。

2年次の終わりに自らの志望により主専攻・コースを選択し、それぞれの問題解決の方法論を身に付け、問題解決能力を高めていきます。

4年次では、卒業論文（必修）の作成を通じて、幅広い教養の上に立つ専門的能力を身に付けるとともに、社会との連携や対話を深め、さらに自己発信能力を獲得します。

主専攻	学びたいこと	どの科目で学べるのか
哲学	日常的で断片的な生活に埋没せずに、確固とした原理を求めたい。 人間と社会・自然環境とのあり方に基本構造を見出したい。 人間と宗教との本質的なかわりを認識したい。	哲学通論、倫理学通論、宗教学通論、東洋思想
史学	日本列島に暮らした人々の足跡を実証的に探りたい。 中国社会あるいは中国文明の影響下にあった地域社会の本質を探りたい。 古代地中海文化の基盤の上に繰り広げられたヨーロッパ文化を把握したい。 人間集団の空間組織を復元し、時間と空間の両面からその変化の過程を解明したい。	日本史概説、中国史概説、古代西アジア史概説、ヨーロッパ史概説、歴史地理学概説
考古学・民俗学	遺跡・遺物を素材として、人々の歴史の復元と解釈に取り組みたい。 フィールドワークによって価値観を異にする人々の行動様式の理解に取り組みたい。	先史学概説、考古学概説、民俗学概説、文化人類学概説
言語学	実証的な言語研究の方法を考究し、実践したい。 個人と社会のレベルで、言語にかかわる実際的な問題を解決したい。 日本語や英語など個別言語の言語的特質、歴史、機能と構造を体系的に探求したい。	言語学概論、音声学概論、応用言語学概論、日本語学概論、中国語学概論、英語学概論、仏語学概論、独語学概論、露語学概論

人文学類パンフレットの請求方法

●<http://www.jinbun.tsukuba.ac.jp/> からダウンロードできます。

●テレメールによる請求もできます (p.171 資料請求番号は541381)

●返信用の封筒 (角形2号) を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には250円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「人文学類案内請求」と必ず朱書してください。

請求先 〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学人文・文化学群 人文学類長室 (学生募集要項の請求先とは異なります。)

特長

4年後に身に付く力

- ①専門的能力：人文系の学問の専門的知識や考え方を基盤として、文字資料や非文字資料を読み解き、主体的かつ創造的に理解する力。
- ②コミュニケーション能力：日本語、外国語、コンピュータなどを駆使して自分の考えを明快に伝え、他者の考えを柔軟に理解する力。
- ③想像力：「人間とは何か」という問いに根ざし、広い視野から現代世界の諸課題に積極的にかかわり、人類の未来へとまなざしを向ける力。

主専攻とコース

哲学	哲学・倫理学コース、宗教学コース
史学	日本史学コース、ユーラシア史学コース、歴史地理学コース
考古学・民俗学	先史学・考古学コース、民俗学・文化人類学コース
言語学	一般言語学コース、応用言語学コース、日本語学コース、英語学コース

コースに定員はないので、要件を満たせば全員が希望するコースに進むことができます。(なお、文学関係の専攻コースは比較文化学類に設置されています。)

卒業論文

哲学主専攻：モンテニョにおける徳について / カントの最高善の位置付け / 日本と西洋の死生観の比較を通じた臓器移植の考察 / 絵画からみる聖母マリア観の変遷 / ギリシア神話と日本神話の比較研究

史学主専攻：戦前期のラジオ放送 - 「慰安放送」を中心として - / 満洲人の「漢化」の実像 - 漢籍翻訳と翻訳科学に注目して - / 古バビロニア時代の書記教育 - シュメル語文学テキストの記録と記憶 - / アメリカにおける東欧系ユダヤ人のコミュニティ形成と生活 / 山中漆器工場団地造成に伴う地域構造の変化
考古学・民俗学主専攻：縄文時代における人とイノシシの関わりについて / 古代ローマにおける円形闘技場の社会的機能 / ハンセン病はいかに展示されるか / 「台湾独立」の片隅に / 死霊の「雰囲気」

言語学主専攻：事象関連電位を援用した日本手話理解の考察 / LINE アプリを用いたコミュニケーションの構造と特徴の分析 / Construction of a Writing Support System for Japanese EFL Braille Users (点字を使用する日本人英語学習者へのWriting 支援システムの構築) / On the Tense Interpretation in English and Japanese Conditionals / フランス語における若者ことば「verlan」の言語学・社会学的研究 / コーパスデータをを用いたドイツ語における分離動詞の分析 - 結果を表す前つづり auf と基礎動詞の関係 - / 現代ロシア語における副詞の数量的研究

教員からのメッセージ



那須 昭夫 准教授
(言語学主専攻
日本語学コース)

人間の知性を代替し得る新たな技術の実用化が現実味を帯び始めるに至り、人類はこれまでにない変革の局面を迎えたと言われます。そうした時代を生きる私たちにとって、「人間とは何か」を問う人文学の役割を意識することは、かつてないほど重い意義を帯びています。技術革新というできごとを通じて考えてみましょう。

人類は歴史上、数々の技術革新を経験してきました。稲作技術の普及から自動運転技術の実用化に至るまで、新しい技術は人類の暮らしや世の中の構造を大きく変えてきました。その一方で、人類に恩恵を与えるはずの技術が、実は損益両面のインパクトを与えてきたという事例も少なくありません。時には途轍もない失敗もありました。

人類の生み出した諸々の技術は、言うまでもな

く人類の知性の所産です。同時に、その技術をどのように捉えるべきか (扱うべきか) という判断のしかたもまた、人類の知性の現われです。人文学が深く関わるのはこの部分でしょう。

人類は、その時々どのような価値観や倫理観に基づいて、どのような選択を繰り返してきたのか。その選択がもたらした結果はどのようなもので、それは現代にどのようにつながっているのか。そもそも、人類の存在や活動を支えてきた (支えている) 知性とはどのようなものなのか。こうした問いに挑む人文学の営みは、人類の知性の軌跡を探究する営みであるとともに、明日の人類が下すであろう決断や選択の根拠を見いだす営みでもあるのです。

Q & A

Q 希望通りの主専攻分野に入れますか？

A 入れます。3年次に進むときに正式な主専攻分野と専攻コースの決定を行いますが、人数制限などはありませんので、当該専攻コースで定められている専門基礎科目（11単位）の履修が済んでいれば、希望通りの主専攻および専攻コースに入ることができます。

Q 主専攻分野の途中変更は可能ですか？

A 可能です。やはり、専門基礎科目の履修が条件になりますが、希望する場合は十分に可能です。例えば、史学主専攻を希望していた学生が、ロシア語の授業を受けているうちに、ロシア語を本格的に勉強したくなり、言語学主専攻に変更した、などの例がありました。

Q 語学教育の内容について教えてください。

A 一般語学の授業は、Center for Education of Global Communication (CEGLOC) を中心に行われています。CEGLOCでは、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、朝鮮語の7つの外国語を学ぶことができます。

人文学類の学生は、上記7つの外国語から2つを選択し、それぞれ4単位を履修しなければなりません。授業は、講読、会話、文法、コミュニケーションなどに振り分けられていて、それぞれの外国語で実際に役立つ総合的な語学力が身につくことが期待されます。

授業を担当する先生は、それぞれの外国語を専門にしている日本人教員と外国人教員です。外国人教員は、主に会話とコミュニケーションの授業を担当します。

外国語各4単位を履修した上で、さらにその外国語の力を伸ばしたいという希望をもつ学生には、中級および上級の授業も用意されています。また、授業以外にも外国語を学ぶ機会をもちたいと望む学生には、メディアライブラリーがあります。そこには、たくさんの語学CD・DVD教材が備えられていて、自由に利用することができるので、学生は自分のペースで学習し、どんどんと力を付けることができます。

人文学類で専門的に学ぶことのできる言語としては、日本語、中国語、英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、満洲語、チベット語、サンスクリット語、ヘブル語、アカド語などがあります。この中には国内の他大学ではなかなか学ぶチャンスのない言語も含まれます。

Q 留学制度はありますか？

A 筑波大学は69か国・地域の大学・機関と391の交流協定を結んでいます（2020年3月19日現在）。このうち人文学類生が交換留学できる協定校については、ウェブサイト（<http://www.jinbun.tsukuba.ac.jp/contents/international/index.html>）をご覧ください。

先輩からのメッセージ



Martinez Andrés
(マルティネス・アンドレス)
言語学主専攻 卒業生

目で見ることも出来ない、手で触れることも出来ない「概念」について研究するところ、それが筑波大学の人文学類です。私達は周りの世界と自分というものを数多くの思考の枠組みに当てはめて理解しています。人文科学は、そういった思考の枠組みを探検することによって、自分達の正体を解き明かそうとします。

私は、その中で「言語」という枠組みに深い興味を見出し、言語学主専攻に進みました。専攻では素敵な人達に出会いました。それまで名前すら聞いたことのない、世界の様々な言語に興味を持って、大好きな言語について語る時には目をキラキラさせる人達です。先生は、授業やゼミにおいて担当科目の内容を情熱的に教え、学生も自らが

関心を寄せる分野・言語を同じような情熱で楽しめるように指導しています。

このように、人文学類の先生や先輩、同級生から良い刺激と懇切な指導を受けながら、すべての人々の頭の中でこっそりと働いて、概念の伝達を何気なく可能にする言語を研究しています。言葉から生まれる思考の体系性に美しさを感じながら、自分の正体を探って人文科学の世界に浸るのは、私にとって大きな喜びです。

Q 文系は就職が不利ですか？

A 一概にそうはいえないと思います。最近の就職先については下の進路をご覧ください。

教員志望者は多く、実際に新卒で採用される優秀な学生もいます。最近は大学院教育を受けた教師が望まれていて、そういう点からすれば、大学院進学者が多い人文学類は就職に有利だといえるでしょう。

公務員志望者もかなりいて、試験に勝ち残り就職しています。ただし、公務員試験の受験勉強と人文学類のカリキュラムは直接関係ないので、就職課が開く講座や外部の通信教育などで独自に勉強する必要がありますようです。

また、人文学類では就職説明会やフレッシュマンセミナーを通して文系としてのキャリアデザインについてともに考える場を提供しています。

資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。人文学類で取得できる教員免許状の種類と教科は、中学校一種と高等学校一種の国語・社会（高校は地理歴史、公民）・英語の普通免許状です。

進路

人文学類の卒業生の進路は多岐にわたります。かつては教職関係が多い傾向が見られましたが、最近では企業や官公庁での活躍が目立ちます。進学者が多いのも人文学類の特徴です。

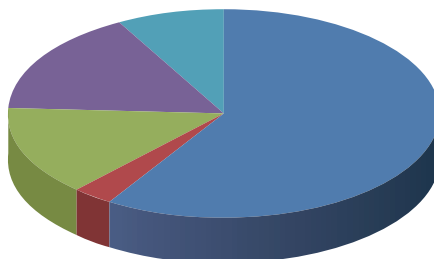
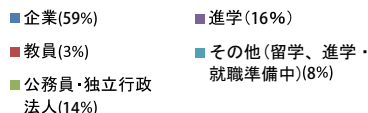
令和2年3月に卒業した学類生の進路は右のグラフの通りです。具体的な就職先としては、NHK、中日新聞、大日本印刷、清水建設、久光製薬、富士ゼロックス、りそな銀行、埼玉県庁、渋谷区役所などがあります。進学先は、本学の人文社会科学研究科、教育研究科が大部分ですが、他大学の大学院に進んだ者もいます。

進路の詳細については、下記のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.jinbun.tsukuba.ac.jp/career/employment>

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		人文系の学問に必要な論理的な思考力と表現力を十分に持つと同時に、自律的な学習と考察を通して問題を自ら発見し、解決していく能力を有する人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		人文系の学問の基礎となる言語や社会に関する学科について十分な能力を習得し、希望する専攻分野に関連する他の学科についても基礎的な知識を有していることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等 (前期日程)	入学後の学習に必要な基礎学力と思考力を十分に持ち、人文系の学問に取り組むことのできる人材を選抜します。
	個別学力検査等 (後期日程)	論理的な思考力と表現力を持つと同時に、旺盛な知識欲と探究心を有し、人文系の学問への適応性を示す人材を選抜します。
	推薦入試	高等学校における学習の基礎をしっかりと身につけた志願者の中から、個性豊かな課題意識と向上心を持ち、人文系の学問への適応性を示す人材を選抜します。
	AC入試	人文系の学問に関わる専門的知識を主体的に吸収し、自己の判断力を磨いていく能力と創造的な問題解決能力を有する人材を選抜します。
	国際バカロレア特別入試	人文系の学問に強い関心を抱くと同時に、旺盛な知識欲と探究心を持ち、よりグローバルな観点から新たな問題提起をなし得る発展性のある人材を選抜します。
私費外国人留学生入試		人文系の学問に関する問題意識と論理的な思考力を持ち、入学後の学業遂行に必要な知識と日本語の運用能力を備えている者を選抜します。



【人材養成目的】

人類が築いてきた様々な文化を、「学際性」と「現代性」という問題意識のもとに比較・検討し、それを通じてひとつの学問分野に閉ざされることのない、開かれた知と批判的思考力を持った人材を育成します。また、国際的なコミュニケーション能力によって、グローバル化する社会に求められる問題解決能力と交渉力を備えた人材を育成します。



幅広い教養と、自らの考えを論理的に発信し、行動する力を身につけてください。
比較文化学類長 伊藤純郎

学べること

比較文化学類は平成25年度から新体制に移行し、学類全体を1主専攻とする、ひとつの大きなまとまりとなりました。学ぶことができる学問分野は従来とほとんど変わりませんが、学生はこの大きな枠組みの中で、さまざまな授業科目を組み合わせることで学修していくことができます。

下に列挙するような「学問分野」を、閉ざされた専門分野の中でではなく、以下に示す柔軟な組織（領域とコース）を通じて学修することが本学類の特色で、現代社会が必要とする、複合的で主体的な知の錬成が可能です。

学ぶことができる主な学問分野

文学：日本文学、中国文学、英米文学、ドイツ文学、

フランス文学、比較文学、文芸学など

地域研究：日本研究、アジア研究、欧米研究など

応用的な人文諸科学：文化地理学、文化人類学、現代思想、

比較宗教学など

文化学：文化理論、表象文化学、大衆文化論、芸術文化論、

映像文化論、情報文化学など

さらに現代の変化に応じた先進的な諸学問領域

1主専攻分野 6領域（17コース）

分野	領域	コース	教育目的・目標
地域文化研究分野	日本・アジア領域	日本研究コース	日本とアジアにおける文化の諸相を文学・歴史・宗教・社会などに着目しながら体系的に学ぶ。
		日本文学コース	
		中国文学コース	
		アジア研究コース	
	英米・ヨーロッパ領域	欧米研究コース	英語圏・ドイツ語圏・フランス語圏に加え、広く欧米の地域文化圏を対象に、文学・言語・歴史・宗教・社会などに着目しながら体系的に学ぶ。
		フランス語圏文学・文化コース	
		ドイツ語圏文学・文化コース※	
		英語圏文学・文化コース	
	フィールド文化領域	文化人類学コース	日本・世界の地域文化の多様性をフィールドワークによって明らかにし、場所とのかかわりから「人間とは何か」を体系的に学ぶ。
		文化地理学コース	
超域文化研究分野	表現文化領域	テキスト文化学コース	地域の限定を超えた文学や、多様な大衆文化、美術・映像・音楽などの表象文化といった人間の表現文化を広く探求する。
		文化創造論コース	
		ワンプラネット文学・文化関係学コース	
		先端文化学コース	生命・身体文化、メディア、ジャーナリズムなどをキーワードに、人間社会の諸問題について複合的な視点から探究する。
	文化科学領域	情報文化学コース	
	思想文化領域	現代思想コース	思考・認識・言語・論理・倫理・宗教などをキーワードにして、哲学と宗教を体系的に学ぶ。
		比較宗教コース	

比較文化学類パンフレットの請求方法

- 返信用の封筒（角形2号）を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には250円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「比較文化学類案内請求」と必ず朱書してください。

請求先 〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学人文・文化学群 比較文化学類（学生募集要項の請求先とは異なります。）

- テレメールによる請求もできます（p.171 資料請求番号は561331）

特徴

①専門性を掘り下げるとともに、学生の個性を尊重した自由度の高いカリキュラム

- ・学類全体から科目を組み合わせる履修できます。
- ・領域やコースを選ぶにあたって人数制限はありません。

②外国語能力を伸ばせるプログラム

- ・実践的な英語力を高める科目のほか、英語による専門分野の講義も開設しています。
- ・第二外国語*を必修とし、高学年でも多言語能力を継続的に磨くことができます。
- *ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語、朝鮮語などから1言語を選択。ほかにラテン語・古典ギリシア語等も学べます。

③少人数教育

- ・1学年定員80名の親密な学修空間。
- ・ディスカッションや参加型の授業により、学生一人ひとりが主体性を高められます。

④50名以上の一流の専門研究者からなる贅沢な教授陣

- ・個性あふれる多彩な教員から間近で刺激を得、マンツーマンの指導を受けることができます。

比較文化主専攻分野



文化学のコスモス

「領域」は、学修上のホームグラウンドで、皆さんの勉学にまとまりをもたせます。「コース」は、より専門的な自分の居場所で、ここを拠点に卒業論文を書き上げます。

全体として、地域の区分が生かされた学問群と、本質的に地域横断的な学問群の2つの「領域」に大別されます。

海外留学など 世界へと開かれた窓

「国際性」を重んじる比較文化学類では多くの学生が世界のさまざまな国に出かけ、貴重な体験を積んでいます。

平成22～27年だけでも、海外提携校への正規留学実績は45件以上、行先は米国、カナダ、ペルー、ロシア、エジプト、ドイツ、イタリア、スペイン、中国、タイを含む22カ国の36大学に及びます。このほかにも、より自由なたちでの留学がさまざまに行われています。

主体的な学修が基本の本学類では、教員が引率するような留学制度はありませんが、学生のみなさんの留学を支援し、促進しています。とりわけ2013年からは、環境にすぐれたカナダのプリンスエドワード島大学と本学類との独自の交換協定を発効させ、学類カリキュラムと一体化したプログラムにより、留学しつつ4年で卒業できる制度が整いました。同大学での夏期英語研修（比較文化国際研修 3単位）も好評です。



左が高倉君

高倉 駿 (2017年卒業)

3年次の春休みにカザフスタンのカザフ国立大学で3週間のロシア語研修に参加しました。中央アジアの歴史を専攻しており、実際に現地を見てみたいというのが理由でした。初級のクラスに編入しましたが、最終日にはロシア語でプレゼンを行うなど、みっちり詰め込まれました。課外活動で日本語学科の学生と交流する機会が多く、彼らが筑波大学に留学してきたときには私が大学を案内することもあるなど、今でも交流が続いています。



砂子 千皓 (2018年卒業)

2年次の夏休みに約3週間カナダのプリンスエドワード島大学での夏期英語研修に参加しました。英語が苦手であることに大きなコンプレックスを感じていたのをなんとかしたかったというのが最大の参加理由です。そのため行く前は非常に不安でしたが、行ってしまえばカナダの人々の優しさに支えられ、とても充実した3週間になりました。その後は怖がっていた英語でも会話を楽しむことができるようになり、なんと次の年には1セメスターの正規交換留学をするまでになりました。飛び出してみても良かったと心から思っています！

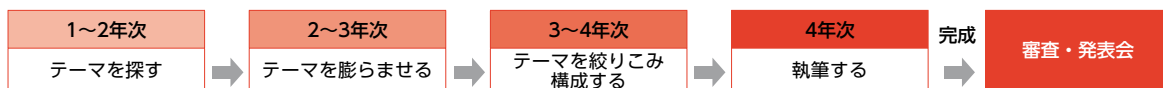
卒業論文 比文らしく、自分らしく

本学類での学修の最大の焦点が卒業論文の作成です。

いわば入学した時点から、あなたの卒論に向けての作業が始まっています。自分の関心に応じて履修科目を選ぶことがその第一歩。さまざまな授業を通じて専門知識や研究スキルを獲得しながら、自分なりの問題意識を深めていくください。

問題設定能力や課題解決能力など、これからの時代にますます求められる主体的な知性を育てることができるのが、この卒論作成のプロセスです。

学類の丁寧なガイダンスおよび主指導教員と副指導教員の指導・助言によって、あなたも、個性的でありながら水準の高い自分だけの論文を仕上げるのが可能です。



令和元年度に提出された主な卒業論文の題目

- 『伊勢物語』現代語訳研究
- 鮑照の詩文における鳥の表象とその類型
- 水戸市内原郷土史義勇軍資料館の現状と今後の課題
- 中国におけるWebコミックに見られる伝統と創作
―『妖怪』系作品の分析―
- Entropy in Philip K. Dick's *Ubik*
- 19世紀中期のアメリカにおける女性の服装の変遷と社会進出の
関連性 ～アメリカ・ブルーマーを中心に～
- 村落祭祀からみる外来神信仰
―沖縄県南城市佐敷津波古における土帝君信仰を事例として―
- 地方出版の在り方
～宮城県仙台市「荒蝦夷」を事例に～
- 歴史的町並みを舞台としたまちづくり型観光の進展
―佐原の重要伝統的建造物群保存地区を事例として―
- アイスランドのサガ文学と近現代におけるヴァイキング表象
- 認知学的視点から見る映画の特殊性
―『エクス・マキナ』と『ダークナイト』を中心に―
- 驚異の部屋としてのディズニーパーク
―現代におけるテーマ化の問題―
- [LGBT] 報道の課題
―計量テキスト分析を用いた新聞記事の検討を中心に―
- ペイトンとヨーガによる世界の縫合の試み
- イスラム社会におけるヴェールと女性
―イランの女性運動に注目して―

授業と卒論制作

上原ののこ（2019年卒業） （表現文化領域、文化創造論コース）

文化創造論コースの授業では、芸術作品を実際に鑑賞し、分析する方法を学びました。扱うジャンルは絵画、写真、映画、音楽、漫画など様々で、研究の自由度が高いのがこのコースの魅力だと思います。私は卒業論文で、ヘンリー・ダーガーというアメリカの作家を取り上げました。彼の作品には、大人の男性を相手に戦う少女たちが登場します。この「戦う少女」というアイデアはどこから来たのか、ダーガーの創作に影響を与えた物から考察しました。具体的には、アメリカの歴史、文学、宗教などで、これらは他のコースの授業で学んだことも役に立ちました。

比文での学修を終えて

山田 玲奈（2017年卒業） （日本・アジア領域、日本文学コース）

私は、仏教説話文学で卒業論文を書き、大学院の教育研究科に進学してさらに学問を深めることを選択しました。正直に言うと、入学前は漠然と日本文学を学び国語の教員を目指したいと考えており、仏教説話や大学院進学にはあまり興味がありませんでした。しかし入学後、比較文化学類の多様な授業、先生、学生との出会いによって自分でも驚くほど関心や選択肢の幅を広げることができました。比較文化学類は6領域17コースに主専攻分野が分かれており、その多様性により視野を広げつつ最終的には自分の学びを極めていくのが「比文らしい学び」だと思います。これから入学する皆さんも、この比文の環境を最大限に活かして自分の可能性を開拓してほしいと思います。



取得できる資格など

教員免許

中学校一種免許状（国語、社会、英語）

高等学校一種免許状（国語、地理歴史、公民、英語）

社会教育主事、学芸員、司書教諭

以上は、卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」などの単位を取得することによって得ることができます。



宿舍祭での出し物



協定校
プリンスエドワード島
大学（カナダ）

卒業後の進路

卒業生は、出版、放送、文化・教育はもちろんのこと、情報処理、金融、流通、製造、地域行政、国際機関、NGOなどの各界に広く受け入れられています。大学院に進学する人も少なくありません。

先輩たちは芥川賞作家、漫画家、大学教授、新聞記者、放送ディレクターなどとして、多彩なジャンルで活躍しています。

最近数年の進路先 2021年度入学案内用（H26年度～H30年度）

企業	NHK、共同通信社、テレビ信州、福井放送、東北新社、角川書店、新潮社、中央出版、宝島社、帝国書院、天狼院書店、中国新聞社、信濃毎日新聞、朝日広告社、電通アドギア、博報堂プロダクツ、NHKエンタープライズ、エイベックス、三菱東京UFJ信託銀行、常陽銀行、筑波銀行、群馬銀行、八千代銀行、飯田信用金庫、愛媛銀行、東京海上日動火災保険、三井住友海上火災保険、三井生命、アメリカンファミリー生命保険、三菱商事ファッション、イオンリテール、カスミ、ニトリホールディングス、ローソン、レナウン、三越伊勢丹、ZOZO、ブックファースト、東京流通センター、住友倉庫、日本航空、全日本空輸、東日本旅客鉄道（JR東日本）、富士急行、日本交通、首都高速道路、ANAセールス、クラブツーリズム、エイチ・アイ・エス、プリンスホテル、日本IBM、楽天、ソフトバンク、NTTドコモ、NTT東日本、日本郵便、coly、ufuru、ニチイ学館、ユーキヤン、リクルートジョブズ、味の素セネラルフーズ、江崎グリコ、カルビー、サントリーホールディングス、大林組、川崎重工業、三井住友建設、日立建機、スズキ、ボルボグループ、日化エソニアリング、YKK、JFEスチール、JX日鉱日石エネルギー、ダイキン、アステラス製薬、シード、塩野義製薬、ジョンソン・エンド・ジョンソン
公務員	外務省、厚生労働省、国土交通省、警視庁、海上自衛隊、東京消防庁、宮城県警、東京都、茨城県、埼玉県、千葉県、静岡県、長野県、富山県、いわき市、秩父市、石岡市、ひたちなか市、つくば市、守谷市、流山市、横浜市、逗子市、神戸市、福山市、松江市、西郷村、美浦村、港区、台東区、江東区、目黒区、荒川区、練馬区、筑波大学、東京大学、高エネルギー加速器研究機構、全国共済農業共同組合連合会（JA共済連）、日本芸術文化振興会（国立劇場）、日本新聞協会、横浜労災病院、静岡県立病院機構
学校教員	茨城県、埼玉県、千葉県、静岡県、山梨県、愛媛県、大妻中学校高等学校、東京聖徳学園、錦城高等学校、フェリス学院
大学院進学	筑波大学、北海道大学、東京大学、一橋大学、東京外国語大学、名古屋大学、金沢大学、京都大学、大阪教育大学、広島大学、白百合女子大学、自治医科大学、東洋大学、明治大学、明星大学、早稲田大学、プリンスエドワード島大学

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		自らの問題意識を出発点として、さまざまな学問領域に関心を寄せながら、文化・社会について広く柔軟に学ぶ意欲を持つ人。異文化理解に裏付けられたグローバル・コミュニケーション能力を身につけようとする人。海外経験・社会経験などを通じて得た問題意識を学問的に深めたい人。
入学までに学んでおいてほしいこと		日本語及び外国語に関する優れた能力、特に文化・社会に対する旺盛な好奇心と高い教養を身につけておくことが望ましい。また、希望する学問領域に関連する社会科学科目の知識を備えていることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等 (前期日程)	文化・社会に強い関心と知識を持ち、学業遂行の上で必要な能力と知識を有する者を選抜します。特に勉学に対する意欲と論理的思考力、表現力を重視します。
	推薦入試	文化・社会に強い関心と知識を持ち、それを自分自身の言葉で表現する能力を重視して選抜します。
	AC入試	文化・社会に強い関心と知識を持ち、特定の専門分野について具体的に個性的なテーマを設定し、そのアプローチと内容に関して独自の研究成果を挙げている者を選抜します。
	国際バカロレア特別入試	自立して世界的に活躍できる人材を育成するため、本学類の教育を受けるのに必要な基礎学力を有し、探究心旺盛で積極性・主体性に富む人材を受け入れます。
	私費外国人留学生入試	文化・社会に強い関心と知識を持ち、日本の大学における学業遂行の上で必要な能力と知識を有する者を選抜します。

卒業生の声

鐘尾佳子（2018年卒業）

中国新聞
（記者）



大学では時間割を組むのは自分です。比文では、その自由度が高い点が魅力であり、同時に学生の主体性が重要になります。私は入学前から情報文化学コースに進むと決めていたので、比文や他学類も含めメディアに関する授業を中心に履修しました。さらに文学・宗教・歴史など、比文の多様で専門的な授業も受けたことで多くの刺激を受け、ものの見方が多角的になりました。コース選択に悩む学生も多くいますが、自分の関心を基に授業に取り組み、先生方と交流する中で、自分だからこそ書ける卒論のテーマを見出していけると思います。

総合学域群
School of
Interdisciplinary Studies

人文・文化学群
School of
Humanities and Culture

社会・国際学群
School of
International Studies

人間学群
School of
Human Sciences

生命環境学群
School of
Life and Environmental Sciences

理工学群
School of
Science and Engineering

情報学群
School of
Information Science

医学群
School of
Medicine and
Dentistry

体育専門学群
School of
Physical Education,
Sports and Recreation

芸術専門学群
School of
Art and Design

【人材養成目的】

日本における言語・文化事象を総合的にとらえ、グローバルな視点で理解する力を養う。これにより、多文化共生社会を見据えたうえで、異言語・異文化を背景とする人たち、次世代の人たちと課題を共有し、ともに解決していくことのできる文化の創造者たる人材を養成します。



「文化の伝流と複合実習」見学旅行



異文化理解国際研修ースロベニア

専門として学べる内容

日本語・日本文化学類（通称「日日（にちにち）」）は主専攻・コースに分かれていません。学類全体で一つの日本語・日本文化学主専攻です。日本語・日本文化学類の学生は、基本的な専門知識を備えた上で、日本語の音声・語彙・文法、談話、言語行動、言語学、日本語教育学、異文化理解、日本文学、比較文学、文化人類学、現代日本の国際関係などのさらに深いテーマに関して幅広く学んでいくことになります。

主な授業内容		
専門基礎科目	<p>本学類で学ぶ日本語と日本文化全体を見渡す科目。「現代日本語」、「言語学」、「日本語教育」、「日本の文学」、「現代日本社会」に関する基礎的なテーマを扱う概論的講義および発信力を高めるための専門英語の授業</p>	
	日本語	<ul style="list-style-type: none"> ・現代日本語の音声・音韻、語彙、文法、意味、談話、語用論などを扱う講義および演習 ・日本語史、方言、理論言語学、対照言語学、言語類型論、論理学、コーパス言語学などを扱う講義および演習
	多文化共生・日本語教育	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化主義、グローバリゼーション、多面的価値、文化の普遍的価値、異文化接触、心理学、共生言語としての日本語などを扱う講義および演習 ・海外の日本語教育と日本学、第二言語習得論、教育文法、会話教育、聴解教育、読解教育、作文教育、教科書分析、eラーニング、教材の設計と作成などを扱う講義および演習
	日本文化	<p>日本の政治と社会、東洋の歴史と文化、異文化理解、文化交流、ジェンダー史、日本文学の特質、日本文学の歴史、日本文学と自然、思想、漢籍、宗教文化、儀礼、茶道、伝統芸能などを扱う講義および演習、資料講読、原典講読、実地見学など</p>
	国際・協働	<p>異文化理解国際研修、海外日本語教育実習、国内日本語教育実習、企業研修、国内フィールドワーク、外国語模擬実習、留学生との協働科目など</p>

日本語・日本文化学類パンフレットの請求方法

- 返信用の封筒（角形2号）を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には205円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「日本語・日本文化学類案内請求」と必ず朱書してください。

請求先 〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学人文・文化学群 日本語・日本文化学類（学生募集要項の請求先とは異なります。）

- テレメールによる請求もできます（p.171 資料請求番号は561341）

最新の詳しい情報は、<http://www.japanese.tsukuba.ac.jp/>をご覧ください。パンフのダウンロードもできます。「筑波日日」で検索！

特色ある授業

日本語・日本文化学類では、教室で行われる講義や演習に加えて、「実践性」と「国際性」を重視したカリキュラムを用意しています。

日本各地の農山漁村や地方都市を訪れて聞き取りを行うフィールドワーク、学内の日本語教育実習、出版社で行う企業研修、さらに海外の大学で行われる日本語教育実習（インターンシップ）や、海外の大学生とともに国際関係や文化事情を学ぶ異文化理解国際研修があります。

また、日本語・日本文化学類では日本語・日本文化研修留学生（日研生）や短期留学生、Japan-Expert（学士）プログラム生を含む正規生など留学生を多数受け入れており、留学生と日本人学生が協働する授業もあります。この授業では互いの言語・文化上のテーマについて討論、共同研究を行い、相互理解を図ります。また、留学生の学習や日常生活を支援するチューター制度があり、多くの日本人学生がチューターとして留学生との交流を深めています。

資格など

卒業要件以外に「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許 中学校一種免許状（国語）

高等学校一種免許状（国語）

社会教育主事、学芸員、司書教諭



チューターとともに学外研修（千葉県立房総のむら）

マレーシア実習体験記

田中緑莉

真冬 2月の早朝。万全の防寒対策をしてつくばを発った私を待っていたのは、平均気温 30 度、常夏の国マレーシア。この異国の地で過ごした 3 週間は、とても熱く刺激的な毎日でした。多民族・多宗教国家。日本ではありえない風景が当たり前に目に飛び込む日常。食べ物や服装。話には聞いていたが全然違う。しかも一つの風景に異なった三つの文化が交ざり合う。毎日が発見の連続で、夜は日記を書く手が止まりませんでした。



授業で日本語を教えた後、小学 3 年生の女の子が私の手の甲にキスをしました。異文化を身をもって感じて驚いたし、その仕草があまりにも美しく思わず見惚れてしまいました。また、現地の生徒さん・学生さんに日本文化を紹介する機会をいただき、日本について深く考える機会となりましたが、彼らが楽しそうに参加している様子を見て、日本人としてとても誇らしい気持ちになりました。

知らなかった素敵な世界をたくさん知り、日本を離れてもお日本への愛を深めることができた 3 週間はとても有意義で、一生忘れられない経験になりました。

海外留学など

日本語や日本文化を客観的にながめる目を育て、世界に発信する力を育成するために、日本語・日本文化学類では海外留学を積極的に勧めています。学類と交流協定を結んでいる大学への留学の場合、単位互換、授業料免除、奨学金受給などのメリットがあります。現在、筑波大学は、70カ国・地域の大学や研究機関とCIC10協定、大学間交流159協定、部局間交流223協定、合計392協定を結んでいます。（2020.06.01現在）

協定校一覧（一部）

中国：北京大学、湖南大学、大連大学、台湾：国立政治大学、韓国：韓国外国語大学校、啓明大学校、高麗大学校、梨花女子大学校、英国：エディンバラ大学、イタリア：カ・フォスカリ大学、スペイン：サラマンカ大学、スロヴェニア：リュブリャナ大学、エストニア：タリン大学、ロシア：モスクワ市立教育大学、サンクトペテルブルク大学など

スロベニアでの教育実習を 藤野真帆 通じて



私は今、日本語教育インターンシッププログラムでスロベニアのリュブリャナ大学に留学しています。今学期はTA

として、日本研究学科2年生のクラスと一般向け公開講座2クラスに参加しました。授業内で取り組んだ主なことは、発音・イントネーションの指導補助や、授業の一部の時間を頂いての日本社会・文化・習慣と言葉の紹介です。

TAとして参加したクラスの学生とは、カフェや食事に行ったり、学生として授業を履修したりしました。ことばには全く自信がないため、いつも周りの友人に助けられながら生活しています。日々でもチューターとして活動をしていましたが、支援される側を経験したことで、その存在のありがたさを実感すると共にそれまでとは違う視点から考えられるようになりました。

このように日本語教師としての経験を積みながら同時に学習者として生活できることが、この留学プログラムの魅力だと思います。残りの留学期間、日本語教壇実習だけではなく、スロベニアの言語文化にもたくさん触れて、発見の多い時間にしていきたいです。

卒業論文

卒業論文は、日本語・日本文化学類で学んだことを基礎に、学生自身がテーマを決めて研究を行うもので、いわば大学での学業の集大成というべきものです。図書館でたくさんの文献にあたったり、学外に出てデータを収集したり、集めたデータを分析したりと苦労も多いですが、それ以上に多くのものが得られます。研究を発展させるため大学院に進学する人もいます。

最近の卒業論文から

- 「～がち」の用法の拡大に関する研究
- 「させていただく」表現についてポライトネスからの考察
- 比喩でつながる「NP1+NP2」
 - 「NP1+の+NP2」との比較を通して—
- 方言形と標準語形のスタイルシフト
 - 愛媛県方言話者を例に—
- 日本語における第二言語熟達度測定テストに関する研究
- 聖地巡礼による地域活性化の可能性
 - 茨城県結城市御手杵の槍の事例から—
- 『和漢朗詠集』にみられる平安朝の漢詩の受容
- メタ表示と語構成—現代日本語の「感」を中心に—
- 平和博物館の利用促進に関する考察
 - 若者の平和意識をもとにして—
- 日本語指導が必要な児童生徒に対する支援のあり方
- 留学生の依頼メールに対して日本人学生が抱く印象

修了証プログラム (Certificate Program)

私たちの日常生活の中で、外国人と触れ合う機会が飛躍的に多くなりました。これからの日本社会には、生活者としての外国人、日本語指導が必要な外国人児童生徒を、地域社会が包括的に支える態勢が求められています。日本語・日本文化学類は、そのような多文化共生社会に向けた地域づくりのために「日本語学習支援者養成」修了証プログラムおよび「日本語教師養成」修了証プログラムを提供します。日本語学習支援者養成 CP は、児童生徒教育に携わる教員志望学生、生活者としての外国人を支える地域のボランティア等として、日本語教育のぐく基礎的な資質・能力を有していることを保証するものです。本 CP は、平成 30 年度の文化庁「日本語教育人材の養成・研修の在り方について」に準拠しています。この報告の「日本語教員養成において必要とされる教育内容 (図)」を満たすよう精選された学術科目を履修することで、専門性の高い理論面の強化が可能となります。



国内フィールド実習—愛知県豊田市足助町—



留学生パーティでたこ焼き作り

卒業後の進路

日本語・日本文化学類では、学類生の多くが教員免許（中学校・高等学校）を取得し、毎年5～6名ほどが実際に教員になっています。言語学に強く日本語教育の素養もあるユニークな国語科教員として活躍しています。学類での勉強の後、さらに専門分野の研究を続けたい場合、また修士や博士の学位を得てより高次の専門職につきたい場合は、大学院進学という進路もあります。筑波大学の中では、修士課程や博士課程で教育学、言語学、日本語学、日本語教育学、文学、文化人類学等を専攻する人が多いですが、他大学の大学院や国外の大学院に進学する人もいます。

日本語教育の分野では、卒業後すぐに日本語教師となる人もいますが、大学や研究機関などの高等教育機関で働くためには、国内外を問わず修士以上の資格が求められるため、進学する人が多いといえます。

また、幅広い教養と広い視野を身につけて、公務員（県庁・市役所職員等）の道に進む卒業生も毎年数名います。多くは一般企業に就職しています。マスコミ・出版、教育サービス、情報・通信、流通・小売業、製造業、金融・保険、運輸・旅行、住宅・不動産、サービス業など、職種・業種ともに多岐にわたります。

卒業生の声

森下 夢子

（株式会社ニトリ 家具・教育担当）

現在私は、日本の暮らしに携わりたいと考え、株式会社ニトリで働いています。老若男女・国籍問わずお客様へのインテリア提案や、稼働管理、教育教材の作成を行っています。

製造物流 IT 小売業のものと自社ですべてを担うニトリでは、日々他部署との調整が発生します。多角的な視点で物事を捉え、議論を深め、伝えることで共通の課題を解決していく能力は、日日で培われたものと実感しています。

私の働き方の基となっているのが、日日のチューター制度と、特色ある実習です。このチューター制度により、2年間留学生と一緒に過ごした経験から、伝わるように発信する試行錯誤の楽しさを学びました。

また国内実習の調査・海外実習での異文化体験や日本語教育実習などの実践を通して、それまでの知識が通用しない中、異なる立場・意見を持つ人との議論を深め、解決するための方法を学ぶことができました。

その後、修得単位の条件を満たして「日本語 CP」「異文化 CP」修了証を取得しましたが、これは就職活動の際に、自分の強みとして提示できました。

大学生生活での学びは、新しい課題に挑戦する私の支えであり、人生の可能性を広げてくれたと確信しています。



入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		旺盛な知的好奇心を持ち、日本語や日本文化、さらに多文化共生社会のあり方に対する明確な問題意識とそれに対応した能力を有する者
入学までに学んでおいてほしいこと		日本語および外国語に関して、十分な読解力と自分の考えを明確に伝える表現力を高めておくことが望ましい。
入学者選抜方針	推薦入試	高等学校における素素の学習や活動の成果などを基に、志願者の能力・適性を総合的に評価します。明確な問題意識と勉学への意欲を持ち、日本語や日本文化、国際交流や異文化理解などの専門領域に対する適応性を示す人材を選抜します。
	AC入試	日本語や日本文化、国際交流や異文化理解について独自の視点を持ち、自ら問題を見出し、解決する能力を重視して選抜します。
	国際バカロレア特別入試	国際バカロレア資格を取得した者を対象として、日本語や日本文化、国際交流や異文化理解に対する旺盛な知的好奇心と明確な問題意識を持ち、国際的な視野に立って自ら問題を見出し、解決する能力を有する人材を選抜します。語学力を含めたコミュニケーション能力を重視して評価します。
	私費外国人留学生 Japan-Expert（学士）プログラム特別入試	日本語、日本文化に幅広い興味を有し、将来、国内外において日本での就学・就労や日系企業での就労を希望する者に日本語を教える日本語教師となることを希望する人材を求めています。

※前期日程を廃止し、総合選抜入学者を2年次から受け入れます。

最近の進路状況

学校教員	茨城・長野・富山・沖縄各県立高等学校 福島・栃木・千葉・静岡県各県立中学校 麗澤瑞浪高等学校 山梨学院高等学校 など
大学教員	筑波大学 群馬大学 北海道教育大学 鳴門教育大学 秀明大学 学習院女子大学 福岡女子大学 など
海外	ホーチミン市師範大学(ベトナム) 静宜大学(台湾) 大連大学(中国) 興信大学(韓国) リュブリャナ大学(スロベニア) カターニア大学(イタリア) など
公務員	文部科学省 東京税関 福島県庁 東京都庁 埼玉県庁 愛知県庁 茨城県警察本部 土浦市役所 つくば市役所 成田市役所 沼津市役所 静岡市役所 岡谷市役所 豊橋市役所 など
一般企業	テレビユー福島 リクルート 中央出版 凸版印刷 ベネッセコーポレーション 小学館 光村教育図書 日本IBM NEC ソフト NTT コミュニケーションズ 三越 丸井グループ ローソン 日本メナード 日立製作所 王子製紙 AOKI トヨタカラー南茨城 日本郵政 三井住友銀行 三菱UFJ 信託銀行 みずほ銀行 大和証券 全日本空輸 長谷工アーベスト ホテルオークラ東京ベイ 明治座 マイナビ など

総合学域群
School of
Interdisciplinary Studies

人文・文化学群
School of
Humanities and Culture

社会・国際学群
School of
International Studies

人間学群
School of
Human Sciences

生命環境学群
School of
Environmental Sciences

理工学群
School of
Science and Engineering

情報学群
School of
Information Science

医学群
School of
Medicine and Health Sciences

体育専門学群
School of Physical Education,
Sports and Health Sciences

芸術専門学群
School of Art and Design

【人材養成目的】

社会学・法学・政治学・経済学の専門知識を集中的に深める教育を提供するだけでなく、社会科学を総合的に修得するための横断的な教育も併せて実施することで、社会科学全般のゼネラルな視点に裏打ちされた高い専門性を発揮しうるグローバル＋ローカル）志向の人材を養成します。

主専攻	学べること	主な授業
社会学	社会学主専攻の特徴は、調査実習、演習、卒業論文が特に重視されていることです。調査実習では生きた社会的現実と接触しながらその分析の仕方を学び、演習では少人数で社会学の多様な考え方を学び、卒業論文では教員の指導のもと、自分の関心をもつテーマについて問いを立て自主的に研究し、論文にまとめ上げます。	社会学基礎論、現代社会論、社会学研究法、現代社会学の系譜、都市社会学、労働社会学、組織社会学、病いと死の社会学、知識社会学、文化社会学、スポーツ文化論、教育社会学、歴史社会学、逸脱行動論、社会統制論、地域社会学、メディアと情報化の社会学、社会階層論
法学	基本六法を中心にリーガル・マインド（法的なものの考え方）を獲得するとともに、模擬法廷を使った裁判実務の講義や演習科目を通じて「生きた法」を学びます。	法学概論、民事法概論、憲法、行政法、刑法、刑事訴訟法、刑事政策、民法総則、物権、担保物権、債権総論、契約、事務管理・不当利得・不法行為、親族・相続、信託法、商法、会社法、有価証券法基礎、電子記録債権法、金融商品取引法、民事訴訟法、裁判実務、法制史、法律外書講読、法交渉学
政治学	政治学は遠くギリシャに発し、ポリス全体の理想的なあり方を問う master of sciences（諸学の王）でした。現実政治の擁護と批判の二面性を持ち、現代の巨大で複雑な政治現象を理解するため、政治学主専攻では的確な判断力と分析力を養います。	政治学概論、国際政治史、比較政治学、アメリカの政治、国際政治学、国際安全保障論、行政学、地方自治論、日本政治論、日本政治思想、現代政治分析、アメリカ外交史概説、アメリカ外交史、現代政治外交、計量分析入門、国境を越える政治、国際関係史序説、現代日本外交史、ロシア・東欧の国際関係、ロシア政治、東アジア国際関係史、現代中国研究、ヨーロッパの国際関係、ヨーロッパ政治、国際政治経済学
経済学	人間社会の重要なメカニズムである経済活動の仕組みを基礎から体系的に学びます。大きくは、(1) 理論、(2) 現状分析、(3) 政策、(4) 歴史に分けられ、各種の科目が開設されています。少人数の演習では教員の直接指導を受けながら、より深い専門的な内容を学ぶことができます。	経済学基礎論、現代経済史、基礎経済学、ミクロ経済学、マクロ経済学、経済統計論、財政学、日本経済論、比較経済論、ヨーロッパ社会経済史、日本経済史、経済思想史、経済数学、計量経済学、公共経済学、国際貿易論、開発経済学、市場経済論、産業組織論、地域経済論



社会調査実習

社会調査実習の一環として、東京都の観光政策についてのレクチャーを受けた際、都議会議長室での写真です。社会学主専攻では、フィールドワークをすることにより、リアルな社会現象を把握し、社会の変化を分析する社会調査実習を重視しています。実習を通じて、現代社会について問題を設定し、社会学的分析を加えていく能力を育成することを目標としています。



模擬法廷教室

現役弁護士による裁判実務の講義風景です。社会学類では、例えば、実際に模擬法廷で裁判官・弁護士・検察官の立場に立って事件を考えてみる講義や、さまざまな専門家をゲストスピーカーとして招いて専門家と共に問題を考えてみたりする演習を通じて、「法的なものの考え方」を身につけてもらうことを目標としています。

社会学類パンフレットの請求方法

- 返信用の封筒（角形2号）を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には205円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「社会学類案内請求」と必ず朱書してください。

請求先 〒305-8571茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学社会・国際学群社会学類長室（学生募集要項の請求先とは異なります。）

- テレメールによる請求もできます（p.171 資料請求番号は561541）

教育内容

1・2年次には、社会学・法学・政治学・経済学という4つの主専攻の専門科目履修のベースとなる専門基礎科目を中心に学びます。

専門基礎科目や一部の専門科目を通じて、社会科学の基本知識を横断的に幅広く身に付けた後、2年次終了時に主専攻を選択します。

3・4年次は、主専攻の専門科目を重点学習し、その分野のプロとしての実力を身に付けるとともに、他の主専攻分野を平行して学ぶことで広い視野と総合性を獲得します。

特長

4年後に身に付く力

- ①広い視野と総合性：国内外で発生する社会問題に対し、社会科学（社会学・法学・政治学・経済学）の多様な角度からアプローチできる総合的な能力と資質。
- ②専門性と論理的表現力：少人数の専門演習科目における口頭報告や論文指導を通して培われる専門知識に基づく論理的表現力。
- ③課題発見・問題解決能力：社会問題の中から主体的に課題を発見し、積極的に情報・資料収集をするとともに、課題解決につなげる能力と主体性。

ようこそ社会学類へ



社会学類長
篠塚 友一

われわれが生活している社会を理解し、ひいては社会の改善に資するようなアイデアを発見するための第一歩は、社会学、法学、政治学、経済学といった社会科学の専門分野の基礎的な考え方に触れることです。多様なものの見方に触れることで、以前は気がつかなかった問題に気がつききっかけが生まれるかもしれません。社会学、法学、政治学、経済学において長年蓄積されてきた分析手法を学ぶことで、問題解決のための糸口を試行錯誤するための土台を作り上げることができそうです。多くの場合、社会経済生活のいくつかの側面が相互に関連しています。例えば、経済発展、少子化およびグローバル化は相互に関連しています。この相互依存関係を理解するための助けになるのが、社会科学の専門的知見です。社会学類では、まさにこのような素養を身に着けるためのカリキュラムが用意されています。

大学生活

一人で試行錯誤していると堂々巡りになることがあ

ります。そんなとき友人たちと、ともに学び議論することで、問題解決のための糸口が見つかるかもしれません。ディベートとは違い、どちらが議論に勝ったのかとかいうことは全く重要ではありません。重要なのは、試行錯誤すること自体からたくさんのことが学べるということです。勉強以外の分野での交流も充実した大学生活を送る上で重要かもしれません。

市民として

英語のことわざ、No man is an island、を知っているでしょうか。人は互いにつながりがあり、相互に依存している、ということを意味することわざです。ところが、新型コロナウイルス感染の脅威のため、人と人とのつながり方が変容しつつあります。このような時代には、われわれ一人一人の世界観や幸福についての考え方が異なりうるということを常に念頭に置き、自分を他者の境遇において考えるよう心がけることが、いつにもまして重要となるでしょう。



政治学の演習

演習の授業風景です。社会学類の専門演習（ゼミナール）は、少人数制に基づく、きめの細かい指導を特徴としています。現代社会に対する学生一人一人の問題関心を踏まえ、参加学生による研究報告や討論および、卒業論文・ゼミ論文の執筆指導等を通じて、社会科学の考えるための思考訓練を徹底して行います。



経済学演習の1コマ：工場見学

日田市にある工場のクリーンルームを見学した時のものです。経済学主専攻では、経済の理論と歴史をバランスよく学ぶことで、現代の様々な経済問題を分析する能力の養成を目指しています。そのため、大学キャンパスを飛び出して工場のもづくり現場や日本銀行、証券取引所の見学など実習的な取り組みも行っています。

上原子 真衣 (社会学主専攻)

社会学を知っていますか。あまり多くの人が学んでいる学問ではないですし、何かと聞かれた時に説明も難しいです。社会学では、世の中のほぼ全ての事象が学が対象になります。それはもう幅広いです。進路を選択する時って、自分の興味のある学問を考えますよね。私は社会学をやってみたいなというぼんやりした思いで筑波大学の社会学類を受験しましたが、最初から社会学に興味があったわけではありません。学部選びの時はどちらかという消去法でした、文学部に法学部にも経済学部も、興味があまりわかって。私は大学に入って社会学の授業を受け、身近にあることが学問のテーマにされている社会学を知ると同時に驚き、その新鮮さと面白さ、なんてとつづやすいのだろうと思い専攻にすることを決めました。例えばですが、「部活」、「スクールカースト」、「コミュ障」、「アイドル」など高校生でも日常会話でよく口にする言葉をテーマにできる学問って社会学くらいではないでしょうか。

筑波大学社会学類では、1,2年生の頃から四つの学問の授業を受けることができ、社会学主専攻の生徒の多くは2年生からゼミに入って学びます。先生によっても年度によっても学べる内容は異なり、見学に行ったりして自分の興味にあった内容を学ぶことができます。異なる内容の社会学であっても先生が同じであれば似通った見方があり、先生個人の人間味が授業に出てくるのも社会学の面白いところですね。

私が社会学を学んで一番得ていると思うものは「社会的な視点」です。一つの事象を考えるに当たって学べば学ぶほど視点が広がって感じます。これって学問の醍醐味ではないでしょうか。ここで学び、得たことが、これから過ごす生活に彩りを与えてくれると思っています。



皆さんの中には「法律なんか勉強して自分のためになるの?」、「法律とか自分には関係ないや」と考えている人が少なからずいると思います。私も高校生の時はそのような考え方でした。

しかし、実際に法律について学んでみると、法律というものは私たちの日常に深く関わっていて、法学を通して新たな価値観の形成をすることができたように思われます。それは、筑波大学の特徴ともいえる、ほかの専攻や他学類の授業を容易に受けやすいという点が大きく影響しているとは私と考えます。

というのも、ほかの専攻を学ぶ際に法的な知識が必要となる状況や、他学類の授業で法的な解釈が重要になる分野に触れることがあります。こういった場面に関わっていることを強く認識させられるだけでなく、法学だけを学ぶようでは到底できない深い理解まですることができたと考えさせられました。また、法的な知識や自分の意見・考えが形成された状態で法学以外の分野を学んだ際に、自分の考え方の過ちや改善点について発見することで自分自身の考え方を深めるのみならず、より良いものに発展させることができたと思います。

上記した「新たな価値観の形成」という点から法学主専攻におけるゼミ一つの魅力です。ゼミとは比較的小人数で行う授業のようなもので、教授やほかの学生たちとの距離感が非常に近く、教授やほかの学生たちの価値観や意見を議論・発表を通して理解することができるので自身の価値観や意見の形成に役立てることができます。

社会に根差した法律について学ぶことで、自身の価値観や意見を形成することのできる法学という分野を筑波大学で学んでみてはどうでしょうか。

久保 未来音 (法学主専攻)



大場 優志 (政治学主専攻)

「政治」と聞くと、議会のことや政府省庁のことが思い浮かび、難しく感じたり、私たちからかけ離れたことのように思えるかもしれません。でも、本当にそうでしょうか。

人は誰も、異なった部分も同じような部分も持っています。例えば友達と仲良くしたり、読書会やサークルといった好みや目的を共有できる団体を築くこともできます。しかし突き詰めて議論をすると、身近な友達とすら意見が対立することがあります。隣人の行動に我慢できないこともあるでしょう。さらに、現代ではグローバル化とそれに伴う多様化で、自分と異なる文化や利害関心を持つ人々とうまく共存していくということが課題となってきました。一見平和に見えても、世界では異なる価値観による対立が常に生じています。

政治学は、相容れないような人々がどのように共存できるのかという問題に取り組む分野です。私たちは日々、他者との軋轢、あるいは一体感を感じています。そこに既に「政治」はあるのではないのでしょうか。例えば、ヘイトスピーチを表現の自由として認めるべきか、差別や危害として禁止すべきか。このような議論は道端でも、ネット上でも、国会でも行われます。特に国会での議論の結果は法律として強制され、違反すれば刑罰が与えられます。例えば、日本では同性愛への罰則はないですが、同性愛者を死刑にする国もありました。したがって、政治は、人々の日常生活に重大な結果をもたらすものなのです。過去には独裁政権の誕生や、戦争の勃発といった経験もあります。

だからこそ、私たちは政治をより良くする必要があります。政治学主専攻では、政治が動くシステムや、政治の捉え方を学ぶことができます。ここで学んだことは、政治参加、仕事、さらには他者との関わり方にも活かせることです。皆さんもぜひ、政治学を学んでみてください。



学生からのメッセージ

皆さんは、大学で学びたいことが明確に決まっていますか。私は、高校生の時点で学びたい分野が具体的にイメージできなかったため、入学段階で専攻を一つに絞る必要がない社会学類を選択しました。

社会学類は、社会・法・政治・経済の4つの専攻に分かれており、3年で自分の主専攻を決定します。1,2年では全ての専攻の基礎となる授業を受けながら、自分には何があっているのか、本当に学びたい事は何なのかを見極める時間が十分に与えられています。

私が基礎を学ぶ中で1番興味を抱いたのは経済学でした。人々の満足度を最大にすることを目指す経済学では、個人の好みを定式化し、論理的な思考で理想的な資源の配分を考えます。例えば、ショッピングに行った時、限られた所持金で何をどれくらい買うと最も幸せになれるのかを考えます。

不確かな人間や社会について、事例や感情論だけではなく、式や図を用いながら根拠を示して考察するという合理的な考え方がとても面白く感じました。

また、先生方の専門分野ごとに授業や少人数のゼミが開設されており、「経済学」という学問について多角的なアプローチや方法を知ることができるのも魅力の1つです。

ただ、経済学の観点からだけでは、物事の考え方に偏りが生まれます。それゆえ、多様な分野から学ぶことも重要です。経済学とともに、他専攻の授業も色々受けることができる社会学類だからこそ、有益な学びができると思います。

皆さんも是非、社会学類に入学して自分の学びたいことを見極め、経済学とともに、他専攻の授業も受けることで幅広い知識を習得し、多角的なものの見方を身につけてみてください。

井上 紗葉子 (経済学主専攻)



取得できる資格

卒業要件以外の教職科目や博物館学などの単位を修得すれば、教員や学芸員などの資格が得られます。

教員免許 高等学校一種免許状（公民）
社会教育主事、学芸員、司書、司書教諭

卒業論文・卒業研究

社会学主専攻：卒業論文題目抜粋

- 映画「ドラえもん」におけるコンテンツの変化と「大人向け」化
- Jリーグクラブが増えることの批判的研究
- 何故「けんか」をしなくなったのか
- 支援者から見た生活困窮世帯の子どもたち
- コミュニティカフェと地域社会の再組織化
- 現代の若者における方言のスイッチング
- 自死遺族の自己物語
- 恋愛しなくなった若者たち

法学主専攻：演習での検討課題抜粋

- 模擬裁判
- 民法に関する問題点の研究
- 民法財産法の判例研究
- 信託法に関する問題点の研究
- 株式会社の企業統治に関わる機関
- 刑事法に関する問題点の研究

政治学主専攻：卒業論文題目抜粋

- 冷戦後アメリカと国連平和維持活動
- 2017年茨城県知事選挙における各陣営の動き
- 日本におけるネット選挙
- 導入国の比較から見るジェンダークォータ制
- 自民党における親朝派の誕生とその活動
- 東南アジアにおけるイスラームと政治
- 北朝鮮を威嚇的外交へと向かわせた要因
- 政策過程におけるマス・メディアの役割

経済学主専攻：卒業論文題目抜粋

- 資源の発見のもとらす他産業への影響の分析
- 地方公共財の費用分担問題の協力ゲーム理論による考察
- カライスモロデインスキー解とプレイヤーリスク回避度の一般の関係についての考察
- シグナリング・ゲーム理論による海外直接投資の分析
- 期待が為替レートに与える影響
- 利己主義と利他主義の進化ゲーム論による考察
- ハンドボールにおけるペナルティスローのゲーム理論分析
- 繰り返しゲームによる金融政策の研究

卒業後の進路

最近の傾向でみると、就職する者が約7割います。その就職先は多岐にわたりますが、特に金融、メディア・情報通信、サービスならびに製造業分野に強く、多くの人材を輩出してきました。また公務員の道を選ぶ者も多くなります。

一方、大学院進学や司法試験・公認会計士などの資格試験の準備をする者もあり、将来、研究職や高度な専門職につく卒業生も少なくありません。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		社会科学を総合的に学習するために必要な基礎学力と、グローバル化する社会の様々な事象への関心や洞察力・分析力を併せ持つ人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		社会科学を学ぶための読解力や表現力の基礎となる英語と日本語。また、地理や世界史・日本史および数学に関する基本的な知識も備えていることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等 (前期日程)	入学後の学習に必要な基礎学力および論理的思考力を十分に備えている人材を評価します。
	推薦入試	高等学校における学習をしっかりと身につけたうえで、希望する主専攻分野（社会学、法学、政治学、経済学）に関連する分野について、明確な問題意識と優れた能力を有する者を評価します。
	国際 バカロレア 特別入試	社会科学を学ぶために必要な高い基礎学力に加え、社会的な事象に対する深い関心と問題意識、明確な目標に向けて主体的に学ぶ力と積極性、語学力を含めた高いコミュニケーション能力などを総合的に評価します。
	編入学試験	社会科学系の学問に対する高い問題意識と意欲を持ち、希望する主専攻分野（社会学、法学、政治学、経済学）に関する初歩的な素養および論理的思考力を十分に備えている人材を評価します。
私費外国人留学生 特別コース入試		(1) 求める人材 グローバル化と情報化が進むなかで、政治的・経済的・文化的・国際的な諸問題に対して関心を示し、事象を学問的に分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、現代社会の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。

主な就職先

- 金融・保険：三菱東京 UFJ 銀行、三井住友銀行、みずほ銀行、ゆうちょ銀行、三菱 UFJ 信託銀行、三井住友信託銀行、りそな銀行、常陽銀行、千葉銀行、横浜銀行、静岡銀行、大和証券、野村証券、日本政策金融公庫、住友生命保険、第一生命保険、日本生命保険、明治安田生命保険、かんぽ生命、アクサ生命、オリックス、三井住友 VISA カード、ジェシービー、阿波銀行、AIG 損保、東京海上日動火災保険、三菱 UFJ ニコス
- メディア・情報・通信：朝日新聞、読売新聞、中日新聞、西日本新聞、信濃毎日新聞、NHK、テレビ朝日、関西テレビ、新潟テレビ、電通、野村総合研究所、NTT 東日本、ソフトバンク、日立ソリューションズ、富士通エフ・アイ・ピー、NTT データフロンティア、博報堂、富士通総研
- 卸小売・運輸・サービス：丸紅、丸善、楽天、日鐵商事、双日、ニトリ、ローソン、JR 東日本、阪急交通、日本郵船、東急不動産、星野リゾート、真和エンタープライズ、全日本空輸、日本航空、アクセンチュア、住友商事、マイナビ
- 製造・建設・電力業：新日鐵住金、東芝、大日本印刷、日本ガイシ、リンナイ、P&G、日本ハム、プリマハム、味の素冷凍食品、住友林業、積水ハウス、トヨタホーム、大和ハウス工業、グンゼ、昭和シェル石油、古河機械金属、大林組、東北電力、九州電力、ホーユー、東京建物、丸美屋食品工業
- 国家公務員：総務省、厚生労働省、人事院、金融庁、農林水産省、東京地裁、東京家裁、札幌東労働基準監督署、さいたま地裁、東京高裁管轄裁判所、国立国会図書館、名古屋家庭裁判所、警察庁
- 地方公務員：都道府県庁（東京、茨城、埼玉、静岡、栃木、岐阜、岡山など）、市役所（名古屋、横浜、さいたま、つくば、熊谷、春日部、堺など）、警察署（茨城、埼玉、千葉など）
- 教育研究機関・独立行政法人：千葉大学、宇都宮大学、高エネルギー加速器研究機構、海洋研究開発機構、鉄道建設・運輸施設整備支援機構、日本司法支援センター、住宅金融支援機構
- 進学(大学院)：筑波大学、東京大学、東北大学、一橋大学、慶應義塾大学、早稲田大学

総合学域群
School of Comprehensive Studies

人文・文化学群
School of Humanities and Culture

社会・国際学群
School of International Studies

人間学群
School of Human Sciences

生命環境学群
School of Environment and Life Sciences

理工学群
School of Science and Engineering

情報学群
School of Information Science

医学群
School of Medicine and Health Sciences

体育専門学群
School of Physical Education, Sports and Health Sciences

芸術専門学群
School of Art and Design

【人材養成目的】

グローバル化が進展する現在、複雑化する国際的な諸問題に対して、問題の本質を発見する洞察力と情報処理能力および分析能力を身に付け、先見性と独自性に富む解決策を提示する能力を備えた国際的に活躍できる人材を養成します。



ハワイ研修にて



ASHIPでの海外研修



主専攻	カリキュラム概要
国際関係学主専攻	国際関係学主専攻は、現代の国際問題に対する理解を人文・社会科学を中心に学際的な観点から深め、政策志向的な問題解決の能力を養うことを目標としています。国際関係学主専攻では、学生の選択の幅を広げるため、政治学、経済学、国際法、文化系領域など各授業領域ごとの垣根を低く設定していますが、それだけに自ら系統的に学習して行く努力が要求されます。
国際開発学主専攻	国際開発学主専攻では、国内外における新たな社会システム・概念の提案、人的資源の育成、合理的な合意形成に基づく社会基盤整備、情報・通信技術と社会との協調など、実社会において「創造・選択」をする際に必要となる知識や能力を養います。これに向けて本主専攻には、経済・社会開発の授業科目領域および、環境、情報・通信技術など開発工学の授業科目領域が設定されています。

主専攻分野	主な授業
必修科目	国際学Ⅰ(政治・法学)、国際学Ⅱ(経済)、国際学Ⅲ(文化・社会開発)、国際学Ⅳ(情報・環境)
専門基礎科目	国際関係論、国際関係史序説、国際法概論、国際経済論、初級ミクロ経済学、マクロ経済学概論、比較政治学、政治変動論、文化・開発論、数理科学、情報科学、Media Politics、English Discussion Seminar、English Debateなど
専門科目 (国際関係学)	国際相互依存論、公共政策分析、東アジア国際関係史、アジアの国際関係、ヨーロッパの国際関係、ロシア政治、アジア政治、日本政治、ヨーロッパ政治、中央アジアの国家と社会、市民社会論、ヨーロッパ社会経済史、国際法Ⅰ、国際法Ⅱ、国際機構論、市民社会論、国際貿易論、ジャパニーズ・エコノミー、比較経済論、Japan and the World、言語人類学、野外調査法など
専門科目 (国際開発学)	開発人類学、社会開発論、国際教育論、教育開発論、国際開発論、社会開発論、経済発展論、北アフリカの経済と社会、開発途上国における諸問題、グローバル化の中の日本、世界経済史、地域開発論、計量経済学、統計科学、データ解析、応用数学、情報科学Ⅱ、Cプログラミング、パターン認識、宇宙開発、水環境論、都市文化共生計画、環境政策論、人工生命概論 など

国際総合学類パンフレットの請求方法

- 返信用の封筒（角形2号）を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には205円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「国際総合学類案内請求」と必ず朱書してください。

請求先 〒305-8573 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学社会・国際学群国際総合学類長室（学生募集要項の請求先とは異なります。）

- テレメールによる請求もできます（p.171 資料請求番号は541431）

特長

二つの主専攻と多面的な教育体系

国際総合学類では国際関係学主専攻と国際開発学主専攻を設けています。主専攻を決める時期は3年次のはじめです。学生をはじめから主専攻に振り分けるのではなく、カリキュラムについての説明、指導を受けながらそれぞれの主専攻の科目を系統的に履修することによって、学生自らが自主的に主専攻を決めていくようにしています。教育課程は、①政治・法学、②経済、③文化・社会開発、④情報・環境を中心にカリキュラムを構成し、主たる専門分野を中心にしながらも、両主専攻の科目を幅広く学び、広い視野を涵養するように工夫されています。

現実の問題についての理解力と対応力を備えた人材を養成するために、卒業論文の提出を義務づけています。

これらの研究指導では、現代社会の問題をテーマとして、学際的なアプローチをとらせながらも、自分が選んだ学問分野のスキルを身につけられるように指導しています。

また、高い職業意識を持つ人材の育成を目的として、学生が在学中に将来のキャリアに関連した就業体験を行うインターンシップの制度も取り入れています。海外でのインターンシップにも力を注いでいます。

コミュニケーション力の養成

これからの時代に必要な、英語を中心とするコミュニケーション能力の向上や、情報処理技術の修得に力をいれています。そのため、国際総合学類では3分の1近くの授業を英語で行っています。これは単純に英語を重視するというよりも、異なる文化背景による異なる言語上での他者とのコミュニケーション能力を培うためです。その中にはディスカッション中心のものや日本の伝統文化を英語で読み解く授業もあり、留学生・日本人学生双方がこの能力を育てられるように設置されています。これらを通じて、卒業までに、専門分野について英語で水準の高い議論ができる程度の力を身につけることが期待されています。そのため、多くの外国人教員や外国の大学で教育に携わってきた教員による、英語の講義や演習を大幅に取り入れています。

文・理融合教育

政治学の理論や政策決定のプロセス、経済動向、またその背景にある文化等を学ぶことで世界の変化を定性的に理解できるようにすると同時に、統計学やデータ分析の授業で数値による定量的な分析能力が身に付くように養成します。本来、政治学・人類学といった文系の学問と数学・経済学・情報工学・環境工学といった理系の学問は、融合すべき密接な関係を持つものです。工業化社会においてこれまで実現されてきた産業的発展は生命のない物質面に偏重し、これと全く同様に大切な社会的・政治的あるいは精神的な面との有機的関係が軽視されてきたことは否めません。その結果として、環境破壊、資源エネルギーの枯渇、貧富の差の拡大、それに伴う民族紛争などの困った問題が後を絶ちません。理系・文系双方の分野からなる学際融合教育を目指す当学類の特徴を活かして、当学類で学んだことを人類全体の物心両面にわたる快適な生活の充実に活かして欲しいと願っています。さらに、フィールドワークの授業も設置されており、どう分析するのかを実践を通して学ぶことが可能です。



ゼミの風景



留学先での交流

海外留学など

国際総合学類では在学中の留学を奨励し、特定の協定校との交換留学制度の拡充をはかっています。この交換留学制度を利用して留学した場合、修得した科目の単位を内容に応じて一定限度まで学類の単位として認めています。毎年15～20名の学類生がアメリカ、オーストラリア、オランダ、ロシア、チェコ、中国、韓国などの大学に1年間留学しています。そして、海外からほぼ同数の留学生を受け入れています。この他にも、語学研修やインターンシップを目的として、海外に渡航する学生が毎年30名ほどいます。英語研修については、オーストラリアやニュージーランドの著名な大学での研修に参加できます。このような活動を通じて、国際総合学類では、全体の4割程度の学生が1年間の海外生活を経験します。

また、私費外国人留学生、国費外国人留学生を積極的に受け入れており、一方では、帰国生徒入学制度も導入しています。このように、本学類は学生の構成という面からも国際性豊かなコミュニティであるということができず。

主な協定校への留学先

カリフォルニア大学（バークレー校、ロサンゼルス校、サンディエゴ校など）、マサチューセッツ大学アマースト校、オハイオ州立大学、ペルー・カトリカ大学、オランダ・ユトレヒト大学、チェコ・カレル大学、オーストラリア国立大学、ロシア・サンクトペテルブルグ大学、ウズベキスタン・タシケント国立東洋学大学

卒業論文

論文題目の例

- 感染症対策における文化的対立 — エボラ出血熱の蔓延を例に —
- フランス保護領期のハノイにおける住宅地の形成と現代における変容
- スペインは何故没落したのか — 英国との比較 —
- 条約の留保に関する一考察 — 人権条約に対する留保を中心として —
- オフショアリングが自国経済に与える影響：理論分析とケーススタディ
- 開発途上国の障害児教育に対する日本の援助 — スウェーデン・アメリカとの比較から見るその課題と展望 —
- 韓国における教育疎外層の形成と格差解消への取り組み — 生涯教育政策の視点から —
- ミャンマー軍事政権に対する米国の対応 — 米中緬三国間関係の観点から —
- 異文化マネジメント — IN-OUT型M&Aの現状とこれから —
- ロシア・サハリン州と北海道における官民主導の経済交流に関する実証研究
- 汚染逃避地効果の検証 — 東・東南アジア途上国とG7の貿易に焦点をあてて —
- 日本における外国人の「不法就労」について
- ヨーロッパにおけるエネルギー安全保障 — EUとその東方近隣諸国を中心に —
- 1930年代の日本外交 — 対英関係の視角から —

卒業生の声



様々な機会を通じ、自身の可能性の探求・成長を！

5期 福丸博之

三菱商事株式会社 ロジスティクス総括部

「ロシアのクリミア半島編入に対し欧米諸国が同国に制裁発令」、「シリアが内戦状況に」、「イスラム国（過激派組織）によるテロ」、「ギリシャ財政危機」、「ネパールで大地震発生」・・・これら最近のニュースを聞くと、私の仕事は俄然忙しくなります。

私は総合商社で、これら経済制裁、内乱、テロ行為、為替の制限・禁止、自然災害等で海外における事業が損害を受けるリスク（一般的に「カントリーリスク」と呼ばれています）をカバーする特殊な保険（貿易保険）を扱っております。

仕事上、日々の国際政治・経済情勢が直接関係し、社内の世界ネットワーク等による関連情報に接しながら業務を遂行しております。また、特に発展途上国向けプロジェクトにおいて十数年もの間、当該国のカントリーリスクを一民間企業で保有することは現実的ではなく、保険引受者（実質日本政府）に対する保険引受交渉が実を結び当該プロジェクト遂行、ひいては当該国の経済発展に寄与出来ることでこの仕事にやりがいを感じています。

さて、今思い返せば、私の大学時代（四半世紀ほど前、入学は昭和！）は多くの友人との出会い、旅行等であったという間でした。

当時、インターネットやスマホ等はなく、同じ学類、サークル等で知り合った他学類の友人、留学生等と直接

朝まで語り合った日々。（1年生の時、同級が何気に貸してくれた北朝鮮に関する本を読み、当時関心が薄かった同国に興味を持ち、卒論テーマに選んだことも思い出の一つです）

また、纏まった時間がとれると、ふらっと国内（北海道、東北一周や船で29時間かけて行った沖縄等）やバックパッカーで海外（アジア、欧州、北米、オセアニアの10ヵ国以上）を旅し、現地人や世界からの旅行者との出会い等様々な現地体験は今もって私の考えや行動に良い影響を与えています。

現在、世界は激動の時代を迎えていると感じており、本学類で学んだ政治、経済、歴史、宗教、文化、安全保障等は、世界の動向を理解する上で今なお役に立っています。まさに、これら幅広い分野が学べる本学類は、現代を理解する知識、対応するヒントを与えてくれると思います。

そして、共に学ぶ友人、深い専門知識をお持ちの先生方、世界・幅広い分野に散らばるOB/OG（F Bのグループメンバーは800名以上！）等の存在は、自分を見つめ直し、自らの可能性を探求し、自身の価値を高めることに有益だと思えます。

本学類には、このような自分の可能性を探求し、高める多くの機会が存在します。これら貴重な機会を逃さず、自身が大きく成長されることを願ってやみません。（大学時代は長いようであつという間ですよ・・・）

資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許：中学校一種免許状（英語）

高等学校一種免許状（英語）

社会教育主事、学芸員、司書教諭

卒業後の進路

卒業生は社会の多様な分野の国際部門で活躍しており、それぞれの分野で高い評価を得ています。本学類生が伝統的に強い外務公務員、一般公務員など官公庁、総合商社、マスコミ、金融等に加えて、最近では製造業、流通業、運輸・通信・情報業などの分野に職を得る人が増えてきました。本学類生の進学先は多様化しており、修士号以上の学位を取得した後に国際公務員を目指す人もいます。

主な就職先

外務省、財務省、防衛省、経済産業省、東京国税局、JICA、ジェトロ、日本赤十字社、三井物産、三菱商事、住友商事、電通、朝日新聞社、読売新聞社、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、みずほフィナンシャルグループ、富士通、マイクロソフト、野村證券、キャノン、パナソニック、野村総研、日本航空、全日空、商船三井ほか。

主な進学先

筑波大学大学院人文社会科学部研究科、同システム情報学研究科、同生命環境科学研究科、同人間総合科学研究科、東京大学大学院法学政治学研究科、同公共政策大学院、同新領域創成科学研究科、一橋大学大学院経済学研究科、東北大学法科大学院、東京工業大学大学院総合理工学

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	既成観念にとらわれず、多様な価値観の存在を想像しながら、ものごとを観察し、何が問題かを見分け、何をどうすればいいのか、筋道をたてて考え、それを周りに説明でき、理解者を増やしていく意欲・チャレンジ精神をもつ人材。	
入学までに学んでおいてほしいこと	優れた外国語能力、国際人として必要な地理歴史の基本的知識、基礎的な数学の知識を備えていること。	
入学者選抜方針	個別学力検査等 (前期日程)	高い基礎学力と優れた語学能力に加えて、地理歴史または数学の能力を総合的に評価し選抜します。
	推薦入試	基礎学力とコミュニケーション能力に加えて、国際関係や国際開発への幅広い関心と強い学習意欲を有する人材を選抜します。
	国際 バカロレア 特別入試	国際バカロレア試験において一定レベルの成績をおさめ、国際関係や国際開発の諸問題を主体的に学ぶための知識や思考力、問題意識、明確な目標をもって学ぶ意欲、語学力を含めたコミュニケーション能力を総合的に評価し選抜します。
私費外国人留学生 特別コース入試		(1) 求める人材 グローバル化と情報化が進むなかで、政治的・経済的・文化的・国際的な諸問題に対して関心を示し、事象を学問的に分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、現代社会の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。

研究科、京都大学大学院アジア/アフリカ地域研究研究科、名古屋大学大学院国際開発研究科ほか。

教員からのメッセージ



井出里咲子 准教授
(言語人類学)

言語人類学、社会言語学という学問を通して、ことばと文化の相関関係や異文化コミュニケーションについて研究しています。日本人はなぜ頻繁に「すみません」というのだろうか？アメリカ人はなぜジョークが上手いように聞こえるのだろうか？といった疑問について、実際に会話データを取って分析し、ことばの用いられ方に現れる文化的な手触りの仕組みについて明らかにしてきました。

高校時代はイルカの調教師という職業に憧れていました。また、マザーテレサの影響で、国連勤務がしたいという夢も持ちました。しかし、どちらも中途半端なまま、大学の卒論で手がけたアメリカの教育テレビ番組「セサミストリート」の分析をきっかけに、社会が言語の多様性を認めると同時に、言語を統一しようとする二つの流れに興味をもち、研究の道に足を踏み入れました。

この社会はすべてコミュニケーションで成り立っていることを考えると、言語というのは、政治、経済、通貨と同様に価値の体系としての動的な様態をもつものです。同時

に、詩歌や文学を生み出す創造性の源です。研究の醍醐味は、他者への偏見やステレオタイプなども含めて、差異の構造を説明し、ミクロ、マクロのレベルで異文化を説明する面白さにあると思います。最近、日本と米国女性の出産育児体験の語りの比較から、両者の描く家族、社会観の違いを浮き彫りにしました。今後は異文化間コミュニケーションにおける「空気の読み方」の違いを分析していく予定です。

筑波大学は広くてキャンパスも魅力的ですが、是非つくばを出て、自分の足でさまざまな土地を歩いてまわってください。子供の頃はとても臆病者の私でしたが、大学院時代の友人たちに感化され、時に好奇心に突き動かされて、世界の多くの場所を旅したことが今の私の世界の見方の礎となっています。またコミュニケーション力や語学力を磨くためにも、いろいろな人と語り合い、考え続けてください。そして必ずこの地球をよりよい場所にしていけるのだという強い自覚のもと、人生を逞しく切り開いていっていただきたいと思います。

総合学域群
School of
Interdisciplinary Studies

人文・文化学群
School of
Humanities and Culture

社会・国際学群
School of
Social and International Studies

人間学群
School of Human Sciences

生命環境学群
School of
Life and Environment Sciences

理工学群
School of
Science and Engineering

情報学群
School of Information Science

医学群
School of Medicine and Health Sciences

体育専門学群
School of Physical Education, Sports and Special Education

芸術専門学群
School of Art and Design

【人材養成目的】

人間形成、学校教育開発、教育計画・設計、地域・国際教育にかかわる教育学の専門的知識・技能を活用し、学校、自治体、民間機関、国際機関など様々な分野で貢献できる人材、研究能力を有する人材を養成します。



「わたしたちクラス代表はみなさんの入学をお待ちしています！」



授業のひとつま（初等外国語活動）

主専攻とコース

共通科目		<人間学群共通科目> 人間学、キャリアデザイン入門、人間フィールドワーク等 <教育学類共通科目> 教育基礎論、教育インターンシップ実践演習、教育学研究法、教育学実践演習、卒業研究等	
コース	系列	学べる内容	主な授業
教育学コース	人間形成系列	教育に関する基礎について学びます。世界や日本の歴史をさかのぼって、教育という営みや学校というものがどのように成立・展開してきたかを考えたり、今日の教育のあり方を導いた人物の足跡・思想を捉え直したりします。教育の本質や原理を考える教養を習得し、学界や教育界の様々な分野への進路選択が期待できます。	教育哲学、日本教育史、道德教育論、比較道德教育論演習、教育思想論演習、キャリア教育論、アジア教育史
	教育計画・設計系列	現代社会では、教育実践の営みは国や地方自治体あるいは機関・団体などによる支援のもとに成り立っています。教育計画・設計系列では、教育の制度、行財政・法制、学校の組織・経営について、理論や歴史、日本や諸外国の制度や実践から学びます。そして、これからの学校教育のデザインと支援を開発・提言・実践できる人材を育成します。	教育制度論、比較教育制度論、教育行財政論、教育制度論演習、学校経営論、学校経営論演習、教育法制・行財政論演習、比較学校経営論
	地域・国際教育系列	教育的営みを社会・文化とのかかわりで実践的・理論的に探求します。地域社会における教育・学習活動について幅広く理解し、公民館、図書館、博物館、カルチャーセンターやスポーツ施設等の生涯学習の場で学習支援を行う地域社会教育の専門家、あるいは国際理解教育など国際的な場での教育支援に従事する専門家の道へとひらかれています。	教育社会学Ⅰ、生涯学習論、国際教育論、地域と教育、言語教育論、環境教育論、生涯学習論演習Ⅰ・Ⅱ、教育社会学探究Ⅰ
初等教育学コース	学校教育開発系列	児童・生徒の成長とともに学校での教師のかかわり方は変わり、社会背景とも絡みながら、学校は進化し続けます。そんな学校教育の基礎・基本を学び、さらにそれを基盤として進化する学校教育に適応し、よりよい方向に変えていく力をもつ人間を育成することが学校教育開発系列の目指すところです。また、初等教育学コースでは実践的研究力を身につけた教員としての資質・素養を学ぶことができます。	教育課程論、学習指導論、社会認識教育論、数学教育論、科学教育論、児童文学論、初等教科教育法、教育臨床学、特別活動論



新入生オリエンテーションのひとつ

人間学群パンフレットの請求方法

- 返信用の封筒（角形2号）を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には250円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「人間学群案内請求」と必ず朱書してください。

請求先 〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学人間学群事務局（学生募集要項の請求先とは異なります。）

- テレメールによる請求もできます（p.171 資料請求番号は792871）

進化を続ける「筑波教育学」

教育学類には約30名のスタッフがおり、教育学のあらゆる分野をカバーします。スタッフは皆、それぞれの専門分野で学界の研究をリードし、国や地方自治体の教育政策の形成に関与しているスタッフも少なくありません。

教育学類は、教育への理論的関心も実践的関心も大切にします。学生諸君にとって、これほどバラエティに富んだ分野を包摂している教育学の学士課程は、珍しいと言えるでしょう。教育学類で学ぶ皆さんは、特定の狭い視野にとどまらない、多元的・多角的な視座から、教育問題に対す

る総合的な見方・考え方を獲得することでしょう。

このような筑波教育学は、明治以来、連綿として受け継がれてきた「教育学の総本山」としての歴史と伝統の中で培われてきました。日本の教育学をリードする多彩な教授陣が、最新の研究成果をもって教育学の面白さを伝え、理論と実践力を兼ね備えた人材を育成します。「筑波教育学」は常に進化し続けています。たとえば、2012年度からは、小学校教員免許状を取得できる「初等教育学コース」が誕生し、2016年3月には第1期生が卒業しました。



緊張した面持ちの新入生
（入学式直後の人間学群オリエンテーションにて）



緊張がほぐれた新入生
（教育学類の新入生と担当教員）

優秀卒業研究賞

人間学群では、毎年度、「修学・教育活動、課外活動において優秀な成績を収め、或いは顕著な功績のあった学生」を対象とした人間学群長賞表彰を実施しています。そのほか、同窓会組織による「茗溪会賞」や「校友会賞」、大学院進学者への奨学制度である「スカラシップ学業成績優秀者支援奨学金」などの表彰も行われます。

〔人間学群長賞〕

成瀬 翔太

<卒業論文のテーマ>

高校生活における困難からの回復
プロセスとレジリエンスの関連
—大学生への回想調査から—

〔茗溪会賞〕

安藤 友恵



喜びの笑みを浮かべて
（人間学群長賞表彰式・学位記授与式会場にて）

〔筑波大学校友会賞〕

伊藤 智啓

〔スカラシップ学業成績優秀者支援奨学金奨学生〕

安藤 友恵

（写真／左から）

唐木清志 4年担任、伊藤智啓、
成瀬翔太、安藤友恵、クアニシ・
タスタンベコワ 4年担任、藤田
晃之教育学類長

海外での勉強チャンス

海外留学

教育学類の学生は、人間学群が交流協定を結んでいる海外の大学への交換留学に応募することができます。協定校に留学すると、①留学先での習得単位が教育学類の単位として認定される、②筑波大学への授業料を納入すれば、留学先の授業料は納入不要、というメリットがあります。現在、協定校は、カリフォルニア大学やベルリン自由大学などの大学間（全学）協定校をはじめ、国立台湾大学や南インドIANA大学などの部局間（人間学群）協定校です。

タイの学校での日本語補助教員実習

教育学類のコア科目の一つ、「国際教育協力実習」では、約3ヶ月間タイにホームステイしながら、カセサート大学附属学校またはコンケン大学で日本語補助教員としての実習を行います。旅費は自己負担ですが、毎年、数名の学生が海外の学校での教育実習の貴重な体験をしています。

教育学類での学び

教育学の総合性と4つの系列

教育学類では、教育学の総合性に対応した4つの系列を設けています。すなわち、「人間形成系列」「学校教育開発系列」「教育計画・設計系列」「地域・国際教育系列」です。

学生はこれらすべての系列に関する科目を履修しますが、将来の目的に合わせて特に関心のある系列を1つ選び、その系列に含まれる授業を集中的に学ぶことになります。そこで学んだ知識・技能を活かして、4年次に卒業研究をまとめていくことになります。

ただし、教育学類では、学生に各系列に「所属すること」を求めています。その理由は、1つの系列のみの知識・技能を習得することよりも、教育学に関する知識・技能を全般的に学ぶことの方が、教育に関連した優秀な理論家・実践家となるのに有効であると考えているからです。

なお、新設された初等教育学コースは、「学校教育開発系列」の一部として組み込まれています。

卒業生からのメッセージ

10年後の姿を描いてみませんか？

平成18年度

人間学類教育学主専攻卒業

星野真澄



「教育学研究者になりたい」

高校生の時に「10年後の私」という作文の中で思い描いた夢。それを実現させるために筑波大学で教育学を学び、数多くの研究者を輩出している筑波大学の博士課程に進学して、博士号を取得したい。そんな夢と希望を持って平成16年に筑波大学へ入学しました。

充実した大学生活を送る中で、大学を3年間で卒業できる「早期卒業」という制度を知り、博士号取得の計画は、その制度にチャレンジすることから始まったのです。念願の大学院へ進学すると、学内での授業はもちろんのこと、学会活動を通じて、教育界の至る所で活躍されている諸先輩方との交流も深まり、あらためて筑波大学の教育学の偉大さを認識しました。

筑波の教育学は、「教育学の総本山」として明治以来受け継がれてきた歴史と伝統の中で、豊富な教授陣から手厚い指導を受けることができる環境にあります。こうした先生方の的確な指導と心温まる励ましのお陰で、私は平成26年3月に博士号を取得することができました。

「教育学研究者になりたい」と思い描いた高校時代からちょうど10年。夢に向かってまたこの先10年も充実した日々を過ごせるよう、具体的な目標を立てて、ゆっくりとじっくりと歩んでいきたいものです。

みなさんも10年後の姿を思い描いてみませんか？

「教育学の総本山」で、一緒に教育学を研究しませんか

平成26年度教育学類卒業

(筑波大学大学院

人間総合科学研究科院生)

村田翔吾



「教育学を学びたい」と考えている皆さんにとって、筑波大学人間学群教育学類は、日本で最も恵まれた環境にあるといっても過言ではありません。教育学類では、教育に関する様々な分野の先生による講義を受けることが可能です。また、教育に関する様々な関心を持つ仲間たちと共に学ぶことが可能です。

教育学というと、学校の先生になるための学問と思われるかもしれませんが、それは間違いとはいえませんが、実はもっと幅が広く、奥が深い学問です。例えば、日本及び外国における教育の歴史、各教科の教育的意義、学校における教育課程、指導における方法と評価、学校教育の制度、学校の運営、成人の学習、諸外国の教育など、これらはすべて教育学類で学ぶことができる内容です。このように教育学には、多種多様な研究分野が存在しますが、教育学類では、各分野の第一線で活躍されている先生から指導をいただくことができます。

私は、教育学類に入学して、教育という営みに対する自分の認識の狭さを痛感しました。けれども、先生方や仲間達と出会えたことで、入学前では気づくことのなかった、教育学の魅力に気づくことができました。そして、私は現在、大学院に進学し、教育学の研究を続けています。ぜひ私達と共に教育学を研究し、充実した4年間を過ごしてみませんか。

授業の形態

専門の授業は、講義、演習、実習など様々な形態で行われます。講義であっても受講生の数は最大40名程度で、演習や実践演習の場合は数名の受講生ですから、とても密度の濃い指導を受けることが可能です。授業づくり、ソーシャル・スキルトレーニング、学校訪問観察など、各専門分野に応じて多彩な体験的活動も取り入れられています。卒業研究に向けての本格的な指導は、3年次に履修する教育学実践演習で着手することが可能です。

資格など

教員免許

小学校一種免許状

中学校一種免許状（社会）

高等学校一種免許状（地理歴史、公民）

※他学類の授業を履修すれば他の教科の免許状も取得可能です。

他の資格

社会教育主事、学芸員、司書教諭



附属小学校の子どもたちとの交流



卒業後の進路

これまで人間学類教育学主専攻の卒業生は、社会のさまざまな分野で活躍してきました。教育学類になって以降も、それは変わりません。

過去5年間の教育学類の卒業生の進路をみると、年度によって変動はありますが、約3割～4割が進学で、6割～7割が就職になっています。進学先は、本学の大学院修士課程教育研究科か博士課程人間総合科学研究科が多くなっています。就職先は、教員、公務員のほか、教育関連企業、出版、放送、金融など幅広い業種にわたっています。

最近の傾向としては、「進学」が増えていることが挙げられます。大学院修士課程教育研究科へ進学した者の中には、修了後、中学校・高校等の教員として就職していく人が数多く含まれています。また、大学院博士課程に進学した者の多くは、大学教員・研究者の道を選ぶケースが多いです。



入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	人間社会が形成してきた文化や教育・学習活動に対する幅広い関心と高い問題意識を抱き、学問的に深めたいという志を持ちながら、自主的に学び、考え、科学的、論理的、かつ実践的な問題解決能力を培う意欲のある人材。
入学までに学んでおいてほしいこと	人間の発達や支援、教育について、様々な考え方や見方に触れることにより、人間、社会、自然に関する興味と関心を培うようにして欲しい。
個別学力検査等（前期日程）※	広い基礎学力と外国語に加えて、国語、数学、地理歴史、公民、理科のいずれかの学力を総合的に評価します。また、集団面接において、応答性、論理性、協同性等を評価します。
個別学力検査等（後期日程）※	広い基礎学力を評価します。また、集団面接において、応答性、論理性、協同性等を評価します。
入学者選抜方針	
推薦入試	一定レベルの学力を有し、教育学について明確な目的意識と勉学への意欲を持ち、教育学類の教育に適応性があるかどうかを評価します。あるいは、教育学について明確な問題意識を持ち、その問題意識に関連した優れた活動実績を有するかどうかを評価します。
国際バカロレア特別入試	国際バカロレア試験において一定レベルの成績をおさめ、教育学類の学習について明確な目的意識を持ち、教育に関する領域で国際的視野に基づく活動を志しているかどうかを評価します。
私費外国人留学生入試	教育的な事象に対する強い関心と問題意識を持ち、基礎学力の高さに加えて、入学後の授業に適應できる理解力・思考力・日本語能力を有する者を総合的に評価します。

※一部変更する可能性があります。詳細は募集要項でご確認ください。

さらに、新設された初等教育学コースでの小学校教員免許状取得により、実践的研究力を身につけた教員として学校現場で活躍する卒業生が多くみられるようになるでしょう。

総合学域群
School of
Interdisciplinary Studies

人文・文化学群
School of
Humanities and Culture

社会・国際学群
School of
International Studies

人間学群
School of
Human Sciences

生命環境学群
School of
Environmental Sciences

理工学群
School of
Engineering

情報学群
School of
Information Science

医学群
School of
Medicine and
Dentistry

体育専門学群
School of
Physical Education,
Sports and
Recreation

芸術専門学群
School of
Art and Design

【人材養成目的】

人間のこころと行動に関する幅広い興味や関心を基盤に、人間のこころや行動を科学的・実証的に分析し理解する姿勢及び専門的な知識や技能を身に付け、さらに、これらの学習成果を生かして、実際的な問題を主体的かつ創造的に解決する能力を有し、国際的にも通用する知性・人間性・逞しさを備えた人材を育成します。



1年生には心理学の概論の講義だけでなく、研究を遂行するための心理学の研究法や統計法、さらには大学院進学に関するレクチャーまで、幅広い内容の授業が用意されています。将来を見据えて学ぶ学生の目は自然に真剣なものになっていきます。

心理学は、人間のこころを科学的・実証的に探究しようとする学問です。日常生活の中で私たちが見たり、注意をしたり、思い出したり、あるいは考えたりといった精神活動や、うれしかったり、悩んだりといった様々な人生体験を対象として研究します。このような精神活動や体験は、手にとって直接的に「ものさし」をあてて測ることができませんので、何らかの方法で間接的に測ることになります。そこに心理学の難しさと創造性を発揮する楽しみがあります。心理学は、たいへん間口が広く、生理、比較、感覚知覚、認知、学習、心理測定、発達、生涯発達、発

達臨床、社会、対人関係、組織、臨床、カウンセリング、人格などの多くの専門分野があり、深い人間理解が可能となる魅力的な学問です。心理学類では、下の表に例示したように幅広い内容を偏りなく学ぶことができます。

専門として学べる内容

1年次には、心理学概論と心理学研究法で心理学の基本的知識を学び、心理学統計法の講義と実習で心理学の基礎的研究技法を修得します。2年次では、基幹となる専門科目群を深く履修し、心理学の専門的知識を獲得し

心理学の専門分野と心理学類で学べる内容のマッチング	
心理学の専門分野	心理学類で学べる内容の具体例
生理、比較、感覚知覚	視覚、聴覚、嗅覚などの感覚や知覚の興味深い現象やその仕組み、人と動物のこころの共通性や違い、学習・記憶、感情、動機づけ、ストレスなどにかかわる脳神経系やホルモンの多様なメカニズムについて学ぶことができます。
認知、学習、心理測定	人々の教えあいと学びあいのプロセスの仕組み、とくに学びを支えることばなどの社会文化的仕組みや、記憶や認知現象などの基本的仕組み、そして学びを通じた能力の発達や変化、さらにこころの変化を測定する方法などについて学ぶことができます。
発達、生涯発達、発達臨床	対象とする年齢によって、幼児、児童、青年、老年の心理学に大きく分かれていますが、一生の発達を統合的に扱うこともできます。テーマを絞って認知の発達、感情の発達といった点から学ぶこともできます。それぞれの年齢層で表れる問題の理解とケアについても学ぶことができます。
社会、対人関係、組織	対人関係の心理、インターネットやマスメディアの影響などの社会現象、攻撃行動のような社会行動の病理的側面、感情と行動の関連、組織の中の人間同士の相互作用、キャリア発達などについて広く学ぶことができます。
臨床、カウンセリング、人格	心理的障害や不適応に関する基礎理論や臨床の方法について学ぶとともに、ストレスの問題など個人及び集団のこころと身体のウェルビーイングについて心理学的視点から学ぶことができます。また人格の理論と病理、犯罪・非行、家族、カウンセリングを支える理論と技術についても学ぶことができます。

人間学群パンフレットの請求方法

- 返信用の封筒（角形2号）を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には250円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「人間学群案内請求」と必ず朱書してください。

請求先 〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学人間学群事務局（学生募集要項の請求先とは異なります。）

- テレメールによる請求もできます（p.171 資料請求番号は792871）

ます。また、心理学実験では基礎的研究技法を修得し、心理学研究実習では先行研究の理解に基づいて実験や調査などを行い、データ収集能力と科学的分析能力、そして討論の能力を実践的に修得します。さらに、心理学英語セミナーでは英語論文を通して心理学研究の専門知識や方法論、論文執筆の基本的ルールなどを修得します。3年次には、講義・演習科目を中心として心理学に関するより高度な専門知識を獲得します。そして、4年次では各自の興味に応じたテーマで卒業研究を行います。卒業研究は心理学類における教育の総決算です。

特長

心理学は19世紀後半に誕生し、現在では1人の心理学者ですべてをカバーできないくらい、研究対象や研究方法は多岐にわたっています。心理学に関係する学会も、日本に限っても50以上あります。今日、こころの問題やカウンセリングなどに興味をもつ人々が増えていることもあって、心理学を学ぶことのできる大学も数多くあります。しかし、専任の教員を約30名抱え、脳と行動の基礎研究から心理臨床に関する実践研究まで、ほぼすべての分野にわたって心理学を学べる大学は筑波大学の心理学類において他にはありません。

①体系的なカリキュラム

共通科目から個別的な専門科目、そして卒業研究まで、段階的に学ぶことができます。

②豊富な科目構成

多彩な専門科目が用意され、各自の興味関心に従って、より深く学ぶことができます。

③多様な心理学的知識の学習

実験心理学から臨床心理学まで、幅広く偏りなく学びます。

④新たな知識を「産み出す」ためのメソッド

知識を産み出すための方法を講義や実験で体得し、ツール（統計、英語）もしっかり学びます。

⑤実践的科目の充実

実践的・実習的な演習科目も用意されており、リアルな学びが得られます。

以上のように、心理学類では、学生の皆さんひとりひとりの興味・関心に応じて、こころと行動への多様なアプローチを身につけることができます。講義や少人数での演習もたくさん用意され充実しています。

2年生の心理学実験の授業です。学生と年齢の近い新進気鋭の若手教員から、具体的な研究方法を習い、そのあと実際に自分たちでやってみます。



学生は実験実施者になって実験の教示を行ったり、実験協力者になって実験課題を遂行したりします。

心理学への招待

金井 雅仁

心理学類
(平成21年度入学)
出身校：常総学院高等学校



「心理学やっています。」というと、「人の心読めるの?」と聞かれることがあります。何もしていないのに「私の心、勝手に読まないでね!」と釘をさされることがもししばしば…。ですが残念なことに、心理学では人の心を読めません。そもそも「心理学=他人の心を読む」という認識が心理学に対する大きな誤解なのです。心理学とは科学であり、人間の心を科学的に探知しようとする学問です。人の心について考えることはあっても、ふだんの生活の中で相手の心を読んだり、その人の考えていることを当てようとしたりすることはまずありません。多くの場合、実験や調査、面接などにより得たデータを統計的に分析し、そこから人間の精神活動に対する科学的な知見を得ることを目的としています。

また、心理学と聞くとカウンセリングのイメージを持つ方も多いと思いますが、心理学で取り扱う領域はこれだけにとどまらず、知覚、認知、行動、対人関係、発達、心理測定など様々なものが心理学の対象になります。

筑波大学の心理学類では、多様な領域の心理学を学ぶことができます。そのため学生の興味もいろいろで、同じ心理学類の学生でも人それぞれ全然違う「心理学」に興味を持っていると言ってもいいくらいです。皆さんもこのような夢あふれる環境の中で、人間の「心」の探求をしてみたいいかがでしょうか。

卒業後の進路

心理学類生たちの進路について紹介しましょう。筑波大学で心理学を学んだ卒業生たちは、社会のさまざまな分野で活躍していますが、卒業後の進路は、大学院などへの進学と社会に出て職に就く就職とに大きく分かれます。

進学の場合、ほとんどが大学院への進学になりますが、学士入学で大学に入り直す人や、資格を取るために専門学校に進学する人もいました。大学院へ進学する場合、博士課程前期あるいは後期を終えると再び進路を決定しなければなりません。大学院修了後の見通しをもって進学することが望まれます。

就職は、(1) 企業／団体、(2) 公務員等、(3) 教員 の3つに大きく分かれます。企業には製造業からサービス業までいろいろな業種があります。卒業生たちは、営業職から人事担当まで、いろいろな部署に配属されているようで

す。公務員には国家公務員や地方公務員があり、心理職で受験する人も行政職で受験する人もいます。教員については、県の教員採用試験を受ける人、私立学校の教員となる人がいます。公務員試験や教員採用試験はかなりの狭き門ですが、強く決意してその道を目指した学生たちの多くは、夢を実現させています。

現代では、同じ職場で一生涯働き通すということが一般的ではなくなりつつあります。卒業後、3年、5年、10年と月日がたつと、就職した人が転職したり、大学院に進学した人が修了後に教員になったり、就職した人が大学院に入り直したりと、進路が変わっている可能性も高いのです。心理学類に入学したからといって、就職先が確保されるわけではありません。また就職先が限定されるわけでもありません。大学生の進路は、本人の努力次第で無限に広がります。心理学を大学で学んだからといって、必ずしもそれだけにこだわる必要はありません。心理学は、自己理解と他者理解に役立つ学問ですから、人と人がかかわる多様な場面に役立てることができます。学んだ知識と方法論はあらゆる職場で活用できるはずですよ。皆さんも、働く人生の夢と希望を、心理学を学びながら育てていってください。

資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館に関する科目」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

また、公認心理師受験資格が取得可能な教育体制を整えています。

取得できる資格

教員免許

高等学校一種免許状（公民）

心理学関係

認定心理士（社団法人日本心理学会）

社会教育主事、学芸員、司書教諭

卒業研究発表会が終わった後の4年生は、ホッとする気持ちとやり遂げた達成感とで誰もが笑顔になります。自分が知りたいと思うことを研究によって明らかにし論文にまとめる。これが4年間大学で心理学を学ぶことの意味です。これは教育機関と研究機関を併せ持つ大学という場所ではできません。



卒業研究発表会では、学会発表とほぼ同じ形式で発表と質疑を行います。



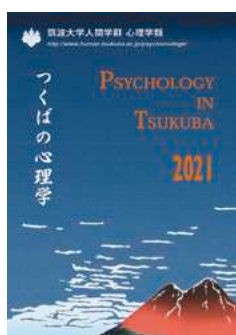
池と芝生と広場に隣接する研究棟で、心理学の実験を行います。



つくばの心理学

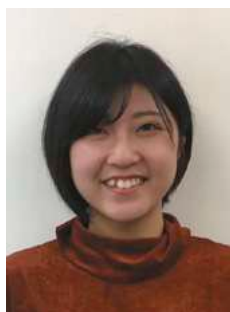
心理学類の全教員が執筆している「つくばの心理学」という小冊子があります。各教員の研究活動や関連した知見をわかりやすく紹介した研究アラカルト、心理学類の教員が選んだお薦めの図書など、筑波大学で心理学を学びたいと思っている高校生の皆さんにはぜひ読んでいただきたい一冊です。

従来「つくばの心理学」は印刷物として配布してきましたが、2021年版からは、デジタルブックとして心理学類のホームページに掲載されています。いつでもどこでもネット上で読むことができますので、ぜひご覧ください。



「つくばの心理学」

心理学類をめざすみなさんへ 先輩たちからのエール



金田 日菜子さん

私は、感覚知覚心理学の中でも特に“嗅覚心理学”が学びたいということ、幼少期から続けてきた剣道をレベルの高い環境でさらに磨きたいという2点から筑波大学への進学を決めました。体育会剣道部に所属していたということもあり、生活自体は授業と部活動がほぼ占めていたのですが、だからこそ限られた時間の中で自分のやりたいことにも専念することが出来た4年間でした。卒業研究では、香水を用いてニオイの感じ方の個人差についての研究を行いました。

大学生生活は自分次第でどんな4年間にするかを選ぶことができます。4年間でどんな自分になりたいのか？何をしたいのか？ということを確認して充実した毎日を過ごしてください！



高橋 萌子さん

筑波大学の心理学類は、文系理系の枠にとらわれず試験科目が選べて、多くの受験生に門戸を開いているのが特徴です。また、大学に入ってから、幅広い分野の心理学を学び、その中から自分の専門を選ぶのも大きな魅力だと思います。

心理学は、ポジティブなこともネガティブなことでも、日常のさまざまな経験が活きる学問です。心理学類では、自分の経験の中で、疑問に感じたことを学び、研究することが出来ます。心理学類を目指している高校生の皆さん、受験勉強は辛いこともあるかと思いますが、皆さんが筑波大学で自分の興味、関心をもとに心理学を学べることを心から願っています。



坂本 和奏さん

私は心理学に漠然とした関心があり、筑波大学に入学しました。筑波大学では、幅広い分野の心理学を学ぶことができるので、勉強していく中で自分の関心を見極めることができます。

また、筑波大学では他学類の授業を受講することが可能ですので、様々な知識を得ることができます。

そして、学問だけではなく、サークルやバイトなどたくさんの経験を積んで、友人や先輩後輩などと充実した生活を送ることができます。

みなさんもぜひ、心理学類で充実した日々を過ごしてください。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	人間のこころと行動に高い関心と興味を持ち、さらには、人間を深く理解しようとする探究心を持ち、自主的に学び、考え、科学的、論理的かつ実践的な問題解決能力を培う意欲のある人材。
入学までに学んでほしいこと	高等学校での学習内容を深め、特に英語書籍・論文を理解できる英語力を習得していること、自分の考えを明確に伝える日本語および英語の表現力を高めておくことが望ましい。
個別学力検査等（前期日程）※	広い基礎学力と英語に加えて、国語、数学、地理歴史、公民、理科いずれかの学力を総合的に評価します。また、集団討論において、応答性、論理性、協同性等を評価します。
個別学力検査等（後期日程）※	広い基礎学力を評価します。また、集団討論において、応答性、論理性、協同性等を評価します。
入学者選抜方針	推薦入試（大学入学共通テストを課す） 一定レベルの学力を有し、人間のこころと行動について明確な目的意識を持つ人材で、心理学類の教育に適応性があるかどうかを評価します。または、人間のこころと行動について、旺盛な知的好奇心を持ち、それに関連する自主研究や部活動、社会活動等において優れた実績を有するかどうかを評価します。
国際バカロレア特別入試	国際バカロレア試験において一定レベルの成績をおさめ、心理学類の学習に関して明確な目的意識を持ち、心理学の領域において国際的視野に基づく活動を志す人材を選抜します。
私費外国人留学生入試	心理学類の学習に高い関心を有し、入学後の授業に適應できる理解力・思考力・日本語運用能力を有する人材を選抜します。

※一部変更する可能性があります。詳細は募集要項でご確認ください。



【人材養成目的】

乳児から高齢者までの感覚、運動、認知、言語などの機能の障害、健康や高齢・発達に関わる障害、障害をめぐる環境や社会・文化的課題に関する基礎的知識と支援方法を、教育・心理・福祉・医療などの領域から総合的に身に付け、共生社会の創造に貢献する、国際的に通用する能力をもつ人材を養成します。

「障害科学類」は、障害を科学し、人間の本質を探究し、人類と社会に貢献する人材を育てる、わが国では他に類を見ないユニークな学類です。障害のある人々への具体的なサポート、その基盤となる基礎的な研究、そして人間の本質そのものを探究します。

障害科学類の歴史は、1951(昭和26)年に国内最初の障害児教育の教育研究機関として設置された東京教育大学教育学部特殊教育学科にさかのぼります。その遺産は、筑波大学では人間学群心身障害学主専攻に継承・発展され、2007(平成19)年度からは人間学群障害科学類として新たに発足しました。

障害科学類は、すべての障害を専門とする国内で最大の教員数を擁していますので、年齢では乳幼児期から高齢期まで、機能的には学校教育から障害福祉まで、教育学・心理学・病態生理学を融合した高度で先進的な総合科学を学ぶことができます。また、障害のある子どもをもつ親の方々や学校の教員に対する相談やサポート、子どもに対する臨床的指導など、優れた社会的貢献も行っています。障害のある人々たちへの具体的なサポート、その基盤となる基礎的な研究、人間の本質の探究に興味がある人には、魅力ある学類といえるでしょう。

障害科学類の特徴

- 学生の関心や目標に応じた3つの履修モデル
- 特別支援学校教員免許状では、5つの教育領域（視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱）すべてに関する免許の取得が可能
- 社会福祉士国家試験受験資格の取得が可能
- 教職免許 特別支援学校／高校(福祉)／その他、小学校・中学校・高校の教科

カリキュラムの特徴

3つの履修モデルと取得可能資格

障害科学類では、学修の参考のためにいくつかの履修モデルを示しています。履修モデルは、その通りに授業をうけなければならないものではありません。ただし、資格と関係する履修モデルは、必要科目が過不足なく含まれていますので、モデルが基準になるでしょう。履修モデルを基に、学ぶ人の希望と意欲に沿った学修計画を立て、自主的に学ぶことになります。

		主な授業科目
専門基礎科目		障害科学Ⅰ・Ⅱ、障害科学実践入門、障害科学セミナー、障害科学研究法入門、障害科学研究法実習、心理学概論、心理学統計Ⅱ、教育基礎論、学校の経営・制度・社会、障害者教育基礎理論、障害原理論Ⅰ、障害者福祉論Ⅰ・Ⅱ、Current Topics in Disability Sciences など
専門科目	障害科学履修モデル	視覚障害生理病理特講、聴覚障害生理病理特講、肢体不自由の生理病理、病弱者の生理病理、知的・発達障害生理病理特講、視覚障害と心理、聴覚障害と心理、言語障害と心理、運動障害と心理、知的・発達障害と心理 など
	特別支援教育学履修モデル	視覚障害指導法、視覚障害自立活動、聴覚障害児の教育と指導法、聴覚障害自立活動特講、言語障害児の指導法、運動障害教育学、運動障害の指導法、知的障害自立活動指導法、知的障害学校教育論、特別支援教育実習 など
	社会福祉学履修モデル	社会福祉原論、相談援助の基盤と専門職Ⅰ・Ⅱ、相談援助の理論と方法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、医学概論Ⅰ・Ⅱ、社会保障論Ⅰ・Ⅱ、児童福祉論、就労支援サービス論、権利擁護と成年後見制度、地域福祉の理論と方法Ⅰ・Ⅱ、ソーシャルワーク演習、ソーシャルワーク実習 など

人間学群パンフレットの請求方法

- 返信用の封筒（角形2号）を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には250円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「人間学群案内請求」と必ず朱書してください。

請求先 〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学人間学群事務局（学生募集要項の請求先とは異なります。）

- テレメールによる請求もできます（p.171 資料請求番号は792871）

●障害科学履修モデル

障害科学類の基本的な履修形態です。障害科学の全体的な理念・概念の理解を基に、障害科学が包含する特別支援教育、障害心理・生理、障害福祉等の全領域に関して、視覚障害学、聴覚障害学、言語障害学、運動障害学、健康・高齢障害学、知的・発達・行動・情緒障害学の基礎的な知識や技能を修得します。さらに、この分野を新たに開拓していくための研究方法の学修として、臨床研究、実験や調査、文献研究等で用いられる多様な技術の基礎を修得します。

●特別支援教育学履修モデル

わが国における特別支援教育に関わる先導的な研究・教育を担う専門家の養成を目指すものです。特別支援教育とは、これまでの特殊教育において培ってきた専門性及び新たに求められる専門性に依拠して、障害がある幼児児童生徒はもとより、さらに地域における発達障害などの教育的ニーズに応じた指導・支援を行うという、いわば新たな学校教育の枠組に基づく教育といえます。特別支援教育学履修モデルでは、障害科学類の充実した人的資源を活用して、特別支援学校教諭一種免許状に対応した豊富な科目群を設け、履修者に特別支援教育に関わる広い教養と深い専門性を身に付けさせることを意図しています。障害科学類では、5つの教育領域（視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱）すべてを担当できる特別支援学校教諭免許状の取得が可能です。4年間の在学中にすべての教育領域の免許が取得できる数少ない大学のうちの一つです。



●社会福祉学履修モデル

社会福祉学を探究するとともに、社会福祉士を目指す「社会福祉学履修モデル」を設定しています。現代の社会福祉が対象とする高齢者、障害児者、及び、家庭養育環境や発達に伴う生活問題を抱えた子どもたちについて、ノーマライゼーションという福祉理念を実現するための施策や援助方法を、包括的かつ科学的に学修します。また、従来の社会福祉学の枠組を越えて、「障害」をめぐる教育や医療・リハビリテーションとの連携について、社会福祉の現場実習を含めて融合的に学修します。指定された科目を履修することにより、社会福祉士国家試験受験資格を得ることができます。



在学生からのメッセージ

高野 惣一(障害科学類4年)

高校時代、大通りに沿って自転車で通学していた私は、そこで何度も目にする送迎バスに興味を惹かれました。高齢者や障害児が乗車するバスです。あのバスに乗っている職員たちはどんな仕事をしているのだろう？何を目標に仕事に取り組んでいるのだろう？という疑問でいた。現在、社会福祉学履修モデルで学んでいる私ですが、福祉に携わるために求められる理念や実践方法、児童や高齢といった様々な分野に触れることで、当時の問いを見つめ直そうとしています。福祉といっても幅が広過ぎて、例えば、「仕事×福祉」のように、当事者が働くことを福祉の側から支援する領域もありますし、「家族×福祉」といった、個人だけでなく集団を対象にする領域もあり、一見するとばらばらなのですが、実はそれらをつなぐ概念があるということも学びました。さらに、「障害のある人のきょうだい」や「虐待」といったキーワードひとつを取っても、様々な考え方を持っている人がこの学類には多くいます。先生も学類仲間もフレンドリーな方ばかりで、臆することなく意見のやり取りができます。皆さんが興味関心を率直に話してくれると新しい気づきにつながるので私たちも嬉しいです。ご入学され、皆さんと一緒に学べることを楽しみにしています。



中村 初音(障害科学類4年)

私は今、障害科学類に入ってよかったと思うことが2つあります。1つ目は、「障害」について自分はあまりに無知だったと気づけたことです。講義を受け、仲間たちと会話する中で、多様な経験や様々な考え方に触れる機会が度々あり、衝撃を受けるとともに障害に関する自らの理解不足を感じるようになりました。しかし同時に、社会に出てたくさんの人と接する前に、障害についてじっくり考える機会を得られたことが嬉しく、とても幸運だと感じています。2つ目は、障害科学類での学びを通して、自分の夢を再発見できたことです。入学当初、私は社会福祉士を目指していました。しかし、1年生の夏に特別支援学校を訪問し、その目標が変わりました。いきいきと楽しそうに学ぶ子どもたちや、生徒一人ひとりと向き合う先生方の暖かい眼差しを見て、私もここで障害のある子どもたちの成長に携わりたく強く思いました。いよいよ教育実習が始まる3年生の年になりましたが、授業での素敵な出会いと、特別支援教育履修モデルへの変更を後押ししてくださった仲間や先生方に心から感謝しています。

障害科学類は、温かく誠実な仲間たちと先生方に支えられながら、自分の学びたいこと、やりたいことにしっかりと向き合える学類です。みなさんの入学を、心からお待ちしています！



海外留学・海外研修

障害科学類では、筑波大学や人間学群で交流協定を結んでいる海外の大学に留学する機会を設けています。

アメリカ・オハイオ州立大学短期研修

山本 響平（障害科学類3年）

2年次にアメリカのオハイオ州立大学で行われた短期研修に参加しました。特別支援学校や研究施設の見学、大学での講義などを通してアメリカの特別支援教育や福祉について学びました。私は普段、大学で特別支援教育を学んでいますが、アメリカの特別支援教育について知り、日本と比較する中で問題意識が生まれ、学びに対する意欲を高めることができました。特に印象的だったのは特別支援学校の見学でした。教員以外に理学療法士、作業療法士といった様々な専門職が学校に勤務しており、コラボレートしながら教育が展開されていることを知り、感銘を受けました。自由時間には現地の学生さんたちの案内で市内をまわり、アクセシビリティの状況や健常者の障害のある人への態度など、実際に現地に行かなければわからない様々な発見をすることができまし、アメリカの文化に思う存分触れることができました。アメリカの特別支援教育について知りたい、英語力の向上、とにかく海外に行きたい…どんな目的であ



っても、確実に刺激的な体験ができます。高い英語力が無くても大丈夫なように様々なサポートをしてくれるのもこのプログラムの特徴です。ぜひ参加してみてください！

卒業後の進路

障害科学履修モデル

本学には障害科学に関するわが国で最も整備された大学院（人間総合科学学術院）があり、学類卒業後には進学することを勧めています。近年、障害関連職種での専門化が進み、大学院修了資格を有したより専門性の高い人材が求められています。進学以外の進路としても、一般社会での障害者の活躍が進み、そのための支援の充実が広がる中で、障害に関連した種々の職種の中で専門家としての知識・技能の発揮が期待されています。教職課程を履修すれば、教員免許状の取得も可能です。大学院では、学校心理士、臨床発達心理士などの申請資格を取得することが可能です。

特別支援教育学履修モデル

主として特別支援学校及び小・中学校などの特別支援教育担当の教員のほかに、国家公務員、地方公務員に就くことを想定しています。また、本学大学院（人間総合科学学術院）への進学も勧めています。学類と大学院との一貫したカリキュラムの履修により、進学者は専修免許を取得し、より専門性の高い教育者や研究者となることを目指すことができます。

卒業生からのメッセージ



伊藤 詩織（平成26年度卒）

私は千葉県にある聴覚に障害のある生徒達が通う特別支援学校で英語を教えています。聴覚に障害があるというと、全く耳が聞こえない生徒に教えている印象を与えるかと思いますが、実状は異なります。残っている聴力を活用する生徒やほとんど耳が聞こえない生徒など様々な生徒と一緒に学習しています。そのため、それぞれの生徒に合った表現方法や伝達手段が必要となり、日々の工夫が欠かせません。どうすれば英語を理解して好きになってもらえるか、と考えながら授業を行っています。試行錯誤の毎日が続いています。

しかし、このような教員生活の中でとても役に立っていることがあります。それは障害科学類で特別支援教育に必要な5領域（知的障害、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱）の内容を全て学ぶことができたことです。現在の特別支援教育は生徒一人一人のニーズに応えることが求められており、多様な視点から生徒を見る目が必要です。例え

ば授業一つを考えるだけでも、聴覚という観点からだけでなく、視覚的なこと、学習障害に関することなど他の障害領域と合わせて考えた方がよい場合が多くあります。その際、障害科学類での幅広い学びが、専門だけでは見えてこなかった可能性を示唆し、新しい授業の展開を模索するきっかけを与えてくれます。また、障害科学類では学生の中から実際の教育現場を見る機会がたくさんありますので、理論だけでなく実践的に学ぶことができます。そのおかげで生徒自身を見ることが大切であるという姿勢を作ることができ、今でも生徒と向き合うことを第一に生徒と関わっています。

今思い返すと、このように障害科学類での学びは、特別支援学校で勤務する私に大切なことを教えてくれるだけではなく、私を支えてくれる糧となっていると言っても過言ではなく、本当に魅力的な学類だと感じています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		人の障害や障害をめぐる様々な事象についての関心と問題意識、さらには、人間を深く理解しようとする探求心を持ち、自主的に学び、考え、科学的、論理的かつ実践的な問題解決能力を培う意欲のある人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		障害科学類では障害に関する様々な学問領域を学ぶ基礎として、英語のほか、文科系、理科系にわたる基礎教科について十分な知識と理解を得ていることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等 (前期日程)※	広い基礎学力と英語に加えて、国語、数学、地理歴史、公民、理科いずれかの学力を総合的に評価します。また、集団討論において、応答性、論理性、協同性等を評価します。
	個別学力検査等 (後期日程)※	広い基礎学力を評価します。また、集団討論において、応答性、論理性、協同性等を評価します。
	推薦入試	一定のレベル（高等学校の上位10％以内）の学力を有する者、または筑波大学の個別学力試験等に合格できる程度以上の学力を有する者で、障害科学について明確な目的意識と勉学への意欲を持ち、障害科学類の教育に適応性があるかどうかを評価します。または、障害科学についての問題意識を明確に持ち、それに関連する自主研究や部活動、社会的活動、並びに、障害のある学生としての学修活動上の工夫等において優れた実績を有するかどうかを評価します。そのほかに、外国語能力や問題解決能力等において国際的素養を有し、将来、障害科学の分野において国際的に活躍する資質を十分に有しているかどうかを評価します。
	国際バカロレア特別入試	障害科学類の学習に関して明確な目的意識と勉学への意欲を持ち、障害科学の領域において国際的視野に基づく活動を志す人材を選抜します。
	私費外国人留学生入試	人の障害や障害をめぐる様々な事象に対する関心と明確な問題意識を持ち、入学後の授業に適應できる理解力・思考力・日本語能力を有する者を選抜します。

※一部変更する可能性があります。詳細は募集要項でご確認ください。

社会福祉学履修モデル

指定された科目を履修することにより、社会福祉士国家試験受験資格を得ることができます。福祉系の国家公務員・地方公務員、社会福祉協議会、教員、障害者・高齢者・児童等の福祉専門職、シルバーサービス関連の一般企業等、福祉の専門性を生かした職種の中で、専門家としての知識・技能を発揮することが期待されています。もちろん、本学の大学院（人間総合科学学術院）への進学も可能です。

資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許

高等学校一種免許状（福祉）

特別支援学校教諭一種（視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱）

社会福祉士国家試験受験資格

注)教科「福祉」以外の教員免許と社会福祉士国家試験受験資格とを4年間で同時に取得することは、カリキュラム編成上、原則としてできません。



平成 22 ～ 30 年度卒業生（人間学群障害科学類）の進路

		人数	%	これまでの進路先
進学	筑波大学大学院	100	30.4	人間総合科学研究科（障害科学専攻、感性認知脳科学専攻）など
	他大学・大学院など	17	5.2	東京大学大学院、一橋大学大学院、日本社会事業大学大学院、国立障害者リハビリテーションセンター学院、お茶の水女子大学大学院、首都大学東京大学院、富山大学大学院など
	小計	117	35.6	
企業など		72	21.9	ソフトバンク、JCB、新日鉄エンジニアリング、JAL エクスプレス、スターツコーポレーション、東急リゾート、九州電力株式会社、全日本空輸株式会社、郵便事業株式会社、大和証券、みずほ銀行、三井住友銀行、常陽銀行、かんぽ生命保険など
教員		37	11.2	北海道特別支援学校、青森県特別支援学校、福島県特別支援学校、栃木県特別支援学校、埼玉県特別支援学校、東京都特別支援学校、千葉県特別支援学校、長野県特別支援学校、三重県公立中学校、長崎県特別支援学校など
公務員		48	14.6	東京都庁、青森県庁、福島県庁、埼玉県庁、千葉県庁、神奈川県庁、愛知県庁、富山県庁、岡山県庁、川崎市役所、横浜市役所、名古屋市役所、浜松市役所、法務省（家庭裁判所、保護観察官）、和歌山県警など
福祉系法人など		24	7.3	全国社会福祉協議会、東京都社会福祉事業団、東京都障害者スポーツ協会、高齢・障害・求職者雇用支援機構、筑波大学附属病院、福島県立医科大学附属病院、岩手県立医科大学附属病院
その他		31	9.4	
合計		329	100	

【人材養成目的】

生物界のシステム、生体機能のメカニズム、生命現象の本質、生物学の研究方法及び先端研究の意義を理解し、生物と関わる幅広い学問分野でグローバルに活躍する研究者、教育者、技術者、企業人など、先端科学と社会の接点となる人材を育成します。



菅平高原実験所での野外実習



下田臨海実験センターでの臨海実習

主専攻	分野	主な授業
多様性 コース	長い進化の結果地球上には多種多様な生物が存在し、それらが互いに影響し合いながら、地球の自然を構成しています。このコースでは、これら生命体がどのように誕生し、多様化したのか、どのような仕組みで存続しているのかを、生物集団、個体群、個体、細胞、生体高分子などの各レベルでの多様性をベースとして学びます。また、こうした生物の生活と環境が創り出す現象や法則も学ぶことができます。これらを通して生命とは何かを考え、地球市民としての自然観を磨いてもらいたいと思います。	植物系統分類学、動物系統分類学、微生物学、進化遺伝学、植物生態学、動物生態学
情報 コース	生物の集団・細胞・生体高分子の各レベルの研究から、構造・機能の多様性と普遍性に関する膨大な情報が蓄積されています。生物学のさらなる発展のためには、これらから有用な情報を抽出し有効利用しなくてはなりません。本コースでは、コンピュータの高度利用を前提として行われる先端の生物学研究の方法論を習得することを目標としながら、その基礎となる数理・情報科学の各種手法に対する理解も深めます。昨今コンピュータに秀でた生物学専門家の需要が高まっており、本コース修了者はこうした需要に応える人材となることが期待されます。	プログラミング、数理生物学、生物多様性情報学、分子進化学、ゲノム生物学、生物物理学
分子細胞 コース	生物の体の成り立ちや自然に適應する仕組みは大変見事で、私たちが驚嘆させます。どのようにして生命活動が成り立ち、生物個体が形成され、機能しているのでしょうか。また、生物が自分と同じ子孫をつくりつつも、一方で長い年月の間に進化していくのはどうして可能なのでしょう。そのような生命の基本的なしくみを理解することを目指して、遺伝子やタンパク質、細胞の機能に関して学習するのが「分子細胞コース」です。さらに、そこで得られた知識の発展として、基礎研究や人間社会に貢献するテクノロジーについても学びます。	細胞生物学、発生生物学、植物生理学、動物生理学、代謝生理化学、生殖生物学
応用生物 コース	生体が作り出す様々な機能分子とそれらを使ったダイナミックな代謝が生命を支えます。また、様々な環境で暮らす生物は、生存のために必要な多様な機能を備えています。「応用生物コース」では、生命現象を主に生化学的に解析することを通して、生命を支える分子の機能やその化学的制御機構に関する基礎知識を学ぶとともに、生物が備える生理・生態的機能についても学習します。生物の有用機能の開発・利用技術を学び、さらにこれらを活用することで、人類の直面している諸問題解決への貢献を目指します。	生物化学、生物活性化学、生体機能分子学、機能微生物学、動物制御学、植物バイオテクノロジー
人間生物 コース	人間は我々にとって最も身近で複雑な生き物です。「人間生物コース」では、一つの生物種としてのヒトに的を絞り、人間を制御する基本原理や法則を学びます。このコースの一部の授業は医学群や体育専門学群の教員によって行われますが、学習の目的はヒトを生物学的に理解することにあり、医学や医療科学の立場とは異なります。	人間生物学、神経解剖学、免疫生物学、寄生生物学、細菌学、ウイルス学、放射線生物学、人類学
GloBE (Global Biology in English) コース	今や生物学に関わる諸問題の解決には、国際協働チームの活躍が必要です。本コースでは、生物学の多様な分野を横断的に学び、国際的に活躍するために必要な英語によるコミュニケーション能力や考察力などを身につけることを目指します。専門分野や文化の垣根を越え、多様な研究者と協力することで、未解決な問題に挑戦できます。さらに、世界中の様々なフィールドを対象とした研究や生物試料の採集から、生物学の新発見なども期待できます。将来の生物学の旗手として必要な、広い視野と国際的感覚を身につけてください。	Plant Taxonomy I, Plant Physiology I, Genome Biology I, Vertebrate Evolution, Molecular Evolution I, Cell Biology III, Developmental Biology II

生物学類パンフレットの請求方法

- 学類のWeb ページ (<https://www.biol.tsukuba.ac.jp/cbs/>) でもパンフレットのPDF ファイルを見ることができます。
- テレメールによる請求もできます (p.171 資料請求番号は561291)

専門として学べる内容

2年次から、多様性コース、情報コース、分子細胞コース、応用生物コース、人間生物コース、GloBE(Global Biology in English)コースの6つのコースに分かれます。一部の授業を除けばどのコースの授業もほぼ自由に履修できます。

カリキュラム

生物学とは「生物及び生命現象を研究する科学」です。生物学では、DNAのようなミクロなものから生物群集といったマクロなものまで、その対象はさまざまであり、生理学、生態学など、アプローチの仕方もいろいろあります。しかし、その根底に「いきもの」があるという点でどれも共通しており、生物学を学ぶならばどんな分野であっても生きている生物そのものを見ることを忘れてはいけません。そのため、実験や実習においてさまざまな生物に直接に触れ、その生物の生きている姿を見ることはとても大切です。また対象とする生物について、さまざまな面から考えることが必要であり、基礎生物学を中心に、将来自分が専門とする分野以外についても学ぶ必要があります。筑波大学生物学類には、これらを実現するための環境が整っています。

特長

1年次から生物学を学べるカリキュラム

1年次では必修の講義（概論6科目：系統分類・進化学、分子細胞生物学、遺伝学、生態学、動物生理学、植物生理学）と基礎生物学実験があります。これにより生物学の基礎を身に付けるとともに生物学の本当の面白さを再発見し、専攻分野をしぼっていくきっかけをつかむことができます。

6つのコースからなるユニークなカリキュラム

生物学類は、多様性コース、情報コース、分子細胞コース、応用生物コース、人間生物コース、GloBEコースの6つのコースを設けています。1年次で自然科学及び生物学全般にわたる基礎的知識と技術を学び、2年次から学生の希望によりいずれかのコースを選択して専門科目の履修を始めます（人間生物コースには人数制限があります）。これらのコースにおいて開講されている各授業科目は、基本的に講義と実験から構成されています。また充実した設備

をもつ下田臨海実験センターや菅平高原実験所などを利用したさまざまな野外実習も開講されています。さらに、通常の授業科目ではカバーしきれない、魅力ある個別的なテーマを取り上げた生物学の特講も多数開講されています。3年次後半には特定のテーマに関して多数の論文を読んで知識を深める生物学演習を行い、4年次の卒業研究へと発展させます。教員や大学院生とともに過ごす研究室での生活やセミナーを通じて議論の仕方や論文の読み方を修得し、生物学の研究方法を身につける卒業研究によって、生物学の本当のおもしろさを知ることができます。

世界にはばたくための英語教育

生物学に関する論文や専門書のほとんどは英語で書かれており、英語は必要不可欠なスキルです。そのため、生物学類では4年間一貫して英語の授業が必修となっています。特に、3年次では少人数（1人の教員に4～8人の学生）で授業を行うため、きめ細かい指導が受けられます。1～3年次に、生物学類専属の外国人教員が担当する授業があり、聞き取る力や話す力を強化します。

英語プログラム

生命環境学群では、外国人留学生に英語で授業を提供する学際プログラムを行っています。生物学類では日本人学生も一緒に30科目以上の授業を受けることにより、専門性と同時に国際性も身につけることができます。

豊富な実験・実習

実験・実習が数多く開設されており、1年次の基礎生物学実験から4年次の卒業研究まで、4年間を通じて実験・実習に参加できます。また野外実習は、下田臨海実験センター、菅平高原実験所、長野県八ヶ岳などで行われ、自然の中で本物の生物に触れながら学習できます。

充実した基礎生物学

系統分類学・生態学など基礎生物学分野（特に生物多様性分野）が充実しており、これらに関する講義や実験・実習が数多く開設されています。またゲノム生物学など、近年目覚ましく発展している先端分野も充実しています。



基礎生物学実験

多様な生物学分野

応用生物化学・農林学・医学・体育学を専門とする教員も授業を担当しており、農学や医学との境界領域など、幅広い生物学分野を学べます。

早期卒業制度

3年間以上在学すれば、希望によって早期に卒業できる制度があります。もちろん卒業に必要な規定単位数を優秀な成績で取得していることが前提です。1年次からしっかり学習計画を立てて勉学に励むことが求められます。

研究マインド応援プログラム

学習・研究に対する意欲と能力により選ばれた1～3年生は、教員と大学院生のサポートのもと、希望する研究室で独自の研究テーマを追究できます。

国際交流

生物学類では国際交流委員会を組織し、学類レベルでの国際交流を推進しています。特に1999年に国際的にも著名な英国のマンチェスター大学生物科学部と学部間交換学生協定を結び、毎年3名の学類生を1年間マンチェスター大学に派遣し、またマンチェスター大学からの留学生を受け入れています。2013年にはフランスのパリ第13大学とも協定を結び、学生交流を始めました。この留学制度には、大学の入学金と授業料が免除される、大学の学生寮に居住できる、単位措置によって休学の必要がない、などの様々な特典があります。また米国のカリフォルニア大学、バデュー大学など、筑波大学が大学間交流協定を結んでいる多くの大学への留学を奨励するとともに、積極的な支援を行っています。



生物学類発行の
オンラインジャーナル
(<https://www.biol.tsukuba.ac.jp/tjb>)
教員や先輩からのメッセージ、
研究紹介などが掲載されています。

卒業生からのメッセージ



生態学実習で木登りに挑戦

おいでよ せいぶつの森 遠藤 愛

筑波大学を志望した理由は、緑豊かで生物の多いキャンパスであることと、教職課程が充実していることでした。今振り返って見ても、当時のこの判断は正解

でした。

毎日、ヒキガエルの鳴く池の脇を抜けてキャンパスへ通いました。生理学の実験は、まず解剖する為のミミズを採集することから始まりました。土の中でくねっていたミミズから、教科書にある記述が再現されるのが、面白く不思議でした。卒業研究も、ウニの採集から始まりました。発生させた多くの命を犠牲にデータを得てゆく、生物学の過程を知りました。また、学生生活では生物を愛する奇矯な友人達に恵まれました。学内で採集したキノコや木の実を調理して食べたのも、決して勤めませんが、とても楽しいものでした。振り返ると、学生生活はプライベートまでみっちり生物で満ちていまし

た。

一方で、教員免許取得を目指す友人達と学んだ、教職課程も充実した日々でした。ハードな時間割でしたが、地球学や教育学など、一味違う学問を学べました。生物学類でインプットを深めつつ、教職ではアウトプットを議論できたのは貴重な経験でした。筑波大学は東京師範学校を前身とするため、付属校での教育実習などサポートが充実しています。本気で教員を目指す人にとって、納得のいく教職課程を過ごせるはずですよ。

私は教員志望で入学しましたが、本当にやりたいことは多くの人に科学の楽しさを伝えることだと就活の前に気づきました。そうして現在は出版社で科学教材の編集に携わっています。仕事では科学の魅力を、どうパッケージすれば人々に届けられるかを日々考えています。生物や教職の知識はもちろん、何よりも自分自身が科学の楽しさを体験して知っている、ということが力になっています。そういう意味では、つくばでの生物で満ちた日々が仕事の原点と言えます。

皆さんが、生物でみっちり満ちた日々を楽しんでいただけることを願っています。



生物学類へようこそ 生物学類長 中野 賢太郎

生物学は実に不思議な学問です。生命の基本原則について宇宙や物質の根源を調べるように追求する生物学もあれば、自然界における生命の多様性と成り立ちを網羅するのを目指す生物学もあります。また生物学を学ぶ目的も、地球史や地球環境との生命の関わりや、ヒトの生理や思考を解明したり、人間社会に役立つために医学や生物資源学（農学）あるいはバイオミミクリー（工学）などに関連する生命科学技術の開発だったり様々です。しかし、これらが相互に結びつくと、より豊かな成果が期待できます。例えば、ナチュラリヒストリーに長じた人材が農業や工業分野で活躍すれば、自然と共存する持続型社会の実現に貢献できるでしょう。また生物学の守備範囲をはみ出しますが、脳科学に秀でた人物による料理など、どんな味いになるのか期待できそうです。

専門性を極めることは大切ですが、生物の進化と絶滅の歴史がそうであったように、特化しすぎることは環境の変化への適応力を失うことになりかねません。大学では専門性と同時に、多様な問題に取り組めるよう、柔軟な思考法の修得についても気にかけてみてはいかがでしょうか。生物学はそのために最適な学問の一つです。

資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許

中学校一種免許状（理科）

高等学校一種免許状（理科）

社会教育主事、学芸員、司書教諭

卒業後の進路

各コースは相互に補いあい、関連性のある教育を行えるように配慮され、生物学の発展を推進する人材はもとより、生物学を基礎として他の諸科学との学際的領域で活躍し得る人材の養成を目指しています。本学類では卒業生の約8割が生命地球科学研究群等の大学院に進学します。その後、生物学の幅広い学問分野の研究者・教育者、企業人、理科教員、先端科学と社会の接点となる人材として活躍しています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		生き物や生物学が好きで、自然科学と語学の基礎学力をもち、広範で多様な生命現象に対して強い好奇心と探究心をもつ、創造的能力が豊かな人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		高等学校の生物の内容を十分に理解していること。また、授業は英語で行われることもあるため、十分な英語の読み書き会話の能力を有していること。さらに、ホームページや電子メール等からの情報の取得、パソコンを用いた文章・表作成などが必要となるため、それらの操作に習熟していること。
入学者選抜方針	個別学力検査等 (前期日程)	文科系・理科系にわたる全般的な基礎学力、高い語学力、自然科学系科目の高度な理解力、高度な思考力、そしてその応用力を総合的に評価します
	個別学力検査等 (後期日程)	文科系・理科系にわたる全般的な基礎学力、高い語学力、生物界や生き物の仕組みに対する広い興味と高い学習意欲、高度な思考力、そして理解力を総合的に評価します。
	推薦入試	高等学校における学習及び課外活動の成果やそれらを通じて培われた生物界や生き物の仕組みに対する広い興味と理解度、そしてそれらを学ぶ意欲、さらには人間性も含めて総合的に評価します。
	AC入試	生物界や生き物の仕組みに対する強い興味を持ち、自ら設定したテーマに関してユニークな研究をし、その結果を分析して、独善的な考えに陥ることなく、科学的及び論理的にレポートにまとめ、それを具体的に発表する能力を評価します。
	国際科学 オリンピック 特別入試	国際生物学オリンピックに出場した者、またはその代表者選考会等において一定の成績を収めた者を対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を評価します。
	国際 バカロレア 特別入試	国際バカロレア資格を取得した者を対象として、生物界や生き物の仕組みに対する広い興味と理解度、それらを主体的に学ぶための知識や思考力、明確な目標を持って学ぶ意欲、さらには語学力を含めたコミュニケーション能力を重視して、総合的に評価します。
	帰国生徒 特別入試	海外生活での経験を活かしたグローバルな視点から生命現象をとらえ、生物界や生き物の仕組みに対する広い興味をベースに優れた思考力や理解力を発揮できる能力と生物学類の授業を理解するために必要な基礎学力等を総合的に評価します。
	私費外国人 留学生入試	生物界や生き物の仕組みに対する広い興味と学習意欲、生物学類の授業を理解するために必要な基礎学力および日本語能力等を総合的に評価します。
	編入学試験	生物界や生き物の仕組みに対する広い興味と高い学習意欲、高い語学力、専門的な生物学教育を受容できる基礎的な学力、高度な思考力と理解力を総合的に評価します。
	(1) 求める人材 人間を含む多様な生物の生命現象・地球環境・生物資源の持続的活用等に関わる諸問題に対して学問的な関心を示し、多様な観点から事象を分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、生命環境科学分野の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。	
私費外国人留学生 特別コース入試 (編入学)		(1) 求める人材 人間を含む多様な生物の生命現象・地球環境・生物資源の持続的活用等に関わる諸問題に対して学問的な関心を示し、多様な観点から事象を分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、生命環境科学分野の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。

【人材養成目的】

人類の生存と安全で豊かな生活の基盤である生物資源に関する総合的学習を通じ、地域のかつ地球的視野で、食料の安定供給ならびに環境と調和した生物資源の持続的な開発・保全利用に貢献できる人材を育成します。



つくば機能植物イノベーション研究センターでの実習



学生実験

「生物資源学（農学）」とは何でしょうか？日本学術会議は、「食料や生活資材、環境を対象として、① 生物資源の探索・開発・利用・保全、② 農林水産分野の生産基盤システムの高度化、③ 農林水産分野の多面的機能の保全・利用、を目的とする基礎と応用からなる生命科学系の総合科学である」と定義しています。「総合科学」というからには、それを支えるための幅広い基礎を身につける必要があります。また解決すべき問題を見だし、基礎と連携した専門的な手法を用いてそれらに対処する応用力も獲得しなければなりません。農学の特殊性には「ローカル性」もあ

ります。気候や地域などによって生産性や収獲物が異なるため、農学はこのローカルな視点を大切にします。一方、世界的な環境問題や食料難など、地球規模の課題も数多くあり、ここで求められるのはグローバルな視点です。このように農学を志すのは実は大変なことで、「農学は他の学類生の2倍勉強しなければいけない」と言われたものです。しかし安心してください！大学生には誰にも邪魔されない自由な4年間があります。「責任と義務」を自覚しつつ、「自由」を謳歌し、農学・生物資源学の発展に貢献して下さい。

学 年	コース・研究室決定のスケジュール	履修スケジュール
1年次	クラスに所属します。クラス担任などから履修・進路選択についてのアドバイスを受けます。	「生物資源科学実習」「生物資源科学演習」「生物資源にみる食品科学・技術の最前線」「生物資源の開発・生産と持続利用」「生物資源と環境」「生物資源としての遺伝子とゲノム」などの必修科目を通じて、生物資源科学とは何か？、何が問題になっているのか？、について学びます。生物資源学に関わる多様な専門基礎科目の修得によって幅広い能力をもつ専門家としての基礎を築きます。
2年次	2年次末に専門コースの選択を行います。（農林生物学・応用生命化学・環境工学・社会経済学の4コース）	各コースが開設している専門科目Ⅰからの履修を行うことで、専門のための手法を身につけていきます。希望コースの科目を中心に履修を組み立ててゆきますが、様々なコースの専門科目や横断領域科目を修めることで幅広い知識を身につけることができます。
3年次	所属コースごとのクラス編成となります。後半には指導教員の仮決定を行います。	コース開設の専門科目Ⅱの履修を行います。これにより卒業研究など専門的学術研究を行う上での知識・技能を確立します。3つの横断領域科目の履修を行うことにより、コースの専門性にとらわれない学際的な知識を養うこともできます。
4年次	卒業研究	指導教員によるマンツーマンの指導のもとで卒業研究を行い、問題解決を目指す道筋の立て方を学ぶとともに、研究手法や高度な専門知識・技術を習得します。また、専門科目Ⅱ・横断領域科目の履修を引き続き行います。

生物資源学類パンフレットの請求方法

- <https://www.bres.tsukuba.ac.jp/> からダウンロードできます。
- テレメールによる請求もできます (p.171 資料請求番号は561531)

専門として学べる内容

学生は1・2年次に基礎を学んだ上で、3年次からは手法に基づく4つのコースの中の1つに所属し、専門的な研究をしてゆきます。これらの専門科目には、講義のみならず演習・実習科目が含まれ、専門的な技能・研究能力を身につけるために、それらを修めることが求められています。

またコースに所属しながらも、対象にこだわる学生には、食料・環境・国際の3領域の科目群が用意されており、問題解決を意識した研究を進めることもできます。

こうしたコースや領域で用意した科目に加えて、他学群・他学類の科目も含めた多くの授業の中から、学生は自身で授業を選び、カリキュラムを組み立ててゆきます。

3つの横断領域科目

- 食料領域科目群：人類の生存にとって欠くことのできない食料に関わる科目群
- 環境領域科目群：身のまわりの環境から地球環境まで、生物資源に関係する環境問題に関わる科目群
- 国際領域科目群：開発途上国の農林業生産や農村問題に関わる科目群

各コースの内容・特色

農林生物学コース

生物学および生命科学を基礎として、生物資源とそれを取り巻く環境資源の多様性を分子、個体、集団および生態系のレベルで究明し、食料の持続的生産や生産環境と生態系の持続的保全管理と利活用に役立つ理論と技術を習得した人材を育成します。

研究室

蔬菜・花卉学、果樹生産利用学、植物育種学、動物資源生産学、作物生産システム学、森林生態環境学・地域資源保全学、植物寄生菌学、応用動物昆虫学、食資源利用科学、代謝ネットワーク科学、植物遺伝情報解析学

応用生命化学コース

4つのサブコースに分かれ、化学および生命科学を基礎として、生物の機能を個体から、細胞・遺伝子・分子のレベルで究明し、医療、食品、農業、環境等の分野で活躍する人材の育成を目標としています。

研究室

植物機能生理化学、天然物化学、土壌環境化学、植物環境生化学、生体成分化学、昆虫情報化学、構造生物化学、ゲノム情報生物学、生体情報制御学、食機能探査科学、食品機能化学、分子発生制御学、微生物機能利用学、負荷適応微生物学、産業微生物資源学、生物プロセス工学、生物反応工学、細胞機能開発工学、生体模倣化学、環境分子微生物学、微生物育種工学、糸状菌相互応答学

環境工学コース

工学的な視点から食料問題や環境問題の解決に取り組みます。生物資源の基盤である山・水・農地の利用と管理、生態環境の保全と修復、生物資源の循環利用について学びながら、広い視野に立つて合理的に問題を解決できる社会人を目指します。

研究室

砂防工学、衛星リモートセンシング、水圏環境工学、社会環境工学、水資源管理工学、環境コロイド界面工学、土壌物理学、農業機械・ロボット工学、木材化学・木材加工学、環境材料科学、応用高分子化学、農産食品加工学、食品工学、食品・生物資源プロセス工学、バイオマス変換利用工学

社会経済学コース

農業経済学と林業経済学の2つの学問領域から構成され、社会学と経済学を基礎に、農地や森林・林地の管理、さらに食料や林産物の生産・流通・消費とそれを担う人や企業について学び、農林業に関する社会や国際関係のあり方、環境保全、国際協力について考究します。

研究室

生物資源経済学、国際資源開発経済学、農業経営および関連産業経営学、農村社会・農史学、森林資源経済学、森林資源社会学

注記 コースの選択は学生の希望によりますが、各コースの定員の上限は60名（1学年の人数の約半数に相当）です。各コースの希望者数が上限を超えた場合は、2年次までの成績で振り分けを行います。

教育の特長

教育のグローバル展開

生物資源学類は、国際化拠点整備事業として開設された、英語で授業を行う「生命環境学際プログラム」を実施しています。また、タイ王国カセサート大学、アメリカ合衆国ユタ州立大学、フランス共和国ボルドー大学、国立台湾大学と単位互換可能な相互留学制度（4～12ヶ月間）を実施するなど、国際的視野を養う授業が豊富で、希望によりこれらの授業を履修することが可能です。

特色あるインターンシップ科目

生物資源学類には、海外の協定校での実地体験やJICA筑波国際センターでの研修を単位として認定する「国際農業研修」、食・みどり環境の活動や研究所・工場体験に参加する「食と緑のインターンシップ（農林生物学・環境工学）」など、大学で学んだ専門知識や技術の社会での適用を試みる特色あるインターンシップ科目があります。

学類長からのメッセージ



生物資源学類長
菅谷 純子

生物資源学類を志す皆さんへ

近年、地球上では、環境問題や食料問題などの課題がより身近に感じられるようになってきています。これらの生物資源に関わる課題を解決するためには、農学や森林科学、応用生命化学、環境工学、社会経済学などの分野から多面的にアプローチし、それらを統合して考える総合科学が必要です。生物資源学類では、多様な生物資源を理解し、地球規模の課題から分子レベルの課題まで、広い視野と高い

専門性を持って取り組むことができる人材の育成を目指しています。そのために、さまざまな分野の講義、フィールドやラボにおける実験や実習、海外への留学や留学生との交流などによる教育を行っています。この学類で学ぶことで、それぞれが自ら未来を描き実現するための基盤を作っていけるよう期待しています。皆さんと一緒にがんばっていききたいと教職員一同ご入学をお待ちしています。

先輩からのメッセージ

農林生物学コース 本田 悠理子

大入学後、専門科目の授業を通して、作物の育種に興味を持ちました。農林生物学コースでは作物の育種技術についてはもちろん、育種を理解するうえで重要な作物の生理や生態など様々な分野を幅広く学ぶことができるため、このコースに進学しました。

私はトマトの収量増加を目標として、果実肥大について研究をしています。所属研究室ではある遺伝子が増えることにより、トマトの果実肥大が強化されると考えられている変異体を所有しています。しかし、その変異体の果実肥大がどの程度強化され、優れた育種材料として利用できるのかということについては不明でした。卒業研究では、変異体を栽培して収量や果実の表現型などを調査し、遺伝子の変異によってトマトの果実肥大がどの程度強化されるのか、その変異体が果実肥大を強化した品種開発のための新たな育種材料となり得るのかということについて評価を行いました。

生物資源学類には幅広い専門分野があり、それぞれの研究室で多種多様な研究が行われています。幅広い分野の知識を身に付けることができるだけでなく、より深く掘り下げて学ぶことも可能です。まずは幅広く様々な知識を身に付け、たくさんのことを学んでみてください。入学して間もない頃は漠然としていても、生物資源学類で多くのことを学ぶにしたがって、きっと興味や関心のある分野が見つかるはずです。そしてその興味や関心を突き詰め、学生生活を充実したものにしてほしいと思います。

環境工学コース 広田 恭子

高校生の頃より食料や環境問題に興味があり、将来はエンジニアとして国内外で活躍したいと考えて生物資源学類に入学しました。環境工学コースを選択したのは、山・水・農地といった農業の基盤を工学的かつ幅広い視点から学ぶことにより、世界を見渡しながら専門的技術を身につけられると考えたからです。

学類では、生物資源環境工学研究室で「水田水管理の可視化」について研究しました。修士課程では、連携大学院制度を利用し、国立の研究機関でも研究に励みました。研究学園都市であるつくば市は、様々な機関と共同研究を行いやすい魅力的な環境です。また、環境工学コースの先生方は学生との距離が近く、わからないことがあれば他の研究室の学生でも丁寧に教えてくださいます。

私は現在、農業機械メーカーのエンジニアとして、海外における農作物収量の向上を目指し、毎日全力で、かつ楽しみながら働いています。環境工学コースで多様な視点と論理的に思考する習慣を身につけたことが、今の仕事を行う上で大変役に立っています。

生物資源学類は多様な分野を学びながら、本当になりたい自分を実現する環境が整っています。また、全く異なる将来目標を持つ友人とも出会えます。ぜひ生物資源学類に入学し、自分の可能性をいっぱい広げてください。

応用生命化学コース 下段 千尋

元々は食に興味があり、食を通して社会に役立つ勉強や研究がしたいと思い、生物資源学類に入学しました。1・2年次に授業や実習を受ける中で、直接見ることの難しい細胞や分子のレベルで生命現象を理解したいと考え、応用生命化学コースを選びました。動物・植物・微生物などあらゆる生物に共通する普遍的な生命現象について学べるのが、このコースの楽しいところです。また知識だけでなく、それをどのように役立てるかという考え方も身に付けることができます。卒業研究では、微生物の細胞が持つ指紋のような特徴（自家蛍光シグネチャー）を解読する研究を行いました。所属研究室では、この特徴を細胞1個1個から取得して解析する技術を開発し、それらが細胞内部の状態を反映することを解明していました。私はこれを用いて、通常の顕微鏡では捉えることのできない微生物の「生」と「死」における細胞状態の違いを調べました。この研究は一見基礎的で、学類を選ぶきっかけとなった食とは関係がないように見えますが、例えば食品製造の現場で雑菌汚染を防ぐための除菌・消毒の有効性を評価する方法として、食に貢献できる可能性も秘めています。特定の分野を突き詰めることも楽しいですが、大学に入学したらまずはいろいろなことに挑戦してみてください。生物資源学類では、農学に関する非常に幅広い分野を学ぶことができます。全く関係がないと思っていた物事が思いがけないところで繋がっていたり、それまで考えもしなかったことに、夢中になることがあるかもしれません。

社会経済学コース 高瀬 一綺

社会経済学コースでは、社会学や経済学といった分野から、農林業分野における課題解決の最前線の問題に取り組むことができます。当コースの卒業研究の例を紹介しましょう。まず私は、ベストワーストスケールという定量的相対評価手法を用いて、全国の担い手稲作経営者が将来のコンパインにどのような技術を求めているのかを明らかにしました。また、ある学生は、子ども食堂の運営とその課題及び解決策について、自身の食堂運営経験や運営団体へのヒアリング調査などをもとに論じました。定量的な分析と定性的な分析、どちらを欠いても当コースの研究は成り立ちません。私自身、統計データだけを見て分かった気になり、農家とお話して間違いに気づかされた経験があります。社会経済学コースはそのようなマクロな視点とミクロな視点、どちらも身に付けることができる場であると思います。

もちろん、このような問題意識をはじめから持っている学生ばかりではありません。講義や実習を通して、各分野のフロンランナーである先生方が様々な学問の種をまいてくれます。その種が私の中で芽を出し、今では国内外の農家を支援する活動や農場の運営に携わるようになりました。

皆さんも、ぜひ生物資源学類に入学し、素敵な仲間とともに自分のやりたいことを見つけてください。何にでも挑戦することのできる刺激的な学生生活が皆さんを待っています。

資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許

中学校一種免許状（理科・技術）

高等学校一種免許状（理科・農業）

社会教育主事、学芸員、司書教諭、測量士補、樹木医補
自然再生士補

卒業後の進路

卒業生は民間企業や官公庁などに就職し、国内外で広く活躍しています。特に公務員試験では全学の中でも多くの合格者を出しています。大学院への進学者は7割に及び、多くは筑波大学大学院 理工情報生命学術院 生命地球科学研究所 生物資源科学学位プログラムに進学します。



1年次の生物資源科学実習の1コマ（学内の施設見学）

生物学類との相違点について

生物学類は、理学（生物学）を中心とした基礎科学を学ぶ学類です。それに対して生物資源学類は、人類と生物との関係や生物の人類への利用を考える応用科学を学ぶ学類です。具体的には、食料など人間の生活に必要な生物資源を生産し利用すること、環境を保全しつつ生物資源を生産・利用すること等、生物資源の利用に関する応用研究を重視しています。ただし、教員・学生の交流も活発で、共通している分野も少なくありません。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		生物資源、農業、環境保全に関心が強く、広範な学問を学ぶことのできる柔軟な思考力を持ち、問題解決に意欲のある人材を望んでいます。
入学までに学んでおいてほしいこと		数学、生物、物理、化学についての基礎的な知識と理解、さらには応用する能力および語学力を備えていることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等 (前期日程)	全般的な基礎学力と語学力に加え、生物資源に関連する学問を学ぶのに必要な理解力・思考力・応用力を総合的に評価します。
	個別学力検査等 (後期日程)	全般的な基礎学力と語学力に加え、生物資源に関する理解度や学習意欲、論理的に表現する能力を総合的に評価して選抜します。
	推薦入試＊	高等学校において優秀な成績を修め、あるいは課外活動などで優れた実績を有し、生物資源に関する学習意欲や適性、論理的表現力ならびに基礎学力と語学力を総合的に評価して選抜します。
	国際バカロレア特別入試	生物資源に関する学問分野について主体的に目標をもって学ぶための知識、思考力に加えて、語学力を含めたコミュニケーション能力などを重視して人材を選抜します。
	編入学試験	基礎科目・専門科目に関する学力や語学力に加え、生物資源に関する理解度や学習意欲、論理的に表現する能力を総合的に評価して、本学類で発展できる人材を選抜します。原則として、3年次への編入学ですが、場合によっては2年次への編入学となることもあります。
私費外国人留学生 Japan-Expert(学士)プログラム特別入試		人類の生存と安全で豊かな生活の基盤である生物資源に興味を持ち、日本の農林業研究・技術に関心がある人材及び日本の農林業研究・技術を活用し、将来、国内外の農林業に関する研究機関や企業等でアグロノミストとして貢献する人材を求めています。
私費外国人留学生特別コース入試		(1) 求める人材 人間を含む多様な生物の生命現象・地球環境・生物資源の持続的活用等に関わる諸問題に対して学問的な関心を示し、多様な観点から事象を分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、生命環境科学分野の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。
私費外国人留学生特別コース入試 (編入学)		(1) 求める人材 人間を含む多様な生物の生命現象・地球環境・生物資源の持続的活用等に関わる諸問題に対して学問的な関心を示し、多様な観点から事象を分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、生命環境科学分野の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。

* 専門高校・総合学科特別入試枠を含みます。

総合学域群
School of Comprehensive Studies

人文・文化学群
School of Humanities and Culture

社会・国際学群
School of International Studies

人間学群
School of Human Sciences

生命環境学群
School of Environmental Sciences

理工学群
School of Science and Engineering

情報学群
School of Informatics

医学群
School of Medicine and Sciences

体育専門学群
School of Physical Education, Health and Sport Sciences

芸術専門学群
School of Art and Design

【人材養成目的】

地球の誕生から現在に至る地球の進化、大気圏・水圏・岩石圏で起こる様々な現象とそのプロセス、そして地球環境を舞台に展開される人間活動についての総合的な知識と思考力を有する、社会の諸分野で国際的な視野に立って活躍できる人材を養成します。

地球は46億年の歴史をもつ、水や生物に満ちあふれた惑星です。近年、人間の居住空間としての地球環境を破壊することなく持続的に利用することが社会的に強く求められています。そのためには、地球の進化過程を明らかにするとともに地球環境の動態と人間システムとのつながりを正しく理解し、その未来を予測する学問が必要です。それが地球学であり、地球ダイナミクスを多角的な観点から明らかにし、様々な社会的要請に応える使命をもっています。

教育内容・カリキュラム

地球学が対象とする課題は、顕微鏡下の世界から地球規模の事象、秒以下の単位から億年の単位まで時空間スケールが幅広く、自然現象の解明から災害や環境問題の追及、人間社会の未来予測に至るまで多様です。また、それらの課題に取り組む手法も野外調査や室内実験、数値計算、文献研究など多岐にわたります。

地球学類では、多様な課題に対応できる幅広い知識と高い専門性を両立させるため、段階的に専門化するカリキュラムを組んでいます。また、高度な専門教育・研究のために、現在の地球環境について探求する「地球環境学主専攻」と、地球の変遷史について探求する「地球進化学主専攻」の二つの主専攻を設けています。



国際野外実験（オーストリア）



野外実験（西彼杵半島）

	カリキュラムの特徴
1年次	自然科学を中心に人文・社会科学を含む学問全般に関する基礎的知識を習得するとともに、地球学に関する専門導入科目の履修により、2年次以降に必要な基礎的な能力を身につけます。
2年次	地球学入門を意図した専門科目とともに、地球学に必要な数学、物理学、化学、英語などを学ぶことで、計算・資料整理・発表等にかかわるコンピュータや実験機器の利用能力を高めます。さらに、英文の読解能力や英語コミュニケーション能力を修得するための専門英語を受講します。
3年次	主専攻に分かれ、専門科目を中心に履修します。講義、セミナー、室内実験、野外実験で構成された専門科目を受講することで、専門知識を深めます。また、現地での観察・測定・資料収集を通して、フィールドの様々な課題を考察する野外実験を数多く開講しており、野外調査と室内作業を行う能力を修得します。また、主専攻の他に生命環境学際主専攻(留学生コース)を含めた副専攻を選択することができます。
4年次	卒業研究が中心となり、教員や大学院生と議論をしながら調査・実験を進めることで、研究の企画・遂行・総括能力や研究成果の内容を第三者に的確に伝達する能力を高めていきます。

地球学類パンフレットの請求方法

- <http://www.earth.tsukuba.ac.jp/> でパンフレットのPDF ファイルを見ることができます。
- テレメールによる請求もできます (p.171 資料請求番号は583311)

各主専攻の内容・特色

地球環境科学主専攻

現在の地球における大気、水、地形などの自然現象と、そこを舞台に展開する人間活動の特性を多角的に探求

人文地理学

地表面における人間活動の地域的特質を自然環境のかかわりも含めて総合的・系統的に研究

地誌学

都市地域や湿潤熱帯地域など居住環境の違いに着目しつつ、人間環境システムを地域論的な観点から解明

地形学

風化・侵食・運搬・堆積の諸過程によって変化する地形を基礎的・応用的に研究

水文科学

自然界における水の循環とその物理的・化学的・生物学的プロセスを総合的に研究

大気科学

気象学で扱われる局地循環や天気予報技術から気候変動や地球温暖化まで、大気現象を幅広く研究

環境動態解析学

水・物質動態の解析を通して、動的な自然環境の理解を深め、人間活動による変化の解明を目指す

主な卒業研究

- 北陸地方における都市群の近接性の変化と要因分析
- ミュージシャンの街下北沢の地域特性－ライブハウスとバンドに注目して－
- 群馬県前橋市における一般廃棄物処理の空間構造
- 温泉地における新たなツーリズム形態－山形県銀山温泉を事例に－
- 広島豪雨における表層崩壊の発生条件
- 木曽山脈の森林限界移行帯における植生分布と地形量の関係
- 人工衛星からの地球表層土壌水分観測
- 安定同位体による水循環の追跡
- 真夏日の午後東京23区で観測された短時間強雨の実態調査と予測実験
- フェレル循環と温帯低気圧の関係についての研究
- 樹冠遮断プロセスが林内雨の放射性セシウム及び溶存物質濃度に及ぼす影響
- 福島県の土壌における土壌粒子の粒径によるCs-137の選択性

地球進化学主専攻

地球進化史の多様な地質現象の探求を基礎として地球生命圏の共進化の解読と未来予測を目指す

地史学・古生物学

地球史における生物群の系統・機能形態・古生態・古環境などの解読を通じて、生物の適応進化様式と地球表層生命環境の変遷を追及

地層学

表層圏諸現象の変遷を地層の地質学的研究を通じて編年解読し、地球環境変動システムの仕組みを解明

地球変動科学

地球のダイナミックな変動を、地球物理学のビックデータ解析、フィールドサイエンス、室内実験、レオロジーおよび数値アナログモデルの構築などを通じて解析

岩石学

岩石の野外調査や元素・同位体分析から岩石の生成機構やテクトニクスを解明

鉱物学

天然の様々な鉱物の物理化学的実験結果から、鉱物に刻まれた地球や宇宙の情報を解読

惑星資源科学

地球システムにおける元素濃集・分散や生命圏環境の変化を惑星科学的視野から統一的に理解

主な卒業研究

- 宮崎県高千穂町に分布する三畳系上村石灰岩のコノドント生層序
- 兵庫県丹波篠山市に分布する大山下層の古生物学的・堆積学的研究
- タイ国東部Sa Kaao-Chantaburi Zoneに分布する珪質岩の岩相・年代と地球化学的特徴に基づく堆積場テクトニクス
- 徳島県海部郡牟岐町における過去数千年間の地震津波発生履歴
- 地球深部で起こる地震や大きな津波を引き起こす地震の震源過程
- 沈み込みプレート境界に沿った岩石一流体相互作用
- マントル－地殻の物質循環に関する研究
- 南極大陸の先カンブリア時代の岩石年代測定に関する研究
- 炭素質コンドライト中のガラス包有物による原始太陽系の化学的環境
- Magnetite-Maghemite相変換：高温In situ XAFSによる局所構造解析
- メキシコ合衆国ロスガトス鉱床の鉱化作用
- 菱刈金鉱床祥泉脈の石英の酸素同位体比

特色

綿密な指導体制

各学年50名に対して、50名近い地球学類担当教員が在籍し、卒業研究では教員1名あたり学生約1名という体制で、きめの細かい親身な指導をしています。

充実の野外・室内実験

地球学はフィールドサイエンスを基盤としているため、現地での観察・測定・資料収集を通して、フィールドの様々な課題を考察する野外実験が多く準備されています。また、室内の実験・実習授業でも、地球情報の数値解析、顕微鏡での岩石の観察、鉱物のX線分析、水質の化学分析、

堆積作用の水理模型実験をはじめ、様々な技術を身につける機会があります。

国際性をはぐくむために

地球学類では、生命環境学際プログラムの一環として外国人留学生向け英語授業を開講しています。この授業には日本人学生も参加することができ、国内にいながらも、英語による教育と留学生との交流を通して国際性を高めることができます。また、オーストリアや米国、タイなどの国際野外実験、英国シェフィールド大学や米国アラスカ大学との学生交流など、国際感覚に磨きをかける数多くのプログラムが準備されています。

地球学類長 角替 敏昭

「地球学」とは、地球に関する現在の様々な自然現象や人間環境・生活、および地球の過去を探り未来を予測する研究の総称であり、地球科学を発展させた学問として体系的に扱っています。この学問分野は、高校では地学や地理学に最も近い分野になりますが、それらを高校で履修していなくても大丈夫なカリキュラムが地球学類では組まれています。地球学を学ぶためには、今まで知らなかった様々な情報や他の学問分野の知識が必要になります。地球学類では、これらの新しい知識、学問を含めて幅広く学ぶことができます。新しいこととの出会い、またそれらの探求は、大学における楽しみでもありまた自己向上心にも繋がると 생각합니다。地球学類において学び、研究する上で特徴的で基礎的な部分は野外での調査・観測です。これらの調査・観測で得られた

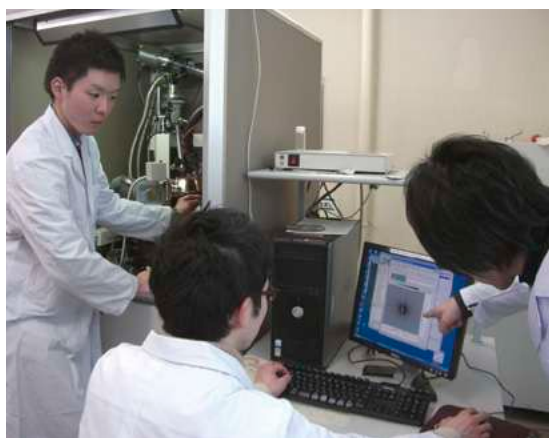
情報・試料を基に、実験室で各種機器による分析・測定やコンピューター等を用いた解析を行います。これらを行うためには、知力だけでなく少々の体力（+忍耐力）も必要になるでしょう。各種観測・実験・統計処理等では、数学、物理学、化学、生物学などが、また国内外での調査・データ解析等では、英語、経済や歴史の知識なども必要になります。これらの幅広い分野の知識の習得は地球学を学び、研究する上で重要であり、これらの知識を得ることにより、扱えるテーマが広がり、より深い探究ができます。また、個別に得意分野のある場合にはそれを生かすことも可能です。地球学類は、これらを実践するための絶好の場所です。地球に興味があり、また意欲のある皆さんを歓迎いたします。

社会とのつながり

地球学類では、地学オリンピックやジオパーク設立に向けた活動に協力することで、学生が地球科学を通じて社会との接点を持つ機会を設けています。また、周辺の中高校生や住民と講演・見学会を通じて、地域交流も盛んに行っています。

資格など

所定の単位をとれば、中学校教員免許(理科)、高等学校教員免許(理科、地歴)、学芸員資格を取得でき、またGIS(地理情報システム)学術士になれます。



室内実験（X線回折による岩石鉱物の同定）

卒業後の進路

卒業生の6～7割が本学の生命環境科学研究科などの大学院に進学します。民間企業への就職も多く、卒業生の約3割を占めます。総合的な知識・思考力を身に付けた卒業生は、地理情報・気象・環境・地質等のコンサルタント、土木建設や資源開発、観光・交通、出版、金融、電気通信など多種多様の業種に進出しています。公務員や教員は1割程度です。

大学院に進学した学生は、修士課程でより高度な専門知識・技術を身につけて、民間企業・公的機関・教育機関等でより専門性の高い職につくか、博士課程に進学します。博士課程で、更に専門性に磨きをかけて博士の学位を取得し、大学教員、企業や公的機関の研究員になります。

Q & A

Q 高等学校で地理や地学を履修していませんが、大丈夫ですか？

A 地理や地学を履修していなくても十分理解できるように、専門基礎科目では配慮されています。ただし、自主的な予習・復習は必要です。

Q 主専攻や卒業研究分野は希望通り選べますか？

A 主専攻は進級要件を満たしていれば希望通りになりますが、卒業研究分野は過度な集中が見られる場合に成績によって選抜することがあります。

Q 在学中に海外留学したいのですが、その間は留年や休学になるのでしょうか？

A 協定校への留学でしたら、留学中に取得した単位を振り替えることができるので、留年しなくても済みます。

最近の進路		
大学院進学	筑波大学生命環境科学研究科、教育研究科 東京大学、京都大学、東京工業大学、九州大学、 イェール大学、エジンバラ大学ほか	
企業	気象	日本気象協会、ウェザー・ニュース、 ウェザー・サービス
	地理・情報 地質・環境	ゼンリン、ナビタイム・ジャパン 国際航業、朝日航洋、パスコ、中 央復建コンサルタンツ、東京建設 コンサルタンツ
	運輸	JR 東日本、京成電鉄、全日本空輸、 JFE 物流、JTB ワールドパッケージ ンズ
	資源・鉄鋼	北日本石油、日新 JX 日鉱日石探開、 日本製鉄
	情報・通信	NTT データ・アイ、アクセンチュア、 日立テクニカルコミュニケーションズ、 システナ、農中情報システム
	金融・保険	みずほフィナンシャルグループ、横 浜銀行、野村證券
	電機・機械	栗田工業、東芝、アライドマテリ アル、新光電気工業
	商社	豊田通商
	高校教員	茨城県、岐阜県、東京都ほか
	中学校教員	茨城県、埼玉県ほか
官庁・自治体	国土交通省、国土地理院、気象庁、海上保安庁、 茨城県庁、群馬県庁、栃木県庁、つくば市役所 ほか	
研究機関	筑波大学	

卒業生の声

篠澤 美有奈 (地球環境学主専攻)

私たちの住む地球は不思議にあふれていると思います。地球学類の何よりの魅力は、その多くの不思議を紐解くために、学べる内容がとても多彩なところです。高校までの地学で学べる分野だけでなく、人文地理学などの文系分野や、水文科学など耳慣れないかもしれませんが地球環境を考えるうえで不可欠な諸分野を幅広く学ぶことができます。これにより、一つの事例を見る際も、様々な視点によって物事を捉えることができます。これらの分野を、座学だけでなく、たくさんのフィールドワークを通して学べるところも、地球学類の魅力です。皆さんも私たちと一緒に地球の不思議を楽しんで学びませんか？

下郡 正嗣 (地球進化学主専攻)

私が思う地球学類の良い所は野外実験が充実している点です。地球科学の基本は野外に出ることから始まります。興味に応じて様々な分野の野外実験に参加ができ、実際に野外に出ることで地球科学をより深く理解し得るものが多くありました。もちろん室内での実験も充実しており、野外と室内の双方から地球科学を学んでいきます。また、地球科学では分野にとらわれない幅広い知識の習得が求められます。地球学類では個々の興味関心に応じて分野を選択しますが、多くの仲間と多様な分野を自由に学び、地球科学への理解を深められる良い環境が待っています。

入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)

求める人材		地球環境や地球進化に高い関心と探究心を持ち、問題解決に向けて自主的かつ積極的に取り組み、広い視野から事象を分析することができる人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		理科の諸科目と数学についての知識と理解力、日本語の文章表現力や英語の読解・作文能力を身につけていることが望ましい。また、地理や地学に強い関心を持ち、自ら学ぶ努力をしてほしい。
入学者選抜方針	個別学力検査等 (前期日程)	文科系・理科系にわたる全般的な基礎学力、高い語学力、自然科学系科目の高度な理解力、高度な思考力、そしてその応用力を総合評価して選抜します。
	個別学力検査等 (後期日程)	文科系・理科系にわたる全般的な基礎学力、高い語学力、地球環境や地球進化に対する広い興味と高い学習意欲を持ち、論理的に思考・表現する能力を持つ人材を選抜します。
	推薦入試	高等学校において高度な基礎学力を身に付けた志願者から、地球環境や地球進化を学ぶ意欲と目的意識が明確であり、論理的に思考・表現する能力のある人材を選抜します。
	国際バカロレア特別入試	文科系・理科系にわたる全般的な基礎学力、高い語学力を持ち、地球環境や地球進化を学ぶ意欲と目的意識が明確で、学習に取り組む意欲のある人材を選抜します。
	私費外国人留学生入試	地球学に対する高い関心、入学後に地球学を学ぶために必要な基礎学力と、学生生活に適応するための日本語能力、協調性を総合的に評価します。
	編入学試験	自然科学や社会科学に関係する高度な基礎学力を身に付けた志願者から、地球環境や地球進化を学ぶ意欲と目的意識が明確で、論理的な思考力・表現力を持つ人材を選抜します。原則として、3年次への編入学ですが、場合によっては2年次への編入学となることもあります。
私費外国人留学生特別コース入試		(1) 求める人材 人間を含む多様な生物の生命現象・地球環境・生物資源の持続的活用等に関わる諸問題に対して学問的な関心を示し、多様な観点から事象を分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、生命環境科学分野の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。
私費外国人留学生特別コース入試 (編入学)		(1) 求める人材 人間を含む多様な生物の生命現象・地球環境・生物資源の持続的活用等に関わる諸問題に対して学問的な関心を示し、多様な観点から事象を分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、生命環境科学分野の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。

総合学域群
School of
Interdisciplinary Studies

人文・文化学群
School of
Humanities and Culture

社会・国際学群
School of
International Studies

人間学群
School of
Human Sciences

生命環境学群
School of
Environmental Sciences

理工学群
School of
Science and Engineering

情報学群
School of
Information Science

医学群
School of
Medicine and
Dentistry

体育専門学群
School of
Physical Education,
Health and Sport Sciences

芸術専門学群
School of
Art and Design

【人材養成目的】

純粋数学から応用数学まで現代数学の基礎について幅広い知識を習得することにより、高度な論理性を身につけると同時に、問題を分析しその構造を読み取って解決するという数学的思考能力を身につけた、社会の様々な分野でグローバルに活躍できる人材を育成することを目的としています。



数学は、人間の知性が最も自由に発揮される学問です。一方、昔から自然科学・工学の基礎として近代科学文明を支えてきました。

数学は、その構築された理論体系の完成度から見ても人類文化を代表する学問の一つであり、世界中どこでも通用する普遍的な学問です。古来、多くの人々が、数学の持つ美しさ・奥深さに魅せられ、その英知を傾け、全身全霊を込めて創り出してきた傑作が現在の数学の姿です。この点で、数学は絵画・音楽などの芸術に似た美しさ・自由さ・多様さを秘めています。そして数学は今なお生き生きと発展し続けています。それに伴って社会の数学に対する有用性と重要性の認識がさらに深まってきました。現在、数

理科学的手法が自然科学のみならず、社会・人文科学、医療関係など社会のあらゆる面に応用され、コンピュータによる情報化社会の進展ともあいまって、数学の利用はますます広く高度なものとなっています。

数学類では、高校で学んだ数学をさらに発展・深化させて、純粋数学、情報数学を含む数理科学における現代数学の理論の基礎とその応用について幅広い知識を習得することができます。数学類は、高度な論理性を身につけた、社会の各方面で活躍できる人材の育成を大きな目標にしています。こうした能力は、新しいものを創造する上で不可欠なもので、現在、社会から強く求められているものです。

学べること

	1 年次	2 年次	3・4 年次
基礎	微積分、微積分演習、線形代数、線形代数演習、数学リテラシー	線形代数統論、線形代数統論演習、集合入門、集合入門演習	
代数		代数入門、代数入門演習	アーベル群、単因子論、体論入門、環論入門、群論入門 ガロア理論、リー代数、環論
幾何		ベクトル解析と幾何、ベクトル解析と幾何演習、トポロジー入門、トポロジー入門演習	曲面論、曲面論演習、多様体入門、多様体入門演習、ホモロジー論、基本群、微分幾何学概論、位相幾何学概論
解析		微分方程式入門、微分方程式入門演習、関数論、関数論演習	ルベーグ積分、ルベーグ積分演習、偏微分方程式、関数解析入門、関数解析入門演習、確率論の基礎、確率論概論、関数解析概論、複素解析概論
情報	数理論理学 数理統計学 計算機数学	統計学入門、統計学入門演習 計算機演習	数理論理学入門、数理論理学統論 数理統計学概論、社会科学と自然科学の統計学 計算機数学入門、計算代数入門
セミナー	フレッシュマンセミナー	外書輪講	外書輪講、卒業予備研究、卒業研究

数学類ホームページ

●<http://nc.math.tsukuba.ac.jp/pp/>でパンフレットのPDFファイルを見ることができます。パンフレットに載せられなかった情報も掲載しております。

専門として学べる内容

数学類では各種の講義や演習とともに、2年次から4年次まで、数学外書輪講、少人数で行う卒業研究等のセミナーが設けられています。学生自らが学習成果を発表し、教員のきめ細かな指導のもとで、個々の能力が伸ばせ、そして数学的思考能力が身につきます。また情報数学にも配慮されたカリキュラムが用意されています。教職（数学、情報）の免許取得も可能です。

1、2年に学ぶ数学は、3、4年次に学ぶ数学に向けてのウォームアップにあたります。1年次の数学の科目は専門科目でなく、専門のための専門基礎科目にあたります。微分積分学、線形代数学、集合論は、いずれも数学のどの分野においても基本的かつ必須なものです。また、2年次には、代数、トポロジー、ベクトル解析と幾何、微分方程式、関数論、統計等の入門的授業が始まります。

3年次の数学は、現代数学の第1ページというべきもので、内容は大きく分けると、代数学、幾何学、解析学、情報数学です。また、後期には、卒業研究の準備として卒業予備研究が始まります。授業や演習に出席するだけでなく自ら専門書を読むなどしてそれぞれが興味を見出し、より理解を深めます。この卒業予備研究を通して数学を学ぶ楽しさと数学の奥深さを実感できるものと思います。

3、4年次の数学には、次のような専門的授業があります。ガロア理論、リー代数、環論、微分幾何学、トポロジ

一、確率論、関数解析、複素解析、数理論理学、数理統計学、計算機数学などで、学生諸君はこれらを学ぶことにより、純粋数学のみならず情報数学を含む数理科学についても視野が広がるように配慮されています。

4年次には、卒業研究を受講することになります。卒業研究ではセミナーが用意され、学生はそれぞれの研究分野への関心に応じて、幾つかのグループに分かれます。セミナーでは、それぞれの専門分野の数学について、研究発表をしたり指導教員と議論を交えたりします。講義とはまた違った充実感を味わえるものと思います。卒業研究発表会は日頃の成果を示す恰好の場になります。

特長

純粋数学を学べるだけでなく、情報数学を含む数理科学についても広く学ぶことができるので、専門性を深めることと同時に、数理科学的視野を身につけることができます。



薛 文磊
2020年3月 数学類卒業

「数学類に入るとどんな生活が待っているのだろう？」と思う人は少なくないと思います。

数学類は他の学類と比べて少人数授業が特徴で、講義の他に演習の時間が設けられており、2つのクラスに分かれて指導を受けることがで

きます。これにより、講義内容がよりわかりやすく、気軽に先生に質問することができます。演習以外では一つのクラスとして、授業やスポーツディなどにも参加します。ですので、演習のメンバーだけではなく、学類のメンバー全員と仲良くすることもできます。僕は、同じ分野を勉強したい同志を見つけることが出来ました。また授業の他に、友達同士で集まり、興味のある分野の輪読や、試験前のテスト勉強をしたこともいい思い出です。

筑波大学では課外活動も盛んです。僕の同級生も八割近くの人が課外活動団体に所属していました。また、年に一度の学園祭には僕も有志で参加し、コーヒーハウスを出店していました。このように、勉強以外の時間でも、きっと自分に最もふさわしい活動を見つける事ができると思います。そして、個人的に一番好きな所は、恵まれた自然環境です。青い空、綺麗な噴水、少し遠くにある筑波山、それと木々に囲まれた緑豊かなキャンパス。疲れた時や、何かが上手くいかなかった時、身の回りの風景を見ると、元気をチャージしてくれる気がします。

数学の勉強をしながら、自然豊かな環境で人生の中でも最も大切な青春を過ごす事はきっと後悔しないだろうと思います。熱心に指導してくださる先生方と先輩達、同じ目標と趣味を持つクラスメイトが皆さんをお待ちしています。

先輩からのメッセージ

松山 幸平
2019年3月 数学類卒業



皆さんは、どのような理由で数学類に関心があるのでしょうか。数学への興味、あるいは就職、そもそも興味のあることを探している途中かもしれない。僕は、進路を決めるとき、大学でやっていることの雰囲気だけでも知りたくて、高木貞治「解析概論」の実数の構成や、フاینマン物理学、大学院の入試問題等を眺めていました。ちゃんと理解できたわけではなかったけれど、大学の数学は面白そうだと思い、数学類を受験することに決めました。そして実際に勉強してみても、大学数学の魅力に触れ、感動しました。講義の合間に友達と集まって問題を解いたり、勉強会を開いたりするなど、充実した大学生活を送れたと思います。図書館が夜の12時まで開いており書籍も非常に充実しているので、図書館で本を探す、あるいは読書や勉強をしたりして、夜風に当たりながら家に帰るのも良いものです。また、皆と一緒に大学の近くの飲食店で夕飯を食べながら数学の課題などを議論するのも楽しいです。これらは、大学周辺に一人暮らしをしている学生が多い筑波大学ならではの魅力だと思います。さらに、数学類の先生方の指導がとても丁寧だということも、大学生活を有意義にしてくれていると思います。例えば1,2年次は講義の他に演習授業が設けられており、実際に問題を解きながら講義の理解を深めることができます。また、「数学手習い塾」というものがあり、大学院生に講義や演習の内容を質問できたり、数学の勉強方法などの相談にも乗ってくれたりもします。

僕は、このような環境で数学を学べてとても良かったと思っています。そして今は、頼りになる先輩方や指導教官の指導のもと、大学院での充実した日々を過ごしています。皆さんも大学生活という貴重な四年間、ぜひ数学類で学んでみてはいかがでしょうか。

数学類長からのメッセージ



筧 知之
数学類長

数学という学問は、様々な学問の影響を受けて発展してきており、それ故、研究内容も複雑に分化しています。しかし、大雑把に言えば、現代の数学は代数学、幾何学、解析学、応用数学（※数学類では情報数学が該当します）の4つの分野から成り立っています。数学類では、学年が上がるにつれて、上記4分野においてより専門性の高い科目を習得していくことになります。科目によって内容は異なりますが、共通に必要とされることがあります。それは、「自分で論理的に考える」ということです。現代社会では全体に自分を合わせる事が尊重され、また、このIT社会ではネットを通して受け身の立場で多量の情報に接し続けるため、思考停止状態に陥る傾向にあります。しかし、そのような時代であるからこそ、自分の意

志で論理的に考えることが重要となります。そして、論理的に考える力を養うために最も適した学問こそが数学なのです。数学では、当たり前だと思っていることに徹底的に拘ります。そして、普段曖昧に理解していることに明確な定義を与え、厳密な論理の積み重ねによって結論へと到達します。このような言い方をすると、数学とは窮屈な学問だと思われるかもしれませんが、しかし、こうした努力の先に美しく高度に体系化された世界が広がっているのです。苦勞して数学の問題に取り組み解答が分った時の感動を経験した人は多いと思います。この感動をもっと深く味わいたい人、そして、美しい真理の世界を探究したい人を我々はお待ちしています。



Q 筑波大学数学類の特色は、何ですか？

A 筑波大学数学類には約40名の教員がいます。卒業研究などのセミナーによるきめの細かな指導は、筑波大学数学類の伝統です。授業に関しては、代数、解析、幾何といった抽象的な数学を学べるだけでなく、数理統計学、数理論理学、計算機数学といった応用的な数学も学ぶことができます。これが、筑波大学数学類の大きな特徴です。他学類の授業も比較的自由に受講することができます。学生に関しては、本学の前身が東京教育大学ということもあって教員免許を取得する人が多く、これも筑波大学数学類の特徴といえます。

Q 筑波大学数学類の授業は、どのようなものですか？

A 大きく分けて、講義と演習そしてセミナーがあります。講義では、「関数の連続性とは何か？」「 $f(x)=x$ が連続なのはなぜか？」のように、『とは』（定義）と『なぜ』（証明）を重視します。演習では、練習問題を解いて理解を深めます。セミナー（外書輪講・卒業予備研究・卒業研究）では、学生数名がグループを作り、指定されたテキストの内容を交代で説明し、担当教員の指導のもとで議論を深めます。筑波大学数学類では、受講生が問題を解けるようになるだけでなく、数学の理論体系を組み立てられるようになることも目標としています。

Q 筑波大学数学類を卒業すると、どんな職業に就けますか？

A 現代社会は、科学・情報技術に大きく依存しています。科学・情報技術において、思考の基本的な枠組みを提供する共通の言語が、数学です。現代社会が、数学に秀でる人材を多く必要とする理由が、ここにあります。筑波大学数学類の卒業生は、数学の研究者をはじめ、アクチュアリー、システムエンジニア、医学薬学統計などの統計解析に携わる職種、金融商品の開発や投資戦略を考案する職種、中高等学校の教員など、幅広い分野で活躍しています。

Q 数学は、どのようなところで役に立ちますか？

A 数学は、科学の多くの分野で、理論を記述し展開するための基礎学問になっています。数学は、その厳密性や普遍性により、多くの科学研究の土台として、科学の発展に多大に貢献しています。数学は、物理学、工学、経済学、生物学などに広く応用され、また、統計学を通じて医学や心理学、社会調査、保険業などにも使われています。数学は、現代社会において多様な役割を担っているといえるでしょう。

取得できる資格

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

教員免許

中学校一種免許状（数学）

高等学校一種免許状（数学、情報）

社会教育主事、学芸員、司書教諭、測量士補

卒業後の進路

数学類卒業後の進路は大きく分けて3つあります。

1. 企業や公務員への就職

数学類卒業生の高い分析力、構成力、論理性、柔軟な思考力は、多くの企業や官庁等で強く必要とされているものです。そのため、一般的な業種であればほとんどすべての企業が、数学類卒業生の就職先の対象となります。その中でも特に多いのは、IT企業や（銀行や保険会社等の）金融系企業への就職です。

2. 中学校・高等学校の教員

筑波大学は東京教育大学を母体にしてできた大学です。そのため、教員を育成するための環境や気風が強くあります。数学類の卒業生からも、これまでに多くの中学・高校の教員を輩出してきました。また、数学類卒業後には、筑波大学大学院の数理物質科学研究科数学専攻（博士前期課程）や教育研究科数学教育コースに進学し、高度な数学や数学教育を身につけることで、専修免許を取得することができます。

3. 大学院への進学

より高度な数学の知識や経験を得たい場合は、筑波大学大学院数理物質科学研究科数学専攻（博士前期課程）などの、数学を学べる国内外の大学院に進学します。現在では毎年5割ほどの学生が大学院に進学しています。大学院で修士号を取得した後は、上の1や2のように企業や公務員、教員に就職したり、数学の研究をさらに続けるために博士後期課程に進学したりします。もし、いわゆる数学者（大学の数学教員）を目指すのであれば、博士後期課程に進学して、研究論文を作成する必要があります。



入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		数学が好きであり、分からないことがあれば、答えが出るまで根気強く考えられる人材。また論理的（数学的）思考能力を身につけたいと願っている人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		高校レベルの数学の理解を深めておくこと。また数学のみならず自然科学全般に対する関心と理解を深める姿勢を養って欲しい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	全般的な基礎学力と、数学を学ぶ上で必要な論理的思考力・数学的思考力・応用力を総合的に評価します。
	推薦入試	高等学校で優秀な成績を修めており、数学を学ぶ目的意識が明確であること、数学という学問に取り組む意欲等を総合的に評価します。
	国際バカロレア特別入試	自然科学に対する強い好奇心と国際的な広い視野を持っていること、数学に関連する基礎学力、および数学への学習意欲等を総合的に評価します。
	私費外国人留学生入試	協調性、数学に対する高い関心、そして入学後に数学を学ぶのに必要な基礎学力を総合的に評価します。
	編入学試験	専門的な数学教育を受容できる基礎的な学力を有していること、数学に対する強い関心と思考力を有していること等を総合的に評価します。



【人材養成目的】

多様に発展する現代物理学について、しっかりとした基礎と高度な専門的知識を備え、かつ、真理を探究する過程を通して育んだ柔軟な思考力と、物事の本質を洞察し問題を根本から解決する力を持つ人材を育て、それらの人材がそれぞれの能力を生かして社会の様々な分野で活躍することを目的とします。



物理学は、自然界で起こる様々な現象の基本法則を解き明かしていく学問です。自然界の法則というと、原子・原子核・素粒子などのミクロな世界の成り立ちとそれらを理解するために必要な量子論、そして広大な宇宙空間に浮かぶ星や銀河の世界や時間と空間を結びつける相対論が思い浮かぶことでしょう。これら極限の世界で成り立つ新しい法則を探ることは、現代物理学の重要なフロンティアです。

私たちの周囲にある世界に目を向けましょう。物質は、固体・液体・気体・プラズマなどの姿を示し、また固体は金属や半導体、磁性体、超伝導など、様々な性質を示します。物理学はこれらの性質を理解する基礎を与えます。最近では生命現象に対する物理学も発展しています。このように、物理学は自然の成り立ちや自然界で起こる様々な現象

を、その基礎から明らかにする学問であるということが出来ます。

さらに物理学は、現代の先端的な科学技術の基礎を支えています。例えば、今日のコンピューター社会を支える半導体技術の発展や、様々な用途で用いられているレーザーの発明は、ミクロな世界の物理学の発達なしには成しえなかったものです。このように物理学は、現在そして将来の科学技術の根幹を支える学問でもあるのです。

そして、そのような物理学を学び研究する過程を通して何事にも「自ら学ぶ」ことを学び、身につけて欲しいと願っています。これは将来のどのような分野においても力となり、また人生を豊かにすることでしょう。

	授業科目
1年次	物理学概論、物理学入門、力学1・2・3、電磁気学1・2・3、課題探究実習セミナー、総合科目、体育、情報、英語、数学、化学、生物学、地球科学
2年次	量子力学Ⅰ、熱物理学、専門電磁気学Ⅰ・Ⅱ、特殊相対性理論、物理数学Ⅰ・Ⅱ、計算物理学Ⅰ・Ⅱ、実験物理学Ⅰ・Ⅱ、科学英語Ⅰ、課題探究実習セミナー、物理学実験Ⅰ、解析力学、量子力学入門、流体力学、連続体力学
3年次	量子力学Ⅱ・Ⅲ、統計力学Ⅰ・Ⅱ、専門電磁気学Ⅲ、一般相対性理論、計算物理学Ⅲ・Ⅳ、実験物理学Ⅲ、生物物理学Ⅰ・Ⅱ、科学英語Ⅱ、課題探究実習セミナー、物理学実験Ⅱ、生物物理学実験、動物生理学Ⅰ・Ⅱ、素粒子物理学概論、原子核物理学概論、物性物理学概論、生物物理学概論、宇宙物理学概論、プラズマ物理学概論
4年次	素粒子物理学、原子核物理学、物性物理学、宇宙物理学、プラズマ物理学、分子進化学Ⅰ・Ⅱ、卒業研究

物理学類パンフレットの請求方法

- 返信用の封筒（角形2号）を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には140円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「物理学類案内請求」と必ず朱書してください。

請求先 〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学理工学群物理学類長室（学生募集要項の請求先とは異なります。）

- テレメールによる請求もできます（p.171 資料請求番号は583671）

特長

物理学類では、教員が講義・演習・実験・セミナーなどを担当するとともに、10の研究グループに属して様々な分野で最先端の研究を進めています。4年生では、これらのグループのいずれかに属して卒業研究を行います。また、多くの卒業生は大学院に進学し、それぞれの研究グループで最先端の研究活動を行っています。また、筑波大学には全国共同利用施設である計算科学研究センター、プラズマ研究センター、エネルギー物質科学研究センター、宇宙史研究センターを始め、多くの物理学に関係する研究センターがあります。さらに筑波研究学園都市には多くの国立・民間の研究施設があります。筑波大学の教員とこれらの研究機関との共同研究も盛んに行われています。

専門として学べる内容

物理学類のカリキュラムは、しっかりした基礎を築くことを重視するとともに、現代物理学の幅広い知識が得られるよう配慮されています。また、物事の探究力や思考力を養うことも目標にしています。

1年次では、広く一般教養を身につけるとともに、物理学の学習に向けて基礎的な科目を学びます。現代物理学には2つの相補的な視点があります。ひとつは現象を「質点の運動」として捉える立場、もうひとつは「波（あるいは場）の運動」として捉える立場です。そこで、力学と電磁気学で、それぞれの観点からの物理法則を見通しよく学習

します。

2年次から量子力学や特殊相対論など、現代物理学の基礎となる主要な科目を学ぶようになります。物理学類では、物理学実験が必修科目として課されます。計算機を使った数値計算による物理や測定制御なども経験します。また、課題探究実習セミナーによって特定課題について自主的に深く探究します。

3年次では、より高度な物理学実験を行うとともに、量子力学、統計力学、計算物理学など、より進んだ基礎科目を学びます。

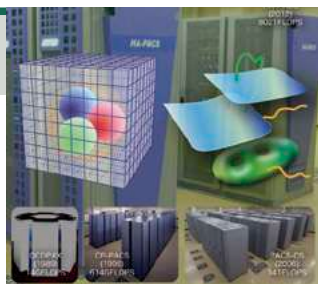
4年次では卒業研究が必修科目となっています。自分の専門を決めて1年間その研究室に所属し、研究に集中します。物理学類には、理論系と実験系の研究室があるので、専門を決める際には、理論にするか、実験にするかを考える必要があります。また、4年生向けに開講される授業では、素粒子、宇宙、原子核、物性、プラズマ、生命物理について最先端に近いテーマが取り上げられます。1年間の研究を終え、卒業論文を提出し、発表会に臨みます。



素粒子理論

格子量子色力学
超弦理論

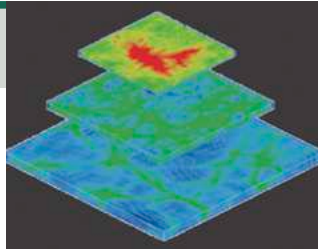
図:素粒子と時空の
原理の探求と、
専用計算機の開発



宇宙理論

銀河形成・宇宙論
計算宇宙物理学

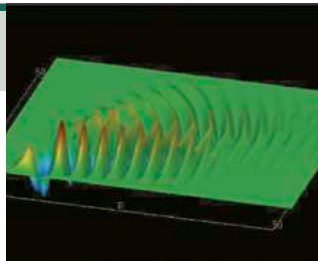
図:宇宙の再電解過
程の計算機シミュレーション



原子核理論

原子核の構造と反応
量子ダイナミクスの
計算科学

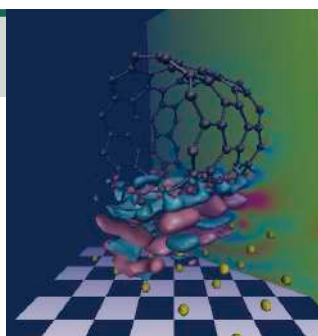
図:原子核分解反応の
量子ダイナミクス



物性理論

量子輸送物性
量子物性理論
ナノ量子物性
表面界面物性
ナノ構造物性

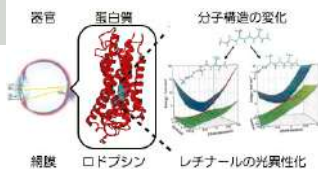
図:金属上におかれた
カーボンナノチューブ



計算生命理論

生体機能の原子レベル
での理論的解明

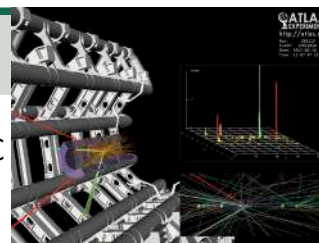
図:生体現象の階層性



素粒子実験

陽子陽子衝突実験ATLAS
国際線形電子陽電子実験ILC
ニュートリノ崩壊探索実験

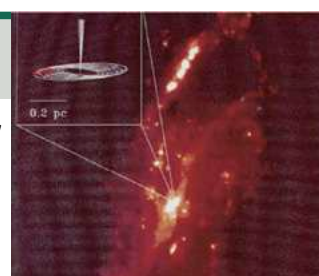
図:ATLAS実験で観測されたヒッグス粒子候補事象



宇宙観測

銀河・ブラックホール
南極望遠鏡計画

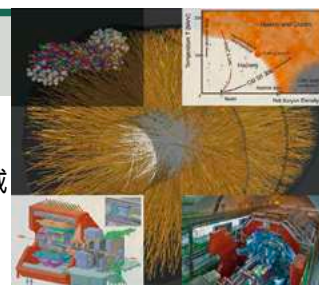
図:銀河中心にある
巨大ブラック
ホールの観測



原子核実験

クォーク・グルーオン・
プラズマ
不安定核、宇宙元素合成

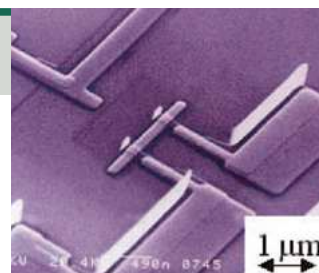
図:CERN-LHCでの
ALICE実験における鉛・鉛衝突



物性実験

強相関物性
構造物性
低温物性
半導体物性
磁気物性

図:単一電子トランジスタ



プラズマ物理学

プラズマ閉じ込め、
加熱
ミラー型核融合実験装置

図:プラズマ実験装置ガンマ10



資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許

中学校一種免許状（数学、理科）

高等学校一種免許状（数学、理科）

社会教育主事、学芸員、司書教諭、測量士補

卒業後の進路

物理学類の卒業生の進路は、大きく3つに分かれます。

- ①大学院への進学（基礎科学の探究）
- ②企業での開発研究（基礎科学の応用）
- ③中学・高校の教師（基礎科学の啓発）です。

①が80%程度で最も大きな割合を占めます。進学先は筑波大学の大学院である数理物質科学研究科が中心ですが、他大学の大学院に進学する場合もあります。大学院進学者のうちには、修士学位を取得後に、②、③に進む者も多く、②、③を目指す場合にも大学院に進み知識を拡げてから就職するケースが多くなっています。博士学位取得者は、大学や各種研究所の研究員となり研究者への道を歩んでいます。



筑波大学では1996年に当時世界最高速の並列計算機を開発するなど計算物理学の分野で先駆的な研究を行っています。

写真は2016年12月より東京大学と共同で運用を開始した、メニーコア型大規模スーパーコンピュータシステムOakforest-PACSです。この計算機を用いて、素粒子・宇宙・原子核・物質・生命等広い分野で物理学の最先端研究が行われています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	高等学校のさまざまな科目についての基礎学力を有し、それを元にさらに物理学を学んでゆく能力を持った人材を求めます。また、広い視野を持ち、自ら学び、未知の物事に対して柔軟に対応できることが要求されます。	
入学までに学んでおいてほしいこと	高校レベルでの物理ならび数学に関する知識と理解、さらにはそれを応用する基礎的な能力。	
入学者選抜方針	個別学力検査等 (前期日程)	全般的な基礎学力と、物理学を学ぶ上で必要な論理力・思考力・応用力を総合的に評価します。
	個別学力検査等 (後期日程)	全般的な基礎学力の評価に加えて、物理学を学ぶ上で必要な論理力・思考力・応用力、ならびに物理学における広い興味と高い学習意欲を総合的に評価します。
	推薦入試	高等学校において優秀な成績を修めていることに加え、物理に関する高い関心と目的意識、学習に取り組む意欲等を総合的に評価します。
	国際科学オリンピック特別入試	国際物理オリンピックに出場した者、またはその代表者選考会等において一定の成績を収めた者を対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を評価します。
	国際バカロレア特別入試	自然科学に対する強い好奇心と国際的な広い視野を持ち、物理学に関連する基礎学力、そして物理学への学習意欲を総合的に評価します。
	私費外国人留学生入試	協調性、物理に対する高い関心、そして入学後に物理学を学ぶのに必要な基礎学力を総合的に評価します。
編入学試験	大学2年生程度の基礎学力と物理学を学び修得するために必要な論理力・思考力・応用力を総合的に評価します。	



〔人材養成目的〕

自然界における普遍的な法則と未知物質・未知現象の探求、機能性物質の創製と材料開発、環境問題やエネルギー問題の解決、生命現象の分子レベルでの解明などに対する意欲を持つために十分な基礎的化学知識を有する人材を育成します。その上で、これらの知識と理解に裏打ちされた柔軟な思考力と国際的に活躍できる能力を有する人材の育成を目指します。

**化学という学問**

科学技術の進歩はめざましく、人類の発展を支えてきました。この技術革新において、基礎化学の果たした役割は極めて大きいといえます。化学者による新素材の研究を基盤として材料が開発され、実用化されているからです。化学とは、化学現象を分子・電子レベルで研究し、自然界における普遍的な法則を追求する学問ですが、そのような基礎研究から、新規化合物の創製、環境汚染やエネルギー問題の解決、生命現象を分子レベルで理解する研究などへ展開されています。このため、化学の重要性はますます高くなると言われています。

専門として学べる内容

化学類では、基礎知識の重視、柔軟な思考力の養成、国際的に活躍できる人材の育成などを念頭において、学生の指導・教育を行っています。

化学類の学生は、1年次に全学共通科目のほか、理学系学類共通の専門基礎科目を履修し、2年次では、無機化学、分析化学、物理化学、有機化学、生物化学などの専門的な講義と基礎的な化学実験を履修します。さらに、3年次では、学びたい化学分野を一層深く理解するために、専門科目が用意されています。特に、実験の時間が大幅に増えるのが特徴です。専門化学実験Ⅰ・Ⅱ（無機・分析化学、有機

	授業科目
1 年次	化学概論、化学 1、化学 2、化学 3、化学基礎セミナー、全学共通科目
2 年次	無機化学Ⅰ、分析化学、物理化学Ⅰ・Ⅱ、有機化学Ⅰ・Ⅱ、生物化学Ⅰ、基礎化学外書講読、化学実験
3 年次	無機化学Ⅱ・Ⅲ、分子構造解析、物理化学Ⅲ・Ⅳ、有機化学Ⅲ・Ⅳ、生物化学Ⅱ、専門化学演習Ⅰ・Ⅱ（無機化学、有機化学、物理化学）、専門化学実験Ⅰ・Ⅱ（無機・分析化学、有機化学、物理化学）、専門化学外書講読
3 年または 4 年	計算化学、放射化学
4 年次	卒業研究、無機・分析化学特論、物理化学特論、有機化学特論、生体関連化学特論

化学類パンフレットの請求方法

- 返信用の封筒（角形2号）を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には140円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「化学類案内請求」と必ず朱書してください。

請求先 〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学理工学群化学類長室（学生募集要項の請求先とは異なります。）

- テレメールによる請求もできます（p.171 資料請求番号は583681）

化学、物理化学）は必修科目で、毎週3日間、午後はこれらの専門実験で実験技術を磨きます。2、3年次でそれぞれ開講されている基礎化学外書講読、専門化学外書講読では、英語論文を読む力をつけ、卒業研究の準備をします。

4年次では、卒業研究が中心になります。化学類では、無機化学、無機物理化学、生物無機化学、錯体分子化学、物理化学、有機物理化学、量子化学、超分子化学、有機合成化学、構造有機化学、生物有機化学、分析化学、放射化学などの分野をおき、物質の構造、物性、反応、合成などに関する基礎研究をはじめ、広い視野に立った境界領域の研究を行っています。希望に応じてそれぞれの分野の研究室に配属され、教員の直接指導のもとに卒業研究を行います。教職員や大学院生、国内外の研究者らと親しく接しながら活発な雰囲気の中で卒業研究を行い、研究成果を研究室セミナー、卒業研究発表会や日本化学会の研究発表会で報告し、化学者としての第一歩を踏み出します。

特長

化学類の学生が4年次に配属される研究室では、以下に示すような最先端の研究を行っています。

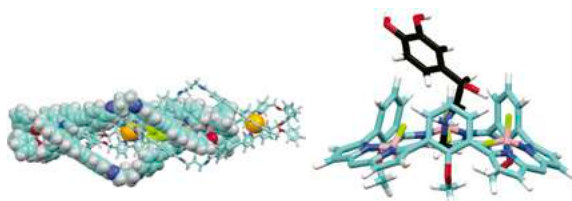
錯体化学の最前線

金属錯体は金属イオンと有機配位子からなる化合物であり、自然界や現代社会において反応触媒や機能性物質として重要な役割を担っています。最近、金属錯体の構造や電子状態を精密に制御設計することができるようになりました。また、金属イオンを組織的に集合させることにより、個々の金属イオンの特性が相乗的に機能する物質も合成さ

れ、その高度に設計された分子システムの化学的・物理的機能にますます期待が高まっています。錯体化学者は、未知の構造と機能に魅了され、日々物質合成と機能探索を続けています。

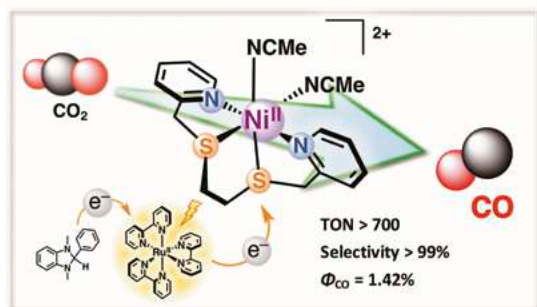
超分子化学

超分子化学は、水素結合や静電的な引力、ファンデルワールス力、水と油が分離する疎水作用など、分子と分子の間に働く弱い相互作用によって形成される超分子を扱う分野で、分子が分子を捕まえる化学、分子が集まって特別な機能を発揮する集合体の化学ともいえます。たとえば、二重らせんのDNAやタンパク質の集合体、液晶、生物にいたるまで超分子の一種ですから、超分子化学は基礎化学から生命科学、材料科学に及ぶ幅広い分野と深く関係し、近年めざましい発展を遂げています。特に、人工酵素、人工のホルモン受容体、分子センサー、バイオイメージング、ドラッグデリバリー、さらには2016年のノーベル化学賞の対象となった分子マシーンなど、非常に複雑で魅力に溢れた超分子の研究が盛んに行われており、今最もホットな科学分野の一つです。



分子が分子を認識してできあがる
インターロック型超分子

アドレナリンを捕まえる
人工レセプター



二酸化炭素の光触媒的還元反応の触媒となるニッケル錯体



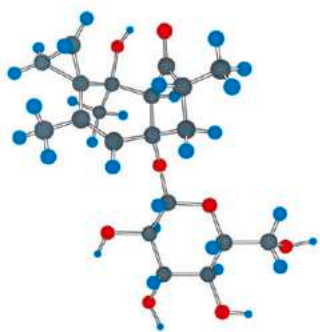
有機化学の研究には欠かせない核磁気共鳴装置(NMR)

精密有機合成

有機化合物は三次元構造をもっているため、その多くは空間における原子の配列だけが異なる立体異性体から成っています。医薬品は立体異性体により効力が異なるため、その合成には、立体異性体や位置異性体などを自由に作りわけける手段である精密有機合成が不可欠です。厳密に決められたある特定の立体構造をもつ化合物を正しい分子設計理論にもとづいて合成するのが、有機合成化学です。

生物現象を化学の目で見ると

生物のかかわる現象の多くは化学物質によってコントロールされています。個体内あるいは個体間の情報伝達物質（ホルモン、フェロモンなど）や生物内に存在する様々な生物機能物質（生物毒、抗生物質など）を化学の目を使って研究する分野が生物有機化学や生物無機化学です。化学はますます力をつけてきており、生命現象を分子レベルあるいは分子集合体レベルで解明できるようになってきました。これらの研究は、我々の福祉に直接関わる医薬品や農薬などの開発研究を支える基礎を提供するとともに、生物現象をいっそう深く理解するための大切な情報となります。



ワラビの発癌物質の構造

ソフトマターの物理化学

人類は古来、物質を「道具」の材料として利用してきました。その多くは、天然高分子を除くと、セラミックスや金属などの固い物質であり、高分子や液晶に代表される「やわらかい物質（ソフトマター）」の利用が本格化したのは20世紀の後半になってからです。たとえば、代表的なソフトマターである液晶を抜きにして現代の暮らしを想像することは難しいでしょう。また、私たちの体を作っている生体膜も代表的なソフトマターです。ソフトマターは、たくさんの分子が自発的に集まって複雑かつ柔軟な構造を作り出し、固い物質にはない性質を示すことを特徴としています。この仕組みを解明し、制御する方法を見つけることは、新材料の開発だけでなく生命の仕組みを明らかにすることにも繋がっています。

界面の分子構造

固体と気体や固体と液体など、相と相の境界面とその近傍を界面と呼びます。相の内部（バルク）と界面では、分子を取り巻く環境が異なっています。一方、我々の周りにある様々な物体や生体組織では、界面が性質や機能を決める重要な要因である例が多く存在します。そのような例として、固体触媒上や電極上で起こる化学反応、生体膜を通じた生体組織間の物質の移動などが挙げられます。レーザー光を使った最先端の測定技術（レーザー分光技術）を使えば、界面における分子の構造・配向・運動性の情報が得られます。今はじめて、界面の様子が分子レベルで解明されつつあります。



超高速光化学反応追跡のためのレーザー分光システム

資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許

中学校一種免許状（理科）

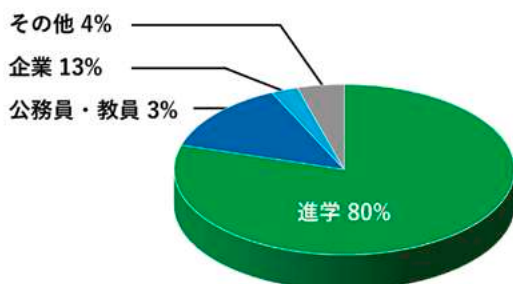
高等学校一種免許状（理科）

社会教育主事、学芸員、司書教諭

卒業後の進路

卒業生の約8割は大学院へ進学し、その他は公務員（県庁など）、教員（高等学校、中学校）、企業などへ就職します。

大学院修了後の主な進路は、化学関連の企業や公的機関への就職、博士後期課程への進学です。



入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	自然界における物質の多様性と普遍的法則を追究し興味ある新規物質や未知現象を探究する能力と意欲を有する人材。
入学までに学んでおいてほしいこと	高校レベルの化学についての基礎的知識を修得し、それを応用する能力を身につけていること。数学、物理学、生物学など関連分野に関する基礎的知識と語学の基礎的な能力を持つことが望ましい。
個別学力検査等（前期日程）	全般的な基礎学力と、化学を学ぶ上で必要となる高度な理解力・思考力・応用力を総合的に評価します。
個別学力検査等（後期日程）	全般的な基礎学力と、化学を学ぶ上で必要となる理解力・思考力・応用力、化学に関する興味と意欲・表現力等を総合的に評価します。
推薦入試	高等学校において優秀な成績を修めており、化学に関する高い関心、目的意識、学習に取り組む意欲等を総合的に評価します。
国際科学オリンピック特別入試	国際化学オリンピックに出場した者、またはその代表者選考会等において一定の成績を取めた者を対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を評価します。
国際バカロレア特別入試	自然科学に対する強い好奇心と国際的な広い視野を持ち、化学に関連する基礎学力、そして化学への学習意欲を総合的に評価します。
私費外国人留学生入試	協調性、化学に対する高い関心、そして入学後に日本人とともに化学を学ぶのに必要な語学力、基礎学力を総合的に評価します。
編入学試験	専門的な化学教育を受容できる基礎的な学力、化学に対する強い関心、論理力、思考力、応用力を総合的に評価します。

入学者選抜方針

基礎から応用まで 化学を学べる



伊藤 大輝
出身：埼玉県立川越高等学校
化学類 在籍中
2017年度入学

1年生では化学の授業に加え、数学や物理、英語やその他学類の授業を履修することで幅広い知識を身に着けることができ、2年生では専門的な化学の授業が始まります。3年生では1年を通して実験があり、これまでに学んだことを実践することでさらに化学に対する理解を深めることができます。4年生になると研究室に配属され、卒業論文にむけて準備が始まります。このように筑波大学化学類では基礎から応用まで学ぶことができ、また化学以外でも自分の興味のある内容を学ぶことができます。大変な時もありますがとてもやりがいがある、そんな化学類にぜひ来てみてください！

学生からのメッセージ

化学との出会い



笠原 留奈
出身：群馬県立高崎女子高等学校
化学類 在籍中
2017年度入学

高校時代、化学が好きだった私は本学の化学類に進学を決めました。入学当初はこれまで学んできた化学との違いに戸惑ったことを覚えています。しかし多様な授業、先生、学生との出会いにより自分でも驚くほど興味の幅が広がりました。また充実した研究設備が化学を学ぶ上で非常に恵まれた環境であると感じています。様々な学問や学生との出会いはとても刺激的で自分の視野を格段に広げることができます。皆さんもぜひ筑波大学で新たな出会いを楽しんでください！

総合学域群
School of
Interdisciplinary Studies

人文・文化学群
School of
Humanities and Culture

社会・国際学群
School of
International Studies

人間学群
School of
Human Sciences

生命環境学群
School of
Life and Environmental Sciences

理工学群
School of
Science and Engineering

情報学群
School of
Information Science

医学群
School of
Medicine and Health Sciences

体育専門学群
School of
Physical Education, Health and Sports Sciences

芸術専門学群
School of
Art and Design

【人材養成目的】

われわれの社会を維持・発展させ続けるために必要な最先端工学の基盤となる科学・技術を原理から理解し、さらに発展させることができる、創造力豊かな技術者・研究者を養成します。

特定の分野にこだわった学部や学科では高度に細分化された専門性を学ぶことができます。しかしながらその一方で、現代、さらにはこれからの工学には、複雑化・難題化が進む社会の要請に応えるために広い学際性も要求されています。そのためには、自然科学の基礎を幅広く身に付け、それらを融合して難題に対応できる総合的な工学力が

必要です。応用理工学類では、数学×物理学×化学×生物学で表されるように、各分野の経験・知識を相乗的に融合させることで、特に素材や計測技術など日常生活では直接目には触れなくとも工業の基礎となる分野において、現在の問題から将来の未知なる課題にも対応可能な工学士を育成することを目標としています。

主専攻	学びたいこと	授業で主に学べること
応用物理 (視て現象の本質に迫る)	<ul style="list-style-type: none"> ・光や粒子線を応用して、先進的な医療技術を確立したい。 ・核磁気共鳴などの物理現象を利用して、生体計測技術を開発したい。 ・核融合を目指したプラズマ制御や次世代エネルギー源の開発で、エネルギー問題を解決したい。 ・グリーン環境に配慮した、グラフェンなどの次世代機能性材料を開発したい。 ・パイオ技術や蛋白工学を駆使して、新たな病理診断や治療に役立てたい。 	電磁波による生体計測技術、量子ビームによる表面計測・超微細加工・医療技術、プラズマ物理／核融合技術、理論計算による物質設計 など
電子・量子 (ミクロな量子の力をエネルギーや環境のマクロな問題に応用)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境、資源、エネルギー問題を科学と技術で解決したい。 ・高効率太陽電池を研究・開発したい。 ・工学を医療分野へ応用することにより、技術で治療を支援したい。 ・環境に優しい材料で情報機器を作りたい。 ・情報機器を低消費電力化し、太陽光だけで稼働する高性能電子機器を作りたい。 ・原子・分子の配置を制御し、固体の性質を自在にデザインしたい。 ・レーザービームや反物質ビームで、固体、分子、原子構造を解明したい。 	半導体・磁性体などの電子状態、トランジスタや太陽電池などの動作原理、有機・無機電子デバイス、ナノテクノロジーによるデバイス作製、パワー／グリーンエレクトロニクス など
物性工学 (新材料！科学を拓き未来を創る)	<ul style="list-style-type: none"> ・超伝導素子や半導体メモリを開発し、エレクトロニクスを発展させたい。 ・電力不足の解消のために、新しいタイプの太陽電池やLEDなどの光機能素子を創成したい。 ・医療用金属、形状記憶合金、ナノ金属、原子細線など、次世代金属材料を実用化したい。 ・地球環境問題の解決に向けて、自然に優しいセラミックスや有機素子を創り出したい。 ・コンピュータ計算を用いて、役立つ人工物質を設計したい。 ・量子ビットを設計・制御して、量子コンピューターを実現したい。 	超伝導現象の原理とその応用、物質内の原子・分子の配列状態、金属・半導体・セラミックスの特性、ナノ構造物質の性質、無機・有機材料の合成法、物質の性質の理論的な取り扱い など
物質・分子 (新しい物質で新しい時代を)	<ul style="list-style-type: none"> ・誘電性ポリマーや有機磁性体のような新規な有機材料を開発したい。 ・原子や分子について理論的に研究したい。 ・環境やエネルギーの問題解決に貢献する触媒を開発したい。 ・ナノ粒子を利用した高純度、高活性な薬剤合成法を開発したい。 ・生体内の化学物質を高感度に検出するバイオセンサーを開発したい。 ・再生医療やがんの治療に関わる研究を行いたい。 ・太陽光のエネルギーを変換する植物の光合成について学びたい。 	有機／無機化学、物理化学、化学合成法、触媒／表面反応、バイオケミストリー、バイオテクノロジー など

応用理工学類ホームページ・パンフレット

- より詳しい情報は応用理工学類ホームページをご覧ください。
<http://www.oyoriko.tsukuba.ac.jp/>
- パンフレットの閲覧・ダウンロードも学類ホームページから可能です。
また、テレメールによるパンフレット請求もできます。
(p.171 資料請求番号は546341)



専門として学べる内容

応用理工学類の理念は、特定の分野に直結した応用ではなく、理学と工学を広く融合させることで、より複雑化・難題化する社会の要求に“応えて用いる”ことのできる工学力を養成することです。そのために、カリキュラムとして筑波大学の他学類や他大学の理科系学部 に比べて 多方面の学問にわたる科目が必修となっているのが特長です。1,2年では自然科学の基礎的な科目として数学、物理学、化学、生物学とともに、工学への応用のための導入科目を学びます。1,2年次に十分に基礎力を培い将来の夢や希望がより明確になった時点で次なるステップとして、3年進級時に4つの主専攻（応用物理、電子・量子、物性工学、物質・分子工学）に分かれて専門性を高めます（どのようなことが各主専攻で学べるかの具体例は前ページの表を参考にしてください）。主専攻に分かれても応用理工学類の理念である分野融合のもと、固体物理学、量子力学、統計力学、化学、生命科学は重要な共通の科目と位置付けています。4年進級時にはそれまでの授業主体の学びから、研究室に配属され本格的に研究活動を始めます。応用理工学類を担当する教員の専門分野は、デバイスや計測技術の応用開発から基礎的理論、物理から生物、化学分野と大変幅が広いです。これら教員のもとでの卒業研究を通

して、工学分野での研究・開発に関する基礎を習得します。

教員からのメッセージ

数理工学系物質工学域 准教授 鈴木 義和



最近では、もくもくと黒煙を吐きながら走るダンプカーやバスを見る機会がめっきり少なくなった。しかし、一步日本から外にでてみるとこの状況は一変する。日本のように整備の行き届いた車が走っているというのは、どちらかといえばまれである。年季の入った旧式のディーゼル車が大量のモノや人を乗せ、黒煙をまき散らしながら街を行き交う。「…ディーゼル粒子除去フィルターだって？ そんなもの見たこともないよ。」

ここで我々材料研究者は考える。「今よりもっと安く簡単に、いいモノを作ることができれば」、と。理系だからといって研究室にこもっているだけでは答えは出ない。インターネットは便利だけれど、その情報には限りがある。足を使って、いろんな人に話を聞き、具体的な解決策を考えていく。このテーマ設定が研究の醍醐味だ。無限の組み合わせの中から、化学や物理の知識を総動員し、新しい材料をイメージしながら、実現可能なプロセスを描き出していく。さあ、実験だ。

世界のさまざまなところで顕在化している環境やエネルギー問題。「新材料」をひっさげて、問題解決に挑んでみよう。

卒業研究

3,4年次

応用物理主専攻
専門科目

電子・量子工学主専攻
専門科目

物性工学主専攻
専門科目

物質・分子工学主専攻
専門科目

専門英語

専門コア科目

固体物理学

量子力学

統計力学

化学

生命科学

1,2年次

専門への導入科目

先端科学・工学概論、生物学概論など

基礎科目

解析学

線形代数

力学

電磁気学

熱力学

化学

応用理工学実験

全学共通科目

情報、外国語、体育など

総合学域群
School of
Interdisciplinary Studies

人文・文化学群
School of
Humanities and Culture

社会・国際学群
School of
Society and International Studies

人間学群
School of
Human Sciences

生命環境学群
School of
Life and Environment Sciences

理工学群
School of
Science and Engineering

情報学群
School of
Information Science

医学群
School of
Medicine and
Health Sciences

体育専門学群
School of Physical Education,
Health and Sport Sciences

芸術専門学群
School of Art and Design

学類担当教員の研究紹介

ゆで卵の科学

(応用物理主専攻 白木研究室)

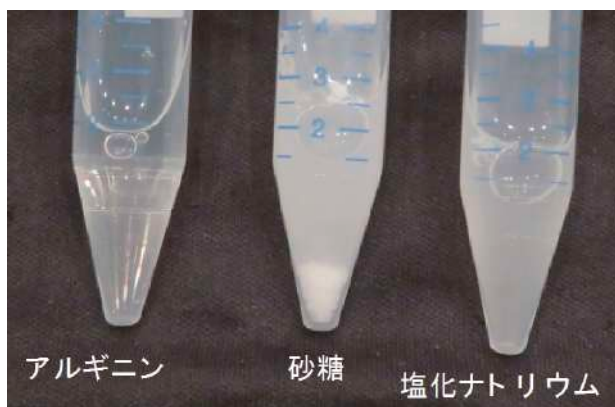
ゆで卵のプロセスを理解することは、現在の生物物理学者にも難問です。

卵白を100倍に希釈した溶液を加熱すると白濁します。加熱によってタンパク質が会合して大きくなり、光が通らなくなるためです。これをタンパク質凝集といいます。

それでは、この卵白溶液に、少量の塩や砂糖を加えておくと、どうなるでしょうか？

塩化ナトリウムを入ると早く白濁しはじめます。塩を水溶液中に入れるとイオンに分かれるため、静電的反発で分散していたタンパク質が遮へい効果によって会合しやすくなるからでしょう。塩の種類を変えて、チオシアン酸ナトリウムを加えておくと、90℃で30分間加熱しても全く固まりません。おどろくべき効果です。これは塩などがタンパク質の水和状態に与える影響力の強さ(ホフマイスター系列)で説明できます。アミノ酸の一種であるアルギニンを加えておいても固まらなくなりますが、これはアルギニン・テクノロジーという新技術の応用です。

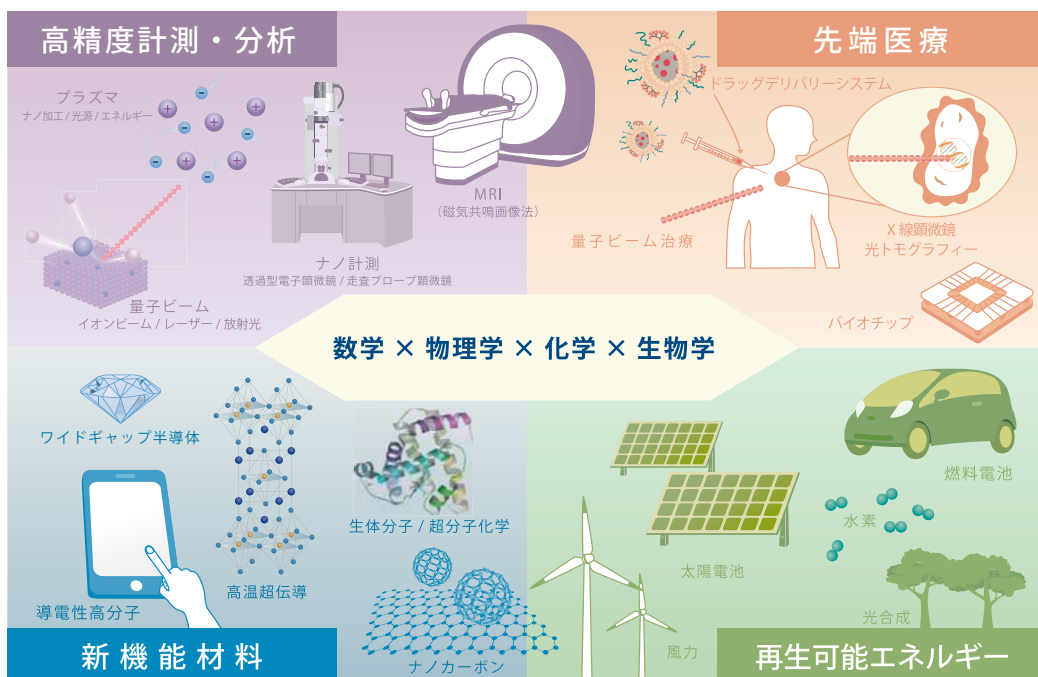
砂糖をひとつまみ入れてみると、大きな粒になります。砂糖はより水和しやすい性質があるため、タンパク質同士が会合しやすくなるからでしょう。このメカニズムは溶液科学で説明ができません。



希釈した卵白を加熱した様子。まだ私たちの知らない、多様な科学の法則が関係している。

ゆで卵のようなありふれた現象から、さまざまな科学の法則が取り出せるのが研究の醍醐味です。タンパク質凝集の研究から、水に溶けにくい化合物をよく分散させたり、立体構造を任意に制御できる人工シャペロンを開発したり、アルツハイマー病の原因分子の会合を制御したり、抗体の薬を濃縮させたり、さまざまな応用が展開しています。

応用理工学類が係わる研究分野



資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を履修すれば、次の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許

中学校一種免許状（数学、理科）

高等学校一種免許状（数学、理科）

社会教育主事、学芸員、司書教諭

卒業後の進路

目覚ましい科学技術の進歩とともに、工学分野は急速に複雑多様化が進んでいます。最新の科学技術に触れ、より高度な対応能力や経験を身に付けるため、90% 近くの卒業生が大学院に進学しています。応用理工学類に直結した大学院は数理物質科学研究科です。そこでは、連携大学院制度などを通じて、筑波研究学園都市に存在する大学以外の研究機関にて世界レベルの科学技術を学ぶことも可能です。大学院修了生を含めた卒業生のほとんどは、大企業、大学や国立研究所などで研究者や技術者として活躍しています。その具体的な分野としては、電気・通信、半導体、精密機械・計測、鉄鋼・金属、自動車・機械、電力・インフラ、高分子化学、食品・バイオ、官公庁や教員など多方面にわたっています。

学生からのメッセージ



佐々木 椋一さん

（数理物質科学研究科2年
（2018年3月応用理工学
類卒業））

応用理工学類は、自然科学の原理を十分に理解したうえでそれを技術に応用するという、いわば理学と工

学の双方の視点を持っており、非常に先進的な学びの場となっています。数学・物理学・化学・生物学の幅広いバックグラウンドの知見をもとに、様々なミクロの分野での最先端研究が行われており、混沌とした現代社会で求められる研究者・技術者の理想像がここにあってと思います。私は一昨年度応用理工学類を卒業し、本学大学院に進学しました。現在、大学院でMRIに関する研究や学会発表などに取り組んでいますが、学類時代に学んだ様々な科目が生かされていることを実感しています。研究の選択肢の幅広さも魅力で、入学後にじっくりと選ぶことができるほか、学類内の学生の仲も非常に良く、勉学以外でも充実した学生生活を送ることができます。皆さんもこのような魅力的な場で共に学びましょう！

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		先端科学技術を原理・原則から理解するための基盤となる数学的・論理的思考力を有し、物理学・化学などの科学的基礎知識を備えたうえで、それらの先端的工学応用に興味を持つ人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		数学Ⅲまでの数学および物理基礎・物理、化学基礎・化学の十分な知識・理解力・応用力を有していることが望ましい。また、生物基礎程度の基礎的知識と理解力が備わっているとさらに望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等 (前期日程)	科学の技術分野への応用やミクロな自然法則に基づく科学・技術の習得に必要とされる数学や理科の学力を中心に判断します。基礎学力と進学後の勉学に対する適性を評価します。
	個別学力検査等 (後期日程)	先端技術を科学の視点から本質的に理解する基礎学力を持ち、かつ大学進学後の勉学の目的を明確に示すことができ、物理・化学法則に基づく工学分野へ進む意欲を持つ人材を選抜します。
	推薦入試	高等学校において優秀な成績を修めていることに加え、自然科学の技術分野への応用を理解し、自然法則や物質、材料に関連する事柄について自分の興味や進路を適切に表現できる能力を持ち、かつ考察能力、分析能力を有する人材を選抜します。
	国際バカロレア特別入試	先端科学技術を科学の視点から理解し発展させるために必要な強い意欲と数学や物理に関する基礎学力を有し、これを学ぶに必要な日本語および英語の語学力を有する人材を選抜します。
	私費外国人留学生入試	協調性、工学に対する高い関心、そして入学後に工学を学ぶのに必要な基礎学力とコミュニケーション能力を総合的に評価します。
	編入学試験	専門的な工学教育を受容できる大学2年生程度の基礎学力と勉学意欲、工学に対する強い関心と論理的思考力、コミュニケーション能力を総合的に評価します。

卒業生からのメッセージ



八武崎 正樹さん

（現在 株式会社日立製作所勤務、2013年3月応用理工学類卒業、2015年3月数理物質科学研究科終了）

応用理工学類は非常に幅広い分野の理学、工学を学ぶ事ができます。この事が働く上

で非常に役に立っています。私は現在、開発・設計職として働いていますが、1つの製品を開発から設計まで手がけるには、何か1つに特化した知識・技術だけでは絶対に出来ません。幅広い知識・技術を使って初めて製品が完成します。このため、応用理工学類で学べる理学・工学は、将来、研究や開発をする上で必ず役に立ちます。また、応用理工学類卒業後の進路も幅広い事も特徴に思います。卒業後は生物系、化学系から精密機器・自動車・重工業系まで様々な企業・研究機関へ就職していくため、幅広い業界に仲間がいることになり、これも働く上では非常に重要です。今、何かを専門にしていきたいと意気込みのある方も、まだ将来何を専門にしようか悩んでいる方も、応用理工学類で幅広い理学・工学を学んで、社会で活躍して行っていきたいと思っています。

総合学域群
School of
Comprehensive Studies

人文・文化学群
School of
Humanities and Culture

社会・国際学群
School of
Society and International Studies

人間学群
School of Human Sciences

生命環境学群
School of
Life and Environment Sciences

理工学群
School of
Science and Engineering

情報学群
School of Information Science

医学群
School of Medicine and
Dental Science

体育専門学群
School of Physical Education,
Sports and Recreation

芸術専門学群
School of Art and Design

【人材養成目的】

安全で安心であり、快適で豊か、かつ持続可能な人間生活を工学面から支え牽引できる人材、すなわち、1. 広い分野に応用できる基礎能力、2. 広い視野を持った仕事の遂行能力、3. 社会人・職業人としての人間基本力を身につけた技術者・研究者を養成します。

カリキュラム

「工学システム」は工学の新たに確立された学問体系です。工学システム学類では、急速に細分化が進み専門化されすぎた工学を、新しい観点から整理し系統立てて教育することにより、工学の様々な問題を解決できる独創的な人材を育成することを目的としています。このため、数学や物理といった工学全体の基礎を広く学ぶとともに、計算機

の利用技術、情報処理技術を修得し、さらに新しい工学を作り出すための系統的（系統的）方法論と手法を学びます。また、高度な発展を遂げてきた諸技術の要点を把握し、それらの例を通じて系統的な考え方を理解し、まとまった機能を持つシステムの設計や実現を体験する中で、高度な工学的独創性を磨いていくことを目指します。

主専攻	学べること	主な授業	
知的工学システム	高度情報化社会における人間や環境にマッチした高度な知的処理に基づく、人間にやさしいシステムの構築・設計のための理論・技術に関する教育・研究を総合的に行っています。目標とする工学的システムの知能化に要求される広い意味での情報の計測・設計、処理、伝送に関する理論と技術を修得します。ここでは、エレクトロニクスや、限りなく人間や環境にやさしく調和する高度な知的処理なども教育・研究対象の一つとなっています。	プログラミング序論、データ構造とアルゴリズム、応用プログラミング、コンピュータとネットワーク、人工知能、ディジタル信号処理、知的情報処理、パターン認識、通信工学、情報理論など	
機能工学システム	人間と機械要素を統合的に捉えるマン・マシン制御システムやロボットと、人間の耳目や頭脳要素にあたる各種センサやバイオコンピュータ、ニューラルネットワークを含むインテリジェントデバイスなどについて理論と技術を修得します。現在、情報化社会や最先端技術の中で、各種の大規模知能化制御システムが活躍しています。このようなトータルシステムでは、機械要素のみならず人間もシステムの構成要素として考える必要があります。本主専攻では、そのようなシステムを設計するエンジニアの養成を目的としています。	フィードバック制御、線形システム制御、計測工学、機械設計、システムダイナミックス、ロボット工学、ヒューマンインタフェース、メカトロニクス機構解析、メカトロニクス機能要素概論、システム最適化、数値解析など	数学、物理学、応用数学、専門英語、基礎実験、専門実験、応用実験、卒業研究、工学者のための倫理
環境開発工学	社会を支える基盤的システムを革新し、設計、運用するための理論と技術を習得します。対象は、建築物、橋梁、河川・海岸施設、発電装置、船舶、航空宇宙機、自動車、精密機器、電気電子機器など多岐にわたります。これらシステムとして捉え、効率性と信頼性の追求、また地球環境に与える影響への配慮などができる総合的な能力を備えたエンジニアを育成します。	設計計画論、建築環境工学、建築設計製図など	
エネルギー工学	動力、電力、熱、光、化学、原子力にわたる広範囲なエネルギーと変換過程についての基礎的知識と、エネルギーの変換、輸送、貯蔵、利用、それらを融合した性能の高いシステムを設計し制御するための理論と技術を習得します。太陽・風力など再生可能エネルギーの導入、燃料電池の開発と応用、自動車や航空宇宙分野での新技術開発に代表される高効率化やCO ₂ 排出削減といった資源・環境問題を解決できる能力、エネルギーの未来についての優れた見識を兼ね備えた社会貢献に資するエンジニアを育成します。	材料力学、流体力学、熱力学、数値計算法、構造力学、振動工学、流体工学、信頼性工学、材料学、複合材料学、機械設計、伝熱工学、土質力学、防災工学、水環境論、電磁気工学、パワーエレクトロニクス、エネルギー機器学など 電子回路、電力工学、燃料工学など	

令和3年度から、知的工学システム主専攻と機能工学システム主専攻、環境開発工学主専攻とエネルギー工学主専攻がそれぞれ統合され、知的・機能工学システム主専攻、エネルギー・メカニクス主専攻となる予定です。

工学システム学類パンフレットの請求方法

- パンフレット等は、学類Web ページからダウンロード可能です。
<http://www.esys.tsukuba.ac.jp/>
- テレメールによる請求もできます (p.171 資料請求番号は541441)

工学システム学類のキャリアパス



専門として学べる内容

教育内容と4つの主専攻分野

工学システム学類のカリキュラムは、4年間を通じて一般的な科目と専門的な科目とを融合的に学べるように配慮されています。このため1年次からレベルに応じた専門的な学問に触れることができます。2年次後半から、「知的工学システム」、「機能工学システム」、「環境開発工学」、「エネルギー工学」の4つの主専攻分野に分かれますが、学生本人の希望により他の主専攻、他学群・学類の講義も受けることができる柔軟な教育体制の中で深さと幅広さの両方を追求できるようになっています。

特徴

工学システム学類は、機械工学、情報工学、電気電子工学、建築学、土木工学、システム工学、原子力工学、エネルギー工学、環境工学、ロボット工学、航空宇宙工学、リスク工学など非常に広範囲な分野を専門とする教員を擁しています。これは一般的な大学工学部の大半の学科を網羅する守備範囲の広さともいえるでしょう。工学システム学類では、担当教員がこのように広い分野にまたがる集団をなすことを生かし、それらをできるだけ横断的に融合した教育プログラムを用意しています。この教育プログラムによって様々な工学分野の壁を超えた広い知識を習得できます。広い視野にたち、斬新で卓越したアイデアを創造できる人材の育成を目指しています。

卒業後の進路

卒業生は、将来の先端的な分野で活躍することが期待されています。毎年卒業生約140名のうち、約10名が就職、約130名は大学院に進学しその修了後に就職します。知的工学システム主専攻と機能工学システム主専攻の卒業生の主な就職先は、電気・電子、情報、機械、通信、サービス等の企業や官公庁です。また、環境開発工学主専攻とエネルギー工学主専攻の卒業生は、上記の企業や官公庁に加えて電力、航空宇宙、重工業、建設、金属分野等の企業へも就職先が広がっています。

特色のある授業や研究



人の上腕の運動特性計測と、人と協調して動くシステムの設計・製作・実験・評価などを行い、サイバニクス技術について学びます。



ワンチップマイコン、超音波距離センサ、磁気センサ等を搭載して自律飛行する飛行船を設計・製作します。



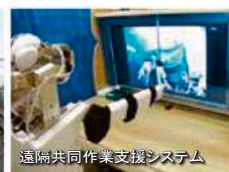
3D プリンタなどのデジタル工作機械を利用し、プロトタイピングを実践できるデジタルファブリケーションルーム、24 時間自学自習に利用することができる計算機室やラウンジが整備されています。ラウンジには飲み物と軽食の自動販売機が設置されています。



バーチャルリアリティ技術



鉄道車両のブレーキ制御



遠隔共同作業支援システム



ヒト型ロボットハンド



自由視点サッカー映像配信



エンタテインメントコンピューティング



3次元立体ディスプレイ

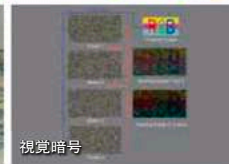


ロボテスツ HAL
サイバニクス研究室
Cybernetics Laboratory

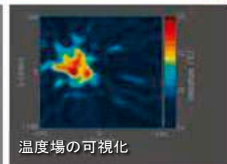
サイバネティクス、メカトロニクス、情報科学を中核として、ロボット工学、脳・神経科学、IT技術、感性・人間工学、生理学、社会科学、倫理学など、人・機械・情報系が融合複合した新領域、「Cybernetics (サイバニクス)」なる領域を開拓しています。



デジタル制御



視覚暗号



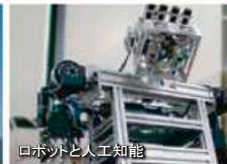
温度場の可視化



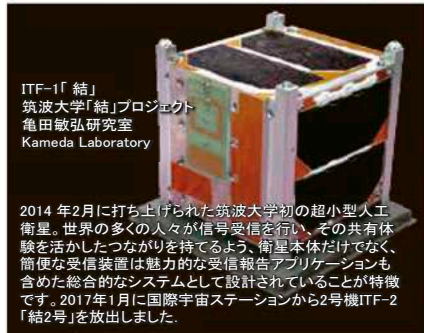
環境知能化



小型無人航空機

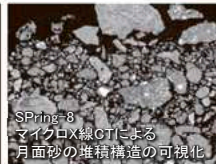


ロボットと人工知能

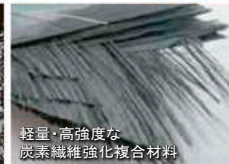


ITF-I「結」
筑波大学「結」プロジェクト
亀田敏弘研究室
Kameda Laboratory

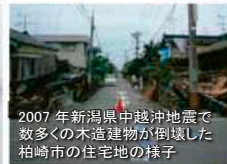
2014 年2月に打ち上げられた筑波大学初の超小型人工衛星。世界の多くの人々が信号受信を行い、その共有体験を活かしたつながりを持てるよう、衛星本体だけでなく、簡便な受信装置は魅力的な受信報告アプリケーションも含めた総合的なシステムとして設計されていることが特徴です。2017年1月に国際宇宙ステーションから2号機ITF-2「結2号」を放出しました。



Spring-8
マイクロX線CTによる
月面砂の堆積構造の可視化



軽量・高強度な
炭素繊維強化複合材料



2007 年新潟県中越沖地震で
数多くの木造建物が倒壊した
柏崎市の住宅地の様子



海岸部道路網の
津波脆弱性評価



強力超音波の
音響定在波によって空間に
浮遊状態となった液滴



人間活動がもたらす
河川環境の変容を計測



小型自動車用
高効率パワートレイン実験のための試作車両



大型水路による土石流実験の
高速カメラ画像



移動物体周りの流れの
可視化計測



炭素繊維複合材料の特性を
精密に測定



鹿児島・霞ヶ浦の水域環境
解析に使用する衛星データ



高性能繊維補強コンクリートを用いた複層立体トラス構造



地震の
速度応答スペクトルの比較

卒業生からのメッセージ

松倉真帆（まつくらまほ）

2017年度エネルギー工学主専攻卒業

工学システム学類に所属していた時には、固体力学からプログラミングまで、非常に多岐に渡る基礎分野について学びました。現在、私は同大学の大学院に進学しています。大学院の専門的な分野を学ぶ際に、学類で学んだ多彩な基礎知識が繋がっていくことが楽しいです。また、学生数も多く、多様な特技を持った友人と会話をすることは刺激的でした。皆さんも、多くのことを貪欲に吸収し、楽しい工学システムライフを送ってください。



星野翔大（ほしのかなた）

2017年度機能工学システム主専攻卒業

工学システム学類は、細分化した工学の一分野だけでなく、横断的に工学を学ぶことができる学類です。そのため、工学の中でどの分野に進むか迷っている人や、幅広い工学知識を身に着きたい人はこの学類で学ぶことをお勧めします。



また、筑波大学には非常に多種多様な人がいます。留学生や、同世代とは思えない技術やセンス・考え方を持つ人などが多く、刺激的な生活を送ることができます。筑波大学を通し、豊かな人間力を身に付けてください。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	(1) 工学系に必要な基礎学力とセンスがあること。 (2) 好奇心と学習意欲に溢れていること。 (3) 技術者になるという明確な目的意識があること。 (4) 優れた思考力、判断力、表現力とコミュニケーション能力を身につけていること。
	入学までに学んでおいてほしいこと
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）
	個別学力検査等（後期日程）
	推薦入試
	国際バカロレア特別入試
	私費外国人留学生入試
	編入学試験

その他、総合選抜入試で入学後、2年次より工学システム学類に移行することが可能です。この場合、1年次の授業は上記入試験合格者とはほぼ同じものとなります



School of
Interdisciplinary Studies
総合学域群

School of
Humanities and Culture
人文・文化学群

School of
International Studies
社会・国際学群

School of
Human Sciences
人間学群

School of
Environmental Sciences
生命環境学群

School of
Engineering
理工学群

School of
Information Science
情報学群

School of
Medicine and
Dentistry
医学群

School of
Physical Education,
Health and Sports Sciences
体育専門学群

School of
Art and Design
芸術専門学群

【人材養成目的】

人間行動が複雑に絡み合う社会的諸問題を工学的・実践的・戦略的に分析するために必要な文理融合型思考能力を持ち、総合的な問題解決のためのシステムを設計できる人材を養成します。



“つくばの社工”：筑波大学 理工学群 社会工学類

現代社会が直面する複雑・多様な諸問題は、もはや伝統的な学問の個別領域で単独に解決することが困難となっています。そこで“つくばの社工”では、社会・経済（社会経済システム主専攻）、企業・経営（経営工学主専攻）、都市・地域（都市計画主専攻）に関する社会問題に対して、そのメカニズムを科学的・客観的に理解し、新たなよりよい社会システムを提案できる未来構想人材の育成を行っています。

“つくばの社工”の1年次

1年次は主として、「共通科目」および「専門基礎科目」を履修します。共通科目は、外国語、情報、体育など、大学での学修で必要とされる基礎的能力を養成する科目です。専門基礎科目は社会工学類の専門教育の基礎となる科目で、「数学関連科目」、「プログラミング関連科目」、「社工3主専攻の導入の科目」から構成されます。数学関連科目では数学リテラシー、線形代数、微積分、統計学を学びます。プログラミング関連科目では、Python言語を用いてプログラミングの基礎やデータ分析の基礎を学び、ビッグデータ・人工知能の時代を見据えた基本スキルを磨きます。社工3主専攻の導入の科目は、専門科目への入門的な性格を持ちます。経済学の数理、経済学の実証、会計と経営、社会と最適化、都市計画入門、都市数理の6科目が用意されています。

“つくばの社工”の2年次以降

2年次から学生は社会工学を本格的に学びます。各学生は、1年次の勉強をふまえ、2年次の春学期終了時点で自由に主専攻を選択できます。その後の主専攻の変更は随時可能です。また、他の主専攻の教員から研究指導を受けることも可能です。この自由な教育研究環境が“つくばの社工”ならではの大きな特徴です。2年次には社会工学演習と社会工学英語を履修し、社会工学を学ぶ上で必要な知識とスキルを習得します。そして、各学生の希望する専門科目を学びます。3年次と4年次の学生には、より高度な専門科目を学修できるようにカリキュラムを工夫しています。

“つくばの社工”では、各主専攻の専門科目をエリアという科目群に分けています。具体的には、社会経済システム主専攻には「計量分析システム」「公共システム」「戦略行動システム」の3エリアが、経営工学主専攻には「マネジメント」「情報技術」「数理工学モデル化」の3エリアが、そして都市計画主専攻には「環境とまちづくり」「都市構造・社会基盤」「地域科学」の3エリアがあります。幅広く専門領域を学修し、総合的・学際的な問題解決能力を醸成するために、所属する主専攻だけでなく他の2主専攻の専門科目を履修することを卒業要件としています。

社会工学類パンフレットの請求方法

- パンフレット等は、学類Web ページからダウンロード可能です。
<https://www.sk.tsukuba.ac.jp/College/>
- ご興味のある方は、インターネットで“社会工学類”を検索してください。



学類長からのメッセージ



“つくばの社工”へのご招待

社会工学類長 鈴木 勉

人間行動の場である社会・経済、企業・経営、都市・地域においては、自然現象などの影響だけでなく人間の行動の結果として様々な現象が起こり、多種多様で複雑な問題が発生します。自然現象への対処に関しては工学の得意とするところですが、人間行動に起因する問題解決のためには、学際的な叡智を結集して、それぞれの人間行動の規模に適した合理的な理論モデルを構築し、客観的なデータ分析に基づいた合意形成や意思決定をしなければなりません。

近年において、このような文理融合型の教育の必要性はますます強調されてきています。“つくばの社工”では、それに先

駆けて経済学、経営学、心理学、社会学などの文系科目と数学、統計学、オペレーションズ・リサーチ、情報工学、計算機科学、都市・環境工学などの理系科目をカリキュラムに取り入れた教育を行ってきました。そして、専門科目の授業だけではなく、演習を重視した実践的な教育を行うことにより、学際的思考力、客観的分析力とそれらを踏まえた問題解決提案力を身につけるカリキュラムを提供しています。

データ分析に基づいた、より客観的な目で人間行動の現象を理解したいと思いませんか。また、得意な数学を駆使して人間の行動の場で発生する現象を理解したいと思いませんか。“つくばの社工”では、現実の問題を高い説明力を持って創造的に解決できる基礎学力と応用力を身につけることができます。

主専攻	学びたいこと	学べること
社会経済システム	<ul style="list-style-type: none"> ☆社会・経済がどのような制度や慣習に基づいているかを知りたい。 ☆社会・経済問題を解決する制度設計のあり方を提示できるようになりたい。 ☆制度の中で人々がどのような行動をするのか、自発的に協調できるのかを追究したい。 	<p>現代社会の理解に必須のミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学を基盤として、経済・金融データの分析（マクロ計量分析、計量時系列分析など）、現代的な社会経済のあり方（公共経済学、国際金融論など）、人間の意思決定・戦略行動（ゲーム論、実証ミクロ経済学など）を幅広く学べます。</p>
経営工学	<ul style="list-style-type: none"> ☆経営問題の原因を科学的に特定し、解決策を提示できるようになりたい。 ☆世界で戦える経営技術（数学力×IT力×現場力）を身につけたい。 ☆顧客と企業が互いにより happy になる姿を追究したい。 	<p>数学力（数理最適化法、応用確率論など）、IT力（情報ネットワーク、データ解析など）、現場力（ファイナンス、マーケティングなど）を身につけ、それらを駆使して経営問題の発見から解決までの一連のプロセスを実行できる人材を育てます。</p>
都市計画	<ul style="list-style-type: none"> ☆都市・地域の諸問題の原因と構造を科学的に特定したい。 ☆住み良い快適な都市のデザインや計画を提案できるようになりたい。 ☆地域の活性化に貢献できるようになりたい。 ☆世界中の都市について知りたい。 	<p>「都市計画の歴史」等で都市の成り立ちや蓄積されてきた文化を知り、「現代まちづくり論」等で現代の都市における各種の問題とその要因の理解を深め、「都市計画マスタープラン演習」等で将来的に都市計画やまちづくりの面から解決する実践力を身につけます。</p>

卒業生からのメッセージ

経済学部との違い

社会経済システム主専攻と経済学部の経済学科との大きな違いは、数理的アプローチの重視度です。経済学の一通りのことを学び、それがベースになることはもちろんですが、社会における様々な問題を発見し、数学や統計学などをツールとして問題分析をした上で、解決の方法を見つける能力を養成すべく演習などが組み込まれています。また、経済学だけでは解決できない学際的な社会課題に対しても容易に専門家を見つけられるというのは大きなメリットです。

経営学科との違い

経営工学主専攻では、経営学、会計学、経営組織論といった経営学部でも学ぶ科目の他に、「IT力」と「数学力」を養成します。それらの応用として金融工学や品質管理といった、工学系ならではの科目に大きな比重が置かれている点が最大の違いといえます。また、会計工学研究室のように、“つくばの社工”にしかない目玉研究室が多数あります。社会経済システムや都市計画についても学ぶことができ、他大学にはない長所を持っていると言えます。

建築学科・土木工学科との違い

建築学科・土木工学科と異なるのは、都市・地域の諸問題について、これらを分析し解決するための社会的・科学的・計量的アプローチを重視している点にあります。そのために実習・演習では、身近な問題を取り上げ、実地調査などを踏まえ、対策を立案し表現する能力の養成に主眼が置かれています。つまり、従来のハード重視の建築学科・土木工学科に比べ、政策も含めたソフト面が重視された内容となっています。もちろん、建築士の受験資格を得るためのカリキュラムも用意されています。

“つくばの社工”の学際性強化

“つくばの社工”の学生は、他学類で開設されている全ての授業科目を「関連科目」として履修できます。筑波大学では、様々な分野の学生が各学類の専門の基礎を学べるように、各学類・専門学群から専門基礎科目等の一部が「専門導入科目」として提供されています。専門導入科目は、各学生の幅広い履修が可能になるように大学全体で時間割が調整されています。様々な広がる分野の授業を履修することで、自分の専門分野の位置づけを理解するとともに、幅広い視野を育んで下さい。



玉井 恵美

(2005年卒業)
(社会経済システム主専攻)
筑波大学大学院
システム情報工学研究科修了
日興コーディアル勤務

筑波大学の良いところは、まず何といても、縁に囲まれた広大な敷地でのびのびと充実した学生生活を過ごすことができるということです。社会人になって感じたのは、落ち着いた環境で勉強に励むことができたことは本当に恵まれていたんだということです。また、“つくばの社工”では経済を社会工学的アプローチで学べ、基礎から応用、実践的技能までしっかりとしたカリキュラムが組まれており、指導してくださる先生方も幅広い分野の先生方に恵まれております。経済を科学的・工学的アプローチで分析し、問題解決を図る力は、きっと社会に出た時に非常に強みになると思います。



流王 智子

(2007年卒業)
(経営工学主専攻)
筑波大学大学院
システム情報工学研究科修了
鉄道総合研究所勤務

“つくばの社工”では、問題に直面したときに、頭の中だけでなく、問題解決の裏づけとなる数学的な根拠の部分にまで踏み込んだ学習をします。この数学的根拠は非常に重要で、自分の考えを受け入れてもらうには必要不可欠です。その上で今どのような問題が社会で起きているのかを自ら発見し、何が原因となっている、自分はその解決のために何ができるのか考える能力が重要です。この能力を養う機会が“つくばの社工”には多くあると思います。



嶋田 章

(2010年卒業)
(都市計画主専攻)
筑波大学大学院
システム情報工学研究科修了
環境省勤務

“つくばの社工”で都市計画を学んだことは、私にとって得難い経験です。都市計画主専攻では、フィールドワークやアンケートなどの調査と、モデル化、シミュレーションなどの数理的な手法とを組み合わせる都市・地域の問題解決を考えます。3年次の実習では、実在する地域・街区を題材に、問題解決のための提案や設計を考え、根拠とともにプレゼンテーションし、各分野でご活躍の先生方からアドバイスをいただきます。現場に足を運んで体感すること、また合理的な根拠とともに提案を示すことの重要性を学んだ経験は、行政官としての仕事にも非常に役立っています。



都市計画関連の実習では、実在の敷地を課題地とした集合住宅設計や、自治体を対象としたマスタープラン策定を行い、環境に配慮したまちづくりの方法を学びます

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	社会・経済、企業・経営、都市・地域において生起する多種多様な社会問題を認識し対処するために必要な学際的思考力を修得し、国際社会に貢献できることを希望する人材。	
入学までに学んでほしいこと	社会・経済現象、企業経営、都市計画上の問題に対して高い関心を有し、かつ論理的・数理的な思考ができること。	
入学者選抜方針	個別学力検査等 (前期日程)	数学と外国語の基礎学力とともに、高等学校における国語・社会・理科の学習内容の理解度を評価して選抜します。
	個別学力検査等 (後期日程)	高等学校における学習内容の理解度とともに、現代社会の課題や動きについての関心度、論理的・数理的分析力、自分の言葉で表現する能力を評価して選抜します。
	推薦入試	高等学校における学習習慣と、入学後の学習に必要な基礎学力を備えた志望者の中から、問題意識の高い人材を選抜します。現代社会の課題や動きについての関心度、論理的・数理的分析力、自分の言葉で表現する能力を評価します。
	国際 バカロレア 特別入試	数学の基礎学力を有し、国際的な経験を通して広い視野を持ち、一連の学習活動を主体的に行うことのできる明確な目的意識と勉学意欲を持つ人材を選抜します。
	私費外国人 留学生入試	広い視野を持ち、入学後の学習に必要な基礎学力・日本語能力を備えた志望者の中から、問題意識の高い人材を選抜します。社会の出来事や課題についての関心度、論理的・数理的分析力、表現能力を総合的に評価します。
編入学試験	社会学における専門的知識を修得できる基礎学力と勉学意欲、社会学に対する強い関心と論理的・数理的思考力、コミュニケーション能力を総合的に評価します。	

卒業後の進路

卒業生の42%が就職、58%が大学院に進学しています。大学院修了者も含め、企業・団体、公務員、教員など、国内外で広く活躍しています。

社会学類

【他大学大学院】 大阪大学、京都大学、東京大学、東京工業大学、一橋大学 ほか

【筑波大学大学院】 博士前期課程 システム情報工学研究科 ほか

【筑波大学大学院】 博士後期課程 システム情報工学研究科 ほか

【主な企業・団体】

【建設・不動産】 NTT都市開発、大林組、鹿島建設、クボタ、清水建設、大成建設、大和ハウス工業、東急不動産、日建設計、長谷工コーポレーション、三井不動産住宅リース、三菱地所
 【製造】 旭硝子、出光興産、NEC、花王、京セラ、コマツ、シャープ、ソニー、東京計器、東芝、日産自動車、パナソニック、日立製作所、ブリジストン、本田技研工業、三菱重工、ヤマハ発動機
 【情報通信】 SCSK、NTTコミュニケーションズ、NTTコムウェア、NTTデータ、NTTドコモ、NTT西日本、NTT東日本、KDDI、新日鉄ソリューションズ、日本アイ・ビー・エム、ヤフー
 【流通・商社】 JR西日本、JR東日本、西武鉄道、東急鉄道、豊田通商、阪急鉄道、三井倉庫、三菱商事、ヤマト運輸
 【金融・保険】 ゴールドマン・サックス証券、信金中央金庫、日本政策金融公庫、農林中央金庫、野村證券、みずほ銀行、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、ゆうちょ銀行、りそな銀行
 【専門・技術サービス】 アクセンチュア、あらた監査法人、NTT研究所、監査法人トーマツ、構造計画研究所、新日本監査法人、帝国データバンク、電通、日本赤十字社、日本総合研究所、野村総合研究所、リクルート
 【生活関連】 グリー、テレビ静岡、中国放送、ディー・エヌ・エー、バンダイ、マツモトキョシ、ユニクロ、楽天

【公的機関】 全国の都道府県庁・市役所。財務省、経済産業省、国土交通省、環境省などの中央官庁。筑波大学、東京工業大学、日本大学、一橋大学、早稲田大学などの助教・講師・研究員 ほか

主な進路概況（50音順）

総合学域群
School of Comprehensive Studies

人文・文化学群
School of Humanities and Culture

社会・国際学群
School of Transnational Studies

人間学群
School of Human Sciences

生命環境学群
School of Life and Environmental Sciences

理工学群
School of Science and Engineering

情報学群
School of Informatics

医学群
School of Medicine and Health Sciences

体育専門学群
School of Physical Education, Sports and Special Education

芸術専門学群
School of Art and Design

【人材養成目的】

現代社会の原動力である情報を生成・伝達・変換・活用するための工学的な技術やその原理となる数理や自然科学を理解し、それを実社会における様々な問題に適用して解決する実践力を備え、グローバルな視点に立って情報技術の発展を主体的に担うことができる人材を養成します。

21世紀に入り、世界の先進国は工業化社会から高度情報化社会へ変容を遂げつつあります。そこでは、「物」や「エネルギー」に比べて、「情報」とそれが内包する「知識」が、より大きな価値と役割を担います。知識集約型の情報産業は、既に我が国の産業の中で極めて重要な地位を占めていますが、今後もその重要性はますます増大し、「情報」の

本質を理解し使いこなす人材の必要性も、ますます大きくなっていくに違いありません。「情報」は現代文明を支える科学技術のキーワードです。情報科学類では、社会のあらゆる分野で必要とされる「情報」に関する科学技術を対象にした学問—情報学—を学びます。情報学は、情報そのものについての科学と、コンピュータなどを用いて情報を

科目分類	概要	学べること
共通	<p>1 - 2 年次では、情報科学の全体像の理解、数学の素養、情報科学を支える理論や方法論、情報技術の基礎となるプログラミングやコンピュータの仕組みや構成などを学習します。講義形式の授業のほか、実験・実習をふんだんに取り入れた授業、学生が自ら学習テーマを設定する授業など多彩な科目を用意しています。</p> <p>3 年次では、情報科学の専門的学習の共通基盤となる科目を学習し、4 年次では、情報科学類での学習の仕上げとして、研究室に所属して先進的な研究の一端を担う卒業研究を行います。</p>	<p>(1、2 年次) 線形代数、微分積分、情報数学、確率論、統計学、論理と形式化、電磁気学、電気回路、情報リテラシー、データサイエンス、プログラミング入門、コンピュータとプログラミング、論理回路、論理システム、数値計算法、情報理論、オブジェクト指向プログラミング、情報特別演習など (3、4 年次) Mathematics for Computer Science、インターンシップ、情報技術の最新動向、専門語学、卒業研究など</p>
ソフトウェアサイエンス分野	<p>自律して動作するロボットが人間の生活空間の中で活動したり、コンピュータが音楽を表情豊かに自動演奏したり、あるいは、ネットワークを通して何千台もの CPU が連携してシミュレーションを行ったり、このような活動の中で現代のコンピュータは複雑な情報を即座に処理しています。自然・社会・人間の脳などにある多種多様な情報をコンピュータで処理するためには、様々な問題を数理的な手法を使ってモデル化し、適切な処理方法を考案してソフトウェアで解決することが必要です。ソフトウェアサイエンス分野の科目では、このような情報処理の基本となる理論とその応用技術を学びます。</p>	<p>数理アルゴリズムとシミュレーション、人工知能、オートマトンと形式言語、プログラム理論、プログラミングチャレンジ、システム数理、数理メディア情報学、インタラクティブCG、情報線形代数、情報可視化など</p>
情報システム分野	<p>インターネットや携帯電話などの情報通信技術は、短期間に劇的に普及し、ダイナミックに変化を遂げる性質を持っています。しかし、表面的には目まぐるしい変化を遂げているように見える技術も、本質的な原理はそれほど大きく変わるものではありません。情報システム分野の科目では、情報化社会を支える基盤技術としてのオペレーティングシステム、プログラミング言語、データベース、プロセッサ、ネットワーク等を体系的に理解し、更なる発展を担う能力を身につけるための学習を行います。</p>	<p>コンピュータネットワーク、計算機アーキテクチャ、データベース概論、オペレーティングシステム、並列処理アーキテクチャ、VLSI 工学、プログラム言語処理、システムプログラム、ソフトウェア工学、情報検索概論、分散システム、電子回路、人工生命概論など</p>
知能情報メディア分野	<p>コンピュータに「目・耳・知能・安全を与える」技術を学びます。例えば、コンピュータにどのようにして知識を与えるのか、それを使えばどのような思考や推論が可能となるのか、コンピュータは画像や音声をどのように理解するのか、マルチメディア情報はどのようにデザインされ記憶・伝達されるのか、ネットワークでやりとりされる情報の安全を守るにはどのような工夫が必要かなどについて、演習や実習を交えながら理解を深めます。今後ロボットやコンピュータなどの機械はますます高度化・複雑化していきますが、これらの機械を「安全に、効率よく」かつ「簡単に」使えるようになるための学習を行います。</p>	<p>信号処理概論、パターン認識、ヒューマンインタフェース、信号解析、デジタル信号処理、音声聴覚情報処理、自然言語処理、視覚情報科学、情報セキュリティ、画像メディア工学、画像認識工学、機械学習など</p>

教員からの一言



塩川 浩昭

近年の情報技術の発展により、メール・メッセージなどの文書データや、写真・ビデオ・音声などのメディアデータなど、多様かつ大量のデータを日々生成・蓄積する「ビッグデータ」と呼ばれる時代となりました。多くの研究者の努力により、これらのデータを分析することでデータを生み出した人間や組織、社会が「今」どのような嗜好や考え方、意見を持っているのかなどを知ることが出来るようになりつつあります。コンピュータを通じて「今」を瞬時に分析できるようになったとき、人類の生活はより豊かに発展していくのではないのでしょうか。大量のデータを扱った研究に興味のある方は是非この情報科学類で共に学びましょう。

扱う技術とを対象にした学問であり、電子工学、通信工学、機械工学などの工学、数学、物理学、生命科学など自然科学、さらには、社会科学・人文科学や医学、芸術など、多様な分野に関連する新しい学問分野です。

専門として学べる内容

情報科学類には、ソフトウェアサイエンス、情報システム、知能情報メディアの3つの分野があります。1・2年次では、共通の基礎的知識や理論及び技術を学び、3・4年次では3つの分野の専門的な科目を学びます。4年次では、選択したテーマを基に研究室に配属され、卒業研究を行います。卒業研究では、ソフトウェア科学、計算機システム、知能情報、情報数理の各分野から提供される多彩な研究テーマを選択できます。

特長

情報科学類は、情報学の基礎となる考え方や技術を学ぶだけでなく、これらを実社会における様々な問題に適用して解決するための思考力と洞察力を養い、情報化社会の中核となる人材を育てることを目指しています。そのために情報科学類では、情報科学の基礎理論、コンピュータを用いた情報処理技術、基礎理論や技術を具体的な問題へ適用する情報システム工学、人にやさしい知能情報技術など、幅広い分野に対する充実したカリキュラムを用意しています。また、講義に加えて、コンピュータを用いた演習や実習を行い、情報学を体験的に学べるように配慮しています。

情報科学類パンフレットの請求方法

- パンフレット等は、学類Webページからダウンロード可能です。
<https://www.coins.tsukuba.ac.jp/>
- テレメールによる請求もできます。(p.171 資料請求番号541281)

資格など

卒業要件以外に「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許

- 中学校一種免許状（数学）
- 高等学校一種免許状（数学、情報）

社会教育主事、学芸員、司書教諭

この他に、以下のような資格を有している卒業生や学類生がいます。

情報処理技術者試験

- 基本情報技術者
- 応用情報技術者
- ネットワークスペシャリスト
- エンベデッドシステムスペシャリスト
- 情報セキュリティスペシャリスト

Oracle認定Javaプログラマ

LPICレベル1

- 第一級陸上無線技術士
- 工事担当者DD第1種
- 第3種電気主任技術者
- 技術士補（電気電子）
- 弁理士 など

設備



24時間、134台のiMacと30台のWindowsコンピュータが利用可能な計算機室

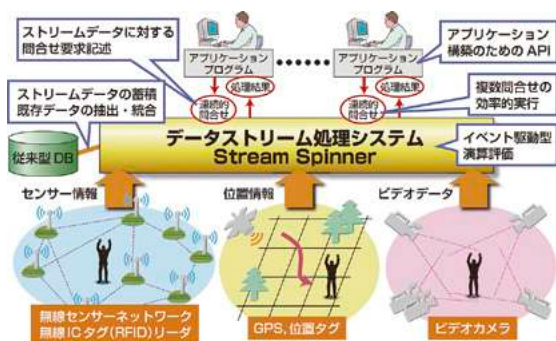
研究紹介



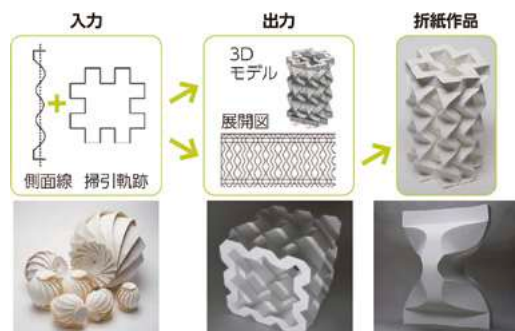
ネットワーク型ドライビングシミュレータを用いたインタラクション



大脳皮質でどのように形が符号化されているかを示すモデル (右上)
視覚の情報処理についてのディスカッションの様子 (下)



ユビキタス情報管理とストリーム処理



計算機を用いた立体折紙の設計。1 枚の紙から立体的な折紙作品を作ることができる。曲線、曲面も含めることができる。

先輩からのメッセージ



村田 雄一
2009年卒
株式会社ディー・エヌ・エー
オープンプラットフォーム
事業部システム開発部

情報科学類の魅力は多様性です。自分は高等専門学校からの3年次編入生として情報科学類（旧情報学類）に入りました。学類生の中には、学術性の高い講義や研究に打ち込む学生もいれば、産学連携の実践的な研究に従事する学生、大学ゆかりのベンチャーで活躍する学生もいます。そうした思考や興味の異なる学生と交流しながら切磋琢磨することによって、視野を広げつつも、情報科学について学んでいくことができます。

卒業後の進路も様々で、専門性の高い研究職に就く人もいれば、実践的な開発職に就く人もいます。自分の場合は後者のケースに当たります。実践的な開発現場においても、在学中の講義や研究活動を通して身につけた計算機科学の基礎的素養や、科学的思考は、仕事をこなす上で自身の強みになっていると常日頃から感じています。

情報科学に興味を持っている人であれば、学問として極める道も、実践的な取り組みに進む道もひろけている。それが情報科学類の特徴だと思っています。



来栖 壮馬
2016年入学
群馬県立桐生高等学校卒

総合大学であることを感じさせる開放的かつ広大で風光明媚なキャンパスは、筑波大学の大きな特徴の一つです。隔たりのない独特な生活を送りながら、学年・学類の枠に縛られずに興味のある分野を学ぶことが出来ます。そのため柔軟な履修計画を組みやすく、自分に合う学習環境を築くことが出来る点はとても魅力的です。

情報科学類は他の学類に比べてとても余裕のある履修計画を組むことが出来ます。基本の時間割に従うと、空き時間が多いため組み忘れてしまった科目も受けやすくなっています。また、1年次と2年次について時間帯の違う必修科目が多いため、1年次で積極的に他学類の科目を学び、進級してから1年次で履修しなかった科目を組むことも出来ます。僕は、先輩方から3年次に余裕がないことを聞いていたため、2年次の空き時間に3年次の科目を少し取り入れることで軽くするなどしました。

情報学のためプログラミングの実践的な授業も必修としてありますが、入門レベルから学ぶため心配する必要はありません。プログラムを構成するアルゴリズムの元となるような知識も数学や物理学等から学ぶことが出来ます。ある程度身に付いてくると、プログラムをアレンジしたり、他の分野の視点への閃きがあったりするでしょう。皆さんには、情報科学類ならではの楽しさをぜひ経験してほしいと思います。

卒業研究を行う研究室の選択

卒業研究を行う研究室は、3年次の秋に行う希望調査に基づいて決定します。研究室には定員がありますが、多くの担当教員の中から選択することができます。学生の希望を反映した研究を行うことができます。

卒業後の進路

情報科学類の卒業生には、情報化社会の中核を担う活躍が期待されており、前途は非常に有望です。最近数年間の卒業生の進路は、大学院進学が約7～8割、企業などへの就職が約2～3割です。就職先企業は、情報・通信をはじめ、電機・自動車などの製造業から、金融、マスコミにいたるまで、幅広い分野に亘っています。また、公務員や教員〔高校（数学、情報）、中学（数学）各々一種〕を目指す道もあります。このように、分野を越えて活躍の場があることは、情報科学類に特有の自在さです。

情報科学類に対応する大学院である理工情報生命学術院システム情報工学研究群には、博士前期課程（2年）と博士後期課程（3年）があります。大学院に進学した人達は、さらに深く専門の研究を行って修士号や博士号を取得したあと、企業や大学、国公立の研究機関、海外などで活躍しています。

卒業生の主な就職先は以下の通りです。（大学院進学後の就職も含む。敬称略・順不同）

情報・通信・システム：

NTT データ、日本IBM、日鉄ソリューションズ、日立産業制御ソリューションズ、日立ソリューションズ、日立システムズ、リコーITソリューションズ、ソフトバンクグループ、日本ユニシス、東芝デジタルソリューションズ、三菱スペース・ソフトウェア、ヤフー

電機：

日立製作所、NEC、富士通、パイオニア、ソニー、三菱電機、キャノン、リコー、シャープ、富士ゼロックス、パナソニック

通信サービス・生活サービス：

NTT 研究所、NTT 東日本、NTT ドコモ、NTT コミュニケーションズ、NTT コムウェア、JR 東日本、JR 東海、任天堂、KDDI

自動車・機械・エネルギー：

トヨタ自動車、日産自動車、いすゞ自動車、電源開発、小松製作所、本田技研工業

マスコミ・出版・銀行・保険・シンクタンク・小売りなど：

楽天、NHK、野村総合研究所、日本総合研究所、三井住友銀行、三菱UFJ銀行、リクルートホールディングス、セコム、サイバーエージェント、ミクシィ、新生銀行

その他：

総務省、防衛省、内閣府、特許庁、陸上自衛隊、県庁・市役所等

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		情報科学や情報技術への好奇心と探求心を持ち、習得した知識を創造的に活用・発展させて情報化社会の中核を担う意欲のある人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		情報科学や情報技術についての基本的な理解力を身につけていることが望ましい。数学的な知識も備えていることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等 (前期日程)	情報科学や情報技術を学ぶために必要な数学、理科、外国語の学習内容に対する理解度を総合的に評価します。
	推薦入試	高等学校における学習状況と課外活動への取組みとともに、情報科学や情報技術への関心、新しい技術を創造する意欲、自己表現能力、論理的に思考しその結果を的確に説明するコミュニケーション能力等を総合的に評価します。
	AC入試	情報科学や情報技術、または関連する分野に強い関心を持ち、自ら研究課題と明確な目標を設定して問題の分析や解決を創造的に図る意欲と能力を有し、その過程と結果を論理的に説明することのできる人材を選抜します。
	国際科学オリンピック特別入試	日本情報オリンピック本選でA ランクとなった者、または情報処理推進機構が主催する未踏IT人材発掘・育成事業に採択されたテーマのクリエイターを対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ能力を評価します。
	国際バカロレア特別入試	情報科学や情報技術への関心、新しい技術を創造する意欲、論理的思考能力、語学力を含めたコミュニケーション能力等を総合的に評価します。
	私費外国人留学生入試	情報科学や情報技術への関心や学習意欲、数学の基礎学力と論理的思考力、日本語によるコミュニケーション能力等を評価します。
編入学試験*		情報科学や情報技術を学ぶために必要な数学、情報基礎、物理学の学力、専門的知識を学ぶために必要な大学2年次修了程度の英語(TOEFL/TOEICスコアによる)の学力を総合的に評価します。

※情報メディア創成学類との併願が可能です。



【人材養成目的】

これからのネットワーク情報社会を発展させるために不可欠な基盤的技術分野や、Web・映像・音楽などの多種多様な情報をコンテンツとして扱い流通させる分野などにおいて、革新的技術や科学的理論を創造的に生み出すことができる技術者、研究者を養成します。



春日エリアの概観

コンピュータや携帯端末の普及とネットワークの進歩により、人間を取りまく環境は一変し、かつては想像もできなかったネットワーク情報社会が実現されています。例えば、Webで知りたい情報を検索したり、スマートフォンを使って好きな場所でテレビを見たり、インターネットで音楽や映画をダウンロードしたり、またWebやSNSで世界中の人々に対して情報を発信し交流することが可能になっています。

このようなネットワーク社会を支え発展させるのに必要なのは、従来の情報技術者とは一線を画する新しいタイプの情報メディア創成科学に関する技術者、研究者です。つ

まり、コンピュータ、プログラミング、通信、ネットワーク、画像、音、言語、知識、知能など情報技術全般に対する基礎力を身につけ、幅広い視野と思考能力を持ち、Web・映像・音楽などの多種多様な情報をコンテンツとして扱う技術と、それらを流通させるためのネットワークメディア技術を創成できるような人材です。現在このような新しい人材のニーズはまだ潜在的で広く認知されているとは言えないかもしれませんが、今後のネットワーク社会の進化とともに情報メディア創成学の技術者、研究者の社会的重要性はますます高まっていくことは間違いありません。

情報メディア創成学類は、このような社会のニーズに応えるため、情報技術全般を基礎として、コンテンツやネットワークメディアに取り組む人材を育成する新しく誕生した学類です。

この「コンテンツ」、「ネットワークメディア」の二つが、本学類の教育を象徴するキーワードです。「コンテンツ」は中身・内容という意味ですが、音、映像、テキストなどの情報を伝える媒体を元にして構成されるWeb・映画・音楽・ゲームなどのことを指します。また、「ネットワークメディア」とは、インターネット、携帯端末、テレ

科目分野	専門基礎 (1～2年次)	専門科目 (3～4年次)
情報科学・情報技術に関する科目	プログラミング入門、プログラミング、コンピュータシステムとOS、データ構造とアルゴリズム、情報理論、パターン認識、画像・映像情報処理、音声・音響学基礎、プログラム言語論	音楽・音響情報処理、オートマトンと形式言語、システム運用・管理、システム数理Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、知識・自然言語処理、ソフトウェア構成
コンテンツテクノロジーに関する科目	コンテンツ概論、コンテンツ応用論、コンテンツ表現演習、コンテンツ流通基盤概論、情報デザインⅠ、CG基礎、信号とシステム	先端技術とメディア表現、情報デザインⅡ、デジタルドキュメント、インタラクティブCG、デジタルコンテンツ表現実習、エンタテインメントコンピューティング演習、情報可視化、実世界指向システム
ネットワークメディアテクノロジーに関する科目	情報メディア入門A・B・C、コンピュータネットワーク、データ工学概論、Webプログラミング	マークアップ言語、通信ネットワーク、データベースシステムⅠ・Ⅱ、インターネット動画メディア論
人間の科学、社会、文化に関する科目	情報社会と法制度、知的財産概論、メディア社会学、認知科学、人間計測の方法	視覚情報科学、知覚心理学、インタラクションデザイン、コンテンツプロデュース論、コンテンツビジネス・マーケティング

情報メディア創成学類パンフレットの請求方法

- パンフレット等は、学類のWebページからダウンロード可能です。
<https://www.mast.tsukuba.ac.jp/>
- テレメールによる請求もできます。(p.171 資料請求番号 541291)

学生の声



加藤優一
2017年度入学

Q 入学の動機

大学入学までプログラミングは未経験でしたが、コンピュータに触れることが昔から好きだったので高校入学時から情報系学部を志望していました。元々は創成学類と同じ情報学群の情報科学類を志望していましたが、受験科目を見て創成の二次試験が数学と英語の2科目だけということを知ったのと、当時コンテンツとしての映像についても興味を持っており、自分の中で興味のある分野を広くカバー

できる場所だと思い情報メディア創成学類を受験しました。

Q 情報メディア創成学類の魅力

専門分野としてコンテンツ系と情報科学系、系統の異なる分野について広く学ぶことができる点はとても魅力的だと感じています。自分は多くの物事に興味があるので、ネットワークからデザインまで、幅広い分野に講義で触れることができるのはこの学類の長所と考えています。また、興味のある物事に自発的に取り組み発信することのできる人間が学年に関わらず多く在籍しており、自分のモチベーションを保つにはとても良い環境があります。講義だけでは何事も実践のレベルには追いつかないので、興味分野に対して自分から行動してプログラムを書いたり作品を作ったり、手を動かしていく必要があります。そのモチベーションを促進してくれるのはやはり周りの環境だと感じます。



鈴木悠美
2018年度入学

Q 入学の動機

高校生の時に参加したオープンキャンパスで、情報メディア創成学類の存在を知り、情報技術全般を幅広く学べ、実践的な勉強ができるこの学類に興味を持ちました。その後さらに調べてみると、「コンテンツ」「ネットワークメディア」を軸として、映像や音響、プログラミングにデザインと幅広い講義を受けられるところに魅力を感じ、この学類を志望しました。私は中学高校でWebコンテスト

やICT世界大会に出場し、Webページやコンテンツ作成を研究していたため、その経験・考察をまとめ、AC受験しました。

Q 情報メディア創成学類の魅力

情報メディア創成学類では他学類の授業も沢山受講することができるため、芸術専門学群や工学類、体育専門学群など自分の興味がある分野を学び、視野を広げることができます。またそのような授業では他学類の学生とも交流でき、知識の幅が広がり、よい刺激になります。授業では、プログラミングや情報デザインなど実践的なものが多くあるので、知識だけでなく技術を身に付けることができます。また様々な分野で活躍されているクリエイターやプロデューサー、アーティストの方のお話を聞くことができる講義もあります。

ビラジオの放送などの情報を伝える流通経路全般のことを指します。

そして、確固たる情報技術の知識の上に、コンテンツを扱う情報機器や手法に関する技術的な知識や技能、実際に様々なコンテンツを制作・デザイン・評価したりビジネスにつなげるセンス、ネットワークの仕組みや管理に関する技術的な知識や技能、ネットワークの効果的な利用法やネットワークを使ったビジネスのセンスなどを身につけ、これからのネットワーク社会における中核として活躍できる技術者、研究者を育成します。

専門として学べる内容

コンピュータ、ネットワーク、コンテンツ、メディアの世界がダイナミックに変容している現代社会において、情報メディア技術は、コミュニケーションによる人間の可能性を飛躍的に拡大する推進力です。このような現状を踏まえて、情報メディア創成学類では、コンピュータサイエンスを基礎とする情報メディア技術の総合的な能力を修得し、それを土台にニーズに応じて自由に科目を選べる1主専攻でのカリキュラム構成になっています。

1～2年次では数学、プログラミング、コンピュータリテラシなどを始めとして、情報メディア技術の基礎となる科目を重点的に学びます。これらと並行して、コンテンツ表現演習、コンテンツ応用論など、優れたコンテンツを評価し創造するセンスを養う科目や、技術を人間的側面から科学的に評価するために欠かせない認知科学などの科目も学べます。

これらの基礎的な科目の学習を踏まえて、3～4年次では情報メディア技術が対象とするコンピュータサイエンスやネットワークメディアテクノロジー、コンテンツテクノロジーなど、多彩な分野の高度な内容を、様々な専門科目として学びます。

科学技術に関する科目に加え、知的財産などの社会制度に関する科目、科学技術の流通やビジネスに関する科目なども用意されています。

また、演習や実習を重視し、本学の教員だけでなく、産業界で実際にコンテンツ開発などで活躍しているの方々をお招きしてのプロジェクトベースのグループ授業なども行われ、映像、音響、Web、ソフトウェアなどを実際に作成し、実践的な力を身につけることができます。



アーティストの福原志保先生によるバイオアートに関する講義

特色ある講義

第一線で活躍するクリエイター、プロデューサをお招きしての講義

アート・デザイン・エンターテインメントなど、人の心に訴えかけるクリエイティブ作品の制作のために活用される情報メディアに関して、実際にコンテンツの世界でご活躍中のクリエイターやプロデューサの方に講義をしていただきます。創造活動のケーススタディを通じて、表現のための発想法などを学びます。これまでにアニメーション作家のシシヤマザキさん、アーティストの福原志保さん、CGアーティストの瀬尾拓史さんなど多彩なゲストにお越しいただき、講演と対談形式の二つのスタイルで様々な講義を行っていただきました。



組み込み技術キャンパスOJT

“OJT”は“On the Job Training”の略で、「実際に仕事をしながら仕事のやり方を学んでいく」という現実の職場でよく行われている訓練技術です。平成21年に筑波大学情報学群は、「組み込み技術」について、大学内で学生にOJTを行う産学協同教育プログラムを開設しました。本プログラムでは、寄附金で準備された学習環境下で産業界の第一線の方々から直接指導を3年次に通年で受けることができます。令和元年度の第11期までで約300名の情報学群生を教育し、優秀な技術者を輩出しています。詳しい情報は、<http://www.cojit.or.jp/tkb/> をご覧ください。



成果報告会の様子（ゲームスーツ：ゲーム体感I/F）



enPiT-BizSysD

「ICTを活用するIoT時代のイノベーション人材育成のためのビジネスアプリケーション/システムデザイン実践教育ネットワーク」

ICT及びIoTの先進要素技術を理解し、これらに応用することで、ユーザや社会のニーズに応え、新しい価値を提案するアプリケーションやシステムを、PBL (Project Based Learning) 形式によりチーム開発することを主体とした産学連携の教育プログラムです。筑波大学情報学群は文部科学省の「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成(enPiT) -ビジネスシステムデザイン分野(BizSysD)」事業の一環として9つの大学と共同で分野を構成し、組み込み技術キャンパスOJTとも連携して実施しています。詳しい情報は、<https://bizsysd.enpit.jp/> をご覧ください。

施設紹介

情報メディア創成学類には、学生の授業、実習をサポートするための施設があります。

実習室には70台の計算機があります。各計算機は、科学技術計算用ソフトウェアやAdobe製ソフトウェア等のマルチメディアコンテンツ開発環境・ソフトウェアなど、多種多様なソフトウェアを搭載しており、情報メディア処理の初歩から応用に至る授業・実験に利用されています。実習室は授業時間外に学生が自習に使うことができます。

クリエイティブメディアラボは、映像編集、グラフィックデザイン、作曲等の実習を行うための実習室です。約20台のPCの他デジタルビデオカメラや大判出力機等の専用機材が備えられています。



実習室の様子



クリエイティブメディアラボの様子



研究事例：一枚の画像の中の映り込み部分（光沢のあるテーブルや床）に、別の画像の映り込みをリアルに合成。

特長

細分化して進化した現在の情報技術を統合的に再構築するカリキュラム体系とクリエイティブメディアラボ、音響・心理ラボなど、充実した実習環境の提供を通じて、革新的な理論や技術を創成する知識・能力を養成します。また、多様なバックグラウンドを持つ教員を結集し、個別学問分野から派生する研究・教育における新しい学術領域を創成できる人材を養成します。

資格など

必要単位を履修することで、教員や学芸員の資格を得ることができます。教員免許の場合、通常授業以外の「教職科目」等を履修することで、「中学校一種免許状（数学）」、「高等学校一種免許状（数学、情報）」の取得が可能です。

卒業後の進路

現代のネットワーク情報社会においては、どのような分野・産業でも、情報システムやメディアは不可欠です。情報メディア創成学類はこれからのネットワーク社会の様々な分野に大きく貢献する技術者、研究者を育てることを目指しており、その卒業生の活躍の場は無限に広がっています。まずは大学院に進学し、高度な専門性を身につけて産業や研究の場で活躍していただくことが薦められますが、様々な業種・職種に直接就職することも可能です。

就職先としては、ソフトウェア・Webシステム・情報サービス・出版・放送・エンタテインメントなどの各種メディアやコンテンツを扱うサービス産業はもちろんのこと、電機・自動車などの製造業や、流通・金融・運輸・建設などの社会的インフラを構築する産業など、幅広い分野での活躍が期待されています。実際の卒業生もそれらを始めとする広範な業種に進んでいます。なおアニメやゲームなど、クリエイターの道に進むことも可能ですが、それらの養成が学類の教育目的でないことにはご注意ください。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		理数系の素養と文化や芸術に対する豊かな感性を兼ね備え、ネットワーク情報社会における各種の技術や学問分野に対する強い興味と学習意欲を持ち、創造的に社会貢献することを目指す人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		在学中に学んだ科目、特に数学や英語についてはよく復習して内容を身につけておくこと。また、情報ネットワークを基盤とする社会全体に対して広く関心を持ち、知識や見識を意欲的に広げていくことを普段から心がける姿勢。
入学者選抜方針	個別学力検査等 (前期日程)	幅広い基礎学力に加えて、数学並びに外国語の学力を総合的に評価します。
	推薦入試	高等学校在学中の学習状況や基礎学力、課外活動への取組みとともに、情報メディアの科学と技術に対する学習意欲や目的意識、自己表現能力、自己分析能力、コミュニケーション能力を総合的に評価します。
	AC入試	コンテンツやネットワークメディアを支える情報メディアの科学と技術において、研究課題を自ら設定する創造性と意欲、課題を緻密に分析し創造的に解決する問題解決能力、その過程および結論を論理的に説明できる能力を総合的に評価します。
	国際科学オリンピック特別入試	日本情報オリンピック本選でAランクとなった者、または情報処理推進機構が主催する末路1T人材発掘・育成事業に採択されたテーマのクリエイターを対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ能力を評価します。
	国際バカロレア特別入試	情報メディアの科学と技術に対する学習意欲や論理的思考能力、理解力、及び本学類での学修に必要な数学などの基礎学力や日本語でのコミュニケーション能力を総合的に評価します。
	私費外国人留学生入試	情報メディアの科学と技術に対する学習意欲や論理的思考能力、理解力、及び本学類での学修に必要な数学などの基礎学力や日本語でのコミュニケーション能力を総合的に評価します。
編入学試験※		情報メディアの科学と技術に対する高い学習意欲と、専門科目に関する知識を学ぶのに必要な大学2年次修了程度の英語（TOEFL/TOEICスコアによる）、数学および情報基礎の学力を有する人材を選抜します。

※情報科学類との併願が可能です。

さらに深く勉強や研究を行うためには大学院の博士前期課程・後期課程に進学することになります。進学先は、筑波大の研究群のほか、他大学大学院や留学なども可能です。大学院に進学した後は、企業・公共機関の研究所や、大学などの教育研究機関、一般企業や公務員、専門職で活躍する道が用意されています。

情報メディア創成学類の具体的な就職先の例や進学状況についてはP.141～143をご覧ください。

【人材養成目的】

知識や情報を活用する能力を育み、関連する社会制度と技術の専門教育を行います。これらの教育を通じて、知識資源の形成、加工、流通、利用の発展に寄与する専門家と人間、社会、技術にわたる総合的視野や問題解決能力を持った職業人を育成します。

特長

情報の海から知識の高みへ

知識情報学は、古代から図書館が培ってきた知識情報に関わる文化・制度と、コンピュータを中心とする知識情報の科学・技術との融合の上に成り立つ新しい学問です。

人と技術と社会をむすぶ総合科学

知識情報・図書館学類では、知識や情報の創造、選択、収集、蓄積、分析、評価、利用という一連のプロセス

スに関わるあらゆる機関、システム、活動、現象を教育・研究の対象とします。

知識や情報のスペシャリスト

4年間の教育を通して、知識や情報の管理や流通に関わるスペシャリストを育てます。さらに、知識や情報を蓄積・提供するだけでなく、知識や情報を活用でき、広い視野と論理的な思考力を備えた柔軟な発想のできる人材を養成します。

教育内容と3つの主専攻

主専攻	学ぶこと	1 年次	2 年次	3・4 年次	
知識科学	知識の本質、知識と情報行動、知識獲得のあり方と方法などを理解し、知識の形式化や探索・収集技術、伝達方法、知識と情報の仲介技術などを修得します。データを分析的・解析的に扱い、知識を抽出する方法を修得します。	[全学共通] 総合科目 情報 外国語 体育 [学群共通] 知識情報概論 知識情報システム概説 図書館概論	[全学共通] 総合科目 体育 [学群共通] 情報社会と法制度 知的財産概論 [学類共通] 知識情報演習 哲学	[全学共通] 総合科目 [学群共通] 体験型システム開発 ビジネスシステムデザイン [学類共通] 専門英語 B・C インターンシップ 国際インターンシップ 学習指導と学校図書館 学校図書館メディアの構成 読書と豊かな人間性 情報メディアの活用 卒業研究	知識論 知識形成論 テクニカルコミュニケーション 学術メディア論 レファレンスサイエンス コミュニティ情報論 情報評価 データマイニング ソーシャルメディア分析 ほか
	知識情報システム	知識情報を効率よく扱うための理論と技術、たとえば、知識情報の分類や構造化、Web における知識情報の提供と共有、大量の知識情報を管理するデータベース、知識情報から有益な情報を取り出すための自然言語処理や情報検索などの技術を修得します。	知能と情報科学 A・B 計算と情報科学 システムと情報科学 情報メディア入門 コンテンツ入門 コンテンツ応用論 プログラミング入門 A 情報数学 A 線形代数 A 微分積分 A	情報探索論 情報行動論 知識発見基礎 知識資源組織化論 システム思考 データベース概説 コンピュータシステムとネットワーク 自然言語解析基礎 メディア社会学 経営・組織論 公共経済学 生涯学習と図書館 統計 機械学習 質的調査法 量的調査法 多変量解析 情報数学 B 映像メディア概論 知的探究の世界 テキスト解釈 専門英語 A1・A2	ディジタルライブラリ ディジタルドキュメント テキスト処理 情報検索システム Webプログラミング クラウドコンピューティング 情報デザインとインタフェース データ表現と処理 知識資源の分類と索引 ほか
情報資源経営	図書館をはじめとする情報サービス機関や組織やコミュニティにおいて、知識情報の蓄積・管理・提供サービスを企画、運営していくための知識や技術を修得します。著作権や特許といった知識情報に関する社会的制度の設計や運営、多様な情報メディアの特性やその歴史・文化などについても学びます。	[学類共通] アカデミックスキルズ			

知識情報・図書館学類パンフレットの請求方法

- パンフレット等は、学類Webページからダウンロード可能です。
<https://klis.tsukuba.ac.jp/>
- テレメールによる請求もできます。(p.171 資料請求番号 561271)

学べる内容

1、2年次で全学共通の科目と本学類の全体的な内容を扱う専門基礎科目を学びます。3年次から、知識科学、知識情報システム、情報資源経営という三つの主専攻のいずれかに属し、より専門的な内容を扱う専門科目を学びます。主専攻の決定は2年次末です。主専攻には教員の数に応じた受入上限が設けられ、希望者数が上限を超過した場合は成績順に主専攻が決まります。

各主専攻では3年次に実習（必修）があります。実習では主専攻のテーマに沿った内容をグループ学習したり、それぞれが調査したことをプレゼンテーションしたり、あるいはシステムを実際に構築したりします。構築したシステムが学外のコンテストで入賞するなど、実習を通じて高いレベルの技術・専門知識を修得することができます。4年次の卒業研究では、1年をかけて論文作成に取り組みます。

少人数で行う「知的探求の世界」、「インターンシップ」といった特色ある科目も用意しています。インターンシップは、日本や海外（アメリカ、カナダ、中国、韓国）における図書館及び日本の官庁・企業体等での実務体験を通じて、情報の収集・処理・提供に関する業務の実際を理解し、専門的職業人としての意識を高めることを目的としています。内容は実施機関によって異なりますが、図書館の業務や官庁・企業の情報システム関係業務などがあります。国内の場合は3年次の夏休みに2週間、海外の場合は夏休みに約10日間です。インターンシップを通じて将来に向けて自分の適性や関心も知ることができます。

enPiT とキャンパス OJT

情報学群は産学協働で情報技術を活用した課題解決型学習（PBL）を推進する拠点（enPiT）に選ばれ、2017年度から「ビジネスシステムデザイン」という、チーム開発を主体とする実習科目を新設しました。「体験型システム開発」はITベンチャー企業から派遣された技術者の指導を、キャンパス内に設けられた先端的なファブリケーション設備を備えた特別教室（openfab 創房）で受けながら、実践的な開発力を養う授業です。いずれも情報技術を活用して社会を変革する人材を育成するため、情報学群として一体的に取り組んでいる教育プログラムです。

資格など

知識情報・図書館学類では、司書と司書教諭の資格が取得できます。司書や司書教諭は他の大学でも取得できますし、場合によっては通信教育や司書講習でも取得できます。しかし、同じ資格でも知識情報・図書館学類では以下の点が異なります。

- ①日本や海外の図書館での実習が「インターンシップ」「国際インターンシップ」として組み込まれています。そのため貴重な現場経験を積むことができます。
- ②理工系の知識、たとえば情報システムにも精通する科目内容になっています。ITの発達により、現在の図書館は情報センターとしても機能していますが、そこで必要とされる情報処理技術を身につけることができます。

また知識情報・図書館学類では、中学校一種免許状（社会、数学）、高等学校一種免許状（公民、数学、情報）、学芸員、社会教育主事の資格も取得できます。

施設・設備

チュータと呼ばれる先輩学生が学類生のいろいろな相談にのってくれる「春日ラーニングコモンズ（KLC）」が、図書館情報学図書館にあります。そこでは履修計画の立て方、学生生活の過ごし方、レポートの書き方、図書館の使い方、パソコンの使い方などを教えてもらうことができます。

知識情報・図書館学類ではグループ作業を中心とする演習・実習が多いので、小グループでのディスカッション用にグループごとにホワイトボードと大型ディスプレイを占有できるグループ作業用の実習室を設けています。また、様々な方法でのプレゼンテーション能力を高めるために、大判ポスタープリンターを用意しています。学生は卒業研究の発表会や学外の学会発表でポスターを用いたプレゼンテーションも行っています。

IT環境も充実しており、全教室や学生ラウンジ、食堂で無線LANが利用できるほか、春日エリア全体で約230台の教育用コンピュータが設置されています。より高度なサーバプログラミングの実習用として、学類専用の仮想サーバ環境なども用意しています。

卒業研究

3年生の11月に研究室に仮配属され、12月から卒業研究の準備を始めます。4年生から1年かけてじっくりと研究を行います。着手、中間、最終と3回の発表会を行い、卒業論文を提出します。

卒業研究の例：

- ・情報探索能力と認知能力の関係
- ・深層学習におけるネットワーク構造の自動最適化手法
- ・共感覚者の意識と社会での在り方
- ・ネット炎上における偏差値と批判書き込み意欲の関係
- ・公共図書館における空間の快適性に関する基礎的研究
- ・構造成による数学の学習支援手法に関する研究



卒業研究発表会の様子

就職指導・キャリア支援

全学レベルでのキャリア支援活動に加えて、知識情報・図書館学類として、進路説明会や学生間で情報を共有するための進路情報カフェ等を実施しています。また、個別相談に対応するため、進路指導担当教員のほか、専門のキャリアアドバイザー（週1日）を配置しています。

卒業後の進路

卒業後は、研究者や大学教員を目指してより深い内容を修めるための進学と、知識や情報に関連した機関や企業への就職があります。身近な大学院としては、人間総合科学研究群情報学学位プログラム（2年制の博士前期課程と3年制の博士後期課程）があります。他大学や海外に進学するケースもあります。

就職先には、知識や情報のサービスを行う機関、図書館、企業や研究所の情報部門、さまざまな企業、製造業や印刷・出版・書店、サービス業及び官公庁などがあります。

主な進路は右の通りです。本学類の特徴のひとつである文理融合のカリキュラムから学んだ知識と技術力を活かし、知識情報・図書館学類の卒業生は、幅広い分野で活躍しています。

最近の主な進学・就職先

筑波大学大学院

人間総合科学研究群情報学学位プログラム、同ニューロサイエンス学位プログラム、システム情報工学研究群情報理工学学位プログラム

他大学大学院

広島大学大学院総合科学研究科、奈良先端科学技術大学院大学、立命館大学大学院、ボローニャ大学図書館学・アーカイブズ学

マスコミ・出版

産業経済新聞社、静岡第一テレビ、凸版印刷、日本放送協会（NHK）、紀伊國屋書店、丸善・雄松堂、パピレス、株式会社読売広告社、信越放送、DNPメディア・アート、DMM.com、BookLive、KADOKAWA、くまざわ書店

情報・通信

NTTドコモ、NTTデータ、NTTコムウェア、富士ゼロックスアドバンステクノロジー、ヤフー、ソフトバンク、日鉄ソリューションズ、日本電気航空宇宙システム、日本電気、富士通ゼネラル、日立製作所、京セラコミュニケーションシステム、NTTデータアイ、日立ハイテクノロジー、富士ゼロックス、富士通

コンサル

アクセンチュア、アクサムリピンコット

商社・流通

ハピネット、岡谷鋼機、カスミ、大丸松坂屋百貨店、楽天、図書館流通センター、トーハン

運輸・旅行

九州旅客鉄道株式会社、東京地下鉄株式会社

金融・保険

ゆうちょ銀行、日本生命保険相互会社、りそな銀行、常陽銀行、八十二銀行、損保ジャパン日本興亜保険サービス、商工組合中央金庫、大和証券、住友生命保険相互会社、東京海上日動火災保険

サービス

広芸インテック、リクルートホールディングス、みんなのウェディング、東京ドームホテル、吉本興業、福岡ソフトバンクホークス

製造販売

トヨタ自動車、資生堂

官庁・自治体・図書館・学校等

青森県、栃木県、茨城県、埼玉県、東京都、千葉県、群馬県、山梨県、静岡県、大阪府、大分県、花巻市、下妻市、つくば市、つくばみらい市、牛久市、成田市、浦安市、さいたま市、日野市、藤沢市、渋川市、佐久市、横浜市、静岡市、鳥取市、大分市、秋田大学、新潟大学、長岡科学技術大学、茨城大学、筑波大学、千葉大学、東京大学、東京藝術大学、信州大学、電気通信大学、慶應義塾大学、国際基督教大学、専修大学、仙台白百合女子大学、大正大学、独立行政法人日本学生支援機構

推薦入試

小論文とビブリオバトル方式

基礎的な知識の習得に加えて、思考力・判断力・表現力などの能力を多面的に評価することを目指して、ビブリオバトル方式の面接を導入しました。

面接では、自分が選んだ本の魅力を伝えてもらい、それをもとにメンバ全員でディスカッションします。これは、日本で生まれたコミュニケーションゲームでビブリオバトルと呼ばれています。バトルと言っても論戦ではありません。面接員は、自分の意見をうまく伝えられるか、協調的な質問ができるか、質問の意図を汲んで的確に回答できるかなどを評価します。

当日の手順

1. 面接のグループと順序は試験当日に示します。
2. グループは5人前後から成り、グループ毎に試験室に入室します。
3. 全員でAとBを繰り返します。
 - A) 5分間で自分が用意した本を紹介します。会場には発表時間を計測して表示する時計が用意されています。本の種類・形態は問いませんが、公序良俗に反する本でないことを条件とします。5分が過ぎた時点で発表を打ち切ります。紹介する本の実物は提示できますが、それ以外の資料は提示できません。
 - B) 受験生同士でディスカッションを2～3分行います。「投票するときが一番読みたくなる本はどれか」を判断するためのディスカッションという趣旨をよく理解してください。
4. 全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」という投票を行い、『チャンプ本』を決めます。
5. 試験室から退室します。

評価の観点

- ・その本を読むべき理由を、論理的に説得力をもって説明しているか
 - ・ディスカッションにおける質問力、質問に対する回答の的確さ等のコミュニケーション能力があるか
- ※チャンプ本に選ばれるかと試験の可否は関係ありません



入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	文理融合型カリキュラムの下で、知識・情報の蓄積・流通にかかわる社会や文化、人間の行動、情報技術を幅広く学ぶ意欲を持つ者。特に、問題を主体的に見だし、率先して解決に取り組む自律的な姿勢を持つ者。
入学までに学んでおいてほしいこと	高等学校までの学習内容に広く関心を持ち、特に英語、国語、数学（数Ⅱ・数Bまで）の基礎学力を身につけていること。
個別学力検査等（後期日程）	総合的な基礎学力に加えて、論理的思考力、表現力、広い視点からの発想を評価します。
推薦入試	高等学校で学習する全教科がバランス良く優れていることに加え、論理的思考力、コミュニケーション能力、説得力、豊かな発想を評価します。
AC入試	社会における情報の伝達や知識の創造に関して幅広く興味を持ち、関連した課題を自ら発見し、分析・解決していく能力を評価します。課題の分析結果を論理的に説明することや、説得力のある提案ができることも評価します。
国際バカロレア特別入試	主体的に学ぶ意欲のある者を対象として、語学力を含む基礎学力や論理的思考力、コミュニケーション能力、説得力を評価します。
私費外国人留学生入試	知識と情報に関連した内容に深い関心と問題意識を持ち、理解力、思考力、表現力や日本語能力に加えて、大学での学修に必要な基礎学力を有する人材を選抜します。
編入学試験	知識と情報に関する領域で学んだ知識・技術を深めたり、異なる領域で学んだ知識・技術を基に新しい領域に挑戦したりする意欲と学力を有する人材を選抜します。

※前期日程を廃止し、総合選抜入学者を2年次から受け入れます。

高校での学習内容との関係

知識情報・図書館学類では「知識」や「情報」という広い概念を扱うため、そこでの学習内容は高校での学習内容に限らず、これまで身につけてきたすべての学習内容と関係します。様々な事柄に幅広く興味を持つ姿勢や教養が大事です。したがって入試科目も多岐にわたりますが、高校での文系・理系に関係なく受験できるように配慮しています。「知識」や「情報」に興味を持つ人なら、コンピュータが苦手でも、数学Ⅲを履修していなくても大丈夫です。

また、高等専門学校、短期大学などで専門分野を修めた人には3年次編入制度があります。

【人材養成目的】

高い問題解決能力と他者との協調性、外国語運用能力を基盤とした臨床能力、研究能力を備え、人類の健康・福祉の増進に生涯貢献する強い意志と豊かな人間性を有する臨床医、医学研究者、保健・医療・福祉行政者を育成する。全ての卒業生は将来、広く国際社会で活躍することが期待されている。

カリキュラム

医学類は、社会の要請に応えうる医師の養成を目標として、新しい医学教育を行っています。令和元年度には第46回生の諸君を迎えました。また、多様な学識と社会経験を有する大学卒業者を対象に医学教育を行う目的で、編入学制度も採用しています。最近の医学の目覚ましい進歩と

医療の変化に伴い、医学生が学習すべき内容量は急速に増大し質も著しく変わってきました。最新の知識と技能を最大限に詰め込んで卒業しても、そのままでは日進月歩の医学と医療の世界から取り残されてしまいます。

卒業後も自己学習・自己開発を続け、発展させる能力を獲得しなければなりません。さらに、医師は、病気の予



少人数グループ学習



病理実習

主な授業科目

1・2・3年次

1年次から医学セミナーや介護体験を通して医学、医療に触れるとともに、3年次終了までに生命科学やヒトの構造と機能の基礎、ヒトの正常と病態を、全てが統合された形で学びます。学習形式はナビゲーター役の教員と少人数のグループ制での自己学習、討議、レポート作成とその評価が主になりますが、導入部や必要とされる部分では学習の鍵になる講義もなされます（チュートリアル教育）。チュートリアル人間学入門では医学生として円滑な勉学開始のために、医療の心を理解して勉学への意欲をもち、学問への取り組み方を知ってそれを習慣づけます。また3年次までに『生体と薬』、『先端医療から考える人間学入門』など基礎医学中心のコースから『呼吸』、『循環』、『消化』など臨床医学を中心としたコースまで約20のコースに分けてチュートリアル教育を基本とした医学基礎教育を行います。

4・5年次

4年次からの2年間は実際の診療を通して必要な知識、臨床技能・態度を学びます。学生が診療を見学するというのではなく、診療チームの一員に個人として加わり、患者さんを受け持つことになります。4年次では、筑波大学附属病院で複数の診療科のチームの一員として過ごし、様々なカンファレンスなどに参加する間に基本的な臨床技能として医療面接、系統的身体診察、カルテ記載法、基本手技などを確実に身につけます。5年次は、筑波大学附属病院での実習に加えて、学外における実習（病院実習、診療所、保健所、救急、行政など）も経験します。4～5年次の実習では、単に疾病を学ぶのではなく、患者さんを中心に問題をとらえ、多面的に解決する思考能力を身につけていきます。また、将来の進路を決定する手がかりを得ます。

6年次

6年次前半は選択制で、基礎・臨床・社会医学の研究室、学外施設（医院、緩和ケア、保健所、行政など）、海外の病院から様々な組み合わせの選択が可能です。臨床実習後に医学をもう一度、基礎・臨床・社会などの各専門分野から見つめ直すことを目的とし、進路を決める際の重要な参考にもなります。後半は卒業試験に先立ち、総括的講義が開講されます。

医学群ガイドブックの請求方法

- 医学群ガイドブックは、医学群Web ページからダウンロード可能です。
<http://www.md.tsukuba.ac.jp/igakugun/index.html>
- テレメールによる請求もできます (p.171) 資料請求番号は541391)

防・治療や健康の保持・増進という問題に、生涯にわたって取り組んでいかなければなりませんし、その点で大変やりがいのある専門的職業です。医師の対応する問題には身体的のみならず精神的・社会的な要素も含まれています。このため医師には、医学や自然科学だけでなく、人文・社会科学にわたる知識と洞察に基づいて問題を解決する能力も要求されます。医学類ではこのような医学・医療と社会の要請にかんがみ、卒業の時点で学生が基本的臨床能力と基礎的研究能力を備えていることを教育目標としています。

また、放課後や長期休暇を活用して、興味のある分野の研究室で教員のアドバイスを受けながら、学生時代から最先端の医学研究を行うことができます。その延長で5年次後半・6年次に医学研究者養成コースである「新医学専攻」を選択して、将来へつなげる道も用意されています。平成23年度からは、さらに研究医育成コースを新設し、卒業後直ちに大学院博士課程へ進学する道もできました。

専門として学べる内容

卒業生は将来、優れた医師（一般臨床医・専門医）、医学教育者、医学研究者あるいは保健・福祉行政者としてそれぞれの分野で社会に貢献することが期待されます。この

目標を達成するため、本学類では必要な知識と技能の修得にとどまらず、自ら学ぶ態度と習慣を身につけ、未知の問題を解決する能力を獲得することに教育の重点をおいています。独自のカリキュラムは6年一貫の医学教育を行うためのもので、豊富な実験・実習と様々な学問分野を組み合わせた統合カリキュラムを取り入れて、総合的な理解力の育成をはかっています。

具体的には、1年次から医学セミナーや介護体験を通して医学・医療に触れるとともに、3年次終了までに、生命科学やヒトの構造と機能の基礎、ヒトの正常と病態を全てが統合された形で学びます。これらはナビゲーター役の教員と少人数グループでの自己学習、討議、発表のテュートリアル形式で行われますが、重要な所ではピンポイントの講義もなされます。4～5年次の病院での臨床実習では、各個人が診療チームの一員として行動しながら、医学士となるべき知識・態度・技能を学び、実習終了時には医療に関係する全ての領域を網羅できるように組まれています。6年次には海外の大学や病院での臨床実習、学外の医療施設での実習、基礎医学や社会医学の研究室での研究を通して将来の進路を考えながら学びます。





臨床病理カンファレンス

教育の特色

医学類の教育の特色として、自己学習能力・問題解決能力の涵養を重視し、E-learning環境など学習のサポート体制を整備している点、及び体験型プログラムが充実している点などがあげられます。また、教育の質を保証するために、医学教育企画評価室を設置し、カリキュラムのプランニング、各種教育プログラム実施支援、評価のすべての段階において、教育の司令塔としての役割を持たせています。具体的には、社会のニーズに対応するための新たなプログラムの企画（チーム医療に関する医学群3学類合同コースなど）、評価結果に基づく現行プログラムの改善、チューター養成、教員研修会、卒業生のフォローアップ調査などを実施しています。

医学図書館は夜も開かれている他、全てのセミナー室にはネット環境が整備されており、E-learningシステムを活用して学生が必要な時に、病理組織標本などにアクセスして自習できます。また臨床技能実習室には、身体診察や救急蘇生を練習するためのシミュレーターが多数整備されています。

資格など

学士（医学）

医師国家試験受験資格

卒業後の進路

令和2年3月末現在、第40回卒業生までの4,124名が医師国家試験を受験し、平均合格率は96.4%です。卒業後、卒業生の多くは臨床医として、医療の第一線で活躍していますが、基礎医学の道を選び、研究者として国際的に非常に高い評価を受けている人達もいますし、保健・福祉の行政者として国際機関や厚生労働省等の政府機関、都道府県の保健医療部局などで活動している人達もいます。臨床医となった卒業生の中にも、その優れた研究成果が評価されて海外の研究所や大学に招かれ、臨床医あるいは研究者として活躍している人も多く、また認定医や専門医の資格を得て、高度の専門知識と技術をもつ臨床家として医学の進歩をリードし、あるいは医学教育に携わっている卒業生も数多くいます。

卒業生の多くは、本学附属病院をはじめ全国の研修病院で研修を受け、臨床医としての道を歩みます。平成16年度から全国的に卒後臨床研究が必修化されましたが、本学附属病院では全国に先駆けて昭和63年から卒後臨床研修部（現、総合臨床教育センター、<http://www.hosp.tsukuba.ac.jp/sotsugo/>）に専任教員を配置しています。



臨床実習（手術室）

先輩からのメッセージ



福地 晴彦 5年生在学中

筑波大学医学類に興味を持ってくださった皆様こんにちは。私は筑波大学の教育について紹介させていただきます。筑波大学では、他の大学に先駆けてユニークな教育プログラムを行っております。その一つに少人数のグループで問題解決を行う「テュートリアル学習」というものがあります。一般的な講義形式の授業とは異なり、この形式では学生が能動的に学習を行うことが特徴です。課題となるシナリオから問題点を抽出し、その解決に必要な情報を調べ、解決策を考えるという一連の流れで学習を行います。講義で学んだことを活かして、学生同士が学んだことを共有し議論しあうことで、より深く理解することができます。私は常に問題意識をもちそれに対する解決策を考える癖が身につきました。最後になりますが、豊かな自然に囲まれた筑波の地で皆様とお会いできるのを楽しみにしております。



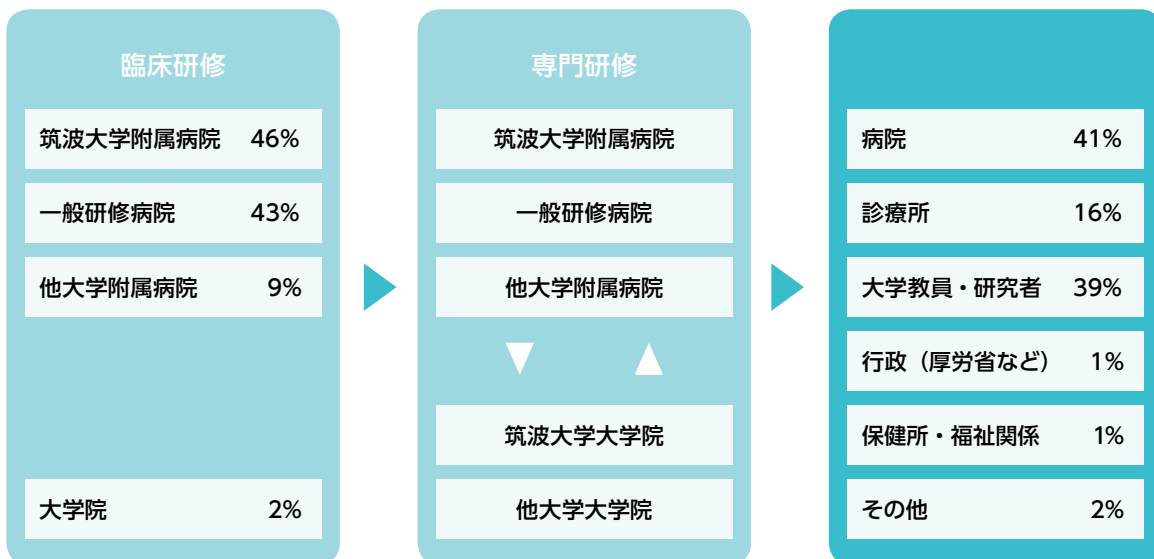
浅妻 佑衣 2019年度卒業

受験生の皆さん、こんにちは。筑波大学の魅力はたくさんありますが、その一部についてご紹介させていただきたいと思います。まずは、運動する環境に恵まれていると思います。大学の敷地内に陸上競技場やテニスコート、サッカー場、など様々な設備の整った施設があります。筑波大学には医学系の運動部が多くあり、部活動の際にそれらの施設を使うことができます。日常生活については、筑波大学では多くの学生が大学付近で一人暮らしをしています。自分の家の近所に誰かしら友達が住んでいるという環境なので、何かあった時にはお互いに助け合うことができます。そして、大学周辺には学生向けの定食屋や居酒屋だけでなくお洒落なお店も多くあり、友達と電車の時間を気にすることなく楽しい大学生活を送ることができます。筑波大学では勉強だけでなく楽しく充実した大学生活を送ることができます。皆さんのご入学をお待ちしております。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		自然科学、語学等の十分な基礎学力と豊かな創造性、探究心を有し、高い倫理観、協調性、コミュニケーション能力を持って、生涯にわたり人類の健康と福祉に貢献する強い意志を持つ人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		自然科学、外国語についての十分な知識と理解さらに応用する能力が必要である。特に自然科学や医学に関する英文記事を理解し要約する能力や、グループの中で積極的に討論に参加したり、意見をまとめる能力を備えていることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等 (前期日程)	広い基礎学力に加えて、数学、理科、英語の学力を評価するとともに、医学を志向する動機、修学の継続性、適性、感性、社会的適応力など総合的な人間性について評価します。 【地域枠】 上記に加え、将来茨城県の医療を担う強い意志を有する人材を、総合的に評価します。
	推薦入試	高等学校で学習する全教科がバランス良く優れている者の中から、医師となる資質が十分な人材を小論文、適正試験によって総合的に評価します。 【地域枠推薦入試】 上記に加え、将来茨城県の医療を担う強い意志を有する人材を、小論文、適性試験により総合的に評価します。
	研究型 人材入試	広い基礎学力に加えて、自ら発見した自然科学の課題に対し、自主的かつ継続的に取り組み、その結果、到達した高い成果を評価します。また、医学を志向する動機、修学の継続性、研究者としての適性、資質、社会的適応力等総合的な人間性についても評価します。
	国際バカロレア特別入試並びに海外教育プログラム特別入試	広い基礎学力に加えて、数学、理科、英語の学力を評価するとともに、医学を志向する動機、修学の継続性、適性、感性、社会的適応力など総合的な人間性について評価します。
	編入学試験	広い基礎学力に加えて、数学、理科、英語の学力を評価するとともに、医学を志向する動機、修学の継続性、適性、感性、社会的適応力など総合的な人間性について評価します。

卒業後の進路



医学類HP（<http://igaku.md.tsukuba.ac.jp/>）で、もっと詳しい医学類の情報（カリキュラム、進路、キャンパスライフ、入試など）を見ることができます。

総合学域群
School of
Interdisciplinary Studies

人文・文化学群
School of
Humanities and Culture

社会・国際学群
School of
Societies and International Studies

人間学群
School of
Human Sciences

生命環境学群
School of
Life and Environment Sciences

理工学群
School of
Science and Engineering

情報学群
School of
Information Science

医学群
School of
Medicine and
Dentistry

体育専門学群
School of
Physical Education,
Sports and Special Education

芸術専門学群
School of
Art and Design

【人材養成目的】

広い教養と深い人間理解を基盤に、人々のニーズに合った質の高い看護を提供し、保健・医療・福祉チームの一員として協働できる優れた看護職を育成するとともに、保健医療分野における行政官、国際的な視野に立った看護職など、広く社会に貢献する人材を養成することを目的とします。



学内演習風景

授業科目

	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生
基礎科目	総合科目 (学士基盤科目) 体育実技 哲学通論		看護専門英語 保健医療福祉行政論Ⅰ、Ⅱ 国際保健学 医療経済学 環境保健 臨床看護方法論 臨床看護学実習 (クリティカルケア)	応用看護学演習Ⅱ (IBT) 医療チーム連携演習 応用看護学実習
	総合科目 (フレセミ、学問への誘い) 情報リテラシー、データサイエンス 国語 第1外国語	人間関係論 心の健康と相談活動 行動科学 コミュニティ・エンパワメント論 人体の代謝と栄養 臨床薬理学 機能形態学演習 遺伝と健康 微生物学 保健統計学 疫学 障害理解	臨床看護学実習 (セルフケア) 精神看護学実習 高齢者看護方法論 高齢者看護学実習 母性看護方法論 母性看護学実習 小児・発達看護方法論 小児・発達看護学実習 (保育所・施設ふれあい実習) 小児・発達看護学実習 (病院実習)	看護師 看護学探究概説 看護学探究演習
	人体機能学 人体構造学 医学史 医療生命科学与テクノロジー 生涯発達と家族支援 日本国憲法	基本看護技術 基本看護技術演習 フィジカルアセスメント 看護方法論 看護技術実習 看護過程実習 職域における保健活動 臨床看護学概論 疾病の成りたちと回復促進 精神看護方法論 ウイメンズヘルス看護学概論 小児・発達看護学概論 子どもの健康と障害 国際看護学	在宅看護概論 在宅看護方法論 在宅看護実習 ヘルスプロモーションと看護 家族病理とメンタルヘルス 看護マネジメント 災害看護学 応用看護学演習Ⅰ (OSCE) 研究方法概論 ヘルスプロモーション実習Ⅰ ヘルスプロモーション実習Ⅱ 公衆衛生看護活動論 特別支援教育 教育課程編成論 教育の方法と技術 生徒指導 教育相談 養護概説	保健師 選 択 公衆衛生看護学実習 公衆衛生看護学活動方法論 公衆衛生看護学応用論
	基礎看護学概論 看護生命倫理 公衆衛生看護学概論 精神看護学概論 高齢者看護学概論			養護教諭 選 択 教職実践演習 養護教諭課題演習 養護実習
専門基礎科目				
専門科目				
選択科目	現代教育と教育理念 教育史概論 教職論 教育社会学概論 教育の法と制度 学校経営概説	教育心理学 道徳教育 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の理論と実践		

- 基礎科目
- 専門基礎科目
- 専門科目
- 看護師授業科目
- 保健師選択科目
- 養護教諭選択科目

注) 保健師コースおよび養護教諭コースは選択(選抜)制です。

医学群ガイドブックの請求方法

- 医学群ガイドブックは、医学群Web ページからダウンロード可能です。
<http://www.md.tsukuba.ac.jp/igakugun/index.html>
- テレメールによる請求もできます (p.171 資料請求番号は541391)

提供するための専門技術は、こうした幅広い人間理解と科学的な理論を基盤とした看護学のさまざまな演習や実習を有機的に取り入れながら修得していきます。

看護学類について

看護学類は2020年3月に第14期生を送り出し、そして4月、18年目の春を迎えました。この間、看護・医療科学類看護学主専攻から看護学類へと組織改正が行われただけでなく、2007年度には大学院看護科学専攻博士前期課程（修士課程）が、そして2009年度には看護科学専攻博士後期課程（博士課程）が開設されました。この背景には急速に変化する疾病構造や医療の進歩に伴い、それに対応できる高度専門医療職者の育成へと社会のニーズが高まってきたことがあげられます。看護学類ではこのようなニーズに応えるために特徴的なカリキュラムを構成しています。

教育の理念

近年の急激な社会環境の変化に伴い、看護や医療に求められる「質」が急速に変化しています。一方、看護を必要とする人たちが求める質の高い要請に対応できる看護師の数はまだまだ不足しています。本学類では、このような看護や医療に対する社会の要請に即応するために、広い教養と深い人間理解を基盤とし、大学病院のみならず地域の医療・福祉に従事している方々とも連携した教育をします。

人々のニーズに合った質の高い看護を提供し、専門性を生かして、保健、医療、福祉チームの一員として協働できる保健医療専門職を養成します。また、教育者、研究者、管理者としてそれぞれの専門分野で指導的役割を担い、社会に貢献できる人材を育成します。

教育の特色と進路

総合大学である特長を活かし、条件が許す限り、他学類あるいは他学群の授業を受けることができます。他学群・他学類の学生と一緒に受講する共通科目は、多くの学生との交流を通して豊富な知識の習得だけでなく、豊かな人間性の形成に役立ちます。さらに多くの留学生と交流することにより、グローバルな視野で物事を思考する国際性を養うことができます。また、1年次から医学類、医療科学類と合同で受講する科目を設けており、これは同じ医療職における各々の専門性と独自性、そして役割を考える機会と

なります。4年次には3学類に他大学生も参加するチーム医療演習を通して、医療における看護専門職の役割をより理解し深めることができます。正規の授業以外にも附属病院で行う研修会へ参加することで、最新の医療知識や医療安全などを学習することもできます。近年では総合実習で米国イリノイ大学シカゴ校や聖アンソニー大学の研修プログラムあるいはベトナムホーチミン医科薬科大学での研修に参加することで学びを深める学生も増えてきました。協定校である南インドアナ大学の2年間の留学プログラムに参加する意欲ある学生も複数います。

看護学類の入学定員の数は70名で、3年次に10名の編入学を受け入れています。卒業要件を満たすと看護師の国家試験受験資格が得られます。2012年度の入学者から看護学類での助産師教育は実施せず、大学院で行っていますので助産師の国家試験受験資格は学類では取得できません。また選抜制になりますが保健師の国家試験受験資格あるいは養護教諭一種免許の申請が可能となります。卒業生は、医療機関における看護職として、学校保健や産業保健、地域保健などにおいて人々の健康生活の維持・増進のために活躍しています。また、高度実践看護を目指し、専門看護師や教育・研究職を視野に入れて人間総合科学研究科看護科学専攻に進学している卒業生もいます。あるいは行政機関等において指導者として力を発揮する道もあるでしょう。

看護学類は高度専門医療職の育成を通して人々の健康と安全な社会の実現に貢献したいと考え、「筑波スタンダード」を具現化し“Made in University of Tsukuba”の看護を社会に発信することを目指しています。皆さんの積極的な参加を期待します。



保健師実習



看護学実習

取得できる資格

看護師国家試験受験資格

保健師国家試験受験資格

教員免許

養護教諭一種免許状

(所定の選択科目を修得する必要があります)

養護教諭二種免許状

(保健師国家試験合格後、申請により授与されます)

取得実績（看護学類の実績を示す）令和元年度

看護師	67名（100%）	養護教諭	5名
保健師	19名（100%）		

取得できる資格とその概要

看護師

看護師の役割は、健康上の問題から引き起こされる、人々の身体的、心理的な苦痛を軽減し、問題を抱えた人自らが、その問題を解決できるように支援することです。また、看護師は、医療の高度化に順応し、常に研究心を持ちつづける、科学的看護の実践者でなければなりません。そのような看護師を育成するために、本学類では、総合大学の特性を生かし、看護学を中心にしながら、医学、心理学、社会学との連携を図っています。また、実践能力の向上を目指して、臨床実習のほかに、臨床実技試験（OSCE）や、医学類、医療科学類の学生たちとともにチーム医療を学ぶケア・コロキウムといった、他学でもまだ例の少ない先駆的な教育を実施しています。本学類の学生は、卒業時に学士（看護学）の学位が授与されます。卒業後は、取得予定の国家資格を生かし、高度な医療を提供できる総合病院から町の診療所まで、全国各地の医療機関で、看護師として勤務することが可能です。

保健師

地域には、乳児から高齢者まで、そして、健康な人から病気になってしまった方であらゆる人々が生活しています。その方々の健康を守り、病気にならないように予防し、病気になっても早く回復できるように、そして、生きがいをもって健康的な生活ができるように、さまざまな支援活動を、公的な立場から行っている医療専門職が保健師です。保健師の多くは、現在、市町村の保健センターや保健所にて活動しております。また企業そして福祉施設でも活躍しています。保健師の活動は地域の状況をアセスメントし、地域の健康問題を診断し地域の健康ニーズを把握します。地域の人々の健康ニーズに応じた、さまざまな保健事業サービスを企画、展開します。公衆衛生の拠点である保健所においては、地域の健康を守る広域的、専門的、技術的な活動を行っています。地域の人々に身近な自治体である市町村においては、健康診査、健康相談、健康教室、家庭訪問などを行い、人々の健康を守る活動を行っています。保健、医療、福祉等のさまざまな方々と連携し、地域の人々の健康を守るシステムづくりに関して活動しています。

養護教諭

養護教諭とは、学校で子どもの心身の保健管理・保健教育を担当する教員です。看護学と教育学の専門知識を兼ね備えた教員です。主に保健室に常駐し、けがや病気の応急処置、健康診断と保健指導、さまざまな問題や悩みをもつ子どもの健康相談、学校保健委員会のような委員会活動などを行っています。看護学類では、養護教諭一種免許状の取得に必要な看護学、教育学、心理学、医学などの科目が開講され、広い視野から学校保健・学校看護について学修していきます。4年次の養護実習では実践を通して知識・技術を深めていきます。卒業後の進路には、大学院への進学や養護教諭としての就職などがあります。本学では将来指導的立場にたつための養護教諭専修免許状が取得できる大学院が設置されています。公立学校の養護教諭として就職する場合は、都道府県や市が行う教員採用試験に合格して採用されます。

※保健師コース、養護教諭コースは選抜制で人数の制限があります。

卒業後の進路

令和元年度進路状況
(看護学類)

病院（看護師・助産師）	53 名
市役所等（保健師）	8 名
養護教諭	4 名
進学	9 名
その他	5 名
合計	79 名

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		科学的な知識や語学力などの十分な基礎学力を有し、看護学に関する深い興味と関心があり、新しい保健医療福祉を支えるための看護技術を探求し開発できる能力と意欲を有する人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		高等学校での学習内容を深めておくと共に、特に生物学および外国語については、十分な知識を有し理解していることが望ましい。また、優れた文章読解能力や文章表現能力を有していることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等 (前期日程)	国語、理科、英語の学力を中心に、基礎学力を評価するとともに、看護を志向する動機、適性、感性、社会的適応力及び人間性等について総合的に判断します。
	推薦入試	看護に関連する分野において必要とされる明確な問題意識と優れた洞察力について評価します。また、部活動、地域活動、社会活動等の実績について評価します。
	国際バカロレア特別入試	看護に関連する分野において必要とされる明確な問題意識と優れた洞察力、大学で看護学を修得するために必要な基礎知識ならびに思考力や学力などを総合的に評価します。
	私費外国人留学生入試	海外生活の経験を活かし、国際性と協調性を身に付け、グローバルな視点から保健医療福祉の分野を探求する意欲と能力をみます。
	編入学試験	医療人としての更なる飛躍を目指す動機に加えて、大学で看護学を修得するために必要な基礎知識ならびに思考力や学力などを総合的に評価します。
	私費外国人留学生 Japan-Expert (学士) プログラム特別入試	基礎学力とヘルスケアシステムやヘルスケア技術を学習する動機、日本語での学習能力、適性、感性、社会的適応力、並びに人間性について総合的に評価します。

先輩からのメッセージ



白木 文菜

(11 期生)

2016（平成 28）
年度卒業

筑波記念病院勤務

受験生の皆さん、こんにちは。私は筑波大学看護学類を卒業後、看護師として働いています。筑波大学での学生生活は、実に様々な経験を積み、充実していた日々であったと感じています。筑波大学は全国各地から学生が集まる総合大学であり、幅広い学びと出会いが広がっています。医学系の学生との交流はもちろん、他学類の学生との合同の授業や、他学類の授業の履修を通じて、様々な個性に触れ、各々の人間性を磨くことができます。体育館やグラウンドなどの設備も整っており、サークルや部活動にも打ち込むことができるのも魅力の一つです。

私は病態や疾患についてだけでなく、心身ともに人を見ることができると目指して筑波大学を受験しました。看護学類の授業や実習では、基礎的な疾患や看護技術はもちろん、ユマニチュードの概念に基づいた人の尊厳を大切にすることを学ぶことができました。この学びは、臨床に出た今も私の中で大切な軸となっております。

看護学類では、看護師、保健師、養護教諭の資格を目指す履修プログラムを自分で選択することができます。現在具体的なキャリア構想がなくとも、授業や実習での経験を通じて自分が興味のある分野を見つけ、それを実現していくことができる環境です。緑豊かなつくばで個性豊かな仲間と優しい先生方とともに、充実した学生生活を過ごしてください！



岡田 綾

(9 期生)

2014（平成 26）
年度卒業

豊島区立仰高小学校勤務

みなさんこんにちは。私は筑波大学を卒業後、東京都の小学校で養護教諭として働いています。日々頭と心をフルに使って、子どもたちと向き合う仕事にやりがいを感じています。

看護学類では、看護師免許はもちろん、選択や進学によって保健師や養護教諭、助産師の資格をとることができます。人が生まれてから死を迎えるまでの人生や、健康や栄養について幅広く学ぶことができるため、人に対しての理解が深まります。また、自分の将来の仕事の選択肢を広げることでもできます。

授業やサークル活動などでたくさんの人と出会って刺激を受けたり、やりたいことにすぐにチャレンジできたりする環境も魅力です。様々な考え方が飛び交う他学類の授業を受けて自分の視野を広げることができました。また、水泳サークルや保育園のボランティアに参加していたことで、気力や体力、根性を身につけることができたと感じています。苦しいときに踏ん張ることができる力は、今の仕事や人生に役立っています。

そして何より、魅力的な授業を行い、私たちを導いてくださる優しい先生方がいらっしやいます。きっと、たくさんのことを吸収できる、贅沢な 4 年間になると思います。みなさんにとって実りある大学生活を送ってくださいね！

総合学域群
School of
Interdisciplinary Studies

人文・文化学群
School of
Humanities and Culture

社会・国際学群
School of
International Studies

人間学群
School of Human
Sciences

生命環境学群
School of
Life and Environmental
Sciences

理工学群
School of
Science and Engineering

情報学群
School of Information
Sciences

医学群
School of Medicine and
Dentistry

体育専門学群
School of Physical Education,
Sports and Recreation

芸術専門学群
School of Art and Design

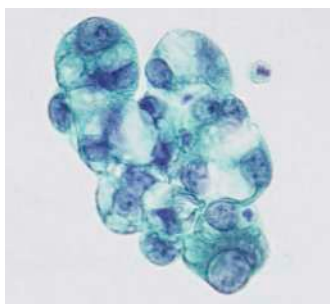
【人材養成目的】

医学・医療の様々な分野で活躍するために必要な医科学の基礎的な知識、技能を修得し、医療人としての使命感と責任感を身に付け、将来、医療の向上と発展に貢献する医科学領域の研究・教育を推進する人材および診断や治療に必要な新たな技術の開発とその実践にかかわって高度専門医療を担う人材を養成します。

医療科学とは

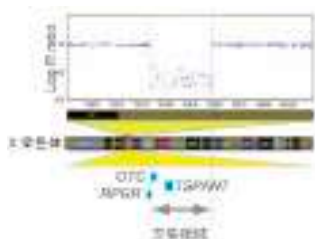
医療科学とは、基礎医学と臨床あるいは社会医学を包括的に捉え、人々の健康と安全に寄与する実践的な学問です。

わかりやすく言えば、医療に関連するいくつかの分野の橋渡しを科学的に支援し、医療が人間の幸福により寄与できるように考える分野とも言えましょう。



病理検査学実習で観察したがん細胞

先天代謝異常症のOTC欠乏症のゲノム診断



以前は診断が難しかったゲノム欠失の検出の証明も、DNAゲノム診断法の進歩で容易になった。診断を受けた子はOTC欠損症だけでなく、精神遅滞、網膜色素変性症の原因となる遺伝子RPGR, TSPAN7もないことが分かった。

特長

大学（University）は、特定の分野を深く学べると同時に広く教養を身につけることのできる場所です。筑波大学は、総合大学として幅広い学問分野の教育を通した人間教育を重視しており、医科学の専門的知識の習得とともに、幅広い教養を養うことができるのが特長です。

- ①医療科学教育のための独立した4年制教育組織です。
- ②3年次より医療科学主専攻と、国際医療科学主専攻（カリキュラムの項目参照）の2つのコースを選択できます。
- ③大学院修士課程および博士課程にスムーズに連結し、学類大学院一貫教育を通して医科学スペシャリストとしてのスキルを高めます。

資格など

卒業時に臨床検査技師国家試験受験資格を取得できます。合格すると、臨床検査技師として、卒後すぐに医療職に就く道が開かれています。また、大学院終了後にも資格を活用して、社会貢献ができます。さらに臨床検査技師の資格を生かして、細胞検査士の資格や超音波検査士などより専門的な資格取得の道も開かれます。



実習風景

主専攻	専門的な授業科目
1 年次	人体構造学、人体機能学、医科生化学、医科分子生物学、電磁気学Ⅰ、医療科学概論
2 年次	基礎医学総論、臨床病態学、免疫検査学、病理組織学、細胞検査学、血液検査学、生化学成分検査学、生理機能検査学、病原微生物学、RI検査技術学、医療経済学、微生物学、保健衛生論、医学検査学、医用工学、遺伝子検査学、凝固・線溶学、細胞発生工学、胚操作実験動物法
3 年次	免疫検査学実習、病原微生物学実習、生理機能検査学実習、病態検査学、国際感染症学、臨床薬理学、輸血学、画像検査学、検査情報管理学、医科学英語論文講読の基礎
4 年次	医学検査学フロンティア、医療情報管理学、衛生化学概論、イメージング総論、卒業研究、臨床実習

医学群ガイドブックの請求方法

- 医学群ガイドブックは、医学群Web ページからダウンロード可能です。
<http://www.md.tsukuba.ac.jp/igakugun/index.html>
- テレメールによる請求もできます (p.171) 資料請求番号は541391)

臨床検査技師について

臨床検査技師とは、国家資格として臨床検査技能を認定された、医療に関わる多くの分野を支援するメディカルスタッフのことです。たとえば、病院では血液や尿などの生化学的検査をはじめとし、心電図や超音波（エコー）などの生理機能検査や、がんなどの確定診断に関わる病理検査、さらには細菌やウイルスの同定などの微生物検査や輸血など、広範な分野で、医師とともに医療に直接あるいは間接的に関わることでできる専門職です。このような、医療を支援する職種をコメディカルと呼んでいます。専門職としての活動分野は医療の進歩とともに広がっており、病院のみでなく医療関連企業などにおいても活躍しています。

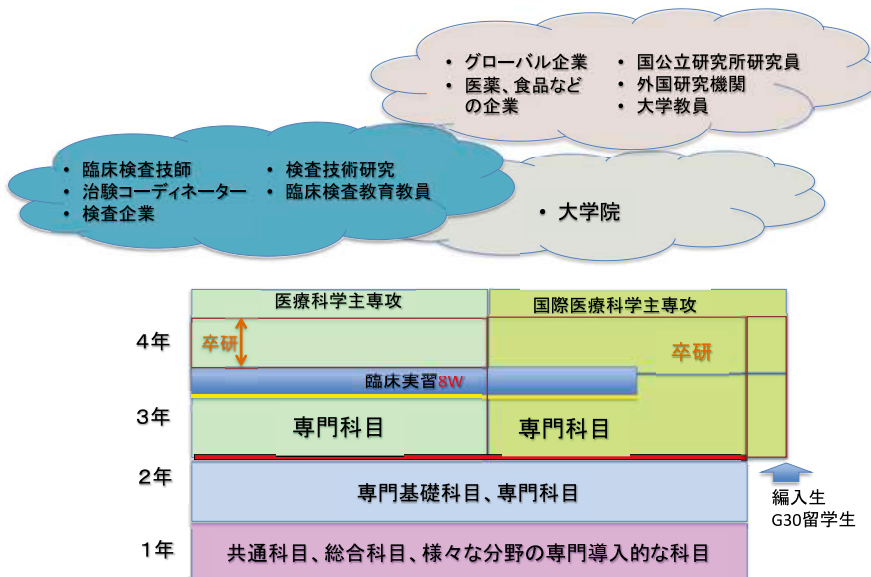
カリキュラム

平成23年度入学生から、3年次に2つのコースのうちから選択できるようになりました。ひとつは、これまでの医療科学主専攻であり、もう一つは新たに設置された国際医療科学主専攻です（下図参照）。医療科学主専攻は、臨床検査技師教育を柱に、研究者としての素養も身につけるという理念で教育し、国際医療科学主専攻は、医科学領域のグローバルな課題に取り組める人材の育成を目指しています。とくに専門英語能力と研究実践力を養うことが特徴です。この2つのコースは、2年次までは同じカリキュラムで教育が行われます。

①2つのコース共通のカリキュラム(2年次まで)

1年次は総合科目や体育、外国語など全学と共通の科目を履修し、基礎教養を高めると同時に、医科生化学、人体機能学などの医療系の基礎科目を学びます。2年次では、免疫学、病理組織学、病原微生物学など医療科学の専門基礎科目や専門科目を中心としたカリキュラムです。それに加えて、様々な基礎医学分野に触れる科目など研究者としてのスキルを高める科目が開講されます。

②2つのコースの、3年次からの教育カリキュラムの違い
医療科学主専攻は臨床検査技師教育を柱としていますので、多くの手技を学ぶ実習が必修となり、卒業研究は約半年を充てます。一方、国際医療科学主専攻では、卒業研究は3年次から開始します。また、国際医療科学主専攻では医科学特論、医科学専門語学など国際的に活躍できるよう、語学の習熟にも力を入れます。2つの主専攻は、共通に受講できる科目も多く、専攻が分かれても興味や将来像に則した学習ができるよう配慮しています。なお、国際医療科学主専攻でも臨床実習など国家試験関連科目は選択科目として履修することが可能です。



卒業生からのメッセージ



三浦 悠樹
卒業年：2011年

所属：筑波大学グローバル教育院ヒューマンバイオロジー学位プログラム
卒業後の進路：米国スタンフォード大学医学部 Postdoctoral Fellow
出身高校：埼玉県立川越高校

皆さん、はじめまして。平成22年度卒業生の三浦悠樹です。

僕は「ヒトを理解したい」というシンプルな問いから、ヒトに関する医科学が学べる医療科学類を選びました。在学中の4年間では、基礎医学や臨床検査の知識を得ると同時に、病院実習を通して実際の医療現場を体験し、卒業研究では最先端の基礎医学の研究に触れる機会がありました。その中でも、卒業研究で取り組んだ、脳が発達する際の重要なプロセスである神経細胞突起伸長の分子メカニズムを自らの手で解明する「基礎研究」に最もやりがいを感じ、将来も基礎研究を続けたいと考え、5年間の博士課程への進学を決意しました。今年の3月に博士課程を修了し、4月から米国スタンフォード大学医学部にて博士研究員として、ヒトiPS細胞から再構築した3次元ヒト脳モデルを用いて、脳の発達障害である自閉症や統合失調症といった精神疾患の病態メカニズムの解明に取り組みます。将来的にこれらの精神疾患に対する治療薬や新規検査法の

開発に寄与し、さらにヒトをヒトたらしめる脳の理解を通じて、かねてからの目標である「ヒトの理解」に迫りたいと考えています。

僕は医療科学類を卒業後、基礎研究を続ける道を選択しましたが、同級生は、病院で研究もこなしながら臨床検査技師として働いていたり、医薬品の開発における臨床試験の仕事に取り組んでいたりします。一方、僕と同様に博士課程に進学し基礎研究を続け、医療系の大学教授を目指す友人や製薬会社に就職し自分の手でがんの薬の開発を目指す友人もいます。このように、医療科学というキーワードを軸に多様なキャリアパスが開かれている点が医療科学類の最も魅力的な点です。

大学4年間の学びはゴールではなく、スタート地点だと卒業して実感しています。大学卒業後のキャリアを考慮する上で、病院実習や基礎研究など様々な経験が出来、多彩な卒後の選択肢を擁する医療科学類はとても魅力的な学類だと僕は思っています。そんな医療科学類に入学し、医療科学の分野をリードする人材となり、未来の医療科学類を共に盛り上げていくくれる後輩をお待ちしています。

③臨床検査技師としての専門教育

臨床検査技師の専門教育として重要な事は、正確で最新の知識をもって論理的に考えることができ、それを実践できる技能を持つことです。この技能を体得することも大変重要であり、そのため専門科目の多くには実習が組まれています。また、国家試験に対応するために医学検査学フロンティアという科目も設置され、できるだけスムーズに資格の取得ができるようにしています。また、筑波大学医学群には、チームワーク演習という、医学類、看護学類、医療科学類、薬学部(東京理科大学)の4つの学部生が合同で実践的チームワーク医療について学ぶ、特徴的な科目もあり、幅広く医療を学ぶことができます。

④研究者養成としての専門教育

医療科学類では、専門性の高い研究者の育成を目指しています。研究者として重要な素養は、問題点を正確に理解し、それを解決するための科学的視点と適正な方法論を持つことです。専門基礎科目や専門科目で学んだことを基盤に、さらに研究者としての素養を涵養するために卒業研究を行います。これは、筑波大学医療医学系に属する多くの研究室のうちのいずれかに配属され、与えられた研究テーマに沿って研究をするものです。卒業研究によって、科学的視点や方法論の習得、論文の抄読や作成、さらにはプレゼンテーション力など、講義ではあまり触れない、研究者の基本を修練します。医療科学類生は、大学院の進学率も全国の関連学部の中で最も高く、平成27～29年度では約60%でした。このよう

に、多くの学生が大学院でさらに研究者としてのスキルを学びます。

⑤教育の支援体制

筑波大学医学群では、教育の支援体制としてPCMEというカリキュラムの進行を統括する部署があり、いろいろな面で合理的に教育にあたっています。また、カリキュラムを効率よく進行させるために学習支援ポータルサイトを設け、学習を支援しています。





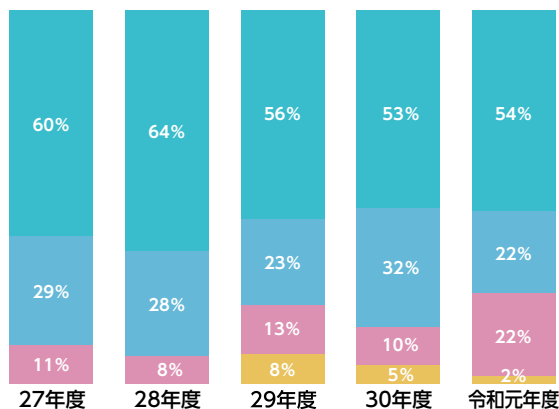
International Medical Science Training Course
(於：インドネシア大学)

卒業後の進路

進学と就職の2つの道があります。進学先としては、筑波大学人間総合科学研究科の修士課程であるフロンティア医科学専攻が主ですが、分野によってはその他の大学院（東京大学、北海道大学など）に、進学する学生もいます。

就職先としては、大学院での研究や臨床検査技師の資格を活かしたものが主ですが、一般企業に就職する場合もあります。また、臨床検査技師を対象とした資格には細胞検査士（卒後一定の研修が必要）、さらに臨床検査技師が資格要件となるものには超音波検査士、糖尿病療養指導士、健康食品管理士、治験コーディネーターなどがあります。病院や企業からの臨床検査技師の求人は増加しています。大学院を修了した臨床検査技師の求人も増えています。その他、大学院修了後に医学の知識を生かして企業に就職する学生も多く、さらに大学院博士課程を修了した学生は大学教員や研究員として就職しています。

これからは、人々の健康・疾病予防への関心の高まり、高齢化、環境重視などの社会的要請もあり、病院だけではなく多種多様な就職先や、就職形態が考えられます。真摯に勉学に励み、高い教養を身につけた学類生が新たな道を開拓していくことでしょう。



入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		医科学の分野に強い関心をいだき、医科学分野の研究や医学・医療分野の検査技術において第一線で活躍する意欲を持つとともに、強い探究心や責任感をもって主体的に行動することができ る人材を求めています。
入学までに学んで おいてほしいこと		数学、生物、物理、化学についての基礎的な知識と理解、日本語の文章表現力、英語の読み書き会話の能力を有し、医学や医療に関して関心のある分野と将来に対する希望を明確にもち、主体的に行動する能力を有していることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力 検査等 (前期日程)	広い基礎学力と数学、理科、英語の学力さらに医療を志す動機、適性、感性、社会的適応力、主体的に行動する能力などを総合的に評価します。
	推薦入試	医療人を志向する強い動機と適性、人を愛する感性、社会貢献への熱意に加えて、医科学を学ぶために必要な基礎学力と主体的に行動する能力を総合的に評価します。
	国際 バカロレア 特別入試	医療や医科学を志向する動機と適性、人を愛する感性、社会貢献への熱意に加えて、医科学を学ぶために必要な基礎学力と主体的に行動する能力を総合的に評価します。
	私費外国人 留学生入試	医療に対する高い関心、そして入学後に日本人とともに医療科学を学ぶのに必要な基礎学力、協調性、主体的に行動する能力を総合的に評価します。
	編入学試験	医療人としての更なる飛躍を目指す動機に加えて、大学で基礎あるいは臨床医学を修得するに足る基礎知識、思考力や学力、主体的に行動する能力などを総合的に評価します。
私費外国人留学生 特別コース入試 (編入学)		(1) 求める人材 医療を取り巻く状況が急速に変化するなかで、感染症や生活習慣病等に関わる国際的な諸問題に対して学問的な関心を示し、多様な観点から事象を分析できる応用力を備え、主体的に行動する能力を有する人材を求めます。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、医療科学分野の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。

進学

筑波大学大学院、東京工業大学大学院、京都大学大学院、東京医科歯科大学大学院、信州大学大学院

病院

筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院、筑波学園病院、東京大学医学部附属病院、千葉大学医学部附属病院、金沢大学附属病院、順天堂大学医学部附属順天堂医院、日本大学医学部附属板橋病院、東京都立病院

企業・公務員

茨城県庁、茨城県病院局、福井県警本部、シミックホールディングス株式会社、SCSK株式会社、サイトサポート・インスティテュート株式会社パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社

その他

体育専門学群

/// School of Physical Education, Health and Sport Sciences

<http://www.taiiku.tsukuba.ac.jp/gakugun/>

〔人材養成目的〕

体育・スポーツを国内外に普及させる行動力を備えた人材を養成します。具体的には、優れた運動技能と幅広い運動経験を基盤に、体育・スポーツ及び健康に関する総合的な知識と最新の科学的知見を活かしながら、諸々の問題解決を図れる知・徳・体を具備した体育・スポーツ界のリーダーを育成します。

"21世紀には人類はスポーツなしには生きられない"といわれるほど、人々の生活における運動やスポーツの意味や価値が高まっています。本学群は、このような時代の要請を受けて、「学校教育」、「公共スポーツ」、「スポーツ関係産業」そして「競技スポーツ」の最先端分野で活躍する有

能な専門家を養成しようとしています。いずれの分野においても、幅広い教養と専門的知識をベースに、優れたスポーツパフォーマンスが発揮でき、科学的知識の探求に意欲を持ち、さらに創造的な実践に取り組むことのできる人材を養成しようとしています。



女子バレー部インカレ優勝



体育総合実験棟での三次元動作分析
(体育総合実験棟のアリーナ)

カリキュラム構成

基礎科目	専門科目 約50単位				教職科目	
約30単位	キャリア支援科目 職業領域で活用される実践的な知識・技術を習得する科目群 (保健体育教師論、地域保健学、スポーツにおける情報戦略、運動療法論など)	分野別専門科目 体育学を構成する専門知識を発展的に学習する科目群 (スポーツ倫理学、スポーツ戦術論、動きの解剖学など)	卒業研究領域科目 選択した研究領域の最新の知見や研究方法を習得する演習・実習型科目群	実技系科目 専門とする運動種目の実技力と指導力のレベルアップを目的とする科目群	教育実習	4年 ↑
総合科目 外国語 情報 国語	専門基礎科目 約40単位 体育学を専門的に学ぶ全ての学生に必要な最低限の基礎的知識				教育基礎学、教育心理学など	3年 ↑ 2年 ↑ 1年
		体育・スポーツ学領域科目 コーチング学領域科目 健康体力学領域科目 実技理論・実習				

カリキュラム

1・2年次では、幅広い教養としての国語、外国語、情報、総合科目や基礎的な専門科目及び各種実技理論・実習等の履修に重点が置かれます。

3年次以降はキャリア支援科目や卒業研究領域(分野)に対応した科目等、多様な講義、演習、実習、実験等が用意されています。

体育専門学群パンフレットの請求方法

- 直接請求する場合は返信用封筒（角形2号）を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には205 円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「体育専門学群案内請求」と必ず朱書きしてください。

請求先 〒305-8574 茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学体育芸術エリア支援室学群教務担当（学生募集要項の請求先とは異なります。）

- テレメールで請求できます。（p.171 資料請求番号561391）
- パンフレットの内容は、下記のアドレスでもご覧になれます。
<http://www.taiiku.tsukuba.ac.jp/gakugun/index.html>

特長

教員

本学群には、約120名の教員があり、それぞれの専門性を発揮して国際的に誇ることのできる体系的なカリキュラムと充実した授業を展開しています。また、各種目の運動施設も整備されており、運動経験を高めるとともに、人生経験を深め、快適な大学生活を送れる場となっています。

課外活動

本学群では、運動部活動も専門教育とともに重視し、それぞれに顧問教員を置き、適切で高度な指導を行っています。その成果として、多くの運動部が国内の諸競技大会で優秀な成績をあげています。また、国際競技大会やオリンピックにも日本代表として出場し、輝かしい成績をあげている学生も多くいます。スポーツの国際交流の盛んな今日、本学群の学生が国際レベルの資質と実力をそなえて活躍することが期待されています。

筑波大学体育専門学群： スポーツの知と技の伝承と創造の空間

教育

- ◎体育・スポーツ界のリーダーを育成する
 - ・指導的立場に立てる中学校・高校教員の養成
 - ・体育・スポーツに精通した大学教員・研究者の養成
 - ・将来、指導的立場に立てるトップアスリートの養成
 - ・体育・スポーツ行政に関わる上級公務員の養成
 - ・メディア業界、健康・スポーツ産業への体育・スポーツに精通した人材の輩出

卒業研究領域

キーワード：体育、スポーツ、運動、健康、文化、身体

分 野	領 域
体育・スポーツ学 (人文社会科学的分野：10領域)	体育・スポーツ哲学、体育史・スポーツ人類学、スポーツ社会学、武道学、体育・スポーツ経営学、スポーツ政策学、スポーツ産業学、体育科教育学、アダプテッド体育・スポーツ学、体育心理学
コーチング学 (種目特性、運動方法、指導方法など：17領域)	コーチング論・トレーニング学、スポーツ運動学、種目別コーチング論（体操、体操競技、陸上競技、水泳競技、バレーボール、バスケットボール、ハンドボール、サッカー、ラグビー、ラケットバット、柔道、剣道、弓道、野外運動、舞踊）
健康体力学 (自然科学的分野：11領域)	健康教育学、運動生理学、運動生化学、運動栄養学、スポーツバイオメカニクス、応用解剖学、体力学、健康増進学、体育測定評価学、内科系スポーツ医学、外科系スポーツ医学

研究

年間で約500件の論文・著書を公表し、約800件の学会発表を行っています。また、ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センターを設置して、体育・スポーツ・健康に関するプロジェクト研究を推進しています。

- ◎体育・スポーツ界の発展に資する成果を創出し世界に発信する
 - ・新しい視点を提供できる体育・スポーツ・健康科学の構築
 - ・体育・スポーツ・健康科学に関わるプロジェクト（総合的）研究の推進
 - ・スポーツによる開発支援（カンボジア・中央アジア）

地域貢献

- ◎体育系の教育研究成果を活かして地域に貢献する

評価

卒業生を対象に行った「キャンパスライフに関するアンケート」の結果では、本学群の大部分の学生は、第一志望として本学群に入学してきており、また本学での生活に「大いに満足した」と答えています。さらに約9割の学生は、「もし自分の子どもが本学に入学を希望すれば賛成する」と回答しています。このような結果は、本学群の教育条件や教育活動が大きな成果を収めている一つの証であるといえるでしょう。

卒業生より一言

古谷真悟

茨城県教員
平成23年度卒業



私は、サッカーでの活躍を夢見て体育専門学群へ入学しました。始めのうちは思い通りにならず、焦った時期もありましたが、3年生の冬頃からトップチームに入れるようになり、4年生の時の天皇杯で先発メンバーに選ばれたことは、よい思い出の1つです。また、体育学について広く深く学ぶと同時に、クラス代表や座長など運営的な役割を務めた経験から、入学時からの希望であった保健体育の教員になりたいとの思いを持ち続けることができました。ただ、卒論と修論で取り組んだ「未来の子どもの育ちの評価をどう考えるのか」などの問題に直面して、子どもたちの体をより良く育むために小学校の教員を目指したいと強く思うようになりました。大学院在籍中、さらに必要な勉強をしながら、なんとか免許を取得することができ、この春から小学校で新米教員として歩み始めました。“体専”では、「やってみたい」との意志さえあれば、できないことはないのではないかなと思うほど、いろいろな活動に携わることができます。悩み過ぎて立ち止まってしまうよりは、取り敢えずやってみる気持ちを大切にしてください。もちろん、やるからにはしっかり準備することも大切です。

真下まなみ

株式会社セレスポ
平成25年度卒業



私は現在、株式会社セレスポという様々なイベントの企画や制作などを手掛ける会社に勤務しながら、中学時代から本格的に始めた陸上競技を続けています。セレスポ陸上部は2013年に設立された新しいチームであり、選手やスタッフとともに試行錯誤しながらも充実した日々を過ごしています。

在学中は、授業で体育・スポーツについての知識を身につけ、体力学研究室では、競技力向上に関する研究方法や考え方について学びました。また、陸上競技部では、インターカレッジでの男女総合優勝に貢献すること、中長距離のブロック長として手本になるよう努め、また、自身の競技力向上や世界に目を向けながら練習に取り組みました。

体育専門学群では、授業場面だけでなく、様々な部活動の仲間と交流することで新たな見方を得ることができます。授業、研究、競技すべてをスムーズにこなすことはとても大変でしたが、同じ環境にいる仲間の存在が私を奮い立たせてくれました。筑波大学で出会った仲間は、これから先もたくさんの刺激を与えてくれる存在になると 생각합니다。

気概と行動の教育者



嘉納治五郎先生

講道館柔道の創始者
東京高等師範学校校長
アジアで最初のIOC委員

嘉納先生は、柔道の創始者として世界中に知られていますが、本学の前身である高等師範学校、東京高等師範学校の校長を通算23年間も務め、多大な業績を残された教育者でもあります。また、先生はアジア初の国際オリンピック委員会委員であり、体育・スポーツの普及（大日本体育協会設立、運動部活動の普及、駅伝など）に力を尽くされ、驚くべきことに100年以上も前に8000人以上の中国人留学生を受け入れています。そして、嘉納先生は柔道を世界に紹介しながら、「精力善用・自他共栄」の理念を確立しました。「精力善用」は、各自の持つ、あるいは高めた力や能力を意味のあることに有効に活用することを説いたものです。「自他共栄」はだれもが助け合いながら共に生きていくことを意味します。このような多大な業績を残された嘉納先生はわれわれの誇りです。



実技理論・実習「臨海実習」



「野外運動（雪上）」授業風景

資格など

教職科目の履修により、中学校及び高等学校教諭一種の教育職員免許状（保健体育）が取得できます。また、卒業に必要な単位を取得することによって、スポーツ指導者の資格を得るための養成講習会共通科目の講習及び試験が免除されます。

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許

中学校一種免許状（保健体育）

高等学校一種免許状（保健体育）

※努力次第では、教育学類等で開設する小学校教員免許に必要な単位を修得することにより、小学校一種免許状の取得も可能です。

社会教育主事、学芸員、司書教諭

JFA（公認）C級コーチ、健康運動指導士

日本スポーツ協会スポーツ指導者養成講習会免除適応コース・ハンドボールコーチ・水泳コーチ承認校

卒業後の進路

最近の卒業後の主な進路をみると、中・高校の教職に進む者が20%、企業等へ進む者が約40%、約30%の者は、高度な職業人や研究者を目指して大学院に進路を求めています。

本学体育系の大学院は、人間総合科学学術院の前期課程（修士）の学位プログラムとして体育学、スポーツウエルネス学、スポーツ・オリンピック学、及びスポーツ国際開発学共同専攻が、後期課程（博士）の学位プログラムとして体育科学、スポーツ医学、コーチング学、ヒューマン・ケア科学、パブリックヘルス、スポーツウエルネス学及び大学体育スポーツ高度化共同専攻があります。



陸上競技場

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	体育・スポーツ・健康に関する領域に強い関心があり、教養を高め運動経験の幅を広げるだけではなく、これまで身につけた運動技能や関連する知識をさらに高めて、体育・スポーツの国内的・国際的発展に貢献する情熱と意欲を持った人材。	
入学までに学んでおいてほしいこと	高校の保健体育で学習する内容を理解し、さらに英語の基礎を習得していることが望ましい。	
入学者選抜方針	個別学力検査等 (前期日程)	優れた学力及び運動能力を有し、体育・スポーツ・健康の分野での活躍が期待できる人材を選抜するために、学力と運動能力の両方を対等に評価します。
	推薦入試	ひとつの運動種目に抜群の技能を有し、体育・スポーツ・健康の分野での活躍ができる人材を選抜するために、本学群における修学力とともに、運動技能を重点的に評価します。
	AC入試	A(問題解決力型) ひとつの運動種目における優れた技能を重視し、自主的な実践活動における科学的知識の活用と論理的思考能力を多面的に評価します。 B(競技力型) 抜群の運動技能を有し、日本代表として権威ある国際大会で活躍できる競技力を重点的に評価します。また、基礎学力と表現力についても総合的に評価します。
	国際バカロレア特別入試	体育・スポーツ・健康に強い関心をもち、将来、体育・スポーツ・健康の分野の国際舞台で活躍できる学力、運動能力、国際性を総合的に評価します。
	帰国生徒特別入試 (4月入学)	ひとつの運動種目に高度な技能および語学力(英語)を含む基礎学力を有し、将来国際舞台で活躍できる人材を選抜するために、学力(語学力を含む)と運動能力並びに国際的なセンスや行動力を評価します。
	私費外国人留学生入試	体育・スポーツに対する高い関心と優れた運動能力、そして大学での学修に必要な基礎学力・思考力・日本語能力を総合的に評価します。



サッカー場



テニスコート

芸術専門学群

/// School of Art and Design

<http://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/school/>

【人材養成目的】

学際的・国際的な視野と確かな学力を持ち、かつ柔軟な発想力と豊かな表現力を備え、創造的活力に満ちた美術及びデザインの専門家を養成することを目的とします。

教育の内容・方法

知性と感性の統合

芸術専門学群における教育の特色は、総合大学にあることを活かした広い教養と、専門学群としての深い専門能力の育成です。そのために、まず皮相な既成概念を払拭し、知性と感性の統合を目指します。

基礎と専門が統合されたカリキュラム

1・2年次では、様々な科目を自由に横断的に履修します。また専門にとらわれない芸術の基礎を学びます。3年次から、より高度で専門的な科目を学び、テーマの絞り込みと方向付けを行い、4年次の卒業研究へと結びつけます。

【現場】と繋がる授業

企業や行政、美術館などに学生を送り、また学外の「現場」から講師を招聘するなど、社会と深く連携した大学教



彫塑実習風景



T+ギャラリー



卒業制作展でのプレゼンテーション

芸術専門学群ホームページ・パンフレット

- より詳しい情報は芸術専門学群ホームページをご覧ください。
<https://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/school/>
- テレメールによる請求もできます (p.171 資料請求番号953561)

育を行います。また、全学の学生や教員、あるいは市民と協働する教育プログラムを展開し、コラボレーション力が高く、視野の広い、時代を読める学生を育成します。

学生の個性を尊重した教育

芸術教育における学生の個性は最も尊重すべきものです。そのため、諸領域における専門教育は可能な限り少人数クラスとし、対話を通して個性を伸ばす指導を行います。

創造的表現力と論理的思考方法の両立

本学群では開学以来、卒業制作と論文執筆の二つを卒業要件としてきました。ものづくりを実践する一方で、確実な文章作成能力を養い、客観性に基づく論理的な思考方法や表現力の習得を目指します。

領域	専門科目
美術史	芸術学、日本美術史、西洋美術史
芸術支援	芸術支援学、美術館学、芸術教育学
洋画	油絵、テンペラ、アクリル画
版画	木版画、銅版画、リトグラフ
日本画	日本画、古典模写、素材研究
彫塑	塑造、鋳造、木彫、石彫、テラコッタ
書	漢字、かな、漢字かな交じり書、書道史
構成	平面構成、立体構成、色彩構成、機器構成、造形発想、オブジェ、立体造形、展示造形パフォーマンス、デジタルイメージ
総合造形	造形パフォーマンス、デジタルイメージ
工芸	陶磁、木工、広告、エディトリアルデザイン、パッケージ、ブランディング、イラストレーション、メディアアート、映像、現代アート
情報・プロダクトデザイン	情報デザイン、展示・サイン計画、インタラクションデザイン、メディア論、感性科学、製品デザイン、デザイン解析、環境デザイン、都市デザイン、ランドスケープデザイン、サイトプランニング、建築計画、建築設計、建築史
環境デザイン	
建築デザイン	

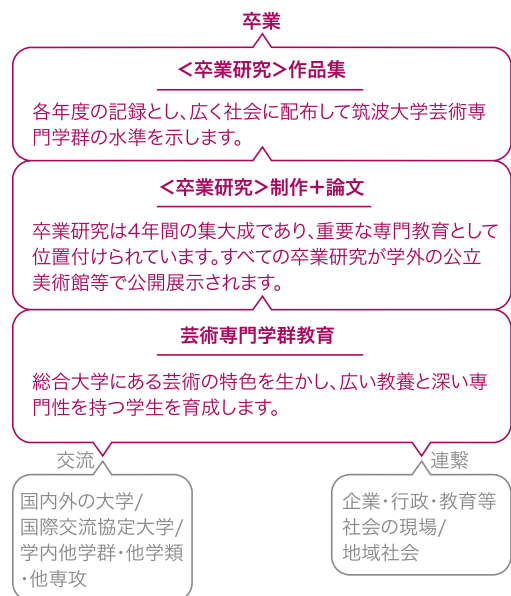
達成すべき水準

卒業研究の公開

芸術専門学群の達成すべき水準は、卒業研究（卒業制作＋卒業論文）の公開に集約されます。卒業研究は4年間の集大成であり、学外の公立美術館で公開展示され、社会の評価を仰ぎます。また、卒業研究作品集は記録であると同時に、広く社会に向けて配布し筑波大学芸術専門学群の水準を示します。優秀作品は筑波大学芸術賞、茗溪会賞、芸術専門学群長賞として表彰され、筑波大学芸術賞の作品は大学に収蔵されます。

より高度な研究のための基礎能力

芸術専門学群の教育は大学院とも強く連携しています。芸術関係の大学院に進学し、さらに研究を深めるために必要な、リテラシーや科学的思考など基礎的能力を涵養します。



教育の質の保証

■芸術ファカルティ・ディベロップメント(FD) 委員会を中心に、学生による授業評価アンケート等を行い継続的な教育方法の改善を行っています。

■海外の交流協定大学（現在13大学）と留学生の交換や交流展、ワークショップなどを開催し、国際感覚を身につけた学生を育成しています。

■作品や研究の発表を学内外において積極的に行うとともに各種公募への参加を奨めています。それにより学生は自身の力を認識し、教員は教育を客観視する機会を得ています。



卒業制作展（卒業研究の公開展示）

■芸術専門学群では、学生担当教員、クラス連絡会、クラス担任、卒業研究指導教員、全学的にはスチューデントプラザ、保健管理センターなどを通して、教育等に関する学生の意見集約や生活改善を行い、学生生活が健康で有意義に送れるように支援しています。



段本 賀津也

千葉県立高校 書道教諭
美術専攻・書コース
平成19年度卒業

Q1 現在の仕事について

現在、私は千葉の県立高校で書道教諭としてICTを活用した授業に取り組んでいます。手本を書く時の筆の動きをモニターに映すことで、写真だけでは分かりづらい用筆や運筆を一連の動作として繰り返し見直すことができ、生徒自身が筆使いの違いに気付くようになりました。また鑑賞の時間では、古典が持つ柔らかい・硬い等のイメージを座標軸にして図表化し、古典の特徴を比較しやすくしています。生徒が「見る・感じる・表現する・考える」を主体的に行える展開とし、芸術に触れた時、その良さを味わえる感性を育てられるよう努力しています。

Q2 大学で得たもの

社会性です。実際に私の研究テーマの設定や創作活動の過程で大きな助けとなったのが、先生や先輩からのご教授です。ただそれは授業後に研究室へお訪ねした際や夕飯をご一緒させていただく際に、得たことが多かったように感じます。世代や分野が異なる方との触れ合いは自ら経験する他ありませんし、場に応じたコミュニケーション力は人間関係の構築において特に必要だと考えます。社会人として働いて初めて、成績の良い学生が必ずしも社会で活躍できるわけではないと実感することがありました。私にとって大学は社会勉強の始まりの場でした。

Q3 後輩へのメッセージ

自分の専門をより深めつつ、様々な分野にも挑戦してください。これは現代における価値観の多様化によって私達自身も変化を求められていると感じるからです。例えば私が在籍していた書コースは学術と実技の双方で諸史料をひも解き、復元や表現をするもので、とても重要な領域です。しかし、私達は過去ではなく未来に向かって生きています。研究者や表現者を始め、芸術に携わる人間には柔軟で開拓的な考え方や幅広い視野が必要とされます。それらを培うための授業や時間が大学にはあるはずです。自分の能力の育成と発見に専心してください。

卒業生の声



坂原 里奈

花王株式会社 パッケージデザイナー
構成専攻・ビジュアルデザインコース
平成27年度卒業

Q1 現在の仕事について

日用品メーカーのデザイン部門で商品のパッケージデザインをしています。マーケティングの部署の方からオリエンを受け、商品特長や販売戦略に基づいて商品デザインを幅広く提案していきます。店頭で存在感があることはもちろん、赤ちゃんからお年寄りまで多くの生活者の気持ちに寄り添ったデザイン提案を心がけています。自分がつくった商品が全国のお店に並び、その商品が多くの人の愛用品となるように日々頑張っています。

Q2 大学で得たもの

デザインの技術や知識だけでなく、デザインを通して人と関わるコミュニケーション能力や自分から積極的に幅広い提案をしていく行動力も身につけられたと思っています。一人で黙々と作業をするのではなく、時にはチームで協力し話し合いながらデザインワークを進めていった経験や、大学の外に出て地域の方々に関わりながら制作した経験が、現在の仕事にとても活きていると感じています。

Q3 後輩へのメッセージ

たくさんの人と関わって、たくさん場所に行って、楽しんで、多くの経験をしてください。私は、相手のことを思うことがデザインであることを大学の4年間で学びました。それは、先生方や同じ研究室のメンバーと多くの体験を共有できたからだと思っています。人と関わりながら、全力で楽しむことで自分にはない視点や表現方法を知ることができました。自分のやりたいことを思う存分に行動に移せる貴重な4年間だと思うので、ぜひ楽しんでください。



学生作品

卒業後の進路

卒業生の数だけ進路はあります

卒業生は、大学院への進学、企業への就職、あるいは独立した作家、デザイナーなど、様々な分野において自己を実現していきます。その一方で、社会から学群・大学院へと、再教育のため大学を訪れる者もいます。海外協定校への留学生の派遣など、芸術専門学群は開かれた大学として、外なる社会との絶え間ない還流を促し、創造の場を活性化していきます。

■卒業後の主な活動と就職先

【企業】

インタフェースデザイン：ソニー、パナソニック、富士通、三菱電機、デンソー、京セラ ほか

Webデザイン：ソニーデジタルデザイン ほか

ゲーム・アミューズメントシステムデザイン：任天堂、バンダイ、セガ、タイトー、バンダイナムコゲームス ほか

プロダクトデザイン：パナソニック、トヨタ自動車、ソニー、ホンダ、東芝、日産、スズキ、スバル、三菱自動車、ダイハツ、マツダ、オカムラ、ミズノ、コクヨ、パナソニック電工、ゼブラ、シャープ、三菱電機、乃村工藝社、TOTO ほか

編集・エディトリアル・グラフィックデザイン：朝日新聞、伊東屋、NHK出版、花王、コンセント、佐川印刷、サン・アド、サイバーエージェント、セブティニー、ソニー、DNP、DNPメディアクリエイト、TBS、電通、ドラフト、凸版出版、博報堂、博報堂プロダクツ、パナソニック電工、プラビス、メディアネットワーク、森永製菓、ランドー・アソシエイツ、リクルート、レマン ほか

建築・空間デザイン：鹿島建設、日建設計、SANAA、長谷工コーポレーション、大和ハウス工業、セキスイハイム、日本住研 ほか

都市計画・公園緑地デザイン、社会システムデザイン：横浜市、プレック研究所 ほか

芸術・文化関連：小学館、法蔵館書店、北海道新聞社、アートフロントギャラリー、シンワアートオークション、カウベル・コーポレーション、高島屋本社企業文化部 ほか

【作家・デザイナー】

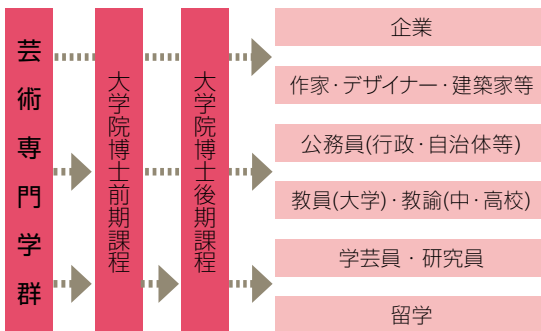
画家、彫刻家、書家、造形作家、各種デザイナー、建築家、都市計画家、プロデューサー ほか

【学芸員・研究員】

北海道立近代美術館、札幌芸術の森美術館、米沢市上杉博物館、福島県立博物館、福島県立美術館、茨城県五浦天心美術館、東京国立博物館、東京文化財研究所、東京国立近代美術館、東京都写真美術館、埼玉県立近代美術館、群馬県立近代美術館、群馬県館林美術館、ポーラ美術館、山梨県立美術館、軽井沢高原文庫、高浜市やきものの里かわら美術館、新潟県立近代美術館、岐阜県現代陶芸美術館、富山県立近代美術館、奈良国立博物館、大原美術館、岡山県立博物館、愛媛県美術館、熊本県現代美術館、太田記念美術館、戸栗美術館 ほか

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

入学者選抜方針	求める人材	芸術を追求する熱意のある人材、社会的・国際的観点から創造活動にチャレンジする意欲のある人材、多領域に関わる知識や方法に基づいた美術・デザインによる表現によって社会に貢献する意欲ある人材を求めています。
	入学までに学んでおいてほしいこと	美術・デザインの専門に関する基礎的な知識と技能及び幅広い基礎学力を習得していることが望ましい。
	個別学力検査等（前期日程）	幅広い基礎学力と芸術に関する能力を総合的に評価します。
	個別学力検査等（後期日程）	基礎学力とともに芸術に対する適性や主体性などを総合的に評価します。
	推薦入試	高等学校における学習や活動の成果に加え、芸術に関する資質、能力、意欲を評価します。
	国際バカロレア特別入試	幅広い基礎学力、問題意識・解決能力、行動力などの一般的能力、芸術に関する資質や意欲を総合的に評価します。
入学者選抜方針	帰国生徒特別入試（4月入学）	高等学校（中等教育）における学習や活動の成果に加え、芸術に関する資質、能力、意欲を評価します。
	私費外国人留学生入試	高等学校（中等教育）における学習の成果や日本語能力に加え、芸術に関する資質、能力、意欲を評価します。
	私費外国人留学生 Japan-Expert（学士）プログラム特別入試	高等学校（中等教育）における学習の成果や日本語能力に加え、提出された書類や作品等も含め、芸術に関する資質や意欲を総合的に評価します。



【大学】

筑波大学、東京学芸大学、千葉大学、広島大学、熊本大学、信州大学、岡山大学、高知大学、山梨大学、長崎大学、秋田公立美術工芸短期大学、多摩美術大学、宇都宮大学、北海道教育大学、福岡教育大学、九州産業大学、島根大学、神戸芸術工科大学 ほか

【公務員】

国土交通省、都市再生機構、横浜市、千葉市 ほか

【留学】

アメリカ、カナダ、ドイツ、イタリア、スウェーデン、フィンランド、スイス、スペイン、イギリス、オランダ、オーストラリア、中国、台湾、韓国 ほか

総合学域群
School of
Interdisciplinary Studies

人文・文化学群
School of
Humanities and Culture

社会・国際学群
School of
International Studies

人間学群
School of
Human Sciences

生命環境学群
School of
Life and Environment Sciences

理工学群
School of
Science and Engineering

情報学群
School of
Information Science

医学群
School of
Medicine and Health Sciences

体育専門学群
School of Physical Education,
Sports and Special Education

芸術専門学群
School of Art and Design

学ぶための環境

図書館

大学図書館は、大学における学習・教育・研究を支える不可欠な施設です。今日の大学教育は学生に単に知識を与えるだけでなく、考える能力を培うとともに、いかに知るかを教育し、国際化する社会に主体的に対応できる能力を育成することを目標としています。

大学図書館は、図書館資料の収集・保存・提供及びレファレンス・サービス等にとどまらず、急激な高度情報化・国際化に対応するために、インターネットによる情報の発信基地としての役割も果たしています。

■図書270万冊、雑誌3万タイトル

現在270万冊の図書と3万タイトルの雑誌を中央図書館、体育・芸術図書館、医学図書館、図書館情報学図書館および大塚図書館（東京キャンパス）の5つの図書館に配置しています。これらの資料は、だれでも自由に書架から取り出して利用できる全面開架となっています。また、4万タイトルの電子ブックと3万タイトルの電子ジャーナルへのアクセスを提供しています。

利用者が必要とする情報を迅速・的確に得られるようにするため、効果的なナビゲーションを実現する検索システム「Tulips Search」を提供しています。

■施設・設備

館内には、学習・閲覧スペース、グループ学習のためのセミナー室、大学院生と教員が利用できる研究個室等があり、快適な学習環境を提供しています。

図書館内のパソコンでは、蔵書検索や各種データベースを使って文献を探したり、電子ジャーナルや電子ブックを利用することができます。また学術情報メディアセンターの全学計算機システムのパソコンも設置されており、課題や情報探索、コンテンツ作成などに利用できます。無線LANの使用も可能です。

■Web によるサービス

<https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/>

図書館 Web サイトでは、Tulips Search や OPAC（蔵書検索）、図書の予約・取り寄せ、貸出期間の延長、セミナー室や研究個室の予約など、自宅のパソコンやスマートフォンからいつでも利用できる各種 Web サービスを提供しています。

■多様な取組とサービス

中央図書館には、貴重な図書館資料を展示する貴重書展示室があり、日本の出版文化をテーマとした常設展示を行うほか、特別展を開催し、地域の方々にも公開しています。

また、国立大学図書館としては初めてボランティアを導入し、外国人や障害のある利用者への支援を行っています。

2階にはラーニング・スクエアとして、グループ学習スペースや学生サポートデスク等を備えた学習支援環境を展開しています。学生サポートデスクでは、大学院生のラーニング・アドバイザーが利用者の質問・相談に対応し、学習活動を多面的に支援しています。

各図書館では、図書館の利用・資料・事柄等に関する相談に応じたり、所蔵していない資料の取り寄せサービス等を行っています。また、図書館を上手に利用するための講習会を開催しています。

開館時間（筑波キャンパス）

平日 8:30～22:00（中央図書館は8:30～24:00）

土・日・祝休日 10:00～18:00（中央図書館は9:00～20:00、医学図書館は9:00～22:00）

※休業期間中、年末年始および大塚図書館の開館時間については、図書館の Web サイトをご覧ください。また、開館時間の変更および臨時休館等はその都度、図書館 Web サイト等でお知らせします。



大学院共通科目「The Presentation」
（中央図書館ラーニング・スクエア）



中央図書館

外国語教育

外国語の教育を効果的に行うために、グローバルコミュニケーション教育センター（通称CEGLOC／セグロク）が設置されています。CEGLOCでは、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語、朝鮮語の7つの外国語のほかに、留学生向けの日本語、および日本人学生向けの国語が開講されています。外国語については、海外研修も用意されています。

CEGLOC併設のメディアライブラリーでは、外国語や日本語授業の自習・復習用に、オンラインコンテンツ、DVD、オーディオ教材（英語、日本語、初修外国語、外国語検定試験対策等）を利用することができます。同セミナー室では多言語を使ってプレゼンテーションの練習やディスカッション、ミーティングもできます。卒業するまでの期間に複数の外国語を学修し、将来の留学、進学や就職のために活用してください。詳しくは、CEGLOCのホームページやメディアライブラリーで確認してください。

授業のすきま時間、何しよう？

「図書・メディアライブラリー」に行ってみよう！

そうだ！

① 英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語、中国語、ハンガルの参考書・問題集 (CD、DVD 付) で自習！
 ② NHK ラジオ講座を好きな時間に自習！
 ③ 最新型 TOEFL・TOEIC の参考書 (CD 付) でスコアアップ！
 ④ 「English Journal」や「CNN English Express」を CD とテキストで自習！
 ⑤ New York Times 紙をソファで阅读！
 ⑥ 国際デスクでワーク！
 ⑦ フランス語指定の受検用の参考書・問題集で自習！
 ⑧ 映画を楽しむ！(人気ドラマシリーズ「24」など観てます！)

レストラン (1階)
 メディアライブラリー
 入館時間
 グローバルコミュニケーション教育センター
 保健管理センター

開館時間：月～金 10時～18時
 問い合わせ先：CEGLOC 事務局
 または 井出 (ide.risako.gm@u.tsukuba.ac.jp)



CEGLOC棟



Global Chat



英国オックスフォードでの英語研修から



Ask US Desk

体育

学生の体育に関する教育課程及び課外教育活動、本学主催の体育事業並びに本学教職員のレクリエーション活動の実施指導を行うとともに、体育施設を広く社会に開放し、体育・スポーツ活動の普及振興に寄与することを目的に体育センターが設置されています。センターでは学生・教職員、地域住民、全国現職教員等幅広い層を対象に体育・スポーツ事業や施設開放を行うとともに、体育施設の管理運営を行っています。

■スポーツ用具のレンタル

学生等は、スキー（板、靴）を学生部学生生活課から無料で借用することができます。



陸上競技場



セキショウフィールド



中央体育館



体操競技場



柔道場



屋内プール



トレーニング室

コンピュータとインターネット

教育や研究において、近年ではコンピュータとネットワークの利用は欠かせないものとなってきています。筑波大学では、コンピュータやネットワークを利用するために全学計算機システムおよび認証ネットワークシステムが用意されています。

全学計算機システムは、図書館を含むサテライトと呼ばれる部屋に1000台以上の端末（パソコン）が配置され、共通科目「情報」を始めとした、コンピュータを利用した情報基礎教育と専門教育で利用されます。これらの端末は、授業外での学習やレポート作成などにも利用可能です。電子メールなどの基盤的な情報サービスも利用できます。

サテライトへの入室には学生証（ICカード）が必要です。ICカードは印刷をする際にも利用します。端末はWindows および Linux の両方が使えるデュアルブート方式になっています。全学計算機システムについては次のページを参照してください。

<https://www.u.tsukuba.ac.jp/>

認証ネットワークシステムは、個人で所有するパソコンを学内ネットワークへ接続するためのものです。学生食堂や教室では、無線LANのアクセスポイントが用意されています。

全学計算機システムや認証ネットワークシステムは学内ネットワークを介して、学外のSINET5などの超高速インターネットに接続されており、さまざまな教育、研究活動や、図書の検索、教員と学生のコミュニケーション等にも利用されています。

また、ソフトウェアメーカーとの包括的な契約により、学生が個人で所有するパソコンなどへインストール可能なソフトウェアもあります。詳細は学術情報メディアセンターのウェブページをご覧ください。

<https://www.cc.tsukuba.ac.jp/>

オープンコースウェア（OCW）

オープンコースウェア(OCW:OpenCourseWare)は、大学等で開講されている講義とその関連情報をインターネット上で無償公開する全世界的な活動です。国内ではJOCWが中心となって活動が展開されており、筑波大学も2006年から参加しています。

本学でも、OCWサイトとして「筑波大学オープンコースウェア（TSUKUBA OCW）」(<https://ocw.tsukuba.ac.jp/>) を開設し、幅広い分野のコンテンツ提供に取り組んでいます。



サテライトの一例（中央図書館サテライト）



画材・文具店 写真・スポーツ店



画材店

国際交流

筑波大学は、国際性においても「開かれた大学」となることを目指し、海外留学等の国際的な学術交流によって、国際的視野を持つ人材の養成に努めるとともに、キャンパス内の日常的な国際化を進めています。

海外留学

海外留学は、国際性豊かな感性を磨き、幅広い視野から物事を考える習慣を身に着けるための貴重な機会となります。

筑波大学では、海外留学を希望する学生を支援するため、以下のような制度を用意しています。

- ・ 交流協定による交換留学制度
- ・ Campus-in-Campusによる海外留学制度
- ・ 短期海外研修制度
- ・ 奨学金制度
- ・ 単位互換制度

留学を希望する学生は、早い時期から準備をすることをお勧めします。留学を実現するためには、留学先の国や大学の情報収集にはじまり、言語の習得、パスポートやビザ取得などの国内手続き、学内の留学手続き、留学資金の確保など、しなければいけないことがたくさんあります。また、卒業までの履修計画も同時に考えるようにしてください。

なお、国際交流を推進するための組織として、グローバル・コモンズ機構が設置されています。グローバル・コモンズ機構では、「筑波大生のための海外留学ガイドブック Go Abroad!」を発行し、海外留学のための包括的な情報を提供しています。さらに、年2回「留学フェア」を開催し、個別相談やセミナー等を実施しています。



交換留学制度

筑波大学では、令和2年5月現在69ヶ国・地域、390の大学・研究機関と交流協定を締結しています。この協定に基づき、海外の大学に学生を派遣するものが、交換留学です。協定校への交換留学には、次のようなメリットがあります。

○筑波大学及び独立行政法人日本学生支援機構が実施する奨学金制度に申請できます。

○授業料相互不徴収に関する協定を締結している協定校にあっては、相手大学での授業料が免除されます。

2019年度派遣 交換留學生数（学群のみ）

国名・大学名	派遣数	国名・大学名	派遣数
アメリカ		マルティン・ルター・ハル・ウィッテンベルク大学	1
ユタ州立大学	5	ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン	1
オハイオ州立大学	2	フィリピン	
カリフォルニア州立大学	3	フィリピン大学	4
パデュー大学	1	ブラジル	
南インドアナ大学	1	サンパウロ大学	2
アルメニア		フランス	
ロシア・アルメニア・スラヴ大学	1	ボルドー大学	9
イギリス		グルノーブル大学連合	5
マンチェスター大学	6	パリ・ラ・ヴィレット建築大学	3
オックスフォード・ブルックス大学	4	フランシュ＝コンテ大学	3
シェフィールド大学	4	ストラートデザイン大学	2
エディンバラ大学	3	ボルドー・モンテニユ大学	2
イタリア		パリ第13大学	1
フィレンツェ国立美術学院	1	ポール・ヴァレリーモンペリエ第3大学	1
インド		ブルネイ	
ジャワハール・ネル大学	1	ブルネイ・ダルサラーム大学	1
インドネシア		ベトナム	
ピヌス大学	1	ホーチミン市師範大学	1
エストニア		ペルー	
タリン大学	2	カトリカ大学	1
オーストラリア		ポーランド	
ディーキン大学	2	ワルシャワ大学	1
グリーンズランド大学	1	マレーシア	
タスマニア大学	1	マラヤ大学	4
オランダ		マレーシア工科大学	3
ユトレヒト大学	2	ウタラマレーシア大学	2
カナダ		マレーシア・サバ大学	2
プリンス・エドワード島大学	3	マラ工科大学	1
モントリオール大学	3	マレーシア・プトラ大学	1
ブロック大学	1	メキシコ	
キルギス		グアダハラ大学	5
ジュズ・バラサグン記念キルギス国立総合大学(旧キルギス民族大学)	1	モロッコ	
コロンビア		アル＝アハワイン大学	1
ロサンデス大学	1	ラトビア	
スペイン		ラトビア大学	1
サラマンカ大学	3	ロシア	
バルセロナ大学	1	サンクトペテルブルク大学	2
スロベニア		ノヴォシビルスク国立大学	1
リュブリャナ大学	3	モスクワ国立大学	1
タイ		極東連邦大学	1
タマサート大学	1	韓国	
プリンスオブシムクラ大学	1	延世大学校	1
タジキスタン		高麗大学校	1
タジク国立言語大学	1	梨花女子大学校	1
ドイツ		台湾	
ケルン大学	6	国立台湾大学	9
ボーフム大学	5	国立台湾師範大学	3
バイロイト大学	3	国立政治大学	2
ボン大学	3	中国	
ベルリン自由大学	2	香港中文大学	5
デュッセルドルフ大学	1	中央美術学院	1
		廈門大学	1
		総計	167

奨学金制度

■筑波大学海外留学支援事業 はばたけ！筑大生

次の5つのプログラムにより、学生の海外派遣を支援します。

- ①国際交流協定校交換留学支援プログラム
- ②キャンパスインキャンパス (CiC) 等支援プログラム
- ③海外武者修行支援プログラム
- ④海外学会等参加支援プログラム
- ⑤語学研修・海外研修参加支援プログラム

支援額 …………… 50,000～200,000円 (プログラム・派遣内容により異なる)

採用人数 …………… 868人 (平成31年度採用実績)

■海外留学支援制度 (協定派遣)

筑波大学が学生交流に関する協定を締結している大学に、本学の教育組織等が実施する派遣プログラムにより、1年以内の期間派遣される学生に、独立行政法人日本学生支援機構が奨学金を支給する制度です。

奨学金 …………… 60,000～100,000円 (月額・金額は留学先地域により異なる)

本学の採用人数 …………… 133名※学群のみの数
(平成31年度実績)

単位互換制度

海外の大学で学習する場合、「留学」の身分によるものと、「休学」の身分によるものがあります。「留学」の場合、本学の在学年限に換算され、留学先で履修した単位は、本学の卒業要件となる単位 (学群の場合は60単位まで) に認められます。「休学」の身分であっても、教育上有益と認められるときは、休学期間中に外国の大学等において修得したものと同し、認定されることがあります。

[海外留学情報]

<http://www.global.tsukuba.ac.jp/gc?language=ja>



海外拠点

筑波大学では、数多くの国際交流事業を展開しています。その一つとして、教育研究活動の国際連携を推進するための海外拠点が設置されています。現在、チュニスオフィス (チュニジア)、タシケントオフィス (ウズベキスタン)、アルマトイオフィス (カザフスタン)、ホーチミンオフィス (ベトナム)、ジャカルタオフィス (インドネシア)、クアラルンプールオフィス (マレーシア)、北京オフィス (中国)、ボンオフィス (ドイツ)、ポルドーオフィス (フランス)、アーバインオフィス (米国)、台湾オフィス (台湾)、サンパウロオフィス (ブラジル) の12カ所の事務所が活動しています。



ホーチミンオフィス (ベトナム)



ボンオフィス (ドイツ)

国際交流協定機関一覧

地 域	国 名	協定数	地 域	国 名	協定数	地 域	国 名	協定数
アジア 160	インド	5	欧州 93	イタリア	5	ロシア NIS 43	アゼルバイジャン	2
	インドネシア	12		エストニア	1		アルメニア	1
	カンボジア	2		オーストリア	3		ウクライナ	2
	タイ	16		オランダ	8		ウズベキスタン	6
	バングラデシュ	3		クロアチア	1		カザフスタン	8
	フィリピン	5		スイス	1		キルギス	3
	ブルネイ	1		スウェーデン	2		ジョージア	1
	ベトナム	19		スペイン	3		タジキスタン	2
	マレーシア	5		スロベニア	1		トルクメニスタン	1
	ミャンマー	2		チェコ	1		ベラルーシ	3
	モンゴル	4		ドイツ	24		モルドバ	1
	ラオス	1		ノルウェー	2		ロシア	13
	韓国	22		ハンガリー	5	中近東 3	トルコ	2
	台湾	19		フィンランド	1		ヨルダン	1
	中国	44		フランス	19	中南米 18	アルゼンチン	1
アフリカ 21	アルジェリア	3		ベルギー	1		コロンビア	2
	エジプト	3		ポーランド	3		チリ	1
	チュニジア	5		ラトビア	1		ブラジル	10
	ナイジェリア	1		リトアニア	1		ペルー	1
	マラウイ	1		ルーマニア	1		メキシコ	3
	モーリタニア	1	大洋州 13	英国	9	北米 37	カナダ	5
	モロッコ	6		オーストラリア	11		米国	32
	リビア	1		ニュージーランド	2	その他	国際連合	2

69 カ国 390 協定

2020/05/01 現在

・詳細は下記サイトをご覧ください
<http://www.kokuren.tsukuba.ac.jp/GP/gplist.html>



Campus-in-Campus (CiC) による海外留学について

Campus-in-Campus (CiC) とは、CiC 協定を締結した海外のパートナー大学との間でキャンパス機能を共有し、学生・教職員等が国境や機関の壁を越えて教育研究交流ができる環境を実現する取り組みです。筑波大学の学生は CiC 協定校の授業料は不徴収となります。

学生は、「科目ジュークボックス」に登録された海外パートナー大学の授業科目（2020 年 5 月現在、約 2900 科目登録）を現地で履修することができます。

学生交流の対象となる CiC 協定校（2020 年 5 月現在）：国立台湾大学（台湾）、ボルドー大学（フランス）、マレーシア工科大学（マレーシア）、サンパウロ大学（ブラジル）、オハイオ州立大学（米国）、グルノーブル大学連合（フランス）、ポーフム大学（ドイツ）とアルファラビ・カザフ国立大学（カザフスタン）。

●科目ジュークボックス



Campus-in-Campus を活用するメリット

1. 人数制限のない交換留学
2. 現地オフィスによるサポート
3. 充実した経済支援
4. 多彩なプログラム



国立台湾大学の学生と交流する筑波大学生
 （国立台湾大学にて）

スチューデント・コモンズによる留学情報と国際交流の場の提供

グローバル・コモンズ機構では、第一エリアに「スチューデント・コモンズ (コミュニティスペース)」を開設し、包括的な留学情報 (学生スタッフによる留学相談) と「日本人学生と留学生が日常的に交流する場」を提供しています。

スチューデント・コモンズの活用方法

・留学相談や英文書類作成等に

留学等の海外経験のある学生スタッフが、留学希望の学生に留学情報の提供を行います。交換留学制度で留学した学生や短期海外研修制度を利用して留学した学生、海外インターンシップに参加した学生など、様々な経験を持つ学生スタッフが相談に対応します。また、留学のための英文書類作成のサポート (ライティング・ヘルプデスク) 等も行っています。

・国際交流イベント等に

グローバル・コモンズ機構や国際交流サークル等による国際交流イベントを定期的に開催しています。ほぼ毎日開催の「Global Chat」では、留学生との交流を通じて、外国語でのコミュニケーションを実践できます。また、スクリーンやプロジェクター、小テーブル付きの椅子が利用でき、事前申請により国際交流を目的とした各種イベントやミニ講義などを開催できます。

・語学習得に

TOEFL、TOEIC、ビジネス英語や専門英語などの図書教材を多く取り揃えており、語学の習得を支援します。書籍は貸出し可能です。

・留学情報収集に

本学の留学に関するチラシやパンフレットを入手できます。また、室内にはタブレットも設置してありますので、様々な情報収集に役立ちます。海外留学説明会なども随時開催しています。

・フリースペースとして

イベント開催時以外は、勉強や食事、おしゃべりなど、自由にスペースを利用できます。



スチューデント・コモンズの学生スタッフ



国際交流イベントの様子

危機管理体制

海外滞在中には、深刻な怪我、事故、犯罪被害、災害やテロといった不足の事態に巻き込まれるケースも想定されます。そこで、グローバル・コモンズ機構では、危機管理情報を集約し、随時、学生の安否確認を行うなどの対応をしています。また、渡航中の健康管理や届け出の重要性など、学生自身の海外渡航中の危機意識を高めることが必須であるため、長期休暇の前には「海外危機管理セミナー」を開催し、危機管理の徹底に努めるよう注意喚起をしています。包括的な情報提供として、「危機管理ハンドブック」を作成しています。



危機管理ハンドブック

障害学生支援・LGBT等学生支援

筑波大学では、開学以来障害等のある多くの学生が学んでおり、積極的に支援しています。現在、視覚障害、聴覚障害、運動障害、内部障害、発達障害等の障害のある約130名の学生が、学群と大学院のさまざまな分野に在籍しています。LGBT等の学生への支援も行っています。

障害学生在籍者数の推移

※DACセンターでは、各障害の状態に応じて、学生支援組織等と連携して、支援を行っています。



* 発達障害はDACセンターで把握している人数。疑い例も含む。

ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター支援体制

筑波大学には、障害のある学生の修学を支援する組織として、ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター（以下「DACセンター」という）があります。障害学生の支援に関する方針の検討、全学的な環境整備に関する調整、各教育組織および事務組織との連携を密にして、全学に平等にいきわたる支援体制を作っています。

<障害のある学生への支援>

場所：スチューデントプラザ2階

開室時間：月～金 8:30-12:15/13:15-17:15

TEL：029-853-4584 FAX：029-853-2257

Email：shougai-shien@un.tsukuba.ac.jp

URL：https://dac.tsukuba.ac.jp/shien/

※詳細はホームページをご覧ください。

支援の特色

①すべての学生の成長を期待する学生中心の支援活動

障害学生の日常的な修学支援のために「ピア・チューター（注1）制度」を設け、本学で学ぶ多くの学生が支援活動の中核を担っています。障害学生自身もピア・チューターとして、養成講座の企画・運営や他の障害学生への支援に携わるなど、学生たちが主体的な支援活動を展開しています。

また、すべての学生への理解・啓発を目的として、総合科目「ダイバーシティ&インクルージョン入門」を開設し、障害のある方を含め多様な人々と共生する心を育てています。

②各学群・学類、各学術院・研究群/専攻の専門性に基づく支援内容

全学の方針に基づいて、各教育組織が障害学生に対する支援の責任を担っています。このことにより、各分野の教育内容に応じた支援の専門性が保障されています。

③障害科学に裏付けられ、全学に平等に行きわたる支援体制

障害科学を専門とする教員が中心となって障害学生支援の専門部会を構成し、本学全体の障害学生支援を支えています。支援対象の範囲や具体的な支援内容等について、専門的な見地から指導・助言を行っています。

主な支援内容

●入学まで

大学説明会参加者への支援、入試での特別な配慮の実施に関する教育組織への助言、入学時相談（注2）

●修学支援

障害学生個々の配慮依頼文書作成、定期試験等における特別な配慮の実施、ピア・チューター制度、障害別支援・準備室（注3）の整備、大学図書館における障害者サービス（図書館資料の電子化・対面朗読・文献複写等）

●学内のバリアフリー化

学生宿舍バリアフリー室への入居、個々のニーズに応じた施設・設備の改善にあたっての関係各所へのアドバイス

●一般学生の啓発・指導

総合科目「ダイバーシティ&インクルージョン入門」、ピア・チューター養成講座（一部授業化：自由科目（特設）「障害学生支援技術」）

大学院共通科目「アクセシビリティリーダー特論」「脳の多様性とセルフマネジメント」

（注1）障害の種類や程度、学習環境（学群・大学院、理系・文系等）等、個々の障害学生の状況に応じて、修学上必要な人的支援を提供する制度です。支援の時間数は、障害の程度や学習環境等を考慮して、障害学生支援の専門スタッフで決定します。

ピア・チューターは原則として本学の学生から募集し、専門的かつ効率的な支援を行ってもらうために「ピア・チューター養成講座」を開講しています。

ピア・チューターの支援には、大学の規定に基づいて謝金を支給し、また、一定時間の活動に対しては学長名の活動証明書を発行しています。支援内容としては、授業準備、受講時の情報支援、授業の課題作成補助、キャンパス内の移動支援などがあります。

（注2）障害学生の入学時には、個別相談会を実施します。

障害学生本人、保護者、クラス担任、語学や実習・実技科目の担当者、DAC センターの教職員、関係事務局等が一堂に集まって打ち合わせを行います。支援ニーズの把握、具体的な支援内容の確認、大学の支援体制に関する情報提供などが主な内容です。

（注3）現在は、視覚障害、聴覚障害、運動・内部障害の支援・準備室及び発達障害学生が自習・休憩やグループ活動を行うスペースがあります。それぞれ必要な機器を備え、障害学生の学習室として、また支援活動の拠点として使われています。

PC要約筆記



パソコン要約筆記（手前）の画面を見ながら聴覚障害学生（奥）が授業に参加しています。

対面朗読



ピア・チューター（右）が教科書を音読し、視覚障害学生（左）が点字携帯端末でメモを取りながら聞いています。

LGBT等学生支援

筑波大学では、LGBTを含むセクシュアル・マイノリティの学生に対して、「LGBT等に関する筑波大学の基本理念と対応ガイドライン」に基づき、ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターに相談窓口を設け、各学生が有意義で快適な学生生活を送れるよう、関係組織と協力してサポートしています。

<LGBT等の学生への支援>

場所：スチューデントプラザ2階

開室時間：月～金 8:30-12:15／13:15-17:15

TEL：029-853-8504

E-mail：diversity-au@un.tsukuba.ac.jp

URL：https://diversity.tsukuba.ac.jp/

T-ACT つくばアクションプロジェクト

T-ACTって何？

「大学生になったら、こんな学生生活を送りたい！」という素敵なイメージはありますか？そういった楽しいイメージがある一方で、大学の授業やサークルなどで「やってみたい！」ができなかったらどうしよう……と、不安になることもあるかもしれません。そんな不安も解消でき、自分の「やってみたい！」を実現できる仕組みが、筑波大学特有の学生支援「つくばアクションプロジェクト」、略称「T-ACT」です。

「やってみたい！」を実現しよう！

T-ACTは、学生の「やってみたい！」を応援します。自分の趣味を深める、留学生と交流する、とにかく楽しいイベントを企画する、授業とは違う学問的な活動をする、などなど様々な活動が可能です。実際に多くの学生がT-ACTを活用して、自発的な活動を展開させてきました（活動事例参照）。

専任のコンサルタント教員が「T-ACTフォーラム」という部屋で、いつでも相談にのっています。企画立案から手続きの相談、物品の援助など、実現までを手厚く支援しています。ポンヤリした想いでもかまいません。それが実現できるよう、全力で支援をします。

自分だけの特別な「やってみたい！」を応援する学生支援が、筑波大学にはあるのです。

これまでの活動事例紹介

学生が企画した活動

- Higa Coffee
- みかんジュース飲み比べ
- つくばテーブルゲーム交流協会
- T-1グランプリ〜つくばでお笑いライブを〜
- 筑波大学ビッグバンドプロジェクト
- あおぞら絵画遠足
- つくばランウェイプロジェクト

学生が参加したボランティア

- つくばサイエンスツアー〜小学生対象工作実験教室サポートスタッフ募集〜
- 茨城県警察大学生サポーターの募集
- 【チャリティーラン】障がいのある人と共に走ろう！
- 外国籍子ども校外学習サポート教室
- スクールフェロー 小中学校での養護教諭補助
- 「矢中の杜（旧矢中邸）」の保存活用

参加の仕方いろいろ

「ボランティア活動をやりたい！」という場合もT-ACTを活用できます。T-ACTでは3つの活動方法、①学生自身で企画を立ちあげる、②他の学生や教職員が立てた企画に参加する、③T-ACTが受け付けた地域活動団体が募集する活動に参加する、があります。また、専任のボランティアアドバイザーも、学生の活動をサポートしていますので、ボランティアサークルとは違ったルートで、安心してボランティアができます。

T-ACTはみなさんをお待ちしております！

このように、T-ACTでは学生の「やってみたい！」を実現させるための様々な支援を行っています。ぜひ、みなさんも筑波大学に入学して、T-ACTで活動してみませんか？

いまだ眠っている自分の可能性を、筑波大学で、T-ACTで花開かせてください。



T-ACTフォーラムでのミーティング



学生が企画した「Higa Coffee」の様子



ボランティア活動「チャレ原2」の様子



T-ACT Webページ

<http://www.t-act.tsukuba.ac.jp/>

大学に入っすぐに、好きな研究をしよう！ 先導的研究者体験プログラム

全学群 1～3年生の研究を応援します

高校生のみなさんは「大学に入ったら、好きな研究ができる!」と思っているかもしれません。でも、残念ながらそれは間違いです。多くの大学では、自分の好きなことを研究テーマとして、研究室で研究できるようになるのは4年生になってからです。

でも、筑波大学は違います。筑波大学には「先導的研究者体験プログラム (Advancing Researcher Experience: ARE)」という制度があり、自分のやりたい研究を大学1年生から行えるのです。もちろん、単に「やりたい」というだけではダメで、研究計画書を作成し、審査を受けて採択される必要はあるのですが、採択されれば、アドバイザー教員の指導を受けながら研究ができます。

AREに応募可能なのは、筑波大学の学群1～3年生です。平成31年度は75名の学生が参加し、研究活動を行ってきました。

大学入学前に研究経験があり、今すぐ研究を始めたい人はもちろんですが、「これまで研究の経験はないけど、研究をしたい!」という人も、研究交流室で研究計画書の書き方指導等のサポートを受けながら研究計画書を作成することができます。そして「研究者体験」という授業として、研究者について基本的な知識を学びながら研究をすることができます。

大学に入ったら自分の大好きな研究を
とことん極めたいあなた。是非、筑波大
学に入って、AREに応募してください!



研究発表会 ポスター発表の様子



研究発表会 口頭発表の様子

H21－H31 所属別参加学生数

所 属	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
人文・文化学群	－	－	－	－	3	7	7	3	2	8	13
社会・国際学群	－	－	－	－	0	1	1	0	0	1	2
人間学群	－	－	－	－	0	0	1	0	0	0	2
生命環境学群	9	15	14	21	16	20	21	15	20	16	14
理工学群	10	5	10	19	8	19	6	10	7	19	25
情報学群	5	3	1	3	5	1	14	15	19	19	19
合 計	24	23	25	43	32	48	50	43	48	63	75

医・食・住環境

学生生活のサポート

■総合相談窓口

総合相談窓口は、ちょっと困ったことがあったときに気軽に相談に立ち寄ってもらうための、なんでも相談窓口です。

- ・予約なしで随時対応します。電話での相談も可能です。
- ・カウンセラーが相談を担当します。

■学生相談室

学生相談室では、学生生活に関するいろいろな問題や悩み、困ったことなどについてカウンセリングや助言を行っています。4年間の学生生活を送る間には、喜怒哀楽いろいろなことを体験されると思います。そんな中で、ちょっとしんどくなったり、勉強や研究が上手くいかなかったり、対人関係や進路のことなど何かうまくいかないと感じたら、お気軽にご利用ください。



心と身体の健康管理

■保健管理センター

定期健康診断、急病時や負傷時の応急治療・処置、健康相談（内科、整形外科、精神科、歯科の診療）などを行っています。健康上の問題が生じたときは、まず保健管理センターを訪れることをお勧めします。



保健管理センター

学生教育研究災害傷害保険

正課中・学校行事中はいくまでもありませんが、課外活動中・学校施設内を含めた教育研究活動中のほとんどの傷害事故や通学中の事故が補償の対象となる「学生教育研究災害傷害保険」(学研災)という補償救済制度があります。本学では、入学後安心して教育を受け研究活動が行えるよう、全員の加入を義務付けしています。

食堂、喫茶、書籍部等

学内には食堂、喫茶、売店や書籍部などの福利厚生施設が多数あり、学生の利便を図っています。

食堂、喫茶は各エリアにあり、学生のニーズに応えられるようメニューに工夫をこらし、より安く、おいしいものをめざしています。書籍部も各エリアにあり専門的な書籍も購入することができます。

売店には日常生活用品のほか、画材等の専門用品を扱う店もあります。



医学食堂

学生宿舎、アパート等

■学生宿舎（平砂・追越・一の矢・春日）

約3,700人分の個室があり、新入生はトイレ、補食室、洗濯室（100円/回）、シャワー室（100円/回）が共用の一般単身（約10㎡）と呼ばれるタイプの部屋に1年間（春日地区に入居となる学類（情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類）については申込により2年間）優先的に入居できるよう配慮されています。なお、2年次以降の入居募集も数種類用意されていますが、定員を超えた場合は、書類選考・抽選で入居者を決定することになります。また、室内にはベッド・机・椅子・洗面台（春日は除く。）が設置されています。

平砂学生宿舎共用棟には、管理事務室、理容室、電気店、食堂、浴場（190円／1回）が、追越学生宿舎共用棟には、管理事務室、電気店が、一の矢学生宿舎共用棟には、管理事務室、理容室、電気店、売店があります。

全室にLANが敷かれ、インターネットが利用できます。
（民間プロバイダーとの個別契約不要）

また、キャンパスの国際化推進のため、平成29年4月から国際交流を重視したシェアハウスタイプの学生宿舎（グローバルヴィレッジ）が運用開始され、2年間の入居が可能となっています。



学生宿舎

■アパート、マンション等

大学の周辺には多くのアパート、マンション等があり、種類も豊富です。

アパートを探す方法は、知人の紹介や不動産業者への問い合わせなどがあります。学生部学生生活課窓口にも一部近隣物件の資料があり、閲覧可能となっておりますが、大学から物件を直接あつせんすることはありませんので、各自で不動産業者へお問い合わせください。平均的なアパート（6畳・台所・バス・トイレ付）の家賃は、月額約35,000円～50,000円ぐらいで、礼金及び敷金については、それぞれ家賃の1～2ヶ月分相当です。



宿舎に入居する新入生を歓迎する在学生



学生宿舎（グローバルヴィレッジ）

授業料・奨学金

授業料等

入学料 282,000円
 授業料(第1期 春学期) 267,900円
 (第2期 秋学期) 267,900円
 (年額 535,800円)

●1年次納入額 817,800円

なお、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。

■授業料免除制度

各期(第1期・第2期)ごとに納入すべき授業料の全額または一部を免除する制度があります。

経済的理由によって納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められることが申請資格となります。



スチューデントプラザ

奨学金

奨学金制度としては、筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」、日本学生支援機構、地方公共団体、民間奨学団体があります。

■筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」

留学生に対する経済支援及び緊急時の学資支援を行うことにより、学生が安心して勉学に専念できる環境を確保することを目的とした奨学金制度です。

詳細については、ホームページ(奨学金・修学支援)の筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」をご覧ください。

■日本学生支援機構

日本学生支援機構の奨学金制度は、勉学に励む意欲がありまたそれにふさわしい能力を持った学生が、経済的理由により修学をあきらめることがないよう支援することを目的として国が実施する制度です。留学生には申込資格がありません。

奨学金の種別・募集時期(令和2年度1年生)

	貸与奨学金 第一種奨学金	貸与奨学金 第二種奨学金	入学時特別増額 貸与奨学金
貸与月額	(自宅通学) 2万, 3万, 4万5千 (自宅外通学) 2万, 3万, 4万, 5万1千	2万 から12万 までの間で1 万円単位で選 択できます。	希望により10 万から50万の 間で10万円単 位で額を選択 できます。申込 は入学時の1 回に限ります。
貸与形態	無利子貸与	有利子貸与(利率算定方法選択制)	
募集期間	4月1日～4月20日 その他家計急変のため緊急・応急採用については 年間を通じて随時		

	給付奨学金
給付月額	世帯の所得金額に基づく区分(第Ⅰ～Ⅲ区分)、通学形態(自宅通学・自宅外通学)に応じて定まります。
募集期間	4月1日～4月20日 併せて、秋にも実施予定(詳細は後日揭示) その他家計急変のための奨学金については年間を通じて随時

全てWEB掲示により周知しますので、十分に注意してください。

本学の日本学生支援機構奨学生数(令和2年3月1日現在)

●第一種奨学生 1,384人

●第二種奨学生 1,091人

合 計 2,475人

併用(内数) 238人

■地方公共団体及び民間奨学団体奨学金

(返済の必要がない給与奨学金が多い)

奨学生の募集は、大学を通じて募集するものと、奨学団体が直接募集するものがあります。大学に募集案内が送付されてきた奨学団体はホームページに掲載されています。
<http://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/scholarship-links.html>

アルバイト

アルバイトの紹介については、外部事業者が運営しているアルバイト求人情報提供サービスを利用しています。「筑波大学学生アルバイト情報ネットワーク」では、ネットワークに登録するとインターネットやスマホからアルバイト求人情報を閲覧することができます。

また、危険を伴うものや教育的に好ましくないアルバイト求人については、「制限職種」を定めて受付を行っておりません。学群新入生へのアルバイト紹介は 10 月から行います。

システム利用にあたっては、以下大学 HP から利用方法等確認してください。

【アルバイト情報】

<http://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/part-time-jobs.html>



学内風景

学生の生活費

筑波大学の学生生活実態調査による生活費は以下の表のようになっています。

平成20～29年度の平均支出（学生生活実態調査）

調査年度	アンケート回収率	食費	住居費	就学費	交通費	通信費	その他	計
平成20年度	48.6%	26	37	6	8	6	18	101
平成22年度	44.6%	24	35	6	7	6	16	94
平成24年度	32.1%	23	30	3	4	4	14	79
平成29年度	22.5%	25	29	4	5	3	13	79

1ヶ月の平均的な支出：単位は千円

学年ごとの支出内訳（平成29年度学生生活実態調査）

調査年度	食費	住居費	就学費	交通費	通信費	その他	計
1年次	22	20	5	5	2	12	66
2年次	27	32	5	4	3	12	83
3年次	23	32	4	5	3	15	82
4年次	26	35	4	6	4	14	89
全体	25	29	4	5	3	13	79

1ヶ月の平均的な支出：単位は千円

学生組織

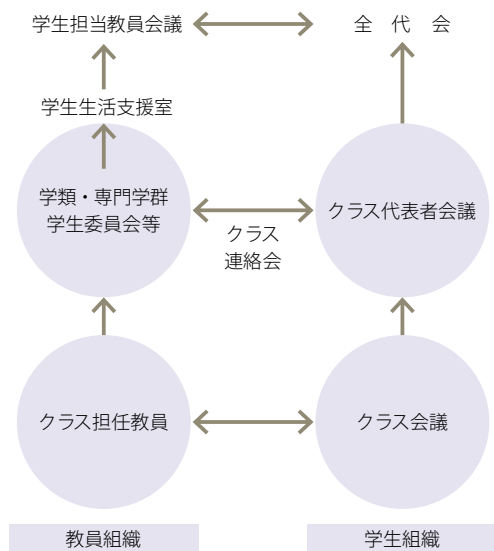
クラス制度

入学すると、原則として20～40人ごとにクラスが編成され、1年生の春学期にクラス単位の「フレッシュマン・セミナー」が開設されます。クラスには学生により自主的に運営される組織として、クラス会議が置かれ、学習、生活全般にわたる話し合いが持たれます。

全学学群学生代表者会議（全代会）

各クラスは、年度初めにクラス代表を選出します。このクラス代表により、各学類・専門学群・総合学域群ごとにクラス代表者会議が構成されます。さらにここから代表3名が選出され、全学学生を代表する全代会を構成します。

これらの組織の運営は全て学生に任されており、全代会においては、学生の意向を反映させるため、学生生活、教育活動等に関する事項を自主的に討議する組織となっています。



学内行事と学生による実行委員会

学園祭（雙峰祭）

本学の学園祭（雙峰祭）は11月に開催されます。研究や課外活動の成果を発表して、広く大学を社会に紹介するとともに、大学と市民との交流を行う機会となっています。学園祭の運営は、全代会の下部組織として学生が組織する学園祭実行委員会が行っています。



学園祭



学園祭企画



学園祭ステージ

スポーツ・デー

本学では、全学の学生にスポーツ活動の機会を提供し、健康で明朗な大学生活の充実と学内スポーツ活動の振興を図ることを目的に、春と秋の2回、スポーツ・デーを開催しています。球技などさまざまな種目に、学生や教職員のチームあるいは個人で自由に参加します。この行事の企画と運営は、全大会の下部組織であるスポーツ・デー学生委員会が、体育会の協力のもとで行っています。



スポーツ・デー

宿舎祭（やどかり祭）

宿舎祭は、本学の四十余年の伝統の中で、学生が生み出した行事であり、宿舎に暮らす学生同士の親睦を深める場であるとともに、地域の方々との交流の場となっています。その企画、運営は学生の自発的組織である宿舎祭実行委員会が行っています。



宿舎祭（ゆかたコンテスト）

学外関連団体

茗溪会

筑波大学の同窓会です。設立は東京高等師範学校時代の明治15年にさかのぼります。全国に80の支部があり、会員数は約5万人。全国各県の教育界で指導的立場にあるなど、各界で活躍中です。

<http://www.meikei.or.jp/>

文化系サークル

文化系サークル連合会 <http://www.stb.tsukuba.ac.jp/~bunsa/wiki/doku.php>

課外活動団体文化系

(文化系サークル連合会組織団体)

課外活動団体文化系		構成員数				
(文化系サークル連合会組織団体)						
筑波大学電気通信研究会	7	茶道同好会	21	漫画研究会		26
Amusement Creators	32	茶道部和敬清寂社	19	野外活動クラブ		53
E.S.S. (English Speaking Society)	24	社会福祉研究会	192	野生動物研究会		74
池坊華道部	12	写真部さくら組	17	歴史探訪会		19
囲碁部	13	手話サークル	50			
宇宙工学研究会	7	将棋部	40			
S F 研究会アルビレオ	10	図画団	41			
園芸クラブ	18	ストーリーテリング研究会	9			
海洋研究会	49	T . A . S . C .	29			
歌留多部	56	筑波大鉄研「旅と鉄道の会」	35			
斬桐舞	49	つくば鳥人間の会	68			
CLOVER ～難民と共に歩むユース団体～	17	筑波文学の会	15			
現代視覚文化研究会	81	天文研究会	53			
		TOJO K - ON	86			
		ねっしー・自然教育研究会	65			
		文芸部	31			
		マジシャンズクラブ	24			



つくば鳥人間の会



ねっしー・自然教育研究会

一般学生団体文化系

	構成 員数				
アイセック筑波大学委員会	25	筑波大学広域 BBS 会	22	ぶよぶよサークル UPC	9
Association of African Students, University of Tsukuba(AASUT)	27	菟玖波現代短歌会	8	FAST (フィリピン留学生会)	25
インドワークキャンプ団体 namaste!	60	筑波大学静岡県人会	32	Free Education (エフィ)	34
宇宙技術プロジェクト	32	筑波大学地理愛好会	17	お菓子作りサークル ヘンゼルとグレーテル	43
Echo UT	10	つくばぬいぐるみ病院	29	僕らの夏休み Project 筑波大学支部	30
Omochi Language Club	6	つくばピア	14	盆 LIVE 実行委員会	19
CASA	28	つくばフェアトレード推進委員会 FRAT	7	麻雀同好会	32
クイズ研究会	25	つくばポケモン大好きクラブ	43	学び場さくら塾	24
CoMed つくば	38	つくばろぼっとサークル	23	ミステリー研究会	7
ジオネットアース	36	TED ×イベント運営委員会	26	ラジオサークル roots	7
宿舎祭実行委員会	154	TICA (Tsukuba International Christian Assembly)	6	留学生交流会 TISA	23
スカイスポーツクラブアイオロス	15	TPC(Tsukuba Programming Circle)	25	LGBTQA サークルにじひろ	8
STUDY FOR TWO 筑波大学支部	14	桐政会	32	筑波大学公認ボランティア サークル LUZ	78
聖書研究会	9	とんぴくりん	9	就活支援団体 TAKE@WAY	17
台湾留学生会	14	同窓交流研究会 Dam	10	Tsukuba for 3.11	15
チェスサークル Café Rejansu	28	ドットジェイピーつくば支部	11	ゆにっと	5
中国留学生学友会	23	日本史研究会	27	UTIC (University of Tsukuba International Community)	10
Chi Alpha Tsukuba Bible Club	6	日本マラウイ学生団体	22	映画研究部	27
つくつく	33	Nu Ink.	10	雙峰論叢	7
筑波医学生国際交流連盟 (TIMSA)	42	のうりんむら	89		
つくばお笑い集団 DONPAPA	19	花火研究会	24		
筑波大学 EV カート研究会	6	HS CaT	35		
筑波大学音楽ゲームサークル TEA	20	プライマリケア研究会	13		
		Persatuan Pelajar Indonesia Ibaraki	19		



手話サークル



歌留多部

体育系サークル

体育会 <http://www.stb.tsukuba.ac.jp/~taiikukai/>

課外活動団体体育系 (体育会組織団体)

■部会

アーチェリー部	16
合気道部	18
アイススケート部	6
男子アイスホッケー部	44
女子アイスホッケー部	33
アメリカン・フットボール部	59
オリエンテーリング部	47
鹿島神流武道部	35
空手道部	13
弓道部	22
剣道部	83
硬式庭球部	51
硬式野球部	150
サイクリング部	57
蹴球部	165
女子サッカー部	27
柔道部	45
準硬式野球部	34
少林寺拳法部	13
水泳部	67
スキー部	11
漕艇部	14
男子ソフトボール部	38
女子ソフトボール部	21
体操部	25

体操競技部

卓球部

ダンス部

トライアスロン部

軟式庭球部

馬術部

男子バスケットボール部

女子バスケットボール部

バドミントン部

男子バレーボール部

女子バレーボール部

男子ハンドボール部

女子ハンドボール部

フィールドホッケー部

ライフセービング部

ラグビー部

男子ラクロス部

女子ラクロス部

陸上競技部

■同好会

アルティメット同好会

剣道同好会

サッカー同好会

トランポリン同好会

バスケットボール同好会

バドミントン同好会

バレーボール同好会

フェアリースキークラブ

ワンダーフォーゲルクラブ	56
医学アイスホッケー部	46
医学弓道部	69
医学剣道部	23
医学硬式庭球部	86
医学ゴルフ部	80
医学サッカー部	53
医学準硬式野球部	51
医学水泳部	103
医学スキー部	36
医学ソフトテニス部	34
医学卓球部	37
医学バスケットボール部	36
医学バドミントン部	117
医学バレーボール部	44
医学ハンドボール部	73
医学ヨット部	18
医学ラグビー部	52
医学陸上競技部	84



アメリカン・フットボール部



ダンス部

一般学生団体体育系

	構成 員数				
カヌークラブ	7	卓球同好会	98	Master Peace	8
弓道同好会春霞	78	新体操 競技部	10	ULIS バドミントン部	191
硬式テニス愛好会 FOREST	104	知的障害者スポーツ支援「スポーティア」	46	ULIS バレーボール部	80
硬式テニスサークル ADVANT	82	筑波ジョギングクラブ	38	ライフルシューティング	12
Fancy Tennis Club	116	筑波大学医学フットサル同好会	54	陸上競技同好会	170
柔道同好会	9	Tsukuba Basketball Club	100	WorldFut TSUKUBA	52
水泳同好会	54	筑波マリンダイビングクラブ	22	スポーツ愛好会	44
Scramble	22	図情バスケットボールサークル	23	ラグビー同好会 U.T.C	35
SPIKERS'Inc	63	軟式野球部	28	ボウリングクラブ	19
ソフトテニスサークル On the Line	24	ハンドボール同好会	22	ボクシングサークル	21
		Picnic Tennis Team	121		
		武道護身空手部	26		



硬式野球部



バドミントン部



柔道部



陸上部

芸術系サークル

芸術系サークル連合会 <http://www.stb.tsukuba.ac.jp/~geisa/>

課外活動団体芸術系

(芸術系サークル連合会組織団体)

	構成 員数
アカペラサークル Doo-Wop	148
E.L.L. (筑波軽音楽協会)	114
応援部 WINS	79
合唱団むくどり	19
管弦楽団	110
ギター・マンドリン部	21
劇団筑波小劇場	28
混声合唱団	48
ジャグリングサークル Sheep	26
写真部	43
JAZZ 愛好会	45
ジャズ楽団 Neopolis BIGBAND	51
書道部	35
吹奏楽団	93

男声合唱団メンネルコール

津軽三味線倶楽部無絃塾

筑波音楽協会

筑波能・狂言研究会

つくばフォーク村

THK 筑波放送協会

ときめき太鼓塾

人形劇団 NEU

ピアノ愛好会

ViCC—映画をつくる会—

フォルクローレ愛好会

舞踏研究会

ブロックフリーテ同好会

邦楽部

ミュージカル集団 ESSASSA

落語研究会

11

46

57

8

101

35

16

6

75

30

17

19

15

36

69

15

一般学生団体芸術系

	構成 員数
アイドル研究会	39
医学フィルハーモニー	44
作曲サークル DTM Lab	37
ダブルダッチサークル purplume	40
The Empire of TSUKUBA	15
筑波大学ケルト音楽愛好会 T-Celt	30
つくば VSC	14
バンドストッククラブ PBCM	28
弾き語りクラブ「アンプラグド」	11
ヒーローアクション同好会	13
焼き物をつくる会	36
Real jam	139



アカペラサークルDoo-Wop



ときめき太鼓塾



合唱団むくどり



混声合唱団



写真部



舞踏研究会

あなたのやりたいを叶える！

～ Free Education (エフィ) ～ Twitter@tsukubaFreeEdu

はじめまして、Free Education (エフィ) です。

私たちは、「ゆる～く、自由に、教育を。」をモットーに中学校での放課後学習指導や、近隣の学校との交流会など、「教育」に関する活動を幅広く行っています。週1回のミーティングでは、例えば小学校のプログラミング教育導入についてといった教育問題を取り上げて話し合っています。

ここで、私達が考える Free Education の「Free」の2つの意味を紹介します。

1つは「無償」です。日本の子どもの6人に1人は経済的な事情で塾に行けなかったり、習い事や部活など色々なことを経験する機会が少なかったり、様々な面で困難な状況にあります。また、学校では、1人1人に合わせた教育を行うことが難しく、授業についていけない子どもたちもたくさんいます。そういった子どもたちが安心して勉強できる「学び場」を提供するために、定期的に中学校で無償の放課後学習指導をしています。

もう1つは「自由」です。スポーツやピクニックなどでの自由な学びは、子どもたちの心と体を育てます。そこで、私たちは勉強に捉われない「自由な学び」を提供するために、スポーツや芸術など、様々な習い事を体験できる、イベントの開催を目指しています。そのために現在、様々なイベントのお手伝いに参加しイベントの運営のノウハウを学んでいます。こちらの活動はまだ発展途上ですが、将来的に学内で有志を募ったり、つくば市内のイベントとコラボしたりして、子



ミーティングなどやかな中でも真剣な議論が交わされます

どもたちに多種多様な学びを提供できるようなイベントを開催したいと考えています。

筑波大学には、25の学類・専門学群が集まっており、専門分野以外にも、様々な趣味・特技を持った学生が集まっています。また、110を超える国・地域から留学生が集まっています。学生一人ひとりが、自分の特技や持ち味、経験を活かして地域の子もたちと共に私たちも成長していく、そんな活動をこれからも発展させていければと考えています。

教育に関する活動以外にもミーティングの最初にはミニゲームなどを通して、メンバーの親睦を深めたり、長期休みには旅行に行ったり、BBQをしたりするなど、和気あいあいと活動しています。私達についてもっと知りたい方はぜひお気軽にご連絡ください！



つくばサイエンスツアーのお手伝い



メンバーで楽しくパーベキュー

就職・進学・取得免許・国家試験等

キャリア支援

ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターでは、社会人となるための支援プログラム（キャリア支援イベントや総合科目開設など）を実施しています。また、キャリア形成支援ツールとして『つくばキャリアポートフォリオ（CARIO）』を用意しています。大学生活での様々な経験から得られる「気づき」「気持ち」を記録し、その過程において自己理解を深め、自らのキャリアを構築していけるよう支援を行っています。

就職支援

就職課では、就職に関しての様々なガイダンス・講座を実施しています。学年を問わず参加できるものもありますので、早い段階から積極的に講座に参加してください。詳細は就職課ホームページを確認してください。

また、その他にも就職課のホームページでは、企業、公務員、教員等の求人に関する様々な情報を入手することができます。

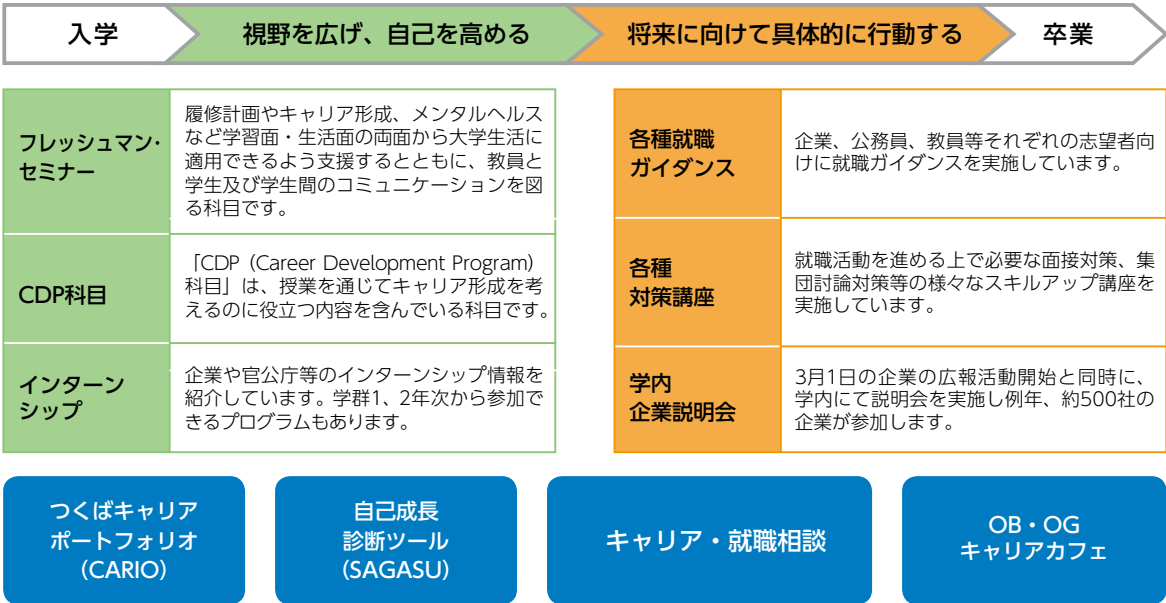
就職課ホームページ

<https://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/career/>

筑波大学のキャリア形成支援プログラム

筑波大学には、学生の学びと将来に関連づけていくための様々なプログラムが用意されています。ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターでは、ガイダンスや個別相談、ワークショップなどを通じて、学生

が自分自身について考えながら社会についての視野を広げ、将来に向けて具体的な準備を進めていけるようサポートしています。なお、下記以外にも、各学群・学類ごとの支援プログラムが用意されています。



国家試験受験結果 令和元年度（令和2年2月実施）

卒業生の、医師国家試験、看護師国家試験、保健師国家試験、助産師国家試験、臨床検査技師国家試験の合格実績を紹介します。

国家試験	本学受験者数		本学合格者数		本学合格率		全国平均	
第114回医師国家試験	124	(120)	117	(114)	94.4%	(95.0)%	(92.1)%	(94.9)%
第106回保健師国家試験	19	(19)	19	(19)	100.0%	(100.0)%	(91.5)%	(96.3)%
第103回助産師国家試験	4	(4)	4	(4)	100.0%	(100.0)%	(99.4)%	(99.5)%
第109回看護師国家試験	68	(67)	68	(67)	100.0%	(100.0)%	(89.2)%	(94.7)%
第66回臨床検査技師国家試験	37	(34)	26	(26)	70.3%	(76.5)%	(71.5)%	(83.1)%

*（ ）内は現役生

教育職員免許状取得状況

過去4年間に、卒業時に教員免許状を取得した人数と免許状の種類を紹介します。

学類	年度	種類毎の人数	免許合計	人数
人文学類	R1	国語(高2)/社会6/地歴11/公民7/英語(中2・高4)	32	19
	30	国語(中1・高2)/社会8/地歴17/公民10/英語(中6・高7)/フランス語(中1・高1)	53	28
	29	国語(中1・高1)/社会9/地歴18/公民13/英語(中10・高10)/フランス語(中1・高1)	64	29
	28	国語(中4・高3)/社会14/地歴22/公民9/英語(中7・高7)	66	32
比較文化学類	R1	国語(中1・高1)/地歴1/英語(中3・高3)	9	5
	30	国語(中3・高3)/地歴1/公民1/英語(中4・高5)/ドイツ語(中1・高1)	19	9
	29	国語(中4・高4)/社会3/地歴3/公民1/英語(中7・高7)/特別支援1	30	15
	28	国語(中4・高4)/社会1/地歴1/公民1	11	5
日本語・ 日本文化学類	R1	国語(中8・高12)	20	12
	30	国語(中14・高14)	28	14
	29	国語(中6・高9)	15	9
	28	国語(中7・高8)	15	8
社会学類	R1	社会2/地歴2/公民2	6	2
	30	公民1	1	1
	29	社会1/公民2	3	2
	28	社会3/地歴1/公民3	7	3
国際総合学類	R1	英語(中2・高5)	7	6
	30	社会1/公民1/英語(中4・高7)	13	8
	29	公民1/英語(中3・高5)	9	6
	28	英語(中6・高9)	15	9
教育学類	R1	小学校9/国語(中1・高1)/社会10/地歴9/公民7/数学(中1・高2)/理科(中2・高2)/情報1/英語(中3・高3)	51	21
	30	小学校9/国語(中6・高6)/社会4/地歴2/公民2/数学(中2・高2)/理科(高1)/保体(高2)/英語(中5・高5)	46	22
	29	小学校6/国語(中1・高1)/社会12/地歴12/公民7/数学(中2・高3)/英語(中4・高4)	52	22
	28	小学校3/国語(中1・高4)/社会3/地歴3/公民2/数学(中4・高4)/理科(中1・高1)/英語(中3・高3)	32	16
心理学類	R1	国語(中1・高1)	2	1
	30		0	0
	29		0	0
	28	数学(中1・高1)/英語(中1・高1)	4	2
障害科学類	R1	小学校11/国語(中1・高1)/社会4/地歴4/公民4/数学(中2・高2)/英語(中4・高4)/特別支援18	55	18
	30	小学校5/国語(中2・高2)/社会3/地歴3/公民1/数学(中1・高1)/英語(中3・高3)/特別支援10	34	12
	29	小学校3/国語(中3・高3)/社会2/地歴2/公民1/英語(中6・高6)/特別支援13	39	13
	28	小学校1/国語(中1・高1)/社会5/地歴3/公民1/保体(中2・高2)/英語(中6・高6)/特別支援14	42	14
生物学類	R1	理科(中11・高14)	25	14
	30	理科(中9・高13)	22	13
	29	理科(中18・高22)	40	22
	28	理科(中13・高19)	32	19
生物資源学類	R1	理科(中3・高9)/農業1	13	9
	30	理科(中2・高10)	12	10
	29	理科(中5・高15)/農業1	21	16
	28	理科(中7・高9)/技術2/農業3	21	10
地球学類	R1	理科(中3・高6)	9	6
	30	地歴2/理科(高2)	4	4
	29	理科(中2・高4)	6	4
	28	地歴2/理科(中3・高7)	12	9

学類	年度	種類毎の人数	免許合計	人数	
数学類	R1	数学 (中 12・高 21)	33	21	
	30	数学 (中 11・高 16)	27	16	
	29	数学 (中 11・高 22)	33	22	
	28	数学 (中 15・高 22)	37	22	
物理学類	R1	数学 (中 2・高 1) / 理科 (中 2・高 11)	16	12	
	30	数学 (中 2・高 2) / 理科 (中 5・高 11)	20	11	
	29	理科 (中 6・高 8)	14	8	
	28	理科 (中 4・高 6)	10	6	
化学類	R1	理科 (中 7・高 9)	16	9	
	30	理科 (中 2・高 7)	9	7	
	29	理科 (中 3・高 5)	8	5	
	28	理科 (中 8・高 18)	26	18	
応用理工学類	R1	理科 (中 5・高 6)	11	6	
	30	数学 (中 2・高 2) / 理科 (中 3・高 5)	12	7	
	29	理科 (高 1)	1	1	
	28	数学 (中 1・高 4) / 理科 (中 1・高 2)	8	5	
工学システム学類	R1		0	0	
	30	理科 (高 1)	1	1	
	29	数学 (高 1)	1	1	
	28		0	0	
社会工学類	R1		0	0	
	30	社会 1/ 公民 1	2	1	
	29	数学 (中 2・高 2)	4	2	
	28	数学 (中 4・高 5)	9	5	
情報科学類	R1		0	0	
	30		0	0	
	29	情報 1	1	1	
	28		0	0	
情報メディア創成学類	R1		0	0	
	30	数学 (中 1・高 1) / 情報 1	3	1	
	29		0	0	
	28	数学 (中 2・高 2) / 情報 2	6	2	
知識情報・図書館学類	R1	社会 1/ 公民 1/ 情報 2	4	4	
	30	数学 (中 1・高 2) / 情報 1	4	3	
	29	社会 1/ 公民 3/ 数学 (中 1・高 2) / 情報 1	8	6	
	28	情報 2	2	2	
看護学類	R1	養護 5	5	5	
	30	養護 10	10	10	
	29	養護 6	6	6	
	28	養護 5	5	5	
体育専門学群	R1	小学校 2/ 保体 (中 104・高 115) / 特別支援 1	222	119	
	30	保体 (中 126・高 153)	279	154	
	29	小学校 1/ 理科 (中 1・高 1) / 保体 (中 137・高 164)	304	164	
	28	保体 (中 137・高 166)	303	167	
芸術専門学群	R1	国語 (中 6・高 6) / 美術 (中 13・高 20) / 工芸 2/ 書道 7	54	27	
	30	国語 (中 5・高 6) / 美術 (中 16・高 22) / 書道 7	56	29	
	29	国語 (中 4・高 5) / 美術 (中 11・高 16) / 工芸 4/ 書道 5	45	22	
	28	国語 (中 4・高 4) / 美術 (中 18・高 29) / 書道 4/ 特別支援 1	60	33	
合 計			令和 1 年度	590	316
			平成 30 年度	655	361
			29 年度	704	376
			28 年度	723	392

進路状況（学群）

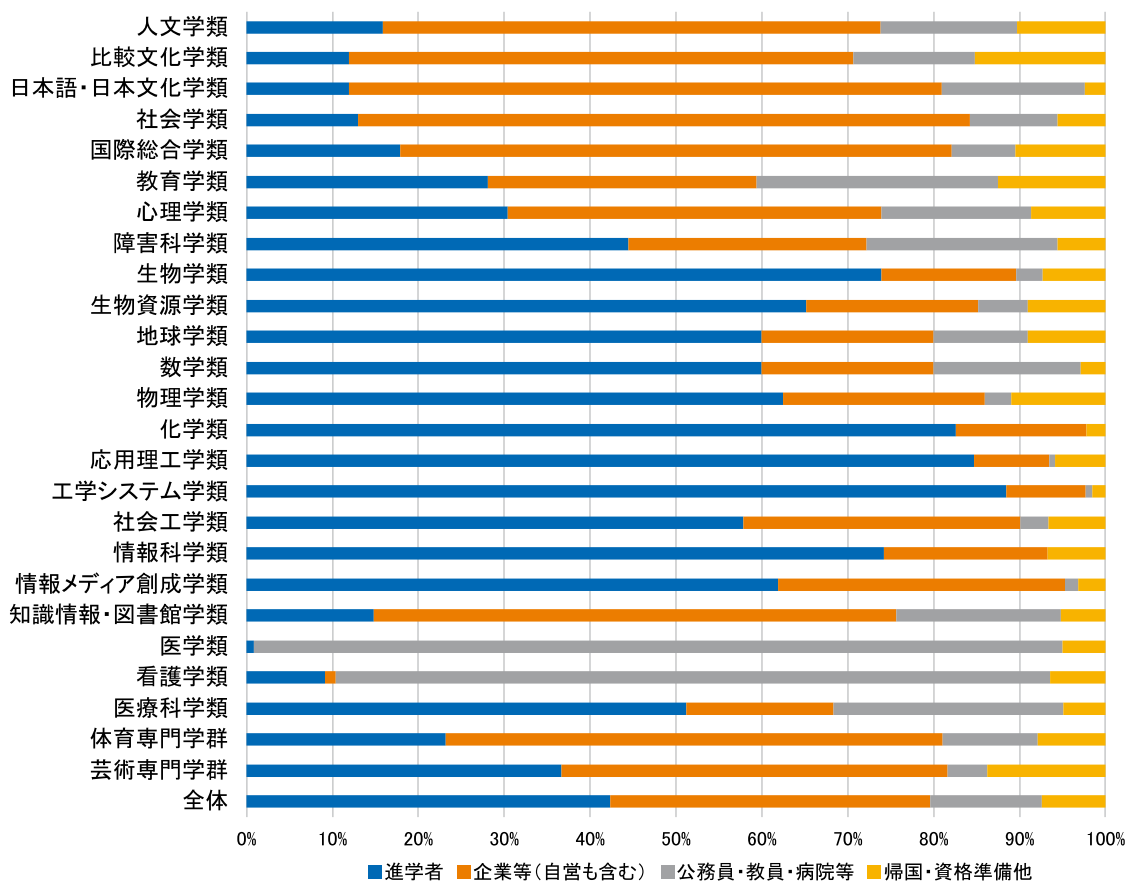
学群卒業生数（令和元年度）

学群・学類	人文・文化学群			社会・国際学群		人間学群			
	人文学類	比較文化学類	日本語・日本文化学類	社会学類	国際総合学類	教育学類	心理学類	障害科学類	
卒業者	107	92	42	108	95	32	46	36	
学群・学類	生命環境学群			理工学群					
	生物学類	生物資源学類	地球学類	数学類	物理学類	化学類	応用理工学類	工学システム学類	社会工学類
卒業者	96	155	55	35	64	46	137	130	121
学群・学類	情報学群			医学群			体育専門学群	芸術専門学群	合計
	情報科学類	情報メディア創成学類	知識情報・図書館学類	医学類	看護学類	医療科学類			
卒業者	89	63	115	120	77	41	242	109	2,253

産業別進路内訳（学群全体）

卒業生		進学先		就職者	就職者の内訳					研究生等	資格・試験等準備他	帰国	その他
		うち本学大学院	就職者		企業	教員	公務員	独法等	研修医				
合計	2,253	955	867	1,132	838	50	113	18	113	5	89	17	55

産業別進路内訳（学類・専門学群別）



令和元年度就職先例

主な就職先企業等名を掲載しています。〔株式会社〕などの表記をはじめ、企業名を適宜省略しています。進学者、教員、公務員、研修医、その他については、p.141 の表と各教育組織のページをご覧ください。

人文学類	りそな銀行、八十二銀行、ゆうちょ銀行、商工組合中央金庫、ヤマハ発動機、そごう・西武、力堂、JTB パブリッシング、Mr.HALAL、山崎製パン、白岩工業、サクラクレパス、イヤホンガイド、ステップ、左右社、ビジョン・コンサルティング、久光製薬、ボディセラピストエージェンシー、コンシスト、JX 石油開発、柏菰苑、キャンノンセミコンダクターエキップメント、UT、中野冷機、JT、SDL ジャパン、アイリスオーヤマ、ディップ、フューチャーインスペース、ドールコーヒー、NTT ファイナンス、オープンリソース、四谷大塚、はせがわ、DNP ソーシャルリンク、NEXTEDUCATION、一誠商事、ステラ・テクノロジー、つくばソフトウェアエンジニアリング、スタッフサービス、アドバンストインテリジェントサービス、メディロム、富士ゼロックス、清水建設、公募ガイド社、サイバー・コミュニケーションズ、近畿日本ツーリスト、川崎近海汽船、名古屋鉄道、JR 貨物、自由民主党、自然学園、河合塾、家庭教師のトライ、丸善出版、大日本印刷、茨城新聞社、中日本新聞社、共同通信社、NHK など
比較文化学類	信金中央金庫、資産管理サービス信託銀行、かんぽ生命、イオンリテール、リビングライフ、日立製作所、東京テアトル、TOTO エムテック、楽天、タカラッシュ、シムテック、アイ・ビー・アイ、NRI ネットコム、夢屋、アクセンチュア、湘南美容クリニック、K&G、サン・プランニング・システムズ、大同 DM ソリューション、IndeedJapan、PCI ソリューションズ、パソナ、パーソルプロセス & テクノロジー、JXTG エネルギー、アチーブメント、ウユクリ、テンヨ武田、CRAZY、ユニクロ、Meiji Seika ファルマ、ライオン、カチタス、日本工営、日立建機ロジテック、マブチモーター、ベルシステム 24、安田倉庫、ダイブ、日立ソリューションズ、田中貴金属グループ、リクルートグループ、ジャルカード、イープラス、ディーエイチシー、オカムラ、森トラスト、牧阿佐美パレエ団、郡山商工会議所、東京女子大学、文化学園、日経 BP、日本経済新聞社 など
日本語・日本文化学類	常陽銀行、群馬銀行、三井住友信託銀行、オープンリソース、東京ガス、京都きもの友禅、昭和システムエンジニアリング、タネトネ、Talknote、アイシング、エコスマート、電通デジタル、リトル・ママ、エルヴェ、エン・ジャパン、JR 東日本、鹿島建設、ユニクロ、バンダイナムコ、岡本、一誠商事、サイバー・コミュニケーションズ、ソフトビューペリオン、エスエイティーティー、明電舎、ニチ学館、光文書院 など
社会学類	三井住友銀行、三菱 UFJ 信託銀行、大東銀行、七十七銀行、ゆうちょ銀行、損害保険ジャパン日本興亜、あいおいニッセイ同和損害、オリックス生命、アクサ生命、大和証券、レイス、日野自動車、ぎょうせい、セレマ、芙蓉総合リース、カブコン、森紙業、マシタ太陽、鴻池組、クイック、トーセイ、アクセンチュア、エスアールエル、CBRE、リングロー、ナガセ、山田ビジネスコンサルティング、データ・フォアビジョン、Leretto、PCI ソリューションズ、テイクアンドグヴ・ニーズ、セブン・イレブン、セプテーニ・ホールディングス、ハピネット、富士キメラ総研、アーズ、内田洋行、パーソルプロセス & テクノロジー、ビジネスブレイン太田昭和、日本レコード・キーピング・ネットワーク、イグニション・ポイント、にのみや工務店、DE-SIGN グループ、一広グループ、キューブシステム、アグリコミュニケーションズ、日立システムズ、メガネスーパー、レンゴー、エポックル、シティ・コム、ベルシステム 24、SUBARU、フージャースコーポレーション、アセットマネジメント One、西華産業、NTT ロジスコ、NTT データ・アイ、ブイキューブ、シンプレクス、大陸貿易、AlphaSights、ジェイ・クリエイション、ヴィエムウェア、Sky、ホテルオークラ東京、上野輸送、JR 東日本、育英教育、日本能率協会、船井総合研究所、福岡ソフトバンクホークス、中日本新聞社、NHK など
国際総合学類	三井住友銀行、静岡銀行、三菱 UFJ フィナンシャル、丸紅、伊藤忠マシントクノス、コーセー、カカコム、エイチ・エル・シー、奥野住販、岡谷鋼機、富士ゼロックス、日立製作所、双日、東洋製罐、阪和興業、四国電力、アシスト、中村自工、YKK、川崎重工業、日本コンセプト、パーソルテンプスタッフ、ビジョン・コンサルティング、ナガセ、アズビル、住友化学、山一電機、ビースタイル、セプテーニ、イシダ、クボタ、ネオキャリア、Y's & partners、アイアンドエス・ビービーディオー、mediba、ユニクロ、プロティビティ LLC、日本製鉄、ソニーネットワークコミュニケーションズ、NTT データ、日立物流、シーエクスアール、グリー、江間忠ホールディングス、フロムクラッチ、onceelf、星野リゾート、東京貿易グループ、mikan、日産トレーディング、リストインターナショナルリアルティ、国際石油開発帝石、サイバー・コミュニケーションズ、日本交通、パルコ、神戸製鋼所、オープンハウス、長島会計事務所、紀伊国屋書店、NHK など
教育学類	YKK、アルファテック・ソリューションズ、大広、オープンリソース、スミセイ情報システム、ネオキャリア、ベネッセコーポレーション、湘南ゼミナール、六路園調布学園、茨城新聞社 など
心理学類	NTT 西日本、SAKURUG、日立アーバンインベストメント、パーソルテンプスタッフ、ライズ・コンサルティング、ワールドインテック、グットイット、コーセー、パーソルプロセス & テクノロジー、メディアコミュニケーションズ、レジェンダ・コーポレーション、コムチュア、THECOO、デジタル・アドバイジング・コンソーシアム、スリーワンシステムズ、カンミ堂、タネトネ、石油資源開発、生活協同組合ユーコープ、倉敷医療生活共同組合 など
障害科学類	アフラック生命、アークシステム、ワールドコンストラクション、アズパートナーズ、パーソルチャレンジ、ニチ学館、羽田空港サービス、ベネッセコーポレーション、にじいろ、同仁会 など
生物学類	SG フィルダー、コーセー、イグジットフィルム、エムズ、日本 IBM・サービス、ボナック、ビッグツリーテクノロジー & コンサルティング、セプテーニ・ホールディングス、JR 東日本情報システム、ジョイサポ、広栄化学工業、潤工社、メディックメディア、バンダイ、コナミ など
生物資源学類	清水建設、山崎製パン、カインズ、アングローバル、三菱 UFJ インフォメーションテクノロジー、レパレージュ、日本モレックス、システムリサーチ、エン・ジャパン、日本 IBM、MSD、マイクロメモリジャパン、日水コン、セプテーニ、JXTG エネルギー、Ambii、伊那食品工業、京葉興業、オン・ザ・プラネット、アイヴィス、リコー、京阪ホールディングス、Branding Engineer、富士通アドバンスエンジニアリング、クミアイ化学工業、レシップ、IDOM、野村證券、JA 全農青果センター、日本環境衛生センター など
地球学類	岡谷鋼機、イオレ、ユーロフィン日本総研、レキオソフト、カゴメ、JR 中央ラインモール、昭和電工、日産自動車、楽天証券、日本測地設計、ゼンリン など

数学類	三菱東京 UFJ 銀行、東邦銀行、ティス製菓、sizebook、ヴイエムウェア、あしたのチーム、東京商工リサーチ など
物理学類	三井住友銀行、アイレップ、日本精機、ミネベアミツミ、セブテーニ、SmartSolutions、パーソル R&D、トレンド・プロ、フジシステムズ、コカ・コーラ、ソニー・ミュージックエンタテインメント、DYM、東日本高速道路、英進、芳文社 など
化学類	リクルート R&D、セブテーニ、NTT 東日本、三井不動産レジデンシャル、レナウン、パーカー加工、ホルペイン工業 など
応用理工学類	アイティメディア、日本トリム、チームラボ、エスユーエス、マツダ、アーティス、SMBC 日興証券、テクノプロ・IT、日本製鉄、アクティオ、アディエント、野村総合研究所 など
工学システム学類	グローブライド、日企、日立ハイテクマニファクチャ&サービス、トヨタ自動車、東ハト、アルファデザイン、インターステラテクノロジズ、オプティム、竹内製作所、Sky、オークファン、野村総合研究所 など
社会工学類	千葉銀行、三菱 UFJ フィナンシャル、シンプレクス、日立アプライアンス、PwC コンサルティング、日特建設、大成建設、ラクラス、フラー、スター・マイカ、スターバックス コーヒー、JBCC、SBS リコーロジスティクス、アビームコンサルティング、セブテーニ・ホールディングス、ネオキャリア、マイクロウェーブ、東京設計事務所、新日鉄住金ソリューションズ、小田急電鉄、大林組、日立ソリューションズ・テクノロジー、アコム、互助交通、日本ノーベル、日本ロレアル、富士電機、ザイマックスアルファ、東芝三菱電機産業システム、東レ、三菱地所、日本総合研究所、富士通ソフトウェアテクノロジーズ、NTT 都市開発、商工組合中央金庫、ユーラスエナジー、日本自動車研究所 など
情報科学類	トレンドマイクロ、LINE、レイス、アトラス、カプコン、マーザ・アニメーションプラネット、昭和システムエンジニアリング、ナビタイム、東芝インフラシステムズ、ラティス・テクノロジー、チームラボ、メディックス、遠州鉄道、セルシス、ForeVision、TIS、楽天 など
情報メディア創成学類	ウォンテッドリー、エス・エー・エス、ワーナー ブラザース、電通デジタル、レジェンド・アプリケーションズ、SCSK、ディー・プロコム、千、セルシス、アイスタイル、フィラメント、キャノン IT ソリューションズ、RIZAP、新日鉄住金ソリューションズ、アララ、ハイ・アベイラビリティ・システムズ、UT テクノロジー、SANKYO、放送大学学園 など
知識情報・図書館学類	常陽銀行、八十二銀行、NTT コミュニケーションズ、三谷産業、Future One、アストジェイ、安達学園、トーシンパートナーズ、エス・エム・エスキャリア、楽天、プラスアルファ・コンサルティング、トーハン、エンジンフィルム、ミカサ商事、JR システム、パーソルテンプスタッフ、広芸インテック、NTT 東日本、トラストシステム、ビデオリサーチ、トヨタ自動車、滋慶上海センター、アーケテック、JR 東海情報システム、オリンピック・システムズ、キューブシステム、日立システムズ、ダイショー、日本電気通信システム、新東電算、アイアルマーズ、プロトコーポレーション、萩原工業、タカオ・アソシエイツ、扶桑社、TBC、つうけんアドバンスシステムズ、iXIT、コグニビジョン、菱洋エレクトロ、ポニーキャニオン、カスミ、ディーエムエス、要堂、マネーフォワード、フェデラルエクスプレス、資生堂、サン・エム・システム、沖縄富士通システムエンジニアリング、インテージテクノスフィア、東京エレクトロン、ネクサート、東邦システムサイエンス、ディーファイブコンサルティング、SK2、NEC ソリューションイノベータ、BFT、野村総合研究所、筑波総研、第一生命情報システム、全日本空輸、福岡国際空港、東海浜学園、スターツ出版、くまざわ書店、学芸社、香川県農業共済組合 など
看護学類	筑波大学附属病院、東京大学医学部附属病院、東京医科歯科大学医学部附属病院、九州大学病院、東北大学病院、千葉大学医学部附属病院、新潟大学歯学総合病院、自治医科大学附属病院、昭和大学病院、順天堂大学医学部附属順天堂医院、聖路加国際病院、自治医科大学附属さいたま医療センター、虎の門病院、茨城県立こども病院、筑波メディカルセンター病院、キャノン電子、みさと健和病院、東京都立松沢病院、済生会横浜市東部病院、長岡療育園、新百合ヶ丘総合病院、総合東京病院、国立成育医療研究センター、国立国際医療研究センター病院 など
体育専門学群	川崎フロンターレ、コンサドーレ札幌、琉球ブルーオーシャンズ、ヴィッセル神戸、アルビレックス新潟、アルビレックス新潟シンガポール、沖縄バスケットボール、DeNA 川崎ブレイブサンダース、ZERO 体操クラブ、三井住友銀行、七十七銀行、琉球銀行、みずほフィナンシャル、リそなホールディングス、日本政策金融公庫、豊橋信用金庫、第一生命、東京海上日動火災、三井ダイレクト損害、野村證券、三菱商事、センコー商事、関興商事、クボタ、レイス、九州電力、住友林業、東レ、JTB、ネオキャリア、パナソニック電材システム、清水建設、パーソルキャリア、東芝、P&G、サントリー、ラネット、西日本プラント工業、常石鉄工、新電元工業、長谷工コーポレーション、シンクロ・フード、日立製作所、伊藤園、アマナ、日本電気、大成建設、FUNDBOOK、東海興業、ふくおかフィナンシャル、阪和興業、出光興産、東北電力、中国電力、クイック、相好、レバレージュ、ユメオミライ、双日、ワンスター、アベックス、ライオンパワード、サイサン、豊田合成、ザナックス、リクルートライフスタイル、オムロン リレーアンドデバイス、シナジー・エンタテインメント、バン、GMO ベイメントゲートウェイ、セブテーニ、スクールパートナー、東洋水産、ジェーピーディーエイチ、ハマプロト、モビリティランド、ダイハツ工業、ジェイック、日本通信サービス、JXTG エネルギー、JR 東日本、富士観光開発、ティエガイア、ケアリッツ・アンド・パートナーズ、富士通特機システム、オービック、戸上電機製作所、コネクシオ、日本郵船、アドヴィックス、ハローライフ、JR 東日本リテールネット、全日本空輸、光文社、イナバインターナショナル、大同特殊鋼、日本エースサポート、マクニカ・富士エス、日立化成、センコー、コニカミノルタジャパン、エスプール、横河マニファクチャリング、アイシン・エイ・ダブリュ、USEI、ソニービズネットワークス、サンヨーホーム、アドキャスト、パーク二四、ラーニングエージェンシー、ネスレ日本、コーセー、ルートインジャパン、ダダビ、東京パイプ、日本通運、メンバーズ、マイクロアド、ベネッセ、ベースボールマガジン社、九州朝日放送、フジテレビジョン、スカパー JSAT、大阪南農業協同組合、日本モーターサイクルスポーツ協会、鹿児島県体育協会、栃木県体育協会 など
芸術専門学群	トヨタ自動車、セガ・インタラクティブ、任天堂、あたらす二十一、PIVOT、トッパングラフィックス、TANK、Helixes、リコー ジャパン、高橋カーテンウォール工業、丸井グループ、英進、セブテーニ、僕らのゆめ、blue、スクウェア・エニックス、伊藤軒、宏和デザイン、デックス、ゲームフリーク、バンク・オブ・イノベーション、アイリスオーヤマ、スリーライト、デイトナ・インターナショナル、ディー・エイト、東映アニメーション、俄、高津戸電子、たぎ工房、スミセイ情報システム、ケイ・ウノ、スタッフサービス、日展、日本ラベル、生活の友社、文壇堂印刷、川崎印刷、伊坂美術印刷、錦明印刷、ライトオン、鹿児島県農業協同組合連合会、社会保険診療報酬支払基金、日本年金機構 など

大学院

筑波大学の大学院には修士課程、博士課程及び専門職学位課程があります。また、社会人再教育のための夜間大学院・昼夜開講制の実施、短期在学コース・長期履修学生制度・博士後期課程「早期修了プログラム」など標準修業年限の弾力化、筑波研究学園都市等の研究機関の施設・設備や人的資源を活用して大学院教育を行う連携大学院方式の実施など教育方法・形態の多様化を図っています。2020年4月より大学院を改組し、3学術院6研究群に再編しました。6つの研究群には合計56の学位プログラムを編成し、各研究群の専任教員を中心とした幅広い学問分野の教員が協働して学位プログラムでの授業と研究指導を行っています。

◇修士課程及び博士前期課程

修士課程及び博士前期課程は、幅広く深い学識の涵養を図り、専門分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門的な職業を担うための卓越した能力を培うことを目的としています。

◇一貫制博士課程、博士後期課程及び3年制博士課程

一貫制博士課程、博士後期課程及び3年制博士課程は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行うに足る、又は高度の専門性が求められる社会の多様な方面で活躍し得る高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を養うことを目的としています。

◇専門職学位課程

専門職学位課程は、幅広い分野の学士課程の修了者や社会人を対象として、特定の高度で専門的な職業能力を有する人材の養成に特化して、国際的に通用する高度で専門的な知識・能力を涵養することを目的としています。

◆人文社会ビジネス科学学術院

ビジネス科学、人文学、社会科学に関する多面的かつ高度な教育研究を通じて、人間の価値や人と社会のあり方を時間軸、空間軸を交差させて総合的に探究することによって、新たな知を創造し具現化できる研究者、大学教員、高度専門職業人を養成します。

◎人文社会科学研究群

(<http://www.tsukuba.ac.jp/organization/graduate/>)

◎ビジネス科学研究群

(<http://www.tsukuba.ac.jp/organization/graduate/>)

◎法曹専攻（法科大学院）

(<http://www.lawschool.tsukuba.ac.jp/>)

◎国際経営プロフェッショナル専攻

(<http://www.mbaib.gsbs.tsukuba.ac.jp/jp/>)

◆理工情報生命学術院

総合科学技術を支える理学・工学・農学の基礎と応用、システム・情報・社会が融合・複合する学際新領域において、人間を取り巻く複雑で困難な問題を発見・解決できる独創的かつ行動的な研究者、大学教員、高度専門職業人を養成します。

◎数理物質科学研究群

(<http://www.pas.tsukuba.ac.jp/>)

◎システム情報工学研究群

(<http://www.sie.tsukuba.ac.jp/>)

◎生命地球科学研究群

(<https://www.life.tsukuba.ac.jp/life-graduate/>)

◎国際連携持続環境科学専攻

(<https://www.ses-tsukuba.jp/>)

◆人間総合科学学術院（人間総合科学研究群）

人間の心身及び諸活動に関する基礎から応用までの豊富かつ高度な教育研究を通して、固有の学問領域において高度でグローバルな視点に基づいた研究を計画実行でき、人間に関する幅広い知識をもち優れた学際的な学術研究や国際的かつ学際的な教育研究環境を背景に異分野の先端的な融合が図れる優れた学術研究を計画実行できる研究者と大学教員、及び複合的な視点から人間を捉え、柔軟かつ適切な援助・支援を研究・設計して社会的ニーズに対応できる高度専門職業人を養成します。

◎人間総合科学研究群

(<https://www.chs.tsukuba.ac.jp/>)

◎スポーツ国際開発学共同専攻

(<https://tkjids.taiiku.tsukuba.ac.jp/>)

◎大学体育スポーツ高度化共同専攻

(<http://www.tsukuba.ac.jp/organization/graduate/>)

◎国際連携食料健康科学専攻

(<http://www.gip.tsukuba.ac.jp/>)

グローバル教育院

グローバル教育院では、「卓越大学院プログラム」に採択された学位プログラムや、筑波大学が独自に開設する学術分野横断的な学位プログラムの運営を行っています。

文部科学省卓越大学院プログラム（平成 30 年度採択）

◆ヒューマニクス学位プログラム <https://www.phd-humanics.tsukuba.ac.jp/>

“ヒューマニクス”とは、生命の恒常性の原理、個としての「ヒト」の生理と病理を明らかにし、社会のなかで「人」として健康で快適な生活が実現できる新たな科学・技術を生み出す学問領域です。これを習得した「ヒューマニクス人材」を育成するため、本プログラムでは、生命医科学と理・工・情報学の両研究分野における「バイディシプリンの専門力」を養う、他に類を見ない充実した教育体制を提供します。同時に、研究課題の策定から成果の社会応用までの実践に必要な「目利き力」「突破力」「完結力」を養成します。

大学院研究群と対応する主な出身学群・学類

学術院	研究群	学位プログラム／専攻	サブプログラム	課程等	対応する主な出身学群・学類
人文社会・ビジネス科学学術院	人文社会科学研究群	人文学	哲学・思想	△□	人文学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類、社会学類、国際総合学類
			歴史・人類学		
			文学		
			言語学		
			現代文化学		
			英語教育学		
		国際公共政策		△□	人文学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類、社会学類、国際総合学類、生物資源学類
		国際日本研究		△□	
	ビジネス科学研究群	法学		△□	社会人対象のため、特に対応する出身学群・学類はありません。
		経営学		△□	
法曹専攻			▲		
国際経営プロフェッショナル専攻			▲		
理工情報生命学術院	数理物質科学研究群	数学		△□	数学類、物理学類、化学類、応用理工学類、工学システム学類
		物理学		△□※	
		化学		△□※	
		応用理工学	電子・物理工学	△□※	
			物性・分子工学		
			NIMS 関係物質・材料工学		
		国際マテリアルズイノベーション		△□	
	システム情報工学研究群	社会工学		△□※	社会学類、国際総合学類、数学類、物理学類、化学類、応用理工学類、工学システム学類、社会学類、情報科学類、情報メディア創成学類
		サービス工学		■※	
		リスク・レジリエンス工学		△□	
		情報理工		△□※	
		知能機能システム		△□※	
		構造エネルギー工学		△□※	
		エンパワメント情報学		○	
		ライフイノベーション（生物情報）		△□	

■修士課程 ○5年一貫課程 △博士前期課程 □博士後期課程 ▼後期の課程のみの博士課程

◎医学を履修する4年制課程 ※連携大学院方式を実施 ▲専門職学位課程

博士後期課程、後期の課程のみの博士課程には、大学院の2年の課程を経て進学します。

学術院	研究群	学位プログラム／専攻	サブプログラム	課程等	対応する主な出身学群・学類	
理工情報生命学術院	生命地球科学研究群	生物学		△□※	生物学類、生物資源学類、地球学類	
		生物資源科学		△※		
		農学	NARO 連係先端農業技術科学	□※		
						生命農学
		生命産業科学		□※		
		地球科学		△□※		
		環境科学		△※		
		環境学		□※		
		山岳科学		△※		
		ライフイノベーション（食料革新）		△□		
		ライフイノベーション（環境制御）		△□		
		ライフイノベーション（生体分子材料）		△□		
		国際連携持続環境科学専攻		△		
人間総合科学学術院	人間総合科学研究群	教育学	国際教育	△	教育学類、心理学類、障害科学類、医学類、看護学類、医療科学類、体育専門学類、芸術専門学類、情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類	
			次世代学校教育創成			
			教育基礎科学			
				□		
		心理学	心理基礎科学	△□※		
			心理臨床学			
		障害科学		△□		
		フロンティア医科学		■		
		公衆衛生学		■		
		ヒューマン・ケア科学		▼		
		パブリックヘルス		▼※		
		ニューロサイエンス		△□※		
		看護科学		△□		
		スポーツ医学		▼※		
		体育学		△		
		スポーツ・オリンピック学		△		
		体育科学		□		
		コーチング学		▼		
		芸術学		△□		
		デザイン学		△□※		
		世界遺産学		△□		
		ヒューマンバイオロジー		○		
		ライフイノベーション（病態機構）		△□		
		ライフイノベーション（創薬開発）		△□		
		スポーツ国際開発学共同専攻		■		
		大学体育スポーツ高度化共同専攻		▼		
		情報学		△□		
		カウンセリング		△		
		カウンセリング科学		□		
		リハビリテーション科学		△□		
		スポーツウエルネス学		△□		
		医学		◎※		医学類
		国際連携食料健康科学専攻		■		医療科学類、生物資源学類

■修士課程 ○5年一貫課程 △博士前期課程 □博士後期課程 ▼後期の課程のみの博士課程

◎医学を履修する4年制課程 ※連携大学院方式を実施 ▲専門職学位課程

博士後期課程、後期の課程のみの博士課程には、大学院の2年の課程を経て進学します。

連携大学院とつくばの研究所

筑波大学は平成4年度に日本で初めて連携大学院を設置しました。

連携大学院では、多くの研究所が設置されている筑波研究学園都市や1都4県に所在する国立、独立行政法人（国立研究開発法人を含む）、民間の研究所の研究者を、筑波大学の教授・准教授として迎えています。それにより、学生は最新の設備と機能を有する研究機関において広い領域で最先端レベルの研究指導を受けることができます。

大学の1年生から4年生までの間にはあまり接すること

のなかった、研究所に勤務する研究者の研究生活に触れることができるとともに、より多くの研究分野に興味を広げていくことができます。

また、平成16年度からは研究機関の研究者で専攻を組織する、新たな連携大学院方式（連係大学院専攻）もスタートしています。

筑波大学の連携大学院は、現在では教授136名、准教授68名という規模になりました。また、教育研究協力に関する協定を28研究機関と締結しています。

連携大学院方式に関係する研究機関

(国) 気象研究所
(国) 国土技術政策総合研究所
○ 物質・材料研究機構
○ 防災科学技術研究所
○ 国立環境研究所
○ 農業・食品産業技術総合研究機構
○ 森林総合研究所
○ 産業技術総合研究所
○ 国際農林水産業研究センター

○ 土木研究所
○ 建築研究所
○ 理化学研究所
○ 宇宙航空研究開発機構
(独) 国立科学博物館
アステラス製薬(株)
つくば研究センター
つくばバイオ研究センター
エーザイ(株) 筑波研究所



(注) (厚)は厚生労働省、(国)は国土交通省、(独)は独立行政法人（そのうち、○は国立研究開発法人）、(公財)は公益財団法人。

進路状況（大学院）

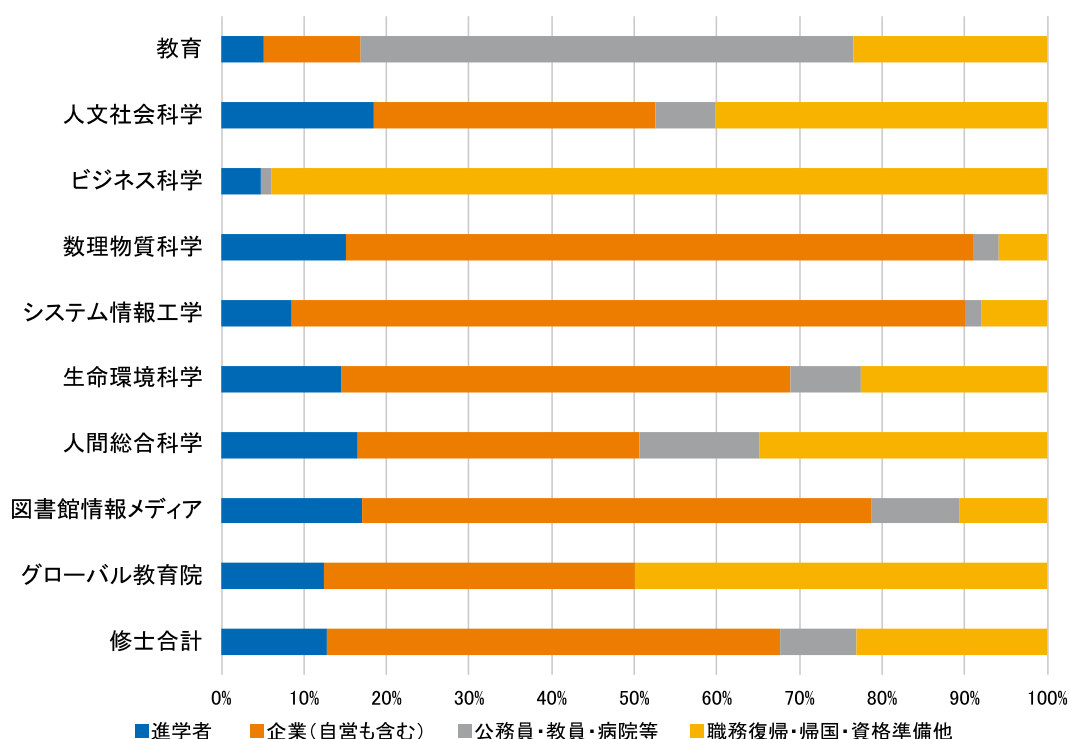
修士課程・博士前期課程卒業者数（令和元年度）

研究科	教育	人文社会科学	ビジネス科学	数理物質科学	システム情報工学	生命環境科学	人間総合科学	図書館情報メディア	グローバル教育院	合計
修了者	77	97	84	259	505	302	440	47	8	1,819

産業別進路内訳（修士課程・博士前期課程全体）

修了者		進学者		就職者	就職者の内訳					学振・外部資金 研究員等	研究生等	資格・試験等 準備他	帰国	職務 復帰	その他
		うち本学 大学院			企業	教員	大学 教員	公務員	独法等						
修士 合計	1,819	234	211	1,164	997	88	12	38	29	4	5	54	119	204	35

産業別進路内訳（研究科別）



令和元年度就職先例

主な就職先企業等名を掲載しています。「株式会社」などの表記をはじめ、企業名を適宜省略しています。

修士課程・博士前期課程

研究科	専攻	就職先例
教育	教科教育、スクールリーダーシップ開発、教育学	【企業等】丸善石油化学、メディアビーコン、NTT ドコモ、三井住友海上火災、アデコ、四谷大塚、マザーハウス、【教員】東京都国立高、茨城県公立小・中・高、千葉県公立小・中・高、埼玉県公立高、群馬県公立高、栃木県公立高、神奈川県公立高、長野県公立小、奈良県公立小、京都府公立高、宮城県公立高、島根県公立中、茨城県私立小・高、北海道私立高、宮城県私立高、埼玉県私立高、神奈川県私立高、静岡県私立高、東京都私立高、京都府私立高、兵庫県私立高、筑波大【公務員等】茨城県教育庁、戸田市役所、つくば市役所 など
人文社会科学	国際地域研究	【企業等】三菱ロジスネクスト、PwCコンサルティング、イーテクノロジー、ピーシーネット、オオシマフォーラム、ナガセ、ボークス、兼松、中外油化学工業、National Bank of Ethiopia、【公務員等】東京都庁 など
ビジネス科学	企業法学	【公務員等】経済産業省 など
数理工学	数学	【企業等】インタープリズム、ディーピーティー、アクセンチュア、教育ソフトウェア、ベース、SCSK、富士ソフト、オービック、システムズ、インターネットイニシアティブ、TKC、日本コーンスターチ、信金中央金庫、伊藤忠テクノソリューションズ、日本ケイデンス・デザイン・システムズ、昭和システムエンジニアリング、【教員】茨城県公立高、埼玉県公立高、東京都私立高 など
	物理学	【企業等】日本電気、ソニー、ヤフー、三菱スペース・ソフトウェア、リコー、ソニー・L S I・デザイン、メガチップス、キャノン、三菱電機、テプコシステムズ、パーソル R&D、マイクロンメモリジャパン、ベネッセ、シナプスイノベーション、ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ、オービック、SOLIZE Engineering、東京コンピュータサービス、パナソニック、東京エレクトロン、マイネット、シマノ、東芝メモリ、東芝エネルギーシステムズ、キオクシア、東洋ビジネスエンジニアリング、非破壊検査、キオクシアホールディングス、NTTデータ、東京海上日動システムズ、三菱重工業、京セラ、サマル、日本電気特許技術情報センター、半導体エネルギー研究所 など
	化学	【企業等】中部電力、日本化薬、新日鐵住金、クラレ、住友精化、セイコー・イージーアンドジー、ニューフレアテクノロジー、ニチアス、出光興産、コルコート、東京化成工業、タカラスタンダード、セメダイン、日本曹達、アイカ工業、コンシスト、クレハ、ティラド、J R 東日本、エーザイ、荒川化学工業、興和、日本分光、NTT ドコモ、セイコーエプソン、ジョイフル、日産自動車、寺岡製作所、三菱ガス化学、タンガロイ、クミアイ化学工業、太平洋セメント、澁工社、トクヤマ、日本車輛製造、【公務員等】経済産業省、つくば市役所、日本原子力研究開発機構 など
	電子・物理工学	【企業等】富士ゼロックス、ソニー、ヤマハ、日本電気、ミツトヨ、TDK、日本電子、伊藤園、東芝、川崎重工業、アクセンチュア、新日本無線、NTTデータ、eF-4、ソニー・L S I・デザイン、三菱電機、ベース、東京精密、インフィニオンテクノロジーズ、J X T G エネルギー、J R 東日本、セプターニ・、富士ゼロックスマニュファクチャリング、ディスコ、サンケイエンジニアリング、富士フイルムエンジニアリング、三菱日立パワーシステムズ、テクノプロ テクノプロ・エンジニアリング、関西電力、デンソー、住友生命、三菱ケミカル、浜松ホトニクス、東芝メモリ、ナプテスコ、日立ハイテクノロジーズ、フジクラ、村田製作所、NTT ドコモ、日立建機、日立製作所、マイクロンメモリ、クラレ、小松製作所、【教員】茨城県公立高、【公務員等】産業技術総合研究所 など
	物性・分子工学	【企業等】三菱マテリアル、ソニー、東洋インキ SC、NTTデータ、信越化学工業、日立ハイテクノロジーズ、富士ゼロックス、日本航空、ソフトバンク、みずほ情報総研、キャノン、富士ゼロックスシステムサービス、東ソー、クレハ、興和、ボッシュ、川澄化学工業、栗田工業、ソシオネクスト、J F E スチール、キャノン電子、ルネサスエレクトロニクス、日産化学、日産自動車、インテリム、田中貴金属、東京エレクトロン、浜松ホトニクス、東芝メモリ、共立合金製作所、フューチャーアーキテクト、楽天カード、川研ファインケミカル、ローム、テクノプロ テクノプロ・デザイン、三井 E&S マシナリー、J S R、JX 金属、高周波熱錬、帝人、日立パワーソリューションズ、電力中央研究所 など

研究科	専攻	就職先例
システム情報工学	リスク工学	【企業等】 日本電気、本田技研工業、LINE、日野自動車、中部電力、ラック、創夢、東京海上日動火災、東京ガス、いすゞ中央研究所、三菱電機、Supership、JXTG エネルギー、アイエスエイブラン、コーエーテクモ、パロックジャパンリミテッド、エフ、関西電力、日本空港コンサルタント、富士通、日本工営、野村総合研究所、太洋エンジニアリング、NSD、楽天、フューチャーアーキテクト、日本 IBM など
	コンピュータサイエンス	【企業等】 ヤフー、ルネサスエレクトロニクス、日立製作所、野村総合研究所、NTT ドコモ、NTT データ、NTT 東日本、LINE、ソフトバンク、KDDI、フューチャーアーキテクト、TIS、アクセル、サイボウズ、クックパッド、ソニー・LSI・デザイン、日産自動車、楽天、キーウオーカー、日本ヒューレット・パッカード、ARISEanalytics、フリークアウト・ホールディングス、Acroquest Technology、日本アイ・ピー・エム、日本電気、日本ケイデンス・デザイン・システムズ、ぴあ、サイバーエージェント、チームラボ、ナビタイムジャパン、サイバーディフェンス研究所、キャノン、ソニー、JAL インフォテック、アマゾンウェブサービスジャパン、Treasure Data Inc. ニッセイ情報テクノロジー、三菱電機、セルブスジャパン、日立オートモティブシステムズ、ZOZO テクノロジーズ、アイ・エス・ピー、PwC コンサルティング、トヨタ自動車、東和システム、日本 IBM、エリクソン・ジャパン、コナミデジタルエンタテインメント、いい生活、スクウェア・エニックス、日立情報通信エンジニアリング、ドワンゴ、JR 東日本、三協フロンテア、ハル研究所、モバイルファクトリー、ジャストシステム、ウォンテッドリー、ディー・エヌ・エー、KCCS マネジメントコンサルティング、アイヴィス、フィックスターズ、富士通、Gunosy、コロブラ、矢崎総業、T & D 情報システム、ヤンマー、リコー、DJI JAPAN、GMO インターネット、GA technologies、パナソニック、スミセイ情報システム、ソニー・インタラクティブエンタテインメント、任天堂、富士フイルムソフトウェア、日立システムズエンジニアリングサービス、リクルート、日立産業制御ソリューションズ、マネックス証券、楽天モバイル、【教員】 つくば国際大、Centro Universitario do Para など
	知能機能システム	【企業等】 本田技研工業、トヨタ自動車、川崎重工業、マツダ、キャノン、京セラ、三菱電機、カプコン、楽天、クボタ、富士通、LINE、コナミデジタルエンタテインメント、リンクス、ウルシステムズ、オリンパス、日本電気、日本 IBM、小松製作所、オール・アシスト、ソニックウェア、ALBERT、KDDI、SCSK、ソフトバンク、電通国際情報サービス、NTT コミュニケーションズ、シャフト、ソニー、LITALICO、ワールドインテック、エリクソン・ジャパン、ジック、パーソルプロセス&テクノロジー、テルモ、キーエンス、日本ガイシ、東芝デジタルソリューションズ、SCSK、富士ソフト、鹿島建設、ファーウェイスリーコムジャパン、ヤマハ、セコム IS 研究所、グリー、フィックスターズ、トヨタコネクティッド、日本製鉄、Cygames、コーエーテクモグループ、テクノプロ・エンジニアリング、セイコーエプソン、NTT コムウェア、NTT ドコモ、NTT 研究所、NTT 東日本、NTT コミュニケーションズグループ、SUBARU、ローランド、古河機械金属、スズキ、デンソー IT ソリューションズ、野村総合研究所、日立マネジメントパートナー、パナソニック、カルビー、カシオ計算機、サイボウズ、KLab、マイクロンメモリ ジャパン、工学院大、【公務員等】 Singapore University of Technology and Design など
	構造エネルギー工学	【企業等】 本田技研工業、日産自動車、トヨタ自動車、いすゞ自動車、川崎重工業、清水建設、富士電機、三菱電機、三井住友建設、日揮、東京電力、ブリヂストン I P T、日立製作所、積水化学工業、東洋エンジニアリング、富士ゼロックス、三井海洋開発、西松建設、小松製作所、コスモ石油、ソニーホームエンタテインメント & サウンドプロダクツ、クオリサイトテクノロジー、富士通エフサス、KDDI、大日本印刷、ソフトバンク、建設技研インターナショナル、キャノン、AGC、ANA ベースメンテナンステクニクス、ティ・エス テック、ウィルゲート、ライズ・コンサルティング・グループ、東レエンジニアリング、ダイキン工業、JXTG エネルギー、ヤマハ、宇宙技術開発、日本製鉄、JFE スチール、ビッツ、ドコモ・システムズ、日本海コンサルタンツ、JFE エンジニアリング、小田急電鉄、アビスト、SUBARU、大林組、スズキ、デンソー、マブチモーター、日本工営、日本アルコン、TMC システム、パナソニック、TIS、IHI 回転機械、スカイマーク、アイベックスエアラインズ、日産化学工業、日立ハイテクノロジー、SOLIZE、日立製作所、日本発条、東レ、伊藤忠テクノソリューションズ、デロイトトーマツコンサルティング、キオクシア、東京地下鉄、首都高速道路、【公務員等】 高エネルギー加速器研究機構 など

研究科	専攻	就職先例
システム情報工学	社会工学	【企業等】トヨタ自動車、日産自動車、大成建設、JR 東日本、KDDI、LINE、NEC ソリューションイノベータ、NTT コムウェア、NTT データ、NTT データ・アイ、NTT ドコモ、NTT 西日本、NTT 都市開発、NTT 東日本、PwC コンサルティング、あいおいニッセイ同和損害、アクサ生命、アクセンチュア、インテージ、カカココム、コスモ石油、サイバーエージェント、サントリー、スリーアローズ情報システム、ソフトバンク、ダイキン工業、タカラレーベン、ディーファイブコンサルティング、テクノプロ・デザイン、ドイチェ・アセット・マネジメント、ドコモ・サポート、ニトリホールディングス、フォルシア、ポリテック・エイディディ、マイクロンメモリジャパン、ヤマハ、リそな、リビタ、ロイヤリティ マーケティング、伊藤忠アーバンコミュニティ、伊藤忠商事、華高莱斯、楽天、交通拠点整備研究所、構造計画研究所、行知学園、三菱ケミカルシステム、三菱総合研究所、資生堂、鹿島建設、社会システム、小松製作所、小田急電鉄、上海赫樂建築設計、新都市計画建築デザイン、新日鉄住金ソリューションズ、森ビル、川崎重工業、前田建設工業、大和総研、電通、東レ、東京ガス、東日本高速道路、日建設計、日鉄日立システムエンジニアリング、日本 IBM、日本 IBM 東京基礎研究所、日本コンサルタンツ、日本タタ・コンサルタンシー・サービスズ、日本ユニシス、日本工営、日立システムズ、日立ビルシステム、日立製作所、博報堂 DY メディアパートナーズ、富士ゼロックス、芙蓉総合リース、北洲、DTS、GA technologies、JFE システムズ、【公務員等】国土交通省、愛媛県庁、茂木町役場、都市再生機構 など
生命環境科学	生物科学	【企業等】イーソル、森永乳業、ミルボン、小野薬品工業、インフォコム、みずほ情報総研、日本 IBM、DXC テクノロジー、アイテック阪急阪神、WOWOW、コカ・コーラボトラーズ、法人河合塾、アムズプロジェクト、DNP デジタルソリューションズ、三生医薬、ヤマサ醤油、NHK、【教員】千葉県公立高、東京都私立高、【公務員等】警視庁 など
	生物資源科学	【企業等】マルハニチロ、ヤクルト、森永製菓、カルビー、アサヒグループ食品、いなば食品、ハウス食品、相模屋食料、アサヒ飲料、サントリー、スパイスボックス、日清製粉、サッポロビール、高砂香料工業、カネリョウ海藻、ツムラ、ポーラ化成工業、味の素冷凍食品、コーセー、資生堂、京セラコミュニケーションシステム、昭和産業、前川製作所、ジーユー、太陽日酸、大日本印刷、リンク・インタラック、フジミインコーポレーテッド、スターゼン、マイクロンメモリ、オリエンタル技研工業、セブテーニ、トヨタ自動車、ニチレイバイオサイエンス、日本ハムファクトリー、日油、マイクロン ジャパン、キーエンス、加藤レディー スクリニク、ワールドドインテック R & D 事業部、三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング、ラクス、住友商事、日本たばこ産業、NTT データ NJK、サンディスク、栗田工業、NTC コンサルタンツ、雪印種苗、セイコーエプソン、エヌ・ティ・ティ・データ・ビジネスブレインズ、ネットワーク、無錫パイオロジクス、シミックホールディングス、サンプラネット、豊田通商、ランクアップ、サクラパックス、フタムラ化学、日本システム技術、J-オイルミルズ、GA technologies、ADEKA、デロイトトーマツコンサルティング、伊藤忠商事、ハニューフーズ、水 i n g、NTT ドコモ、住友ゴム工業、レック・テクノロジー・コンサルティング、野村総合研究所、日本森林技術協会、日本植物防疫協会、【教員】埼玉県国立高、神奈川県公立中、【公務員等】千葉県庁、秋田大、産業技術総合研究所、農業・食品産業技術総合研究機構 など
	地球科学	【企業等】東日本高速道路、三井金属鉱業、NTT ファシリティーズ、ダイヤコンサルタント、ゾフ、INEXT、SCSK、朝日航洋、昭和シェルビジネス & IT ソリューションズ、桂不動産、国際航業、三菱電機、コイト電工、日立オートモティブシステムズ、日本ビジネスシステムズ、理研計器、JR 東日本、ソリッドコミュニケーション、アイテック阪急阪神、ビーネックスソリューションズ、伊藤忠エネクス、ウェザーニューズ、日本工営、富士電機、NTT データエンジニアリングシステムズ、メイテック、フランクリン・ジャパン、日本無線、伊藤忠テクノソリューションズ、アウトソーシングテクノロジー、東京ソイルリサーチ、伊藤忠商事、丸善石油化学、二宮書店、富士通エンジニアリングテクノロジー、イカリ消毒、東京電力、NHK、地域科学研究所、鉄道総合技術研究所、【公務員等】気象庁、東京都庁、産業技術総合研究所、福祉医療機構、石油天然ガス・金属鉱物資源機構、水産研究・教育機構、新エネルギー・産業技術総合開発機構 など
	環境科学、山岳科学	【企業等】日立ハイテクノロジーズ、日立プラントサービス、JX 金属、日之出産業、ソフトバンク、デリカフーズ、月島機械、DorschGroup、オルガノ、かんてい局、いであ、大塚製薬、総合環境計画、ゼンリン、ユーロフィン・エヌエスシー・ジャパン、碧水源、PWCcompany、水 i n g、東芝ナノアナリシス、日本能率協会コンサルティング、日本下水道事業団、【教員】東京都私立高、モンベル、やまぼうし自然、NHK、【公務員等】国土交通省、千葉県庁、森林研究・整備機構、ラオス環境天然資源省、キルギス農業省 など

研究科	専攻	就職先例
人間総合科学	芸術、世界遺産	【企業等】三菱自動車工業、竹中工務店、ケイ・ウノ、サンマリノ、オリンパス、あまた、ローランドディージー、コクヨ、ユニグラフィック青葉画荘、横河ソシュエーションサービス、インテリアパレスしらい、東急コミュニティー、東急設計コンサルタンツ、フジタ、マウンテンスタジオ、芸術による教育の会、字工房、DE-SIGN グループ、SHINGAKI、ヤマトグローバルロジスティクス、上毛新聞社、日本入試センター、筑波山神社、【教員】東京都国立高、群馬県公立小、茨城県公立高、埼玉県公立高、東京都立高、茨城県私立高、神奈川県私立高、沖縄県私立高、【公務員等】外務省 など
	教育学、心理、障害科学、生涯発達	【企業等】ソニー、ピースマインド、アドバンテッジ リスク マネジメント、LITALICO、大黒天物産、ビジネスパートナー、デロイトトーマツコンサルティング、パナソニックグループ、ディー・ブソリューション、Grow-S、Abeam、どろんこ会、筑西市社会福祉協議会、国際医療福祉大附属病院、山崎学園東日本デザイン＆コンピュータ専門学校、国際学園、【教員】茨城県公立小、茨城県公立特別支援、神奈川県公立特別支援、栃木県立特別支援、埼玉県公立特別支援、和歌山県公立中、東京都私立特別支援、【公務員等】法務省矯正局、青森県庁、茨城県庁、東京都庁、大阪府庁、大田区役所、埼玉県立児童相談所 など
	感性認知脳科学、看護科学	【企業等】富士通デザイン、ネクスタム、プロキッズ、アイヴィス、筑波大学附属病院、東邦大学医療センター大森病院、松戸市立総合医療センター、虎の門病院、新東京病院、【公務員等】浜松市役所 など
	体育学、スポーツ国際開発学、国際連携食料健康科学	【企業等】東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、日本サッカー協会、日本トライアスロン連盟、岐阜県体育協会、秋田県体育協会、東京都障害者スポーツ協会、山形県スポーツ振興 21 世紀協会、北陸体力科学研究所、水戸ホーリーホック、徳島ヴォルティス、トウキョーヴェルディ 1969、イー・フレーム、ヴォレアス北海道、ヤクルト球団、美津濃、セントラルスポーツ、KADOKAWA、三井不動産、カバヤ食品、ソフトバンク、ハートコーポレーション、第一生命、内田洋行、Sports Authority of India ministry of youth affairs & sports、セレスポ、デサント、わかさ生活、ヤナセ、ジェフユナイテッド、DOLPHINSSWIMCLUB、第一印刷所、アーチ、湧永製菓、ライオン、三井住友海上火災、ユナイテッドグループ、JCR ファーマ、富士通、ワコール、ポート、QTnet、リクルートグループ、シミックホールディングス、野村総合研究所、日建総業、大和ライフネクスト、岡本ライディングクラブ、世田谷自然食品、DeNA 川崎プレブサンダース、森永乳業、鍼灸整骨院 IWAMOTO、アサヒグループ食品、パナソニック、JR 貨物、オリンピック放送機構、【教員】埼玉県公立小・高、愛知県公立小、茨城県公立中、佐賀県公立中、栃木県公立高、愛知県公立高、群馬県公立高、三重県公立高、茨城県公立特別支援、茨城県私立高、東京芸術大、法政大、国際武道大、北翔大、仙台大学、帝京平成大、日本女子体育大、鹿児島女子短期大、茨城県立医療大、【公務員等】海上自衛隊、小山市役所、横浜市役所、筑波大、香川大、日本スポーツ振興センター、Development Center for Biotechnology of Taiwan、台湾大医学院 など
	フロンティア医科学	【企業等】第一三共、キヤノンメディカルシステムズ、協和発酵キリン、アドソル日進、アクセンチュア、日医工、富士レボ、GEヘルスケア・ジャパン、デンカ生研、イーピーエス、リクルートライフスタイル、ミルボン、University Medical Center、志賀国際特許事務所、つくば i-Laboratory、協和企画、新日本科学 PPD、メットライフ生命、日本新薬、バイエル薬品、ソフトウェア・サービス、第一三共ヘルスケア、LANGSOC Inc、パストール研究所、ディーエイチシー、テクノプロ テクノプロ R & D 社、ベネッセスタイルケア、サティス製薬、ジョンソン・エンド・ジョンソン、【教員】日本医科大、【公務員等】理化学研究所、文部科学省、筑波大、筑波大附属病院 など
図書館情報メディア	図書館情報メディア	【企業等】富士ソフト、凸版印刷、ソニー、アクセンチュア、ヤマハコーポレートサービス、NTTデータ、電通国際情報サービス、デジタルプロセス、ソフトバンク、日本アイ・ビー・エム、ニトリ、SBテクノロジー、レオス・キャピタルワークス、クックパッド、富士フイルム ICT ソリューションズ、ローランド、DMM.com、オムニス、日本技術貿易、任天堂、日本トーター、LINE、日販テクシード、オイシックス・ラ・大地、日本 IBM、ペンギンシステム、【教員】貞静学園短期大、【公務員等】宮内庁、理化学研究所、日本原子力研究開発機構、東京海洋大 など

※「高」には中高一貫校や中等教育学校、「中」には義務教育学校を含みます。



OB・OG キャリアカフェ

在学生と本学卒業生（OB・OG）との交流イベントを開催しています。

大学の先輩から就職活動やキャリア、学生生活などのアドバイスについて本音で聞ける貴重な機会となっています。

インターンシップ実践講座

インターンシップに興味のある学生を対象に、インターンシップ先の探し方、インターンシップの事前選考の対策などを講じます。

他にも、イベント、ガイダンス等を企業・公務員・教員の志望別、またニーズ別に実施しています。



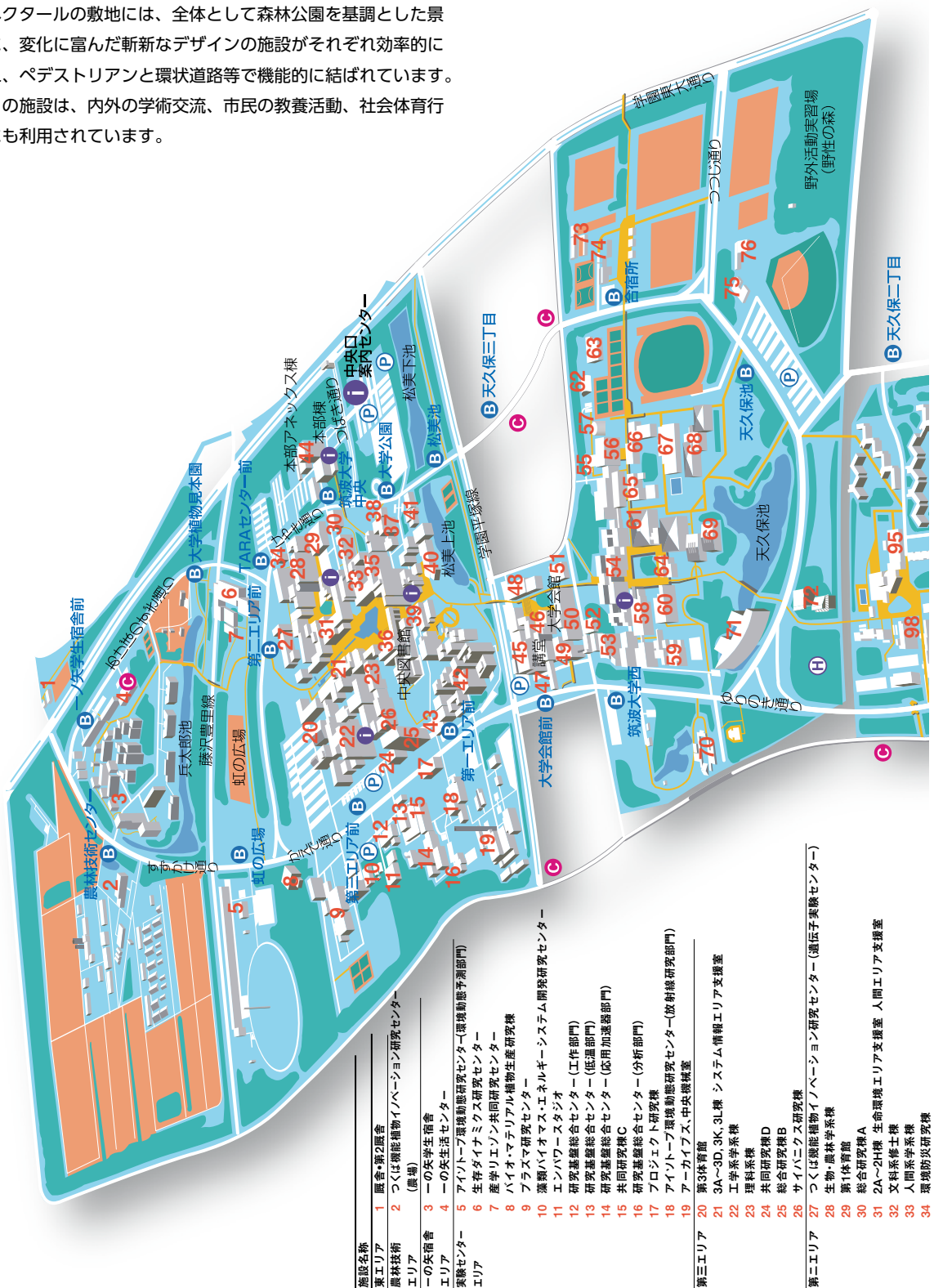
学内合同企業説明会

春休み中に一週間弱の日程で、筑波大学に企業を招き、説明会を開催しています。例年 500 前後の企業からの出展があります。





キャンパスマップ



258ヘクタールの敷地には、全体として森林公園を基調とした景観の中に、変化に富んだ斬新なデザインの施設がそれぞれ効率的に配置され、ペDESTリアンと環状道路等で機能的に結ばれています。


これらの施設は、内外の学術交流、市民の教養活動、社会体育行事などにも利用されています。







[illegible]

 建物
 

 緑地

ペDESTロミアン
 


運動施設、公園
 

① 案内センター
  路線バス停留所
  駐車場
  コンビニエンス・ストア
  ヘリポート

53	芸術・芸術 エリア	芸術系工芸系 54 5C棟 体育芸術エリア支援室 55 共同研究棟B 56 体育科学系棟 57 体育総合実験棟 58 6A、6B棟 59 芸術系系工房棟 60 体育・芸術図書館 61 中込体育館 62 T-Dome 63 スポーツ流体工学実験棟 64 体育実習室 65 クロスボーツ・ツイノベーション棟 66 体育センター、体育系サークル館 67 屋内アール 68 芸術館 69 球技体育館 70 開学記念館 71 総合研究棟D 72 SAKURA TERRASSE 73 弓道・アーチェリー場 74 体育会館所 75 体育ハウス 76 講が活動練習施設
----	--------------	--

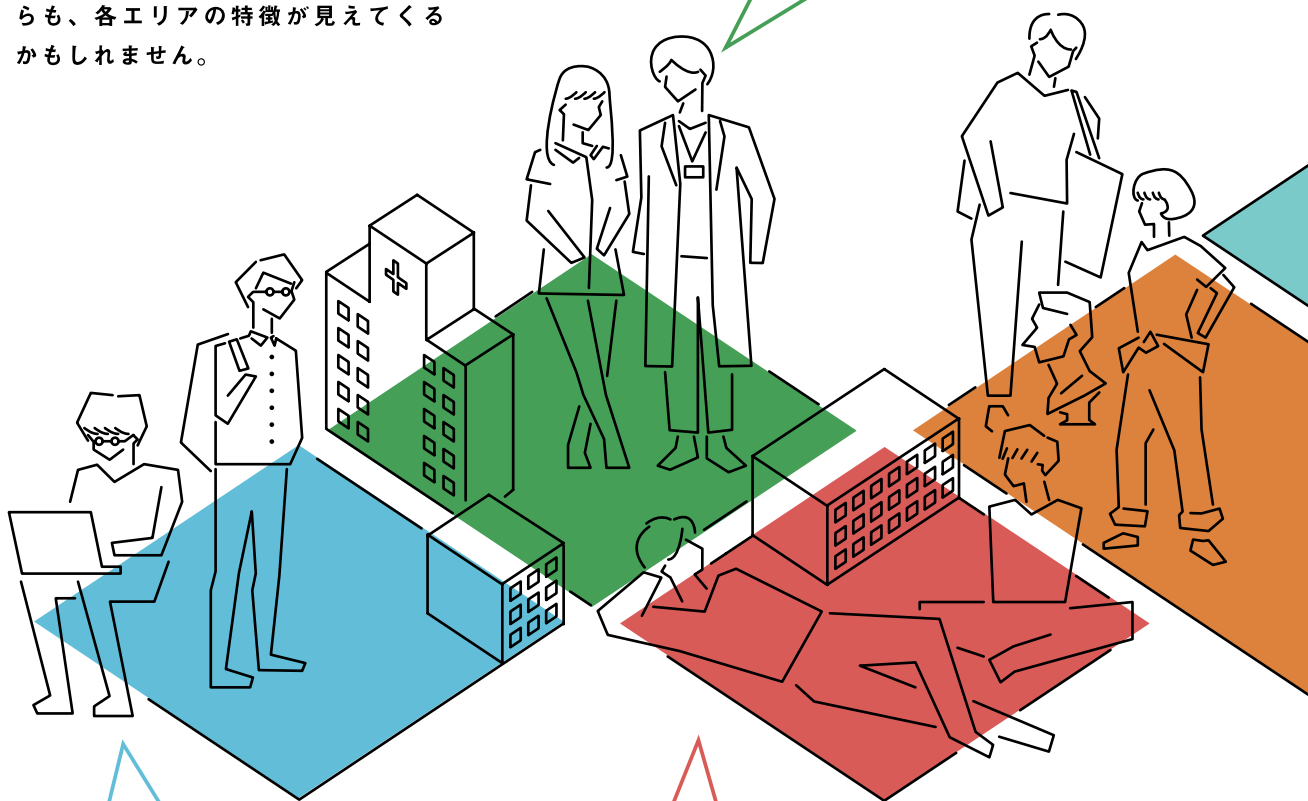
筑波大学 イメージマップ

日本でも有数の広大な敷地を持つ筑波大学。歩いていると「ここは本当に大学の中なのか？」という景色にもたくさん出くわします。そして誰しも必ず一度は迷子になる…

そんな時、困らないために、エリアごとの特色を覚えておきましょう。施設や景色だけでなく、歩いている学生たちからも、各エリアの特徴が見えてくるかもしれません。

医学エリア

医学群の学生の主な生活範囲。
筑波大学附属病院が併設されており、他学群の学生は、救急搬送される以外は立ち入る用事がほぼありません。



春日エリア

2002年までは図書館情報大学だったエリア。
大学中央から離れているため、ここを使わない学生からは「何やってるところ？」といった印象を持たれがち。主に情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類の授業で使われます。春日宿舎もここに。

平砂・追越宿舎エリア

1年生が多く生活する宿舎エリア。
未改修棟がたびたび話題になりますが、新入生は原則、キレイな改修棟に入ることができるので心配無用。2017年には留学生と日本人学生のシェアハウス型学生宿舎「グローバルヴィレッジ」もオープンしました。
毎年5月には「やどかり祭（宿舎祭）」が開催されます。

第三エリア

工学システム学類や応用理工学類、社会工学類や情報科学類など、いわゆる理系エリアで、男子の比率が高いことが特徴。ループ道路を挟んで西側には理工学系実験棟が立ち並び、理系の研究の骨幹を担っています。

一ノ矢宿舎エリア

つくばセンターから歩いて約1時間、筑波大学の最北端。未開の地、森などと揶揄されることもある学生宿舎エリアで、世帯用宿舎もあります。農業系の実験棟が多く、畑や牛舎など、のどかな景色が広がっています。



第二エリア

生物学類や比較文化学類、心理学類など、女子の割合が高い学類が集中しているエリア。男子が多い第三エリアとは対照的で、その境目を流れる水路は「天の川」と呼ばれます。

第一エリア

人文学類や社会学類、地球学類、数学類、物理学類や化学類など様々な学生がいるエリア。大学のほぼ中央に位置し、サークル棟やスチューデントプラザなど、どの学類の学生でも何かと用がある場所です。松美池前にあるブロンズ像“大気”は、イベントのたびにデコレーションされています。

体芸エリア

体育専門学群と芸術専門学群が活動するエリア。陸上競技場や中央体育館など、各種運動場はこのエリアに集中しています。体育の学生が使った後の教室は暖かい。芸術の学生が使う施設には、作品があちこちに置かれています。

共同利用施設

研究・教育活動に必要な大型、あるいは特殊な施設・設備の共同利用や、教職員、学生に対する各種の研究・教育上のサービスの提供などを目的として、共同利用施設を設置しています。

全国共同教育研究施設

計算科学研究センター

筑波大学計算科学研究センター（CCS）は、科学のさまざまな分野と計算機科学分野の協働・融合を軸とした「学際計算科学」を推進しています。スーパーコンピュータ及び超高速ネットワーク技術の開発を行うとともに、物理・生命・地球環境など諸領域における超高速シミュレーション及び大規模データ解析や情報技術の革新的な応用研究を行っています。文部科学省共同利用・共同研究拠点「先端学際計算科学共同研究拠点」の認定を受け、素粒子物理研究部門、宇宙物理研究部門、原子核物理研究部門、量子物性研究部門、生命科学研究部門、地球環境研究部門、高性能計算システム研究部門、計算情報学研究部門の8つの部門で研究を推進しています。



下田臨海実験センター

伊豆半島の先端下田の豊富な生物環境を利用して海洋生物学と関連する分野の基礎研究・応用研究を推進することにより、海洋生物の細胞機能、発生、多様性、行動、進化、生態、ならびに海洋環境、地球環境と生物の関わりを解明しています。



つくば機能植物イノベーション研究センター

食料・生物資源の安定的な確保に向けた植物バイオテクノロジーと遺伝資源保全利用を基調とした基盤的遺伝子研究から生産・流通を見据えた応用的研究並びに研究成果を活用したイノベーションの創出支援と教育への展開に寄与することを目的とする研究教育を行っています。



プラズマ研究センター

世界最大のタンデムミラー型装置を用い、プラズマ理工学を基盤として、高温プラズマの閉じ込め性能の向上やプラズマ加熱機器開発、計測器開発、プラズマと物質との相互作用に関する研究などを通して未来エネルギー核融合に貢献する学際的な研究・教育を行っています。



学内共同教育研究施設

生存ダイナミクス研究センター
グローバルコミュニケーション教育センター
体育センター
アドミッションセンター
地中海・北アフリカ研究センター
学術情報メディアセンター
研究基盤総合センター
アイソトープ環境動態研究センター
サイバニクス研究センター
人工知能科学センター
保健管理センター

部局附属教育研究施設

大学研究センター
宇宙史研究センター
エネルギー物質科学研究センター
山岳科学センター
ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター
生命科学動物資源センター
トランスボーダー医学研究センター
陽子線医学利用研究センター

大学会館

大学会館は、本学の職員及び学生の教養を深め、相互の親密なる交流の場として機能するとともに、内外の大学その他の研究機関及び地域社会等との交流に供すること等により、学問の進展及び地域文化の向上に寄与することを目的としています。主な施設として、講堂、筑波大学ギャラリー、会議室、レストラン、旅行代理店、郵便局、売店等があります。

◆筑波大学ギャラリー

筑波大学ギャラリーは、筑波大学の歴史的資料や芸術作品等を展示し、広く社会に向けた情報発信をするために整備された



展示施設です。このギャラリーには、朝永振一郎博士、白川英樹博士及び江崎玲於奈博士のノーベル賞受賞者記念の展示、オリンピックで活躍した選手をはじめとする体育・スポーツの展示、歴史と伝統のある附属学校の展示、石井昭氏から寄贈された美術品を展示しています。

◆筑波大学アートスペース

筑波大学アートスペースは、筑波大学で育まれた豊かな感性と知性、崇高な創造の発表の場として、また、国内外の優れた作品や茨城の郷土の作家たちの作品を紹介しています。



総合交流会館

総合交流会館は、平成15年の本学開学30周年（創基131年）を記念し、「人」と「情報」の交流拠点として国際交流、国内交流、地域交流、同窓交流、学内交流という5つの交流に資するために寄附事業により建設されました。大学会館とその周辺の既存施設や環境も取り込みながら、大学と社会とを結ぶ表玄関となる魅力的なゾーン形成がされています。主な施設として、多目的ホール、マルチメディアルーム、同窓交流室、ラウンジ等があります。



研修施設

ゼミや合宿などに利用できる研修施設が学内外にあります。

学内：開学記念館

学外：山中共同研修所（山梨県山中湖村）

館山研修所（千葉県館山市）



筑波大学データ

令和2年度都道府県別入学者数

都道府県	入学者数	男	女
北海道	42	25	17
青森県	12	4	8
岩手県	7	4	3
宮城県	22	14	8
秋田県	11	6	5
山形県	20	10	10
福島県	33	17	16
茨城県	319	161	158
栃木県	53	32	21
群馬県	49	34	15
埼玉県	175	118	57
千葉県	210	136	74
東京都	321	197	124
神奈川県	98	62	36
新潟県	51	29	22
富山県	28	19	9
石川県	24	10	14
福井県	10	3	7
山梨県	22	14	8
長野県	43	33	10
岐阜県	21	10	11
静岡県	66	38	28
愛知県	65	43	22
三重県	16	10	6
滋賀県	10	8	2
京都府	12	7	5
大阪府	47	32	15
兵庫県	47	30	17
奈良県	7	7	
和歌山県	3	1	2
鳥取県	7	2	5
島根県	3	3	
岡山県	16	11	5
広島県	28	18	10
山口県	12	7	5
徳島県	5	2	3
香川県	17	9	8
愛媛県	11	4	7
高知県	4	2	2
福岡県	60	38	22
佐賀県	8	5	3
長崎県	14	8	6
熊本県	17	9	8
大分県	12	9	3
宮崎県	17	9	8
鹿児島県	15	9	6
沖縄県	25	15	10
読売新聞指定国公立大学入学試験受試者	6	5	1
外国の学校等	31	19	12
文部科学大臣の指定した者	1		1
計	2,153	1,298	855

教員数 令和2年5月1日現在

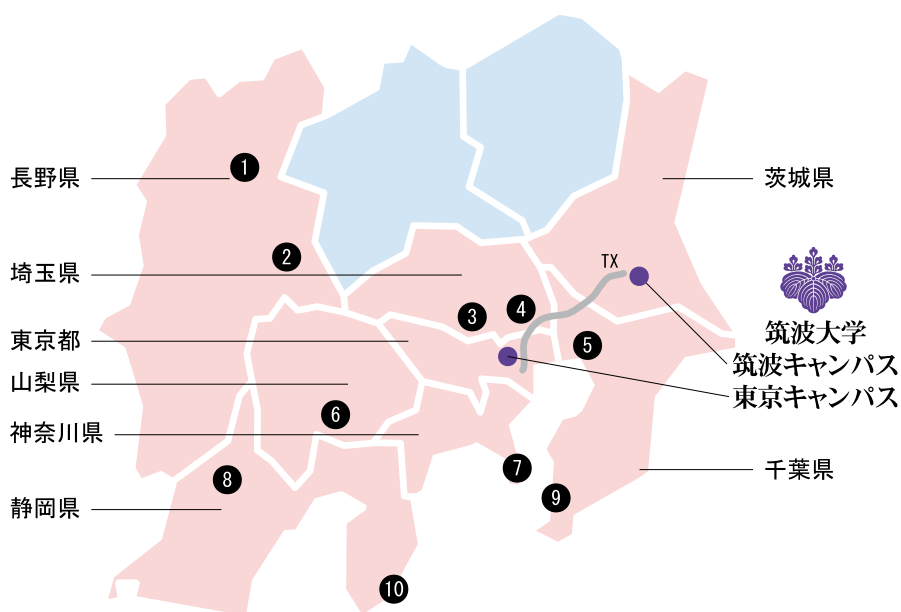
区分	現 員						
	学長・副学長 専任の部局長	教授	准教授	講師	助教	助手	合計
系・重点研究センターに属さない教員	14	27	14	1	18	0	74
人文社会系	1	73	79	4	46	0	203
ビジネスサイエンス系	1	26	18	0	3	0	48
数理物質系	1	65	70	20	63	0	219
システム情報系	1	70	76	6	53	0	206
生命環境系	1	73	75	9	77	0	235
人間系	1	40	29	4	28	0	102
体育系	1	37	43	2	43	0	126
芸術系	1	24	23	0	14	0	62
医学医療系	1	121	104	162	114	1	503
図書館情報メディア系	1	20	19	5	14	0	59
計算科学研究センター	0	17	9	3	14	0	43
生存ダイナミクス研究センター	0	6	0	4	11	0	21
合 計	24	599	559	220	498	1	1,901

学生数 令和2年5月1日現在

学類・専門学群	1年	2年	3年	4年	5年	6年
人文学類	122 (57)	127 (48)	127 (52)	169 (80)		
比較文化学類	83 (55)	82 (52)	86 (60)	111 (70)		
日本語・日本文化学類	44 (31)	42 (31)	42 (32)	54 (40)		
社会学類	83 (34)	89 (32)	100 (46)	116 (45)		
国際総合学類	83 (46)	87 (52)	93 (58)	120 (64)		
教育学類	37 (19)	36 (23)	38 (17)	46 (12)		
心理学類	53 (35)	53 (28)	52 (32)	66 (39)		
障害科学類	36 (24)	37 (29)	40 (25)	43 (32)		
生物学類	84 (39)	84 (40)	98 (49)	108 (46)		
生物資源学類	129 (74)	127 (66)	150 (81)	182 (83)		
地球学類	52 (17)	53 (16)	55 (17)	64 (20)		
数学類	40 (6)	41 (7)	41 (3)	50 (4)		
物理学類	61 (9)	61 (5)	62 (11)	81 (8)		
化学類	51 (12)	51 (18)	51 (18)	56 (13)		
応用理工学類	123 (11)	122 (16)	133 (16)	159 (15)		
工学システム学類	132 (9)	135 (15)	142 (16)	166 (12)		
社会工学類	124 (32)	122 (27)	126 (39)	157 (25)		
情報科学類	86 (7)	86 (4)	95 (3)	127 (15)		
情報メディア創成学類	54 (12)	54 (9)	66 (6)	82 (16)		
知識情報・図書館学類	105 (44)	103 (43)	113 (63)	131 (59)		
医学類	134 (44)	139 (50)	140 (47)	143 (53)	142 (55)	155 (53)
看護学類	74 (72)	72 (70)	84 (79)	88 (82)		
医療科学類	37 (26)	37 (26)	37 (27)	43 (25)		
体育専門学群	249 (76)	250 (73)	246 (68)	279 (72)		
芸術専門学群	104 (82)	105 (80)	108 (88)	136 (110)		
地球規模課題学位プログラム	9 (8)	5 (3)	6 (3)			
合 計	2,192 (881)	2,200 (863)	2,331 (956)	2,777 (1040)	142 (55)	155 (53)

※ () は女子数を表す。

キャンパス等所在地



東京キャンパス

附属学校教育局	A
大学研究センター	//
特別支援教育研究センター	//
社会人大学院（夜間）	//
理療科教員養成施設	//

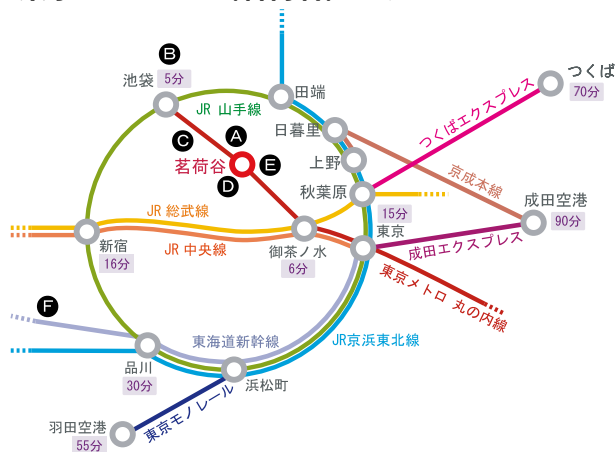
附属学校

附属小学校	A
附属中学校	D
附属駒場中学校	F
附属高等学校	D
附属駒場高等学校	F
附属坂戸高等学校	3
附属視覚特別支援学校	C
附属聴覚特別支援学校	5
附属大塚特別支援学校	E
附属桐が丘特別支援学校	B
附属久里浜特別支援学校	7

その他

山岳科学センター菅平高原実験所	1
山岳科学センターハケ岳演習林	2
山岳科学センター井川演習林	8
下田臨海実験センター	10
館山研修所	9
山中共同研修所	6
戸田艇庫・合宿所	4

東京キャンパス(茗荷谷)までのアクセス



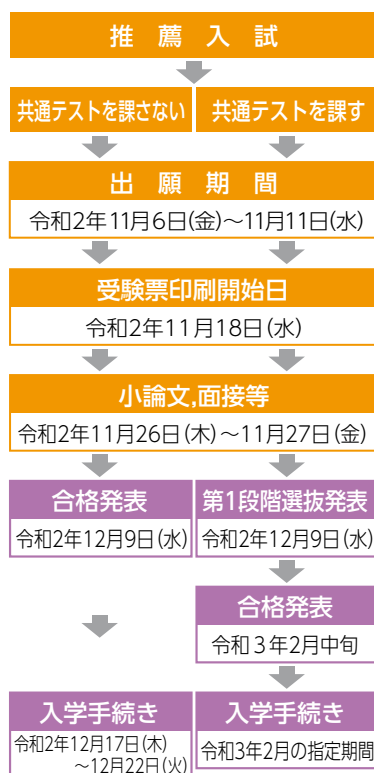
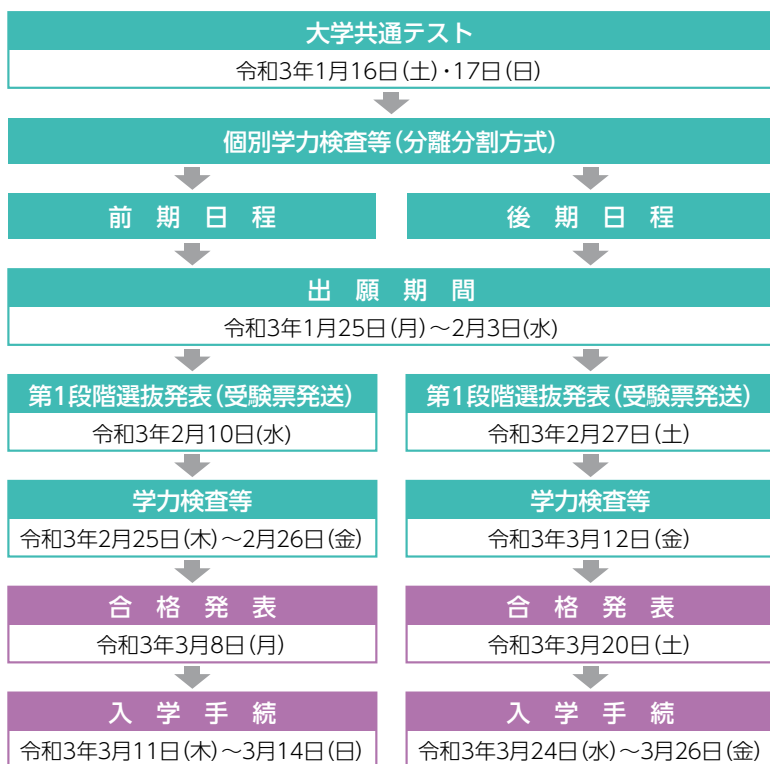
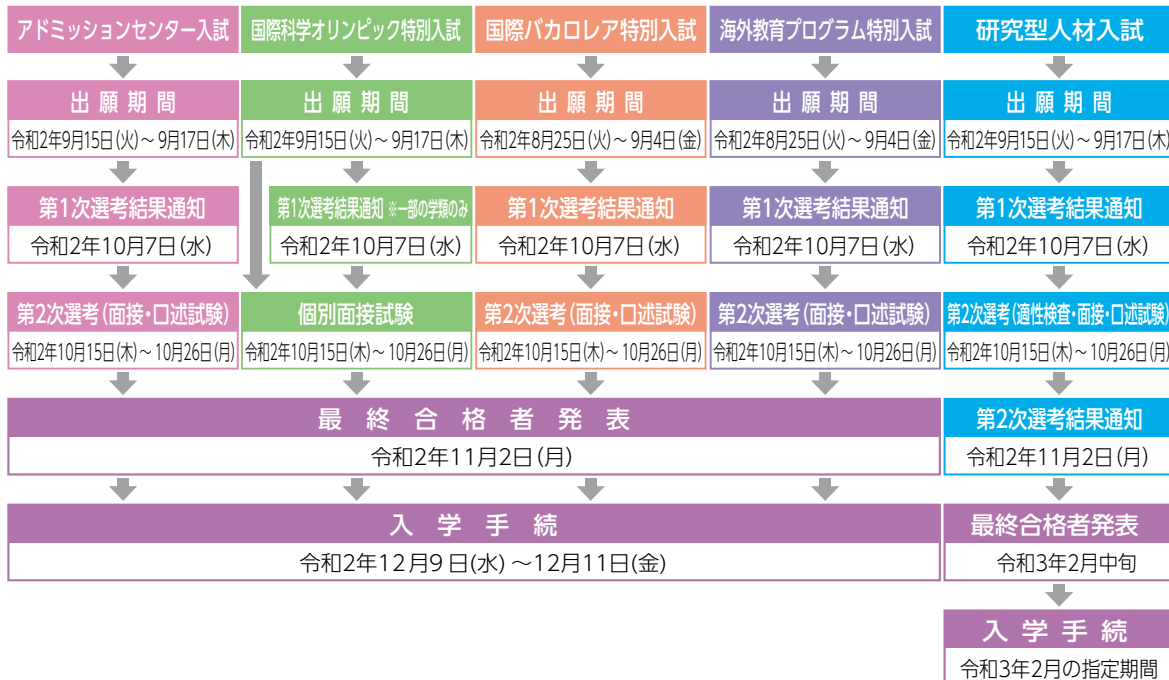
入試情報

アドミッション・ポリシー

筑波大学は、自立して世界的に活躍できる人材を育成するため、本学の教育を受けるのに必要な基礎学力を有し、探究心旺盛で積極性・主体性に富む人材を受け入れます。

入学者選抜日程の概要

日程については、変更になる場合がありますので、学生募集要項を必ずご確認ください。



入学準備教育に係る各教育組織の取組みについて（令和2年度入学者）

アドミッションセンター入試

●比較文化学類

入学手続きを完了した学生に、入学までの勉学の進め方や推薦図書などを紹介した冊子を送付している。

●日本語・日本文化学類

日本語・日本文化学類のWebサイトの「入学試験案内」のページ（<http://www.japanese.tsukuba.ac.jp/admission/>）に「推薦図書 一日本語・日本文化学類に入学するまでに読んでほしい本一」として、教員からの推薦図書を掲載している。

●生物学類

入学手続きを完了した学生に、入学後に必要な学力やスキルを記した課題ならびに指定教科書を知らせ、入学前の自主学習を指示している。

国際科学オリンピック特別入試

●生物学類

入学手続きを完了した学生に、入学後に必要な学力やスキルを記した課題ならびに指定教科書を知らせ、入学前の自主学習を指示している。

国際バカロレア特別入試

●比較文化学類

入学手続きを完了した学生に、入学までの勉学の進め方や推薦図書などを紹介した冊子を送付している。

推薦入試

●人文学類

人文1年生が「国語Ⅲ」で取り組んでいるブックレビュー集を所属高校に送付し、同じように人文系の本や論文に対するブックレビュー（A4一枚程度）を書いて送るよう依頼した。送られてきたブックレビューは、人文学類担当の国語教員とTAの協力によりコメントを付し返送した。

●比較文化学類

入学手続きを完了した学生に、入学までの勉学の進め方や推薦図書などを紹介した冊子を送付している。

●日本語・日本文化学類

日本語・日本文化学類のWebサイトの「入学試験案内」のページ（<http://www.japanese.tsukuba.ac.jp/admission/>）に「推薦図書 一日本語・日本文化学類に入学するまでに読んでほしい本一」として、教員からの推薦図書を掲載している。

●生物学類

入学手続きを完了した学生に、入学後に必要な学力やスキルを記した課題ならびに指定教科書を知らせ、入学前の自主学習を指示している。

●生物資源学類

特別な教材は用いず、合格者が自ら判断・選択したコンテンツで自習させている。合格直後より、入学前教育の希望者を対象に、学類が作成した基礎学力診断テストにより自分の学力を確認させ、各自の学習計画を立てさせている。1月にスクーリングを実施し再び基礎学力診断テストを行い、学習効果をチェックしている。また、チューター（学類上級生や大学院生）がそれぞれの合格者を担当し、個別に学習計画の作成や、学習進捗状況の確認をしながら入学まで指導している。特に、教科書レベルの基礎基本を重視した自主学習を促している。

●社会工学類

数学科目に関する入学前の準備の手引きを送付している。

●体育専門学群

入学予定者・保護者・学校長・クラス担任・部活顧問に文書を送付し次の内容を依頼している。

(1)英語の基礎を学習・復習しておくこと（保護者・学校に指導依頼）

(2)学群長推薦書（課題図書）の中から2冊を選択し、印象に残った部分の要旨および印象に残った理由を各2400字程度にまとめ、提出を求めた（保護者・学校に指導依頼）。

●芸術専門学群

高等学校長宛に文書を送付し、入学予定者に英語の基礎的学習を行っていただくよう依頼している。

■個別学力検査等

大学入学共通テストを課す、前期・後期日程試験を次のように実施します。

【前期日程】

学習内容の理解度と、それに基づく思考力・応用力を評価します。各募集区分が入学選抜方針に応じて設定する試験科目は、入学後の学習に求められる基礎能力を端的に示しています。

また、高等学校教育の内容を踏まえつつ、思考力・応用力を測る問題の作成に努めるとともに、多様化する高等学校教育への対応を図っています。

○総合選抜

令和3年度入試から、学類・専門学群の枠を超えて選抜する総合選抜を導入します。総合選抜で入学した学生は2年次から学類や専門学群に所属します。

＊「体育専門学群」は前期日程（総合選抜）の移行先に含まれません。

○学類・専門学群選抜

従来どおり出願時に学類・専門学群を決める方式です。

＊「日本語・日本文化学類」「知識情報・図書館学類」は、前期日程（学類・専門学群選抜）を実施しません。前期日程（総合選抜）を受験して、2年次から移行することになります。

【後期日程】

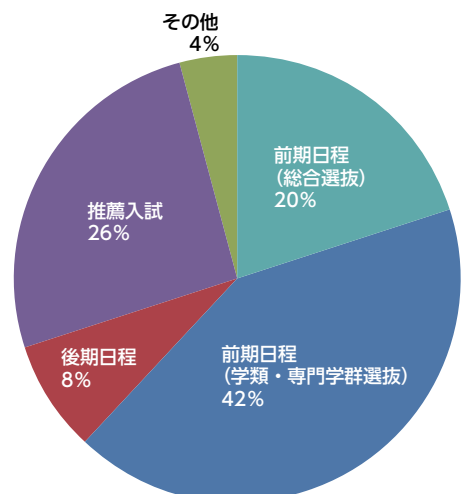
小論文・論述試験や面接など様々な形式の試験によって、各専門分野への関心や入学後の学習に必要な基礎能力を総合的に評価します。いずれの場合も論理的な思考力・表現力を重視した評価を行い、大学入学共通テストが測る能力とは異なる、本質に迫る理解力や分析力を重視して評価します。

なお、一部の学群・学類では、後期日程試験を実施していません。



令和3年度 募集人員

個別前期 (総合選抜)	個別前期 (学類・専門 学群選抜)	個別後期	推薦	AC その他	合計
413	897	159	555	77	2,101



募集人数における割合 (令和3年度2,101人中)

令和2年度 個別学力検査等（前期日程）実施結果

過去の志願倍率

学群・学類		事項	募集人員	志願者数	志願者倍率	個別学力検査等受験者数	合格者数	総合点	合格者最高点	合格者最低点	合格者平均点	入学辞退者数	追加合格者	入学者数	31年度	30年度
人文・文化学群	人文学類		72	260	3.6	250	77	1,350	1,089	906	954.3	5	0	72	4.0	3.8
	比較文化学類		51	162	3.2	156	54	1,800	1,414	1,229	1,291.1	7	4	51	3.1	3.5
	日本語・日本文化学類		29	110	3.8	105	30	900	652	585	609.4	2	1	29	5.5	3.4
社会・国際学群	社会学類		64	344	5.4	323	69	1,250	1,096	924	974.4	8	3	64	7.3	5.4
	国際総合学類		60	174	2.9	165	61	1,300	1,154	964	1,019.5	5	4	60	2.9	2.8
人間学群	教育学類		28	98	3.5	94	31	800	690	585	617.5	2	0	29	4.8	2.7
	心理学類		38	168	4.4	159	41	800	688	587	616.9	1	0	40	5.4	5.4
	障害科学類		20	91	4.6	88	20	800	686	591	618.3	2	2	20	3.3	3.9
生命環境学群	生物学類		33	82	2.5	73	33	1,800	1,461	1,214	1,323.1	0	0	33	2.7	3.1
	生物資源学類		64	204	3.2	195	64	900	713	643	669.5	0	0	64	3.4	3.5
	地球学類		34	83	2.4	81	34	1,000	811	673	722.6	0	0	34	2.4	2.5
理工学群	数学類		30	93	3.1	92	31	1,000	803	696	734.9	2	1	30	3.0	2.6
	物理学類		45	174	3.9	168	45	1,000	816	712	743.1	1	1	45	3.7	3.2
	化学類		37	101	2.7	99	38	1,000	842	691	730.9	3	2	37	3.1	2.9
	応用理工学類		82	225	2.7	218	82	1,000	825	707	747.0	3	3	82	2.6	2.7
	工学システム学類		87	262	3.0	255	90	1,000	837	710	754.3	8	5	87	4.2	3.5
	社会工学類		83	312	3.8	306	89	760	689	577	605.3	4	0	85	5.0	3.6
情報学群	情報科学類		54	226	4.2	222	57	1,250	1,082	904	947.6	2	0	55	4.9	4.7
	情報メディア創成学類		31	112	3.6	104	33	1,700	1,444	1,261	1,329.6	1	0	32	4.0	5.2
	知識情報・図書館学類		41	130	3.2	128	44	1,900	1,653	1,362	1,439.5	2	0	42	3.5	3.3
医学群	医学類		49	119	2.4	110	49	2,300	2,007	1,821	1,894.3	3	4	50	3.0	3.9
	医学類地域枠(全国)		10	17	3.0	17	5	2,300	—	—	—	0	0	5	2.0	
	医学類地域枠(茨城)		9	40		38	14	2,300	1,925	1,748	1,833.6	0	0	14		
	看護学類		45	95	2.1	91	47	1,600	1,252	1,033	1,103.0	1	0	46	2.8	2.5
	医療科学類		25	57	2.3	54	25	1,600	1,238	1,066	1,137.4	1	1	25	2.0	2.5
体育専門学群			140	490	3.5	432	146	1,400	1,252	1,078	1,127.7	1	0	145	3.5	3.4
芸術専門学群			47	156	3.3	153	49	1,400	1,311	981	1,088.2	2	0	47	3.6	2.7
合 計			※ 1,308	4,385	3.4	4,176	1,358					66	31	1,323	3.8	3.5

令和2年度 個別学力検査等（後期日程）実施結果

過去の志願倍率

学群・学類	事項	募集人員	志願者数	志願者倍率	個別学力検査等受験者数	合格者数	総合点	合格者最高点	合格者最低点	合格者平均点	入学辞退者数	追加合格者	入学者数	31年度	30年度
人文・文化学群	人文学類	17	201	11.8	82	21	1,400	1,135	980	1,035.7	4	0	17	13.1	11.1
	比較文化学類	5	80	16.0	30	8	1,500	—	—	—	3	0	5	19.0	13.4
	日本語・日本文化学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
社会・国際学群	社会学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	国際総合学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
人間学群	教育学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	心理学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	障害科学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生命環境学群	生物学類	22	74	3.4	18	17	1,100	933	839	884.9	3	0	14	5.9	4.7
	生物資源学類	20	115	5.8	55	20	1,000	817	748	771.9	2	2	20	5.3	6.2
	地球学類	5	53	10.6	28	5	550	—	—	—	0	0	5	7.4	9.8
理工学群	数学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	物理学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	化学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	応用理工学類	22	164	7.5	54	23	1,150	1,040	906	954.7	5	4	22	7.1	8.0
	工学システム学類	20	135	6.8	49	21	800	724	631	659.4	4	3	20	10.4	9.5
	社会工学類	15	104	6.9	50	17	680	566	507	534.1	1	0	16	10.3	7.5
情報学群	情報科学類	12	124	10.3	57	14	800	687	616	634.4	2	0	12	8.6	8.1
	情報メディア創成学類	8	85	10.6	40	10	1,400	—	—	—	0	0	10	11.1	16.8
	知識情報・図書館学類	15	86	5.7	31	19	1,100	895	802	839.3	1	0	18	7.7	6.9
医学群	医学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	看護学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	医療科学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
体育専門学群		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
芸術専門学群		15	200	13.3	126	17	1,200	1,099	886	972.9	1	0	16	14.4	11.1
合 計		※ 176	1,421	8.1	620	192					26	9	175	9.3	8.6

合格者が10人以下の学群・学類についての点数は公表しない。

※個別学力検査等が実施される以前の入試で、入学手続きが募集人員に満たない場合の欠員補充を含む。（前期日程：25、後期日程：2）

令和2年度 欠員補充第2次募集

学群・学類	事項	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数
生命環境学群	生物学類	5	251	8	8
合 計		5	251	8	8

■推薦入試

一般公募制の推薦入試です。指定校制度はありません。高等学校における平素の学習や活動の成果などによって、志願者を総合的に評価します。しっかりとした学習習慣・生活習慣を身につけた志願者の中から、小論文・面接等によって、明確な目的意識と勉学への意欲を持ち、各専門分野への適応性を示す人材を選抜します。

体育専門学群、芸術専門学群では、高度な実技能力を評価しています。

生物資源学類では専門高校・総合学科卒業見込み者を対象とした推薦入試、医学類においては地域枠推薦入試を実施しています。また、心理学類においては令和3年度入試から大学入学共通テストを課します。

令和2年度 推薦入試 実施結果

									過去の志願倍率	
学群・学類	事項	募集人員	志願者数	志願者倍率	受験者数	合格者数	入学辞退者数	入学者数	31年度	30年度
人文・文化学群	人文学類	28	57	2.0	57	29	1	28	1.6	1.7
	比較文化学類	20	46	2.3	46	21	0	21	1.8	2.3
	日本語・日本文化学類	10	27	2.7	27	10	0	10	1.7	2.4
社会・国際学群	社会学類	16	50	3.1	50	16	0	16	3.3	2.8
	国際総合学類	20	61	3.1	61	21	1	20	2.7	3.0
人間学群	教育学類	7	42	6.0	42	7	0	7	2.1	4.1
	心理学類	12	45	3.8	45	12	0	12	5.5	3.4
	障害科学類	15	20	1.9	20	14	0	14	1.9	1.3
			9		9	1	0	1		
生命環境学群	生物学類	20	45	2.3	45	23	0	23	1.9	1.7
	生物資源学類	33	52	1.6	52	33	0	33	2.3	1.9
			1		1	0	0	0		
	地球学類	10	24	2.4	24	10	0	10	3.0	2.0
理工学群	数学類	10	19	1.9	19	10	0	10	3.3	3.3
	物理学類	15	33	2.2	33	16	0	16	1.7	2.3
	化学類	13	31	2.4	31	13	0	13	1.6	1.7
	応用理工学類	16	36	2.3	36	16	0	16	2.7	2.6
	工学システム学類	20	96	4.8	95	20	0	20	3.9	3.2
	社会工学類	22	53	2.4	53	22	0	22	1.5	2.3
情報学群	情報科学類	10	43	4.3	43	10	0	10	3.6	3.9
	情報メディア創成学類	8	31	3.9	31	9	0	9	4.6	3.1
	知識情報・図書館学類	40	65	1.6	65	40	0	40	2.2	1.1
医学群	医学類	44	190	4.3	187	48	0	48	4.5	4.6
			88	5.2	88	17	0	17	3.9	4.1
	看護学類	25	70	2.8	70	25	0	25	2.3	2.6
	医療科学類	12	19	1.6	19	12	0	12	2.6	2.7
体育専門学群		88	137	1.6	136	92	0	92	1.3	1.4
芸術専門学群		35	159	4.5	159	35	0	35	4.1	3.3
合 計		566	1,549	2.7	1,544	582	2	580	2.6	2.4

■アドミッションセンター(AC) 入試

ペーパーテストでは測れない学力―問題発見・解決能力―を重視する選抜です。

志願者が自由に作成する自己推薦資料に基づいて、明確な目的意識を持ち、自ら学び自ら考え、主体的に判断して行動する人材を選抜します。学校長の推薦は必要ありません。調査書の成績基準もありません。既卒者、社会人も出願できます。

なお、この入試の合格者は、募集人員より多い場合も少ない場合もあります。合格者が募集人員に満たない場合は、その分の人数を「個別学力検査等（前期日程）」の募集人員に含めますが、合格者が募集人員より多い場合は、ほかの入試の募集人員が減ることはありません。詳しくは、本学アドミッションセンターホームページをご覧ください。

<https://ac.tsukuba.ac.jp>

令和2年度 アドミッションセンター入試 実施結果

									過去の志願倍率	
学群・学類		募集人員	志願者数	志願者倍率	第1次選考後の受験者数	合格者数	入学 辞退者数	入学者数	31年度	30年度
人文・文化学群	人文学類	5	34	6.8	7	4	1	3	5.0	4.6
	比較文化学類	5	43	8.6	7	3	0	3	10.0	6.0
	日本語・日本文化学類	3	9	3.0	2	1	0	1	4.7	3.0
社会・国際学群	社会学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	国際総合学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—
人間学群	教育学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	心理学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	障害科学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生命環境学群	生物学類	3	22	7.3	6	1	0	1	10.3	6.3
	生物資源学類	4	21	5.3	6	3	0	3	5.0	4.8
	地球学類	2	12	6.0	2	0	0	0	1.5	4.5
理工学群	数学類	2	5	2.5	0	0	0	0	1.0	1.5
	物理学類	—	—	—	—	—	—	—	3.5	4.5
	化学類	2	5	2.5	0	0	0	0	4.5	2.0
	応用理工学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	工学システム学類	8	38	4.8	10	4	1	3	3.9	4.5
情報学群	社会工学類	—	—	—	—	—	—	—	—	3.2
	情報科学類	8	31	3.9	6	5	1	4	4.3	3.1
	情報メディア創成学類	4	34	8.5	4	2	0	2	9.0	4.3
医学群	知識情報・図書館学類	5	16	3.2	7	5	1	4	6.2	2.8
	医学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	看護学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—
体育専門学群	医療科学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	体育専門学群	12	123	10.3	24	12	0	12	10.8	8.6
芸術専門学群		5	53	10.6	6	3	1	2	9.2	8.2
合 計		68	446	6.6	87	43	5	38	6.7	5.0

■研究型人才入試

自然科学において自ら発見した課題に対し、主体的かつ継続的に取り組み、その結果、到達した高い成果を評価する新たな入学者選抜を実施します。

入学後は研究室演習、新医学専攻、ヒューマンクス学位プログラム等に積極的に参加し研究者としての素養を培うことができ、卒業後は医学・生命科学を担う研究者として国際的に活躍することが期待されています。

令和2年度 研究型人才入試 実施結果

学群・学類		募集人員	志願者数	合格者数	入学者数
医学群	医学類	若干名	4	0	0
	合 計	—	4	0	0

■国際科学オリンピック特別入試

筑波大学は、理数分野における秀でた人材の育成を応援したいと考えています。そのため、理数分野に関して高度な理解力、思考力、応用力と強い学習意欲を持つ人を対象に特別入試を行っています。

国際科学オリンピック特別入試は、過去3年間に、生物学、地学、地理、数学、物理学、化学、情報の国際科学オリンピックに出場した人や、その代表者選考会等において一定の成績を収めた人を対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を評価する入試です。

令和2年度 国際科学オリンピック特別入試 実施結果

							過去の状況			
学群・学類		募集人員	志願者数	志願者倍率	第1次選考後の受験者数	合格者数	入学 辞退者数	入学者数	31年度 志願者数 合格者数	30年度 志願者数 合格者数
生命環境学群	生物学類	5	3	0.6	3	1	0	1	8	3
	地球学類	若干名	2	—	2	1	0	1	2	1
理工学群	数学類	若干名	0	—	0	0	0	0	0	0
	物理学類	若干名	0	—	0	0	0	0	0	0
	化学類	若干名	0	—	0	0	0	0	1	0
情報学群	情報科学類	若干名	0	—	0	0	0	0	1	0
	情報メディア創成学類	若干名	0	—	0	0	0	0	0	0
合 計		—	5	—	5	2	0	2	12	6

■国際バカロレア特別入試

国際バカロレア資格を取得した者を対象として、主体的に学ぶための知識や思考力、明確な目標をもって学ぶ意欲、また語学力を含めたコミュニケーション能力などを重視して入学者を選抜します。

令和2年度国際バカロレア特別入試 実施結果					過去の状況			
学群・学類		事項	志願者数	合格者数	入学者数	31年度		30年度
						志願者数	合格者数	志願者数
人文・文化学群	人文学類		1	0	0	2	1	0
	比較文化学類		2	0	0	0	0	0
	日本語・日本文化学類		0	0	0	0	0	0
社会・国際学群	社会学類		1	0	0	0	0	0
	国際総合学類		4	0	0	1	0	7
人間学群	教育学類		0	0	0	0	0	0
	心理学類		0	0	0	2	1	2
	障害科学類		0	0	0	0	0	0
生命環境学群	生物学類		1	0	0	0	0	1
	生物資源学類		0	0	0	2	1	3
	地球学類		1	0	0	0	0	0
理工学群	数学類		0	0	0	1	0	0
	物理学類		1	1	0	0	0	1
	化学類		0	0	0	0	0	0
	応用理工学類		1	0	0	1	1	0
	工学システム学類		3	0	0	1	0	0
	社会工学類		1	0	0	0	0	0
情報学群	情報科学類		4	0	0	0	0	0
	情報メディア創成学類		1	0	0	0	0	0
	知識情報・図書館学類		0	0	0	0	0	0
医学群	医学類		8	1	0	7	1	5
	看護学類		0	0	0	2	0	0
	医療科学類		0	0	0	1	0	1
体育専門学群			2	0	0	1	0	1
芸術専門学群			2	1	1	0	0	0
合 計			33	3	1	21	5	21

募集人員は、医学類は3名、その他は募集単位毎に若干名である。

■地球規模課題学位プログラム(学士)入試

本プログラムを通じて地球規模課題全般を俯瞰する幅広い基礎知識を身に付け、人間と環境に関する課題を解決するために分野を超えて必要な情報・技術を自ら意欲的に求めていく姿勢をもち、多くの選択肢の中から最適な解決を意思決定できる人材を養成します。

平成31年度 地球規模課題学位プログラム(学士)入試実施結果					過去の状況	
募集人員	志願者数	合格者数	入学 辞退者数	入学者数	30年度	
					志願者数	合格者数
若干名	46	10	1	9	21	9

■海外教育プログラム特別入試

筑波大学では、海外留学を支援するとともに、探究心をもって主体的に学び、信念をもって物事に挑戦し、世界的に活躍できる人材を育成するための入学試験として、帰国生徒や私費外国人留学生を対象とした海外教育プログラム特別入試を実施します。

この入試では、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められるアビトゥア (Zeugnis der Allgemeinen Hochschulreife)、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア (Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Second Degré)、英国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル (GCE Advanced level)、米国において College Board が主催する SAT Reasoning Test (SAT I) 及び SAT Subject Tests (SAT II) の資格取得者や受験者を対象として、入学者を選抜します。

令和2年度 海外教育プログラム特別入試 実施結果					過去の状況	
学群・学類		募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	31年度
						志願者数
医学群	医学類	2	10	2	0	8
合 計		2	10	2	0	8

■Japan-Expert(学士)プログラム特別入試

日本に興味・関心を有する留学生を対象に、高度な日本語能力を習得の上、日本の文化・社会を理解し、農業、ヘルスケア、日本芸術、日本語教育のいずれかの専門性を身に付け、各専門分野における問題の発見・解決を日本語により可能とする専門知識と思考力を有する人材育成を目的としています。

本プログラムでは、日本語能力の要件を緩和することにより、これまで日本語能力不足で受験できなかった学生にも受験の機会を広げ、入学後は半年間の日本語教育を集中的に行います。

平成31年度 Japan-Expert(学士)プログラム特別入試 実施結果						過去の状況	
	募集 人数	志願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数	30年度	
						志願 者数	合格 者数
アグロノミスト養成コース (生命環境学群生物資源学類)	若干名	11	10	3	3	10	2
ヘルスケアコース(医学群看護学類)	若干名	8	8	3	3	12	3
日本芸術コース(芸術専門学群)	若干名	6	2	1	1	6	1
日本語教師養成コース (人文・文化学群日本語・日本文化学類)	若干名	8	5	2	2	21	2

■私費外国人留学生入試

日本国籍をもたず、外国人のための教育を受けた人のための入試です。大学入学共通テストを免除し、日本留学試験を課しています。

令和2年私費外国人留学生入試 実施結果				過去の状況			
学群・学類		志願者数	合格者数	入学者数	31年度		30年度
					志願者数	合格者数	志願者数
人文・文化学群	人文学類	10	1	1	6	1	5
	比較文化学類	10	3	3	6	1	3
	日本語・日本文化学類	1	1	1	6	0	5
社会・国際学群	社会学類	—	—	—	19	2	30
	国際総合学類	—	—	—	9	2	14
人間学群	教育学類	5	0	0	5	1	2
	心理学類	16	0	0	12	1	15
	障害科学類	1	0	0	3	0	1
生命環境学群	生物学類	20	0	0	22	1	15
	生物資源学類	8	1	0	8	0	10
	地球学類	2	0	0	3	1	1
理工学群	数学類	11	0	0	5	0	10
	物理学類	17	1	0	8	1	21
	化学類	13	1	1	17	1	19
	応用理工学類	14	1	0	17	5	15
	工学システム学類	23	2	0	28	2	41
	社会工学類	9	1	1	9	1	20
情報学群	情報科学類	24	2	2	24	3	24
	情報メディア創成学類	5	1	1	10	0	14
	知図情報・図書館学類	4	2	1	6	3	5
医学群	医学類	—	—	—	7	0	5
	看護学類	0	0	0	0	0	1
	医療科学類	1	0	0	1	0	3
体育専門学群		1	0	0	1	0	1
芸術専門学群		8	1	1	7	2	7
合 計		203	18	12	239	28	287

募集人員は、募集単位毎に若干名である。

■編入学試験

高等専門学校や短期大学卒業後さらに学びたい人等を対象とした学群編入学試験、医学を志す人を対象とした医学類編入学試験（2年次編入）を実施しています。学群編入学は3年次編入が原則ですが、2年次編入となる場合があります。編入年次は合格発表時にお知らせします。

令和2年 編入学試験実施結果				過去の状況			
学群・学類		募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	31年度	
						志願者数	合格者数
社会・国際学群	社会学類	10	95	13	10	80	10
	国際総合学類	—	—	—	—	—	—
生命環境学群	生物学類	若干名	18	4	4	20	3
	生物資源学類	10	32	10	10	34	11
	地球学類	若干名	6	1	1	10	2
理工学群	数学類	若干名	4	1	1	7	1
	物理学類	若干名	15	2	1	14	3
	化学類	若干名	6	1	1	15	1
	応用理工学類	10	55	26	14	61	21
	工学システム学類	若干名	68	10	6	80	6
	社会工学類	若干名	27	5	5	26	2
情報学群	情報科学類	10	93	21	13	77	16
	情報メディア創成学類	10	84	13	10	68	12
	知図情報・図書館学類	10	45	13	11	51	13
医学群	医学類	5	118	7	5	124	6
	看護学類	10	25	10	10	27	10
	医療科学類	3	13	0	0	8	1
合 計		—	704	137	102	702	118

情報科学類及び情報メディア創成学類の志願者数は、単願者及び併願第1志願者の合計である。
なお、情報科学類の第2志願者は61名、情報メディア創成学類の第2志願者は57名である。

■帰国生徒特別入試

外国の高校を卒業する帰国生徒が翌年の春まで待たずに10月に入学できる制度です。

体育専門学群と芸術専門学群では、4月入学の帰国生徒特別入試を行っています。

令和元年度帰国生徒特別入試(10月入学) 実施結果				過去の状況			
学群・学類		志願者数	合格者数	入学者数	30年度		29年度
					志願者数	合格者数	志願者数
社会・国際学群	社会学類	5	0	0	4	1	5
	国際総合学類	7	1	0	9	2	10
人間学群	教育学類	—	—	—	—	—	2
	心理学類	—	—	—	—	—	4
	障害科学類	—	—	—	—	—	2
生命環境学群	生物学類	0	0	0	2	0	5
	生物資源学類	0	0	0	2	1	3
	地球学類	0	0	0	0	1	1
合 計		12	1	0	17	4	32

募集人員は、募集単位毎に若干名である。

令和2年度帰国生徒特別入試(4月入学) 実施結果				過去の状況			
学群・学類		志願者数	合格者数	入学者数	31年度		30年度
					志願者数	合格者数	志願者数
体育専門学群		4	0	0	2	0	8
芸術専門学群		1	1	1	1	0	5
合 計		5	1	1	3	0	13

募集人員は、募集単位毎に若干名である。

見学／体験学習／受験相談

大学説明会（学類・専門学群）

毎年度夏季の指定日に、高校生及び既卒者を対象として、筑波大学の教育・研究を正しく理解し、適切な進路を選択する上での参考にいただくため、大学の概要説明や学類・専門学群の特色などの詳細説明を実施していましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、インターネットを活用した実施方法に変更いたします。

詳しくは、下記のURLからご確認ください。

<https://www.tsukuba.ac.jp/admission/opencampus>

体験学習

高校生を対象に、大学教育の一端を体験していただくため、学群・学類において最先端の内容をよりわかりやすく授業を実施するもので、実際に講義・実験等を体験していただきます。

<https://www.tsukuba.ac.jp/admission/opencampus/work-study.html>

進学相談

アドミッションセンターでは、アドミッションセンター教員による進学相談を行っています。また、入学案内、募集要項、各学群・学類のパンフレット等も配布しています。

<https://ac.tsukuba.ac.jp>

大学院説明会・専攻公開

大学生・高等専門学校専攻科・社会人及び高校生を対象に、大学院での教育研究を公開する催しです。

<https://www.tsukuba.ac.jp/admission/opencampus/graduate.html>

キャンパスツアー

主に高校生を対象とした団体専用のツアーです。筑波大学に興味のある80名以内の団体を受け入れています。

また、大学概要説明（アドミッションセンター教員）、大学紹介DVD視聴、教育・研究センター見学、ミニ講義等のご要望にも対応しています。

申し込みは広報室まで

<https://www.tsukuba.ac.jp/tour-top>

電話 029-853-2064/2063

キャンパス開放

筑波大学は、いつでもキャンパスを自由に見学することができます。ただし、建物内への立ち入りはご遠慮ください。（図書館、学生食堂等は利用可能です。）

注）駐車場について
自動車で来学の場合は、「松見口」「中央口」の各案内センター（p.154、155を参照）において、所定の手続きを行い、指定場所に駐車願います。

現在、新型コロナウイルス感染症対策のため、キャンパスツアーを中止しております。また、自由見学につきましてもご遠慮いただいております。

再開する時期につきましては、決定次第、大学HPにてお知らせしますので、下記URLからご確認ください。

<https://www.tsukuba.ac.jp/tour-top>



大学説明会の様子（筑波大学循環バス）



大学説明会の様子



大学説明会の様子

学生募集要項等請求方法

入学者選抜の詳細は、「入学者選抜要項」及び「学生募集要項」などで確認してください。

入学者選抜要項や入学案内は以下の方法で請求できます。

(1) 筑波大学ホームページから請求する場合

本学ホームページから^①テレメールを利用して資料請求ができます。

筑波大学ホームページ：<https://www.tsukuba.ac.jp/admission/>

携帯電話サイト：<https://www.daigakuic.jp/tsukuba/>

(2) インターネットまたは自動音声応答電話で請求する場合

① 以下のいずれかの方法で^①テレメールにアクセスしてください。

インターネット	https://telemail.jp	資料請求用QRコード (資料請求番号の入力不要)	
自動音声応答電話	IP 電話 050-8601-0101 (24時間対応) ※一般・電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。 ※住所・氏名等の登録時はゆっくり・はっきりとお話ください。登録された音声 が不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。		

② 希望の資料の資料請求番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号	料金（予定）	発送開始日（予定）
入学案内 2021	561320	250 円	6 月下旬

※上記以外の入学者選抜要項、募集要項については、本学ホームページに掲載します。

http://www.tsukuba.ac.jp/admission/undergrad/list_guidebooks.html

学群・学類等案内（2020年度）

資料名	資料請求番号	料金（予定）	発送開始（予定）	資料名	資料請求番号	料金（予定）	発送開始（予定）
総合学域群案内	793290	120円	7月中旬	数学類案内	583511	140円	7月上旬
人文学類案内	541381	250円	7月中旬	物理学類案内	583671	120円	6月中旬
比較文化学類案内	561331	215円	8月上旬	化学類案内	583681	120円	6月上旬
日本語・日本文化学類案内	561341	180円	4月下旬	応用理工学類案内	546341	140円	7月下旬
社会学類案内	561541	140円	7月下旬	工学システム学類案内	541441	140円	7月下旬
国際総合学類案内	541431	180円	4月中旬	社会工学類案内	546361	140円	7月上旬
人間学群案内 (教育学類・心理学類・障害科学類)	792871	180円	7月中旬	情報科学類案内	541281	140円	4月下旬
生命環境学群案内	597381	120円	7月下旬	情報メディア創成学類案内	541291	140円	4月下旬
生物学類案内	561291	180円	4月下旬	知能情報・図書館学類案内	561271	180円	5月下旬
生物資源学類案内	561531	120円	4月下旬	医学群案内	541391	215円	6月中旬
地球学類案内	583311	120円	7月上旬	体育専門学群案内	561391	140円	7月上旬
理工学群案内	621281	120円	4月下旬	芸術専門学群案内	953561	120円	6月中旬

③ ガイドンスに従ってお届け先等を登録してください。

※テレメールをご利用済みの方はお届け先の登録は不要です。

※資料請求終了時及び受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管してください。

※資料は通常、発送日のおおむね3～5日後にお届けできます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては1週間程度かかります。1週間以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。

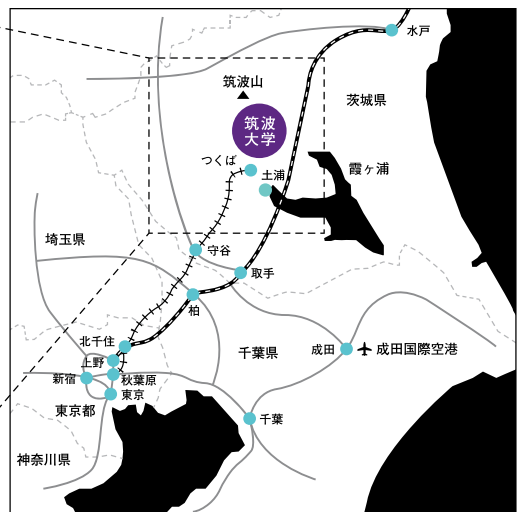
※料金の支払い方法は「コンビニ支払い」「LINE Pay 請求書支払い」「ケータイ払い」「クレジットカード支払い」がご利用になれます。
 なお、支払い手数料として、コンビニ払いとLINE Pay 請求書支払いは88円、ケータイ払いとクレジットカード払いは50円が別途必要です。（LINE Pay 請求書支払い以外は1回の手数料で複数資料の料金を同時に支払うこともできます。）

(3) 本学の窓口で直接受け取る場合

筑波キャンパスアドミッションセンター窓口（月～金曜日（祝休日、休業日を除く）9：00～17：00 電話029-853-7385）及び東京キャンパス文京校舎広報室東京分室（月～金曜日（祝休日、休業日を除く）9：00～12：15、13：15～16：00 電話03-3942-6903）で資料を入手できます。

上記(1)、(2)の請求方法についてのお問合せ先

テレメールカスタマーセンター IP電話 050-8601-0102（受付時間 9：30～18：00）



筑波大学へのアクセス

ACCESS TO
UNIVERSITY OF TSUKUBA

つくばセンターから 筑波大学へのバスについて

- 筑波大学へのバスは、大学の外周を一周する道路で運行されています。
- つくばセンター発のバスには、「筑波大学中央」「筑波大学循環（右回り・左回り）」の3種類があります。
- 「筑波大学中央」は、右回りで運行します。

